Pioneer sound.vision.soul

ハイビジョンプラズマテレビ

PDP-434BX

ハイビジョンプラズマテレビ

取扱説明書

はじめに
準備する
テレビを見る
映像を調整する
音声を調整する
BS・CSの機能
BS・CSの設定
予約する
他の機器を接続して使う
故障かな？と思ったら
その他

インターネットによる登録のお願い
http://www3.pioneer.co.jp/

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

「据付工事」について

本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。

なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

Pioneer

このたびは、パイオニア製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- なお、「取扱説明書」は、「保証書」、「修理窓口・ご相談窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

目　次

はじめに

準備する

準備する

テレビを見る

映像を調整する

音声を調整する

BS・CSの機能

BS・CSの設定

予約する

他の機器を接続して使う

他の機器を接続して使う

パソコン（PC）

SD カード

故障かな？と思ったら

その他

はじめに

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠警告

異常時の処置	万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。	プラグを抜く
	万一内部に水や異物等が入った場合は、すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
	画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。	
	万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはパネルを破損した場合は、すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
設置	本機は設置用のスタンドを付属していません。設置の際は、別売の弊社製ハイビジョンプラズマテレビ専用のテーブルトップスタンドや壁掛け金具等をご使用ください。本機は大型で重量があるので、ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。本機には、転倒防止の処置を行ってください。転倒防止を行わないと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。また、開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。	注意
	電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重いものを載せてしまうことがあります。重いものを載せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。	禁止
	ホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続しないでください。 本機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に、そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。接続の際には、ホームテレホン・ビジネスホンのメーカーまたは、工事店にお問い合わせください。	

安全上のご注意（つづき）

区分	内容	表示
使用環境	本機の内部に水が入ったり、濡らさないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。	禁止
使用環境	表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。	100V以外禁止
使用方法	本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。	禁止
使用方法	本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、落下して中に入った場合、火災・感電の原因となります。	禁止
使用方法	本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。	禁止
使用方法	雷が鳴り出したらすぐに使用を中止して、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。	接触禁止
使用方法	本機のキャビネットをはずしたり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。	分解禁止
使用方法	電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	ほこり除去
使用方法	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。	禁止
使用方法	本機の前面パネルに、たたくなどの衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。前面パネルには絶対に衝撃を加えないでください。	

⚠ 注意

区分	内容	表示
設置	濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。	禁止
設置	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。	禁止
設置	本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	

安全上のご注意（つづき）

設置	放熱を良くするため、他の機器・壁等から10cm 以上の間隔をとり設置してください。また、次のような使いかたをしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 ●押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。 ●じゅうたんやふとんの上に置く。 ●テーブルクロスなどをかける。 ●横倒しにする。 ●逆さまにする。	 禁止
	アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。 ●送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。 ●BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナは強風を受けやすいので、しっかりと取り付けてください。	 注意
	電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止
	本機を直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面パネルの光学特性が変化し、変色したり、そりの原因となります。	
	移動させる場合は本機の電源ボタンを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部コード、転倒防止具をはずしたことを確認してください。コード類をはずさずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	 プラグを抜く
	本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高温、多湿になる場所あるいは油煙やホコリの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	 禁止
	本機は質量が34.0kgあり、奥行がなくて不安定なため、開梱や持ち運び、および設置は２人以上で行ってください。	 注意
	お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。	 プラグを抜く
	本機はガラス部品を使用しています。万一部品が割れた場合には、破片でけがなどをしないよう取り扱いに注意し、販売店に修理をご依頼ください。	 注意
	窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。	 禁止
	3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。	 注意
	本機背面にある通気孔は、月に１回を目安に掃除機でホコリを吸い取ってください（このとき掃除機は「弱」に設定してください）。また、通気孔のお手入れは必ず本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ホコリをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。	

安全上のご注意（つづき）

区分	内容	表示
設置	地震などによる転倒を防止するため、丈夫なヒモとフック金具を使用して、壁や柱など強度の高いところに固定してください。	注意
	電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。	確実に差す
	電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。	禁止
	オーディオ機器やビデオ機器など、他の機器と組み合わせて使用する場合は、本機の電源ボタンを切った後、電源プラグをコンセントから抜いて接続してください。	プラグを抜く
使用環境	本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。	注意
	周囲温度は０～40℃の範囲内でご使用ください。	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	プラグを抜く
使用方法	長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。	禁止
	静止画像、SDカードの画像などの同じ絵がらや、４：３等の映像を長時間連続で表示しないでください。画像が焼きつき、残像として残る場合があります。	
	本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。	禁止
	指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。	
	電池をリモコン内にセットする場合、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。	注意
	乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。	禁止
	電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。	
	長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。	電池を取り出す
	ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。	注意

使用上のご注意 （守っていただきたいこと）

⚠注意

お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

プラズマテレビの保護機能について

- 写真やコンピューター画像などの動きのない映像を長い時間表示すると、画面がやや暗くなります。これはプラズマテレビの保護機能が、動きの少ない映像を検知すると自動的に明るさを調整して画面を保護するためで、故障ではありません。
  この機能は、動きの少ない映像を約3分間検知すると働きます。

プラズマテレビの画素欠陥について

- プラズマテレビは、微細な画素の集合体で、非常に精密な技術で作られていますが、ごく一部の画素が光らなかったり、常時点灯する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。

画面の焼き付きと残像

- 静止画像など同じ絵柄の映像を長い時間表示すると、画面に残像が残る場合があります。
  残像にはつぎの2つの原因があります。

1. 電気負荷の残留による残像
   輝度の非常に高い映像を1分以上表示すると、電気負荷の残留により残像がでることがあります。これは動画を表示するとやがて消えます。残像が消えるまでにかかる時間は、もとの映像の輝度と表示時間によって異なります。
2. 焼き付きによる残像
   プラズマテレビに同じ絵柄を長時間表示しないでください。同じ絵柄を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示したりすると、蛍光素材の焼き付きにより残像ができることがあります。この場合は、動画の映像によって目立たなくなることがありますが、完全に消えることはありません。
   また、画面サイズ4：3や上下に黒帯が表示されるレターボックス等の映像を何時間も続けて表示したり短時間でも毎日くり返し表示すると同様の焼き付きによる残像が残ります。
   著作者の権利を侵害するおそれがある場合(➡74ページ・ご注意)を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えて(➡73ページ)お楽しみいただくことをおすすめします。また、「省エネ機能を使う」の「消費電力」設定により、焼き付きの発生を軽減することができます。(➡72ページ)

赤外線について

プラズマテレビは原理上赤外線を出しています。使用状態によっては周囲の機器のリモコンが効きにくくなったり赤外線を使用しているワイヤレスヘッドホンにノイズが入る場合があります。その場合は影響を受けないような場所に機器の受光部を設置してください。

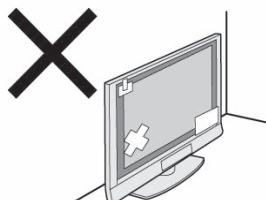
電磁波妨害について

本機は公的規格を満足していますが若干のノイズが出ています。「AMラジオ」や「パソコン」、「ビデオ」等の機器を近づけると妨害を与えることがあります。このときは機器を影響のない所まで本機から離してください。

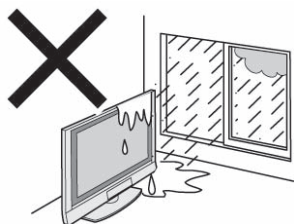
ファンモーターの音について

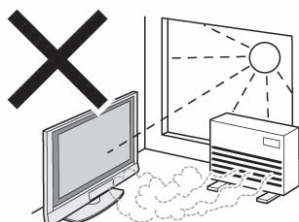
設置環境により本体周囲の温度が高くなると、冷却用のファンモーターがまわります。そのため、回転音がする場合がありますが異常ではありません。

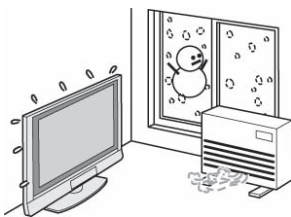
ステッカーやテープなどを貼らないでください

●キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

使用上のご注意（守っていただきたいこと）（つづき）

雨天・降雪中でのご使用の場合

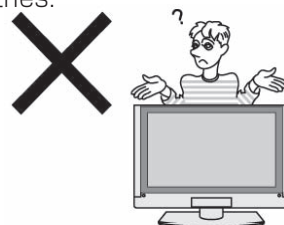
●雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機を濡らさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

●窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
●直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。
キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

結露（つゆつき）について

●本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

設置について

●発熱する機器の上には本機を置かないでください。
●本機の上にはものを置かないでください。
●本機の上や後ろのスペースが十分とれる場所に設置してください。

国外では使用できません

●この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

ガラスパネル部のお手入れのしかた

●本機のガラスパネル部の表面は、付属のワイピングクロスまたは他の柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
●ガラスパネル部の表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本体の表面を伝って、内部に侵入し故障の原因になることがあります。

キャビネットのお手入れのしかた

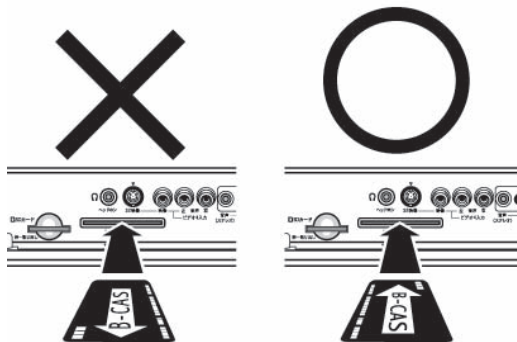
●キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはがれることがありますので避けてください。
●殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
●キャビネットの表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本体の表面を伝って、内部に侵入し故障の原因になることがあります。

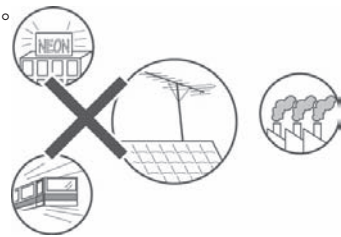
使用上のご注意（守っていただきたいこと）（つづき）

SD カードの使用上の注意

- SD カード使用中（「SD カード」画面での操作中）は電源を切ったり、カードを抜かないでください。データが破壊されることがあります。必ず「SD カード」画面を消してから抜いてください。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部を手や金属で触らないでください。
- 貼られているラベルは、はがさないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなど温度が高くなるところには置かないでください。
- 湿度の高いところやホコリが多いところには置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい環境で使用・保管しないでください

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して行ってください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110 度 CS デジタル放送受信用のアンテナ線には、必ず BS・110 度 CS デジタル放送に対応した衛星放送用同軸ケーブルを使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります

付属品

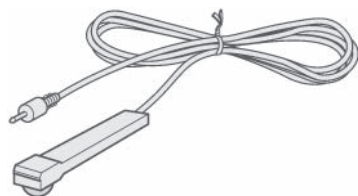
■リモコン× 1
（使いかた➡20 ページ）

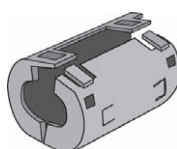
■単３乾電池× 2
（使いかた➡ 22 ページ）

■簡単リモコン× 1
（使いかた➡22 ページ）

■単４乾電池× 2（簡単リモコン用）
（使いかた➡22 ページ）

■ Ir システムケーブル（1.8m）× 1
（使いかた➡140 ページ）

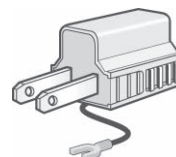
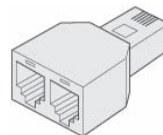
■電源コード（ノイズフィルター付き）
（2.0m、3 ピン）× 1
（使いかた➡37 ページ）

■アンテナケーブル用ノイズフィルター× 1
（使いかた➡29 ページ）

■ノイズフィルター固定用バインダー× 1
（使いかた➡29 ページ）

■電話線（10m）× 1
（使いかた➡32 ページ）

■ AC 変換プラグ× 1
（使いかた➡37 ページ）

■ワイピングクロス
（ガラスパネル部を拭く布）× 1
（使いかた➡13 ページ）

■モジュラー分配器× 1
（使いかた➡32 ページ）

■ BS・110 度 CS デジタル用品一式
・B-CAS カード
・ユーザー登録カード
・加入申し込みパンフレット

■保証書
■取扱説明書（本書）
■基本的な使い方と故障と思われがちな事例
■安心サービス保証プログラムのご案内
■安心サービス保証プログラム申込書
■修理窓口・ご相談窓口のご案内

ご注意　B-CAS カードは開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。
開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

取扱説明書の見かた

■ プラズマテレビを快適にご使用いただくために、本機ではほとんどの操作がリモコンで行えるようになっています。
■ またこの取扱説明書でも、おもにリモコンからの操作を中心に説明しています。
■ リモコン操作に関しては、できるだけわかりやすくご理解していただくために、操作の手助けとなるかんたん操作ガイドを画面に表示しています。

●説明の見かた

お好みの音場にする

FOCUS やフロントサラウンド効果を使うと、より自然で立体的な音声を再生できます。

① ホームメニュー を押す
② 「音声の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
③ 「FOCUS」または「フロントサラウンド」を選んで ← → を押し、お好みの効果を選ぶ

■FOCUS
音が聞こえてくる方向（音像）を縦方向（上方向）に動かすとともに、音の輪郭を明確にする技術です。
「する」に設定すると、画面の中央から音が聞こえてくるような効果が得られます。
工場出荷時は、「しない」に設定されています。

「する」……FOCUS を使用します。
「しない」……FOCUS を使用しません。

■フロントサラウンド
工場出荷時は、「TruBass」に設定されています。

「SRS」……どの位置でも自然な立体音場を楽しむことができます。
「TruBass」……無理のない豊かな低音を再生します。
「TruBass+SRS」……TruBass と SRS の両方を使ったサラウンド効果が得られます。
「しない」……フロントサラウンドを使用しません。

④ 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
• 「FOCUS」を「する」、「フロントサラウンド」を「TruBass+SRS」にした状態を SRS(●)（ワウ）といいます。
• SRS(●) は、SRS Labs, Inc. の商標です。
• WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
• 効果の度合いは信号によって異なります。
• ヘッドホンの音場設定はできません。
• ヘッドホンを挿入したまま音場を設定すると、ヘッドホンを抜いたときのスピーカーからの音場が設定されます。

95

●この取扱説明書内の説明では、次のように表示しています。

リモコンのホームメニューボタンを押す	➡	ホームメニュー を押す
画面上の映像の調整を選ぶ	➡	「映像の調整」を選ぶ

ご注意　正しくお使いいただくためのご注意

おしらせ　もう少し詳しい説明や、機能の制限事項などの情報

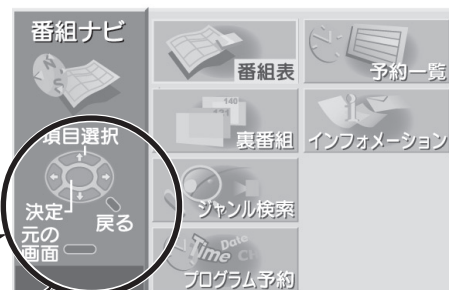
お願い　アドバイスや、してはいけないこと、していただきたいことなどの情報

※ この取扱説明書では、ハイビジョンプラズマテレビを「本機」と表現しています。
※ この取扱説明書に記載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なる場合があります。

取扱説明書の見かた（つづき）

●メニューの使いかた

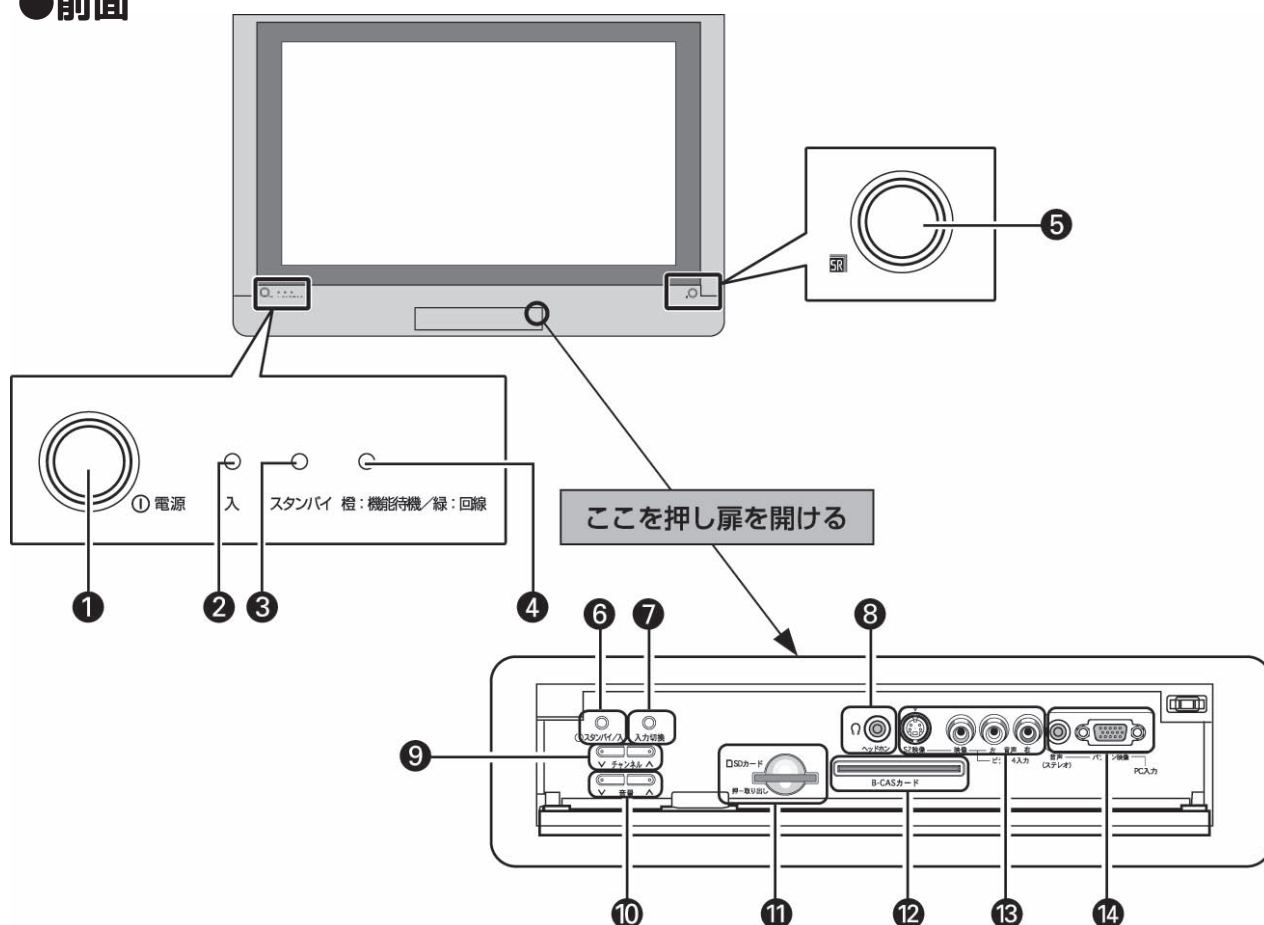
本機では画面に表示されるかんたん操作ガイドにしたがって操作を順次進めます。
かんたん操作ガイドに表示される内容は､いろいろな機能の詳細説明や操作の方法をわかりやすく説明しています。

（例）かんたん操作ガイド
選択されている項目に関する説明を表示します。
また､元の画面のボタンを押すとメニュー画面を終了することを表しています。

（例）
番組ナビの画面では、リモコンの各ボタンは下記の動作をします。

- ↑↓←→ボタン
  項目が選択できます。
- 決定ボタン
  選んだ項目を決定する事を表しています。
- 戻るボタン
  一つ前の状態に戻ります。
- 元の画面ボタン
  番組ナビ画面を終了し、最後に視聴していた画面に戻ります。

おしらせ
- 各説明の最後に「設定を終了する場合は､元の画面を押す」と表記していますが､ホームメニューを押しても設定を終了することができます。

各部の名前

●前面

❶ **電源ボタン（➡64 ページ）**
本機の主電源ボタンです。
電源を「入（またはスタンバイ）」「切」します。

❷ **入インジケーター（緑）（➡64 ページ）**
本機が電源「入」のとき、緑色で点灯します。

❸ **スタンバイインジケーター(赤)(➡64ページ)**
本機が電源「スタンバイ」のとき、赤色で点灯します。

❹ **機能待機インジケーター（橙）（➡126・148 ページ）**
i.LINK スタンバイのとき、橙色で点灯します。
予約録画の実行中も、橙色で点灯します。

回線インジケーター（緑）（➡32 ページ）
本機が電話回線を使用すると、緑色で点灯します。

❺ **リモコン受光部（➡21・64 ページ）**
リモコン信号をここで受信します。
ここに向けてリモコンを操作してください。

❻ **⏻ スタンバイ／入ボタン（➡64 ページ）**
本機の電源ボタンです。

❼ **入力切換ボタン（➡66 ページ）**
入力を切り換えます。

❽ **ヘッドホン出力端子**
ヘッドホン（16 ～ 32 Ω推奨）を接続します。
ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音声が出なくなります。

❾ **チャンネル（＋ / −）ボタン（➡64 ページ）**
テレビのチャンネルを切り換えます。

❿ **音量（＋ / −）ボタン（➡64 ページ）**
お好みの音量に調整します。

⓫ **SD カード挿入口(➡160 ページ）**
デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどで撮影した画像データやパソコンで編集した音楽データが記録された SD カードを再生することができます。（本機ではSDカードにテレビの映像や音声を記録することはできません。）

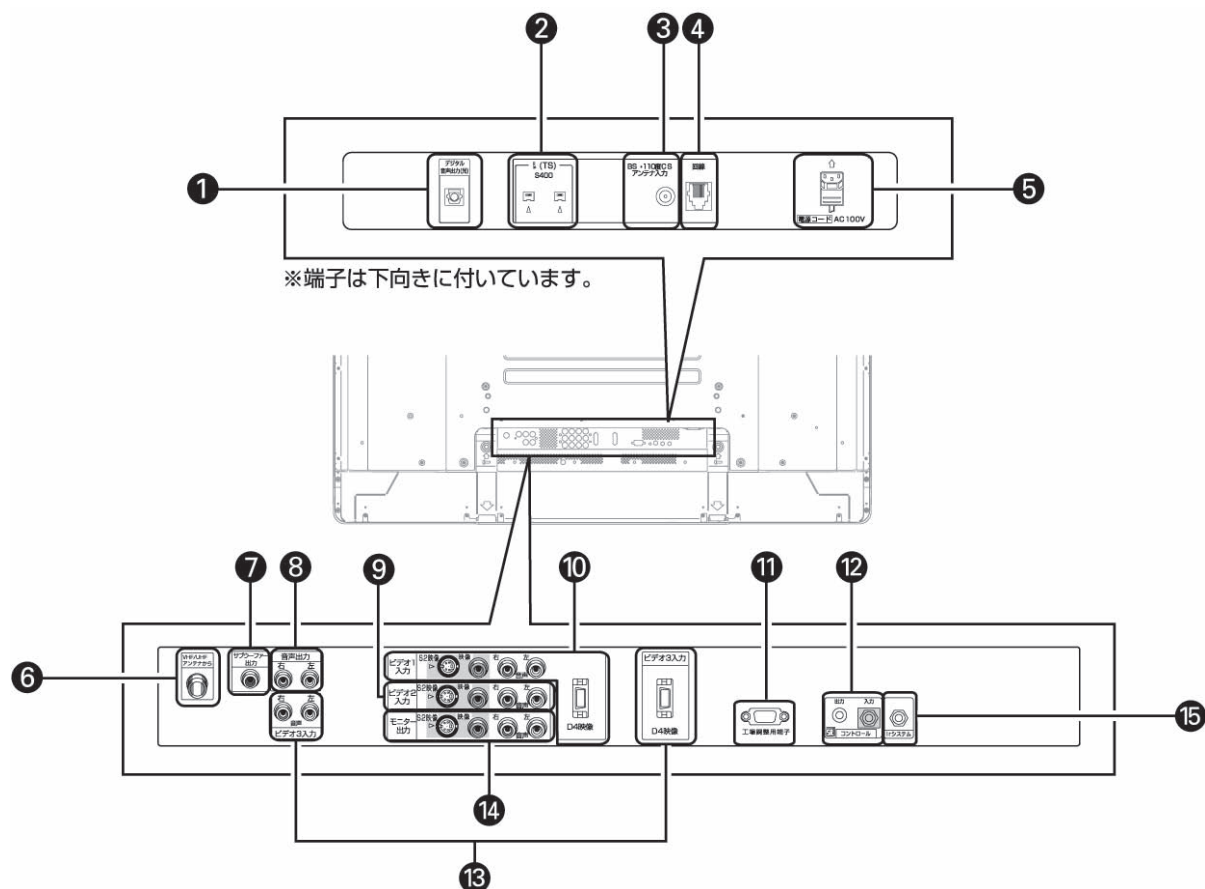
⓬ **B-CAS カード挿入口（➡38 ページ）**
B-CAS カードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。

⓭ **ビデオ 4 入力端子（S2 映像・映像・音声）（➡151 ページ）**
前面に配置されているビデオ入力端子です。ビデオカメラなどの映像出力と音声出力に接続します。

⓮ **PC 入力端子（➡153 ページ）**
パソコンの映像出力と音声出力に接続します。

ご注意
- B-CAS カードを入れていないと BS デジタル放送の有料番組や 110 度 CS デジタル放送がご覧になれません。
- ヘッドホンをご使用になる場合は、耳をあまり刺激しないような適度な音量でお楽しみください。

各部の名前（つづき）

●背面

❶ **デジタル音声出力（光）端子（➡36 ページ）**
AVアンプなどの光デジタル音声入力端子と接続します。

❷ **i.(TS）端子（➡143 ページ）**
i.LINKケーブルで他のi.LINK対応機器と接続する場合に使用します。S400は最大データ転送速度を表しており、本機は最大で約400Mbpsのデータ転送が行えます。

❸ **BS・110度CSアンテナ入力（➡30ページ）**
BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナに接続します。

❹ **電話回線端子（➡32 ページ）**
BS・110度CSデジタル放送を視聴するために電話回線に接続します。

❺ **電源コード接続端子（➡37 ページ）**
電源コードと接続します。

❻ **VHF/UHF アンテナ（➡28 ページ）**
入力端子(アンテナから)とアンテナ線を接続します。

❼ **サブウーファー出力端子（➡36 ページ）**
サブウーファー専用の音声出力です。

❽ **音声出力端子（➡36 ページ）**
AV アンプなどの音声入力端子と接続します。

❾ **ビデオ 2 入力端子（S2 映像・映像・音声）（➡33 ページ）**
ビデオデッキなどの出力端子と接続します。

❿ **ビデオ 1 入力端子（D4映像・S2映像・映像・音声）（➡33・35 ページ）**
DVD レコーダーなどの出力端子と接続します。またD端子出力のある機器は、D端子ケーブルで接続できます。

⓫ **工場調整用端子**
この端子には何も接続しないでください。

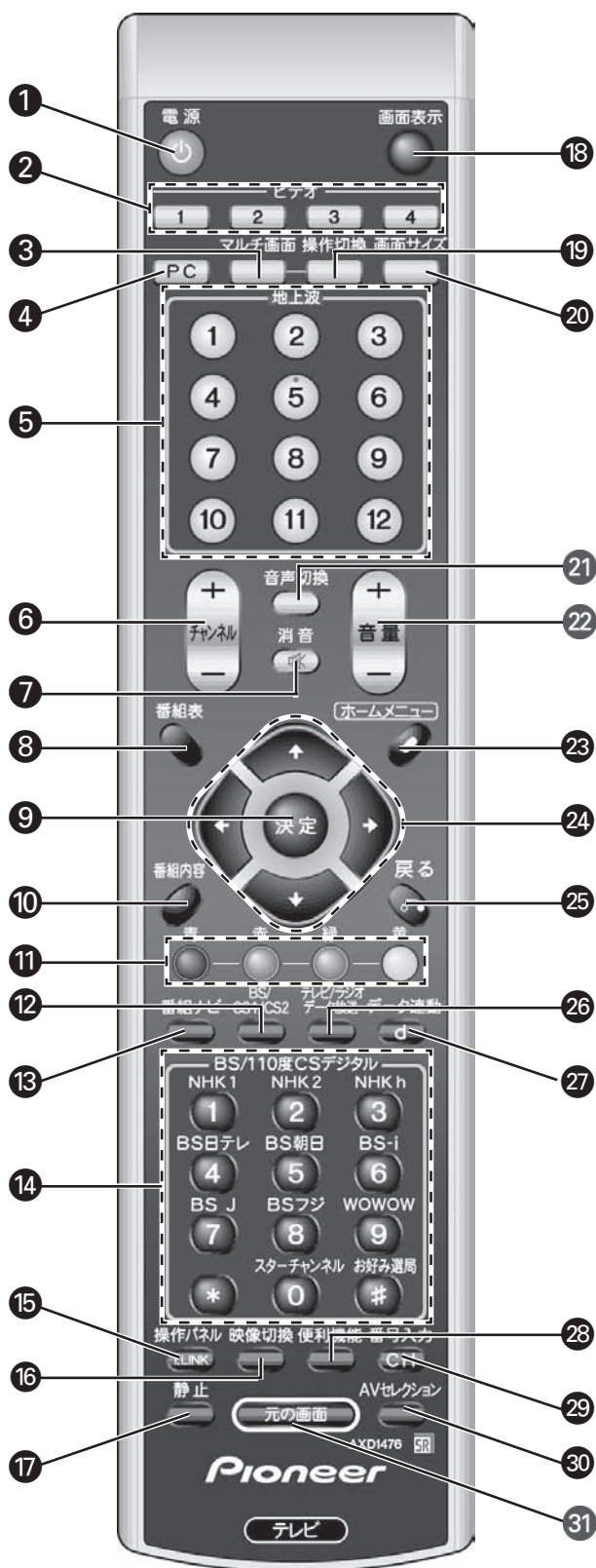
⓬ **コントロール(入力／出力)端子(➡152ページ)**
SRマークの付いたパイオニア製 AV アンプなどを接続します。

⓭ **ビデオ 3 入力端子（D4 映像・音声）（➡33 ページ）**
DVD プレーヤーなどの出力端子と接続します。

⓮ **モニター出力端子（S2 映像・映像・音声）（➡33・35 ページ）**
AV アンプやビデオなどの入力端子に接続します。

⓯ **Ir システム端子（➡140 ページ）**
Irシステムを使用してビデオなどを接続するときに使用します。

各部の名前（つづき）

●リモコン

❶ **電源（➡64ページ）**
電源を入／スタンバイ（待機状態）します。

❷ **ビデオ１～４（➡66ページ）**
外部入力に切り換えます。

❸ **マルチ画面（➡78ページ）**
2画面表示やPinPなどのマルチ画面表示にします。

❹ **PC（➡66・153ページ）**
パソコン入力に切り換えます。

❺ **地上波チャンネル（➡64ページ）**
地上波放送やCATV放送を選局します。

❻ **チャンネル（＋／－）（➡64ページ）**
各種放送を選局します。

❼ **消音（➡64ページ）**
音を一時的に消します。

❽ **番組表（➡99ページ）**
BS・110度CSデジタル放送の電子番組表（EPG）の表示を入／切します。

❾ **決定**
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

❿ **番組内容（➡104ページ）**
視聴中の衛星デジタル番組の詳細な情報を表示します。

⓫ **カラーボタン（青／赤／緑／黄）（➡99ページ）**
BS・110度CSデジタル放送の電子番組表（EPG）やデータ番組の操作に使います。

⓬ **BS/CS1/CS2（➡67・68ページ）**
BS・110度CSデジタル放送の視聴したい放送（BS、CS1、CS2）に切り換えます。

⓭ **番組ナビ（➡98ページ）**
BS・110度CSデジタル放送専用のいろいろな操作や設定をまとめたメニューです。

⓮ **BS/110度CSデジタルチャンネル（➡67ページ）**
BS・110度CSデジタル放送を選局します。

⓯ **i.LINK操作パネル（➡147ページ）**
i.LINK操作パネルの表示を入／切します。

⓰ **映像切換（➡102ページ）**
BS・110度CSデジタル放送受信中に、複数の映像を切り換えます。

⓱ **静止（➡79ページ）**
視聴中の映像を2画面にして、静止画と動画で表示します。

⓲ **画面表示（➡104ページ）**
画面表示を入／切します。

⑲ **操作切換**（➡78ページ）
マルチ画面表示のとき、操作できる画面を切り換えます。

⑳ **画面サイズ**（➡73・154ページ）
お好みの画面サイズを選びます。

㉑ **音声切換**（➡80・102ページ）
複数の音声がある番組の場合に他の音声に切り換えることができます。また二重音声の切り換えもできます。

㉒ **音量（＋／－）**（➡64ページ）
お好みの音量に調整します。

㉓ **ホームメニュー**
本機で行ういろいろな設定の基本となるメニューを表示します。このホームメニューを使用すると、ほとんどの設定を行うことができます。

㉔ **カーソル（↑／↓／←／→）**
メニューや項目を選びます。

㉕ **戻る**
１つ前の操作に戻ります。
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、(決定)ボタンを押さず、(戻る)ボタンを押します。

㉖ **テレビ／ラジオ／データ放送**（➡67ページ）
BS・110度CSデジタル放送のテレビ番組、ラジオ番組、独立データ番組を選びます。

㉗ **dデータ連動**（➡69ページ）
BS・110度CSデジタル放送のテレビ番組やラジオ番組に連動したデータ放送を呼び出します。

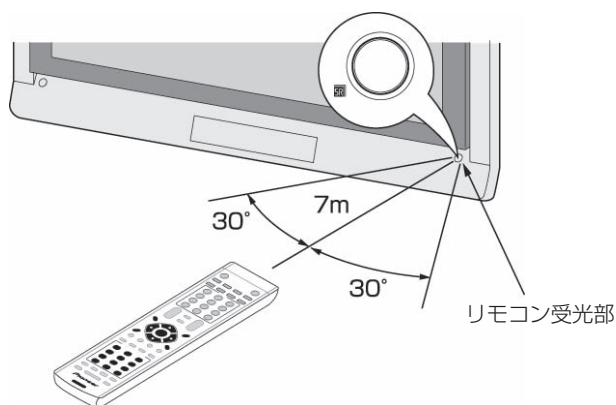
㉘ **便利機能**（➡108ページ）
BS・110度CSデジタル放送受信中に、便利な機能を画面状態に合わせて表示します。

㉙ **CH番号入力**（➡69ページ）
チャンネル番号を入力して衛星デジタル放送を選局するときに使います。

㉚ **AVセレクション**（➡82ページ）
番組やソフトの内容に合わせ、最適な画質、音質の設定を選びます。

㉛ **元の画面**
マルチ画面、静止画面、電子番組表やメニュー操作などを終了します。

リモコンで操作できる範囲

リモコンは、本機前面右下の受光部（SR）に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から7m、左右に30度以内です。

リモコンで動作しにくいとき

- リモコンと本機の受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい電池に交換してください。
- 本機は画面から微弱な赤外線を放出しています。近くにビデオ等の赤外線リモコンを使って操作する機器を設置すると、その機器がリモコン操作を受けつけにくくなったり、受けつけなくなることがあります。そのような場合は、本機から離して設置してください。
- 設置環境によっては、プラズマテレビから放出される赤外線の影響によって、本機がリモコン操作を受けつけにくくなったり、リモコンで操作できる距離が短くなることがあります。画面から放出される赤外線の強さは、表示される絵がらによって変わります。

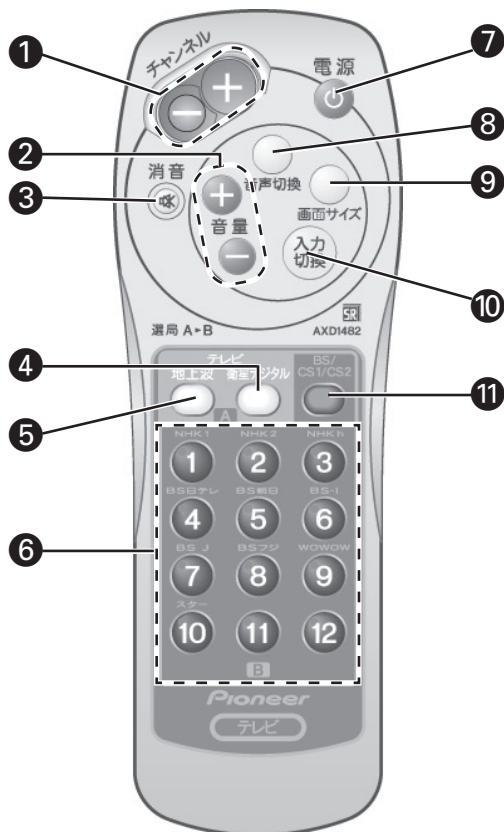
ご注意

リモコン使用上のご注意
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高いところには置かないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
照明の向きを変えてください。

各部の名前（つづき）

●簡単リモコン

■ テレビ（BS・110度CSデジタル放送）を見るときは
❹の「衛星デジタル」ボタンを押した後、
⓫の「BS/CS1/CS2」ボタンでBSまたはCS1またはCS2を選び、
❻のチャンネルボタンを押す。

■ テレビ（地上波放送・CATV放送）を見るときは
❺の「地上波」ボタンを押した後、
❻のチャンネルボタンを押す。

❶ **チャンネル（＋/－）**（➡64ページ）
各種放送を選局します。

❷ **音量（＋/－）**（➡64ページ）
お好みの音量に調整します。

❸ **消音**（➡64ページ）
音を一時的に消します。

❹ **衛星デジタル（テレビ）**（➡67ページ）
BS・110度CSデジタル放送（テレビ）を選びます。

❺ **地上波（テレビ）**（➡64ページ）
地上波放送やCATV放送を選局します。

❻ **チャンネル**（➡64ページ）
見たい放送のチャンネルを選局します。

❼ **電源**（➡64ページ）
電源を入/スタンバイ（待機状態）します。

❽ **音声切換**（➡80・102ページ）
複数の音声がある番組の場合に、他の音声に切り換えることができます。また二重音声の切り換えもできます。

❾ **画面サイズ**（➡73・154ページ）
お好みの画面サイズを選びます。

❿ **入力切換**（➡66ページ）
入力を切り換えます。

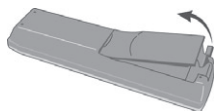
⓫ **BS/CS1/CS2**（➡67・68ページ）
BS・110度CSデジタル放送の視聴したい放送（BS、CS1、CS2）に切り換えます。

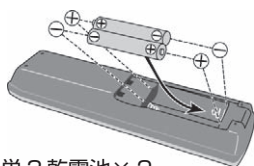
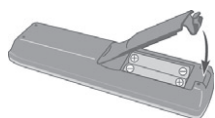
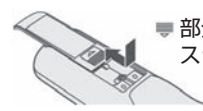
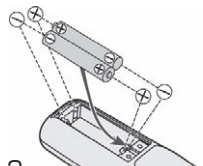
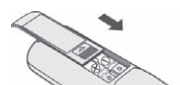
注意

乾電池使用上のご注意
乾電池は誤った使い方をすると液もれや破裂することがありますので次のことをお守りください。
- 種類の違うものや新旧を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電したり、分解しない。
- ⊕極と⊖極を正しく入れる。
- ショートさせない。

乾電池の入れ方

リモコン

1. カバーを開ける

簡単リモコン

2. 付属の乾電池を入れ（⊕⊖の表示どおりに入れてください）、カバーを閉める

単3乾電池×2

単4乾電池×2

おしらせ
- 簡単リモコンでは、BS・110度CSデジタル放送のラジオ番組やデータ番組を受信することはできません。
- 付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 新しい乾電池に交換してもリモコンが動作しないときは、電池を取り出し電池の向きを確かめて、入れなおしてください。
- 不要となった乾電池を処理するときは、各地方自治体の指示に従って処理してください。

準備する

お使いになるまでの手順

チェックマークにご利用ください。

リモコンに乾電池を入れる➡22 ページ □

↓

アンテナ線、電話回線をつなぐ➡28 ～ 32 ページ

⚠ 注意

アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。 □

↓

DVD レコーダーやオーディオ等周辺機器をつなぐ➡33 ～ 36 ページ

⚠ 注意

接続する周辺機器の取扱説明書をあわせてご覧になり、正しくつないでください。 □

↓

電源コードをつなぎ、電源プラグをコンセントに差し込む➡37 ページ

⚠ 警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 □

↓

B-CAS カードを入れる➡38 ページ □

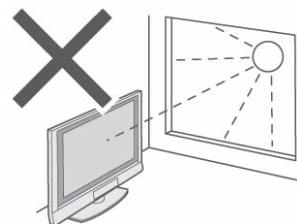
↓

かんたん設置を行い、テレビのチャンネルを設定する➡39 ページ □

設置の手順

●置く場所を決める

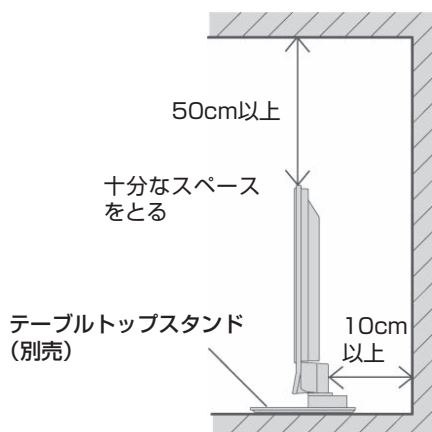
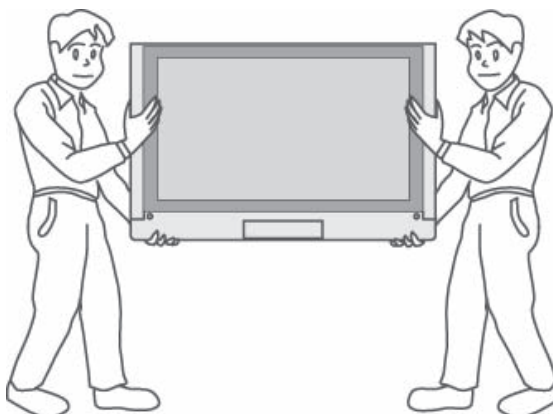
直射日光が当たらない、風通しの良い場所を選んでください。

直射日光が当たる場所、風通しの悪い場所には置かない。

●本機を設置する

ご注意

- 取り付け、取り外しは、専門業者にご依頼ください。
- 本機は設置用のスタンドを付属していません。
  設置の際は、別売のテーブルトップスタンド(PDK-TS04)や壁掛け金具等をご使用ください。
- 本機は重いので(34.0kg)、移動するときは、必ず2人以上で行ってください。

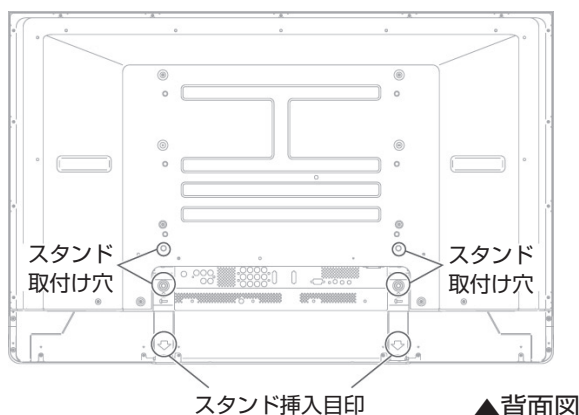
⚠ 注意

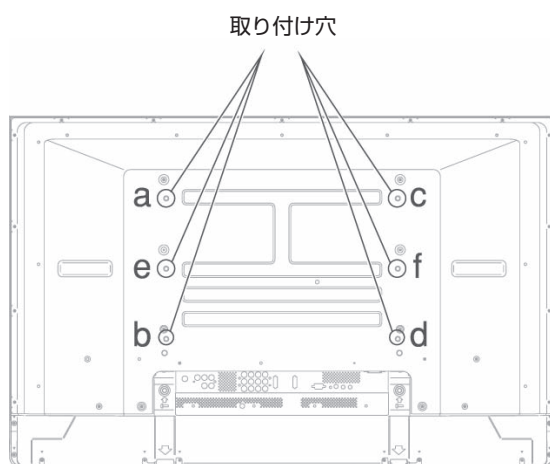
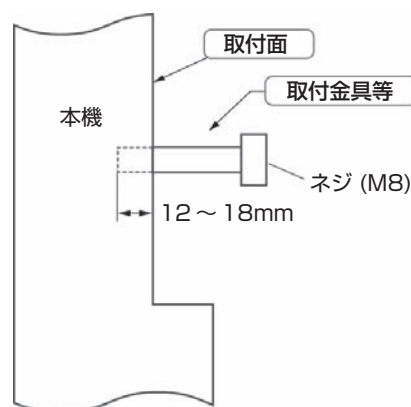
- 本機の背面部・側面部は、周囲と10cm 以上のスペースをとって設置してください。
- 本機背面の通風孔はふさがないでください。

- 本機を移動する場合は、必ず2人で作業を行い、下図のように本機の横と下部を持って移動をしてください。

設置時の注意事項

別売のスタンドなどを使用して設置する場合は下記の点に注意してください。

●当社別売のスタンドや金具等を使用する場合

設置は販売店等に依頼してください。
スタンドで使用する取り付け穴(4カ所)は下図のとおりです。
必ず添付のボルトを使用してください。
詳細はスタンド等の取扱説明書をお読みください。

▲背面図

●上記以外の場合

販売店にご相談ください。
使用できる取り付け穴(6カ所)は下図のとおりです。

▲背面図

▲側面図

⚠注意

- ネジの取り付けは上図abcdの4カ所、またはabcdefの6カ所を使用してください。
- ネジはM8を使用し、本機の取り付け面より本機内に12～18mm入るものを使用してください。(上図、側面図参照)
- 背面に開いている通風孔はふさがないようにしてください。
- 本機はガラスを使用しておりますので、必ず歪みのない面に取り付けてください。
- 上記の指定以外のネジ穴は指定製品専用です。指定製品以外の固定にはご使用なさらないでください。
- 必ずスタンドや金具等を使用して設置してください。

ご注意
• 当社製品以外の部品による場合の事故損傷については、当社は一切責任を負いません。

設置時の注意事項（つづき）

壁掛け設置する際の注意事項

1　設置場所について
- 人が容易にぶら下がったり、寄りかかったりできる場所への設置はできるだけしないでください。
- 屋外や温泉など湿気の多い場所、水辺の近くには設置しないでください。
- 振動や衝撃の加わるような場所には設置しないでください。
- 壁の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、工事専門業者または販売店にご相談ください。

2　異常や不具合が発見された場合には、速やかに販売店または工事専門業者に修理を依頼してください。

3　壁掛けの設置金具や壁面の取り付け部など、目につかない所が破損し、本機が落下する危険が生じる恐れがありますので、本機を壁掛け設置する際および点検修理時や内装工事の時などに、必ず工事専門業者または販売店に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

4　本機を壁掛け設置して長期間使用されると、環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足する恐れがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

⚠ 注意

壁掛け設置をする際には、必ず専用の金具を使用してください。また設置・据え付けは工事専門業者に依頼してください。

壁掛け設置されたお客様へ

当社製の壁掛けユニットは、工事専門業者により安全な設置･据え付けが行われることを前提として発売されています。壁掛け設置をされているお客様は以下のことをお守りください。

1　壁掛け設置されているプラズマテレビ（本機）には、ぶら下がったり力を加えたりしないでください。

2　壁掛け設置されているプラズマテレビ（本機）や壁掛けユニットには、物をぶらさげたりしないでください。

3　地震が起きた場合には、壁掛け設置されているプラズマテレビ（本機）や壁掛けユニットの落下・転倒など万一の場合に備え、本機や壁掛けユニットから離れてください。

4　壁掛け設置の際には、地震などの災害や万一の場合に備え、二重の落下防止策（チェーンなどでの固定）を、工事専門業者にご依頼ください。

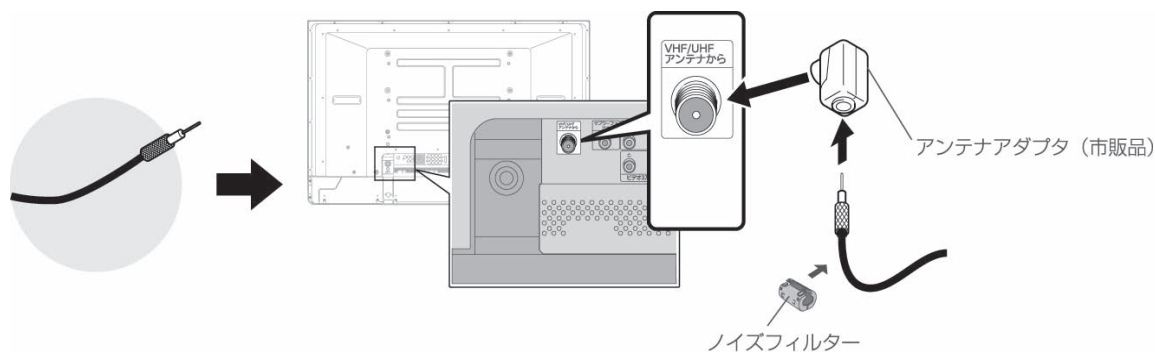
⚠ 注意

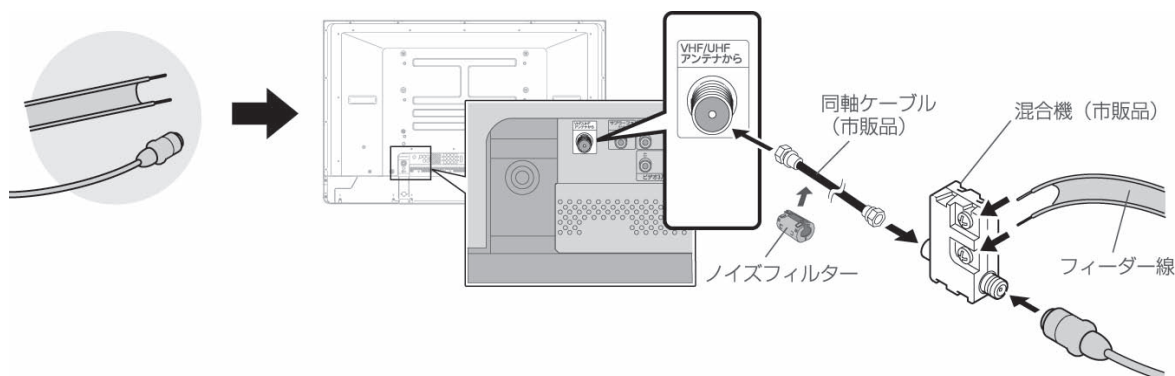
壁掛け設置をする際には、必ず専用の金具を使用してください。また設置・据え付けは工事専門業者に依頼してください。

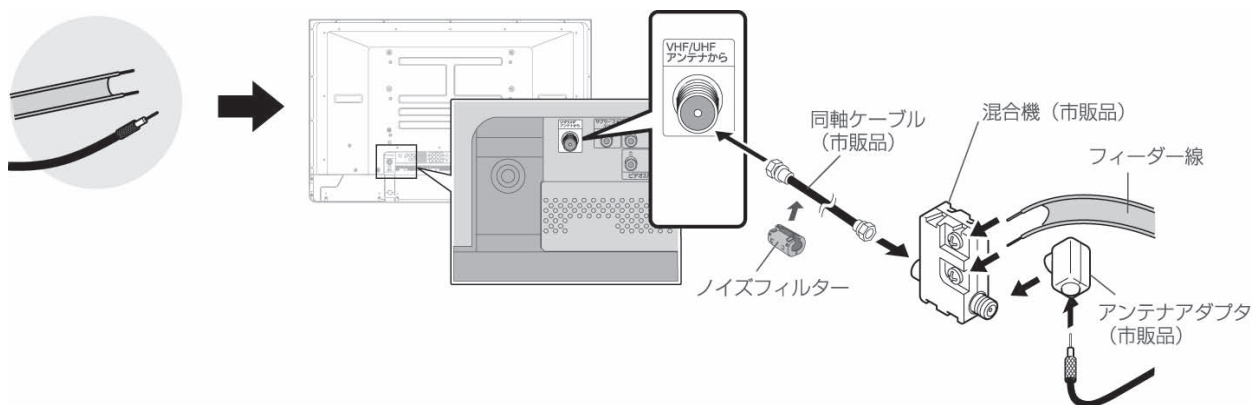
VHF/UHF（地上波）アンテナの接続

市販のアンテナケーブル、アンテナ混合器等を、使用するアンテナ線に応じて接続し、本機背面のVHF/UHFアンテナ入力端子に接続してください。

●プラグなし同軸ケーブルのとき

同軸ケーブルの先を加工してから市販のアンテナアダプタを取り付けます。

●平行フィーダー線とプラグ付きケーブルのとき

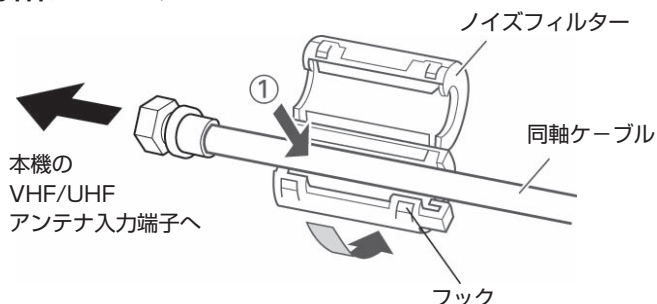
フィーダー線および同軸ケーブルを市販の混合器に接続します。

●平行フィーダー線とプラグなしケーブルのとき

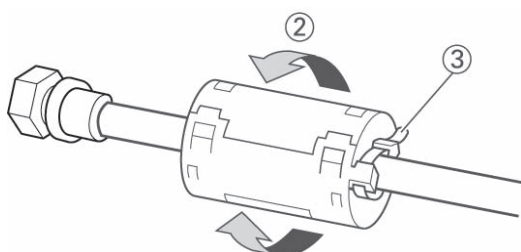
同軸ケーブルの先を加工して市販のアンテナアダプタを取り付け、フィーダー線とともに市販の混合器に接続します。

ご注意
- フィーダー線はなるべく使用せず、使用する場合は本機からできるだけ離してください。

おしらせ
- VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取り付けが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

VHF/UHF（地上波）アンテナの接続(つづき)

●ノイズフィルターの取り付けかた

1 同軸ケーブルをはさむ

2 フックがきちんとロックするまで閉じる

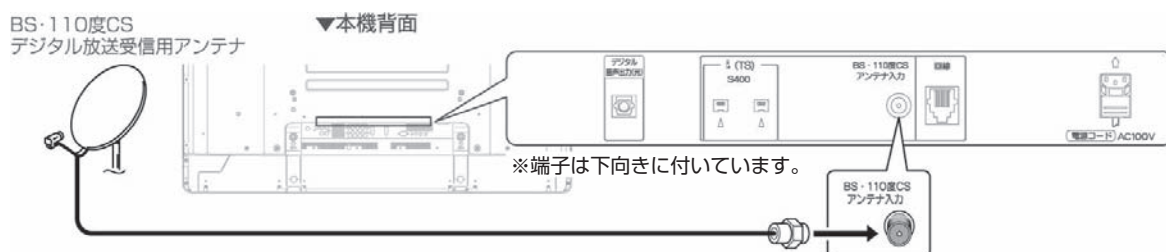
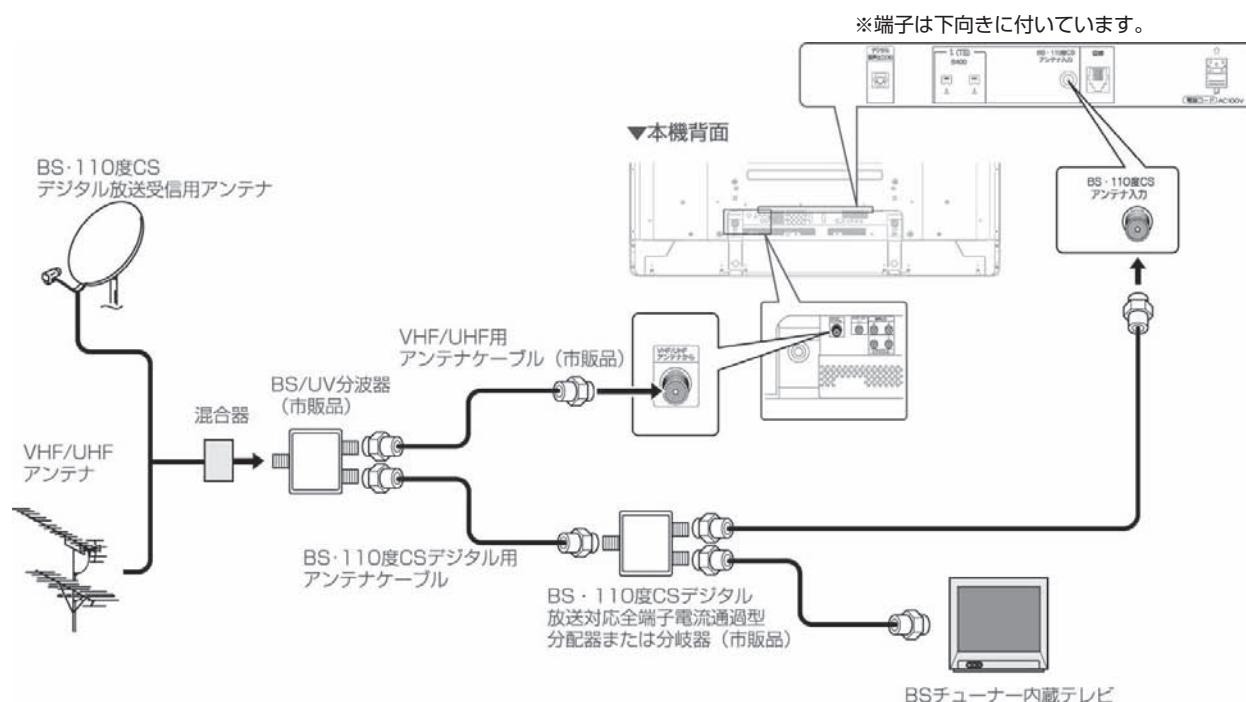
3 ノイズフィルター固定用バインダーでノイズフィルターを固定する

お願い
- ノイズフィルターはなるべく本体の近くに取り付けてください。

⚠注意

本機は電磁波妨害に対する公的規格を満足しておりますが若干の電磁波が本体より放出されております。
この電磁波が地上波の同軸ケーブルにとびつき画面にノイズを発生させる場合がありますので、良好な画質でご覧いただくためにノイズフィルターの取り付けをお願いいたします。
また同軸ケーブルはなるべく本体より離してご使用頂いたほうが本体より発生する電磁波の影響を受けにくくする事ができます。

BS•110度CSデジタル放送受信用アンテナの接続

BS·110度CSデジタル放送受信用アンテナを始めて設置したときや、引越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要になります。かんたん設置や衛星アンテナ設定(➡42·56ページ)を行ってください。

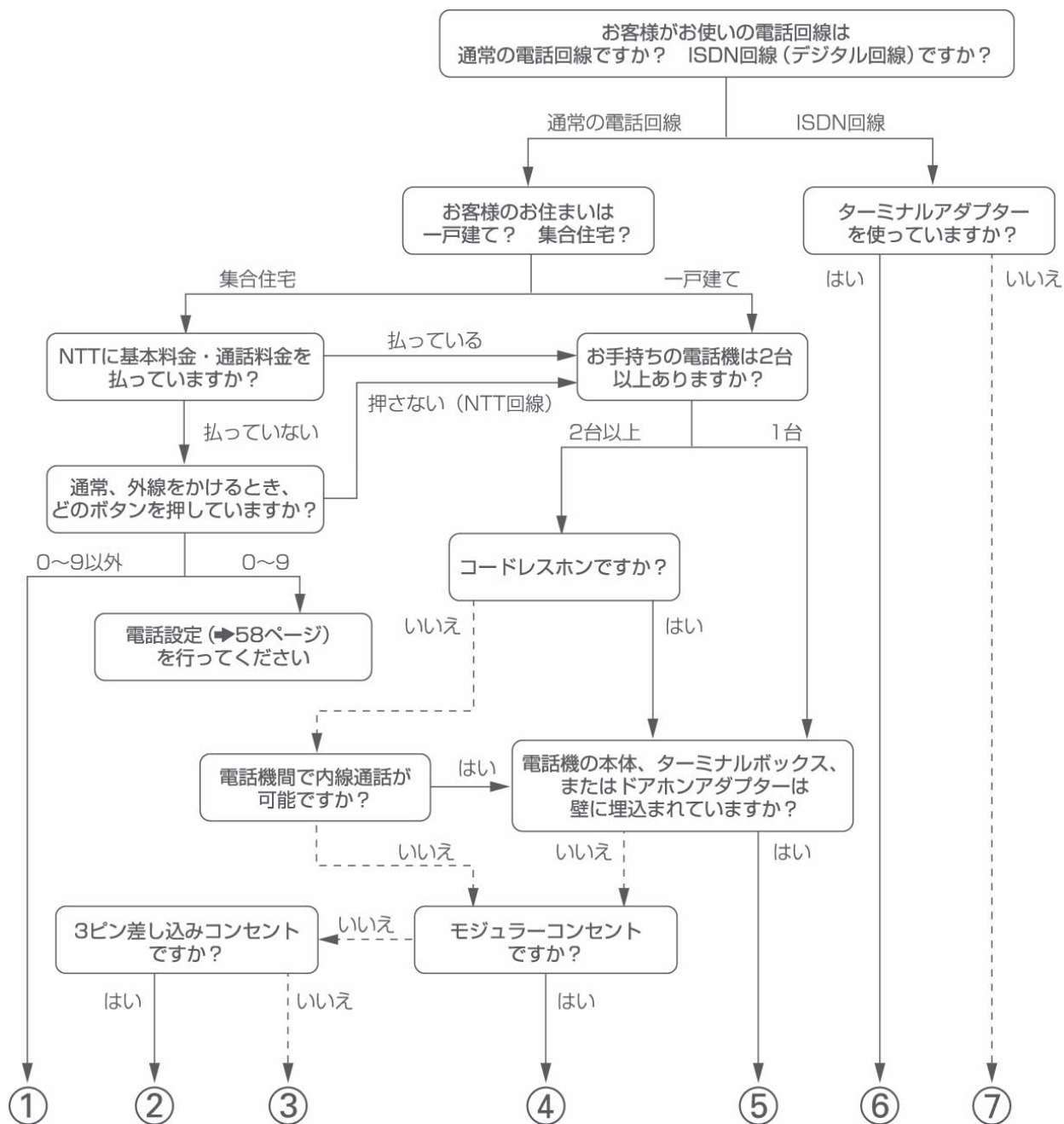
●BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナを個別で接続するとき

●マンションなどで他のBS機器があるときの接続

おしらせ

- BS・110度CSアンテナ入力端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「オフ」にしておいてください。(➡42・56ページ)

ご注意

- **従来のアナログ衛星アンテナを使うと、雨などの電波を受信しにくい環境下では受信できなくなることがありますので、BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナをご使用ください。**
- アンテナ分配器を使用してBS・110度CSデジタル放送の信号を分配する場合、全端子電流通過型アンテナ分配器のご使用をおすすめします。詳しくはご使用になるアンテナ分配器の取扱説明書をご覧ください。
- BS・110度CSデジタル放送受信用のアンテナおよびアンテナ線は、専用のものをご使用ください。
  アンテナ ...... 市販のＢＳ・110度ＣＳデジタル放送受信用アンテナをご使用ください。
  共用アンテナでない従来のBSアンテナ、ＣＳアンテナは使用できません。
  アンテナ線 .. 110度ＣＳ帯域(2150MHz)まで対応しているもの(例 S-5C-FB)をご使用ください。
- ブースター、分配器、分波器、混合器をご使用の場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているものをお使いください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナの取り付けについては、アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。

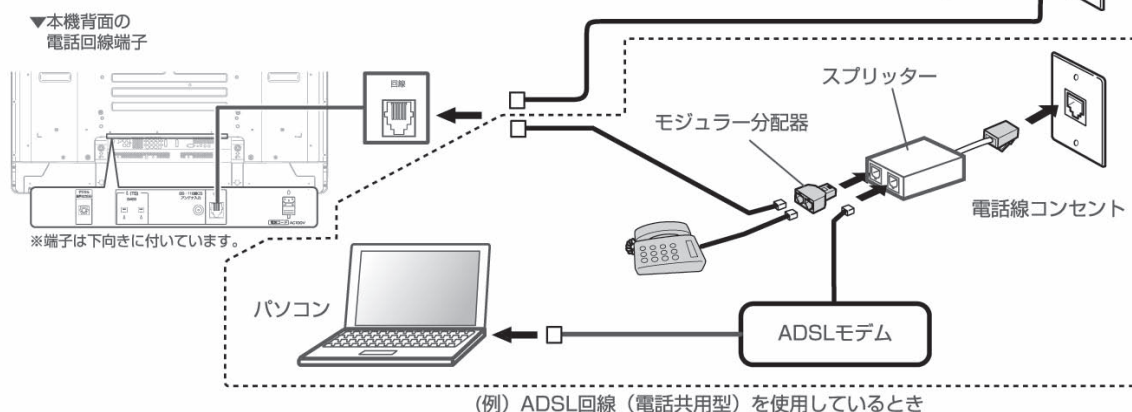
電話回線を確認する

下記に従い、お使いの電話回線の種類を確認してください。

① マンション交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の３ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。
※ ③、⑤ についての詳細は、お近くのNTT営業窓口、もしくは116（局番なし）でご相談ください。

電話回線に接続する

本機は、視聴記録データの自動送信など放送局との通信を、電話回線を使って行います。
ご使用の前に必ず電話回線に接続してください。

1. 本機と電話機の電源を切り、電話機の接続線(モジュラー線)を電話線コンセントから外す
2. 本機に付属のモジュラー分配器を電話線コンセントに差し込み、電話機の接続線(モジュラー線)をモジュラー分配器の一方に差し込む
3. 付属の電話線でモジュラー分配器のもう一方と本機背面の電話回線端子を接続する

(例) ADSL回線(電話共用型)を使用しているとき

次の電話回線では注意が必要です。

■電話回線がモジュラージャックでない場合の接続
- 3ピンプラグの場合には
  市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
- 直結配線方式の場合には
  簡単な工事が必要です。詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)にお問い合わせください。

■キャッチホンでは
通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンIIへのご加入をおすすめします。詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)にお問い合わせください。

■本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。(回線使用中は、本機前面の回線インジケーターが緑色で点灯します。)
通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音(ピーヒョロヒョロ．．．．)が聞こえます。その間は電話をしないでください。

■直接デジタル回線に接続することはできません。
会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線(アナログ)であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター(TA)等の端末器を介して接続してください。

ご注意

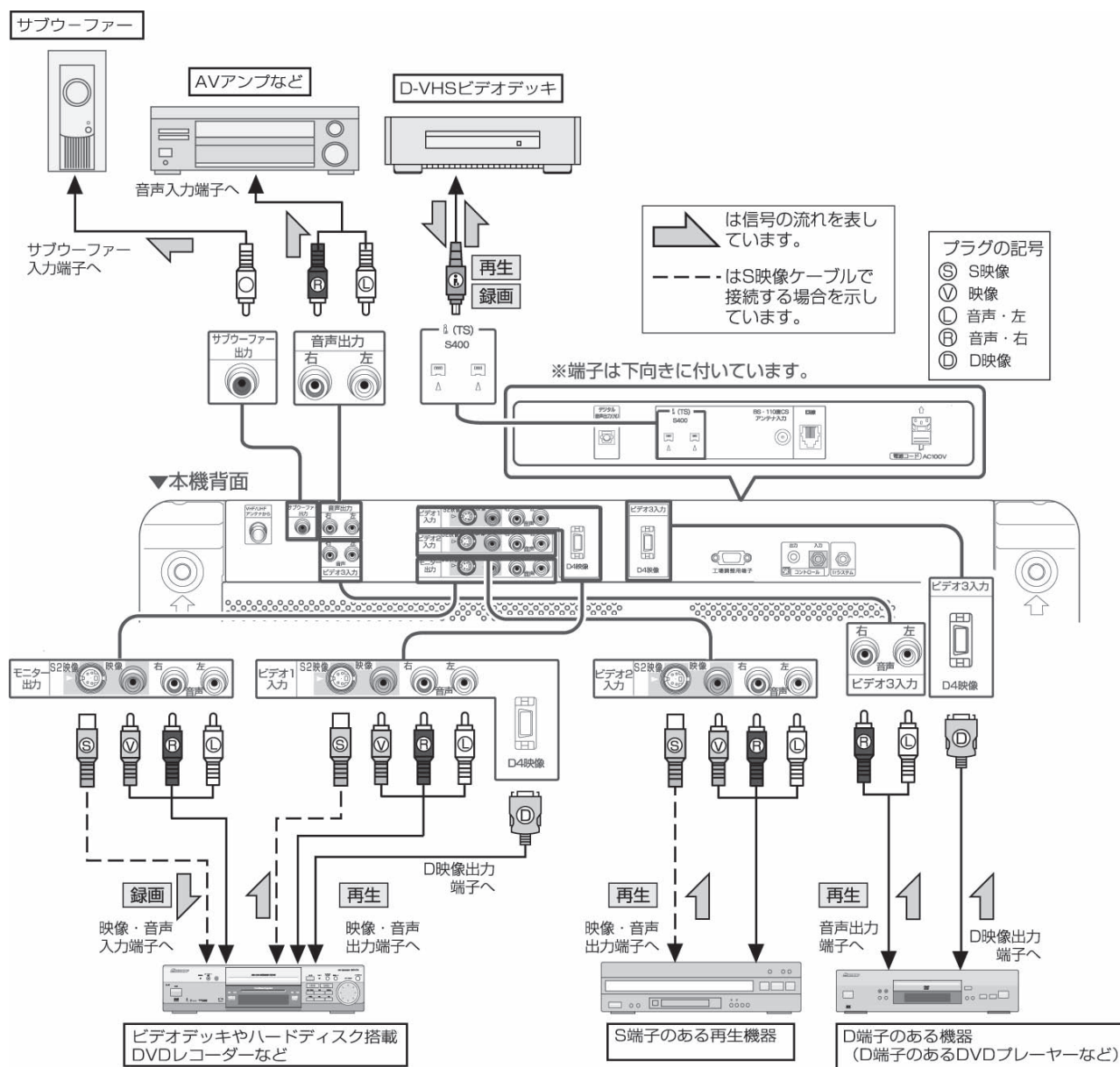
- ホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続しないでください。
  本機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に、そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。詳細は電話設置会社にご相談ください。
- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続するときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

おしらせ

- 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る場合がありますが異常ではありません。(➡46ページ)

ビデオデッキやDVDプレーヤーなどをつなぐ

本機は、ビデオ入力端子4系統とモニター出力端子1系統を搭載しています。

●接続のしかた

■本機の各ビデオ入力に接続された機器は、直接リモコンから入力を選択することができます。

ビデオ1入力(背面)：**映像信号** D4映像 S2映像 映像、**音声信号** 右／左	....	ビデオ1	ボタン
ビデオ2入力(背面)：**映像信号** S2映像 映像 、**音声信号** 右／左	....	ビデオ2	ボタン
ビデオ3入力(背面)：**映像信号** D4映像 、**音声信号** 右／左	....	ビデオ3	ボタン
ビデオ4入力(前面)：**映像信号** S2映像 映像 、**音声信号** 右／左	....	ビデオ4	ボタン

■簡単リモコンや本機前面扉内の(入力切換)を押しても入力を切り換えることができます。

おしらせ

- 映像・音声プラグと端子は、黄(映像)、白(音声左)、赤(音声右)の色分けがしてあります。ケーブルと接続機器側のそれぞれの色が合うように接続してください。
- 接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

● 映像入力端子の優先順位について

接続されている各端子の中から、自動的に以下の優先順位で、映像入力端子が選択されます。

ビデオ1	......................D4映像→S2映像→ビデオ映像
ビデオ2	......................S2映像→ビデオ映像
ビデオ3	......................D4映像
ビデオ4	......................S2映像→ビデオ映像

ご注意

接続上のご注意

- 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続するときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切っておいてください。
- 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いの距離を十分に離してください。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機には、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

おしらせ

S2映像入力端子について

- S2映像入力端子は、映像端子(ビデオ映像端子)に対し、より高画質な映像で再生するためにS端子ケーブルを使って外部機器を接続するときの端子です。
- ビデオ1、2、4入力にあるS2映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。
- 画面サイズ制御信号(フルモード制御信号、レターボックス制御信号)の入った映像がビデオ1、2、4入力のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(➜74ページ)
- 本機のS2映像入力端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、問題なく映像を楽しむことができます。(この場合、画面サイズ制御信号は外部機器から入ってきません。)

D4映像入力端子について

- D端子ケーブルで外部機器を接続するときに使います。
- ビデオ1入力、ビデオ3入力にあるD4映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。
- 画面サイズ制御信号(フルモード制御信号、レターボックス制御信号)の入った映像がビデオ1、3入力のD4映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すことができます。

モニター出力端子について

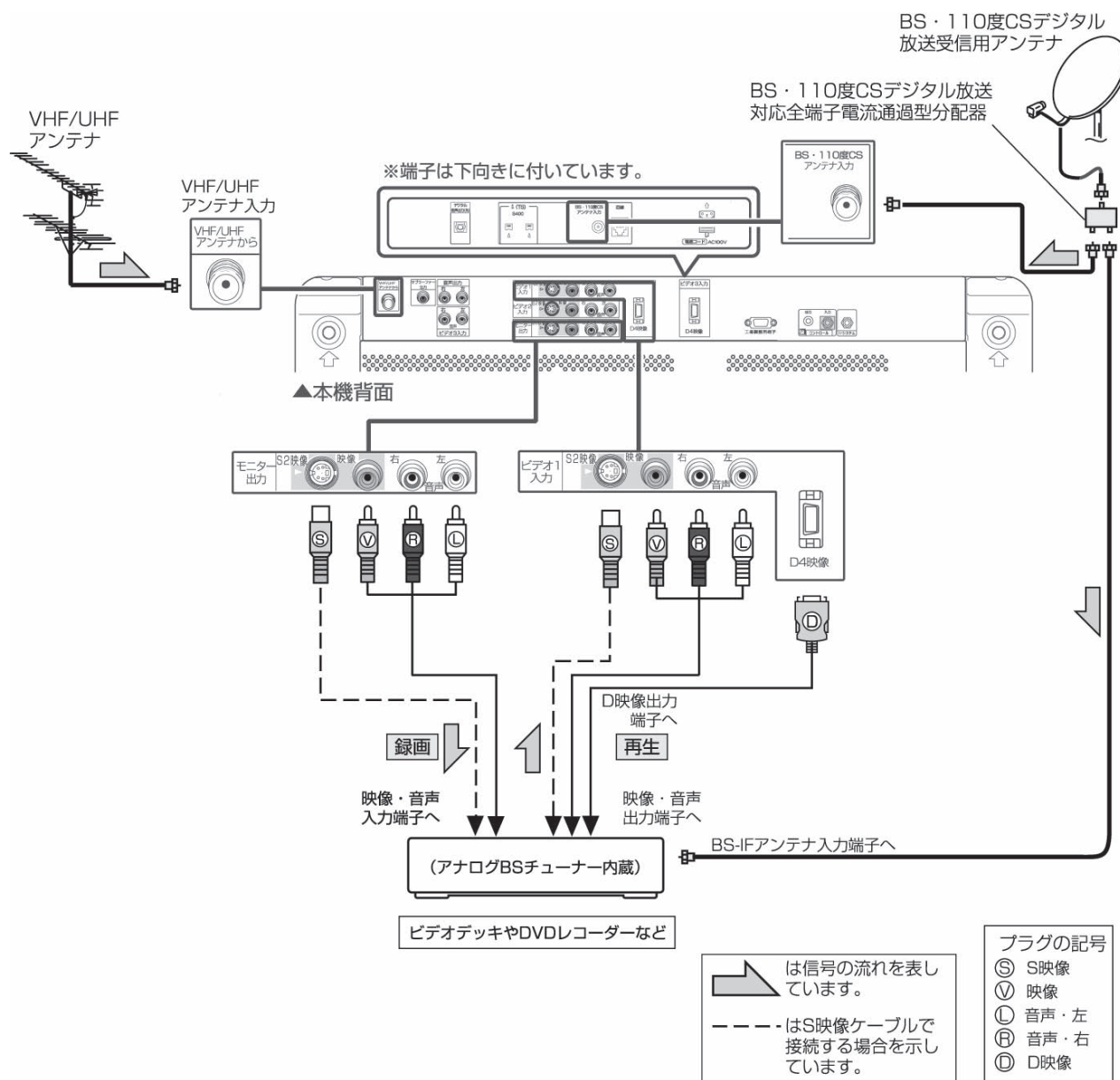
- 次の信号はモニター出力端子から出力できません。(ただし、下記②、③、④の場合音声は出力できます。)
  ①ビデオ1入力から入力されたD4映像・S2映像・映像・音声信号
  ②ビデオ3入力・D4映像端子から入力された映像信号
  ③PC(パソコン)映像信号
  ④テレビ(地上波)、映像入力(ビデオ映像入力)時のS2映像出力信号(Y/C分離機能はありません。)
- BS・110度CSデジタル放送を、モニター出力端子に接続した外部機器で録画する場合、コピープロテクト信号が含まれている一部の放送は正常に録画することができません。
- S2映像入力端子から入力された信号は、モニター出力端子の映像端子からも出力されます。

音声出力・デジタル音声出力(光)端子について

- 通常のご使用状態では、音声出力・デジタル音声出力(光)の内容はモニター出力の音声出力と同じです。

ビデオデッキやDVDレコーダーなどをつなぐ

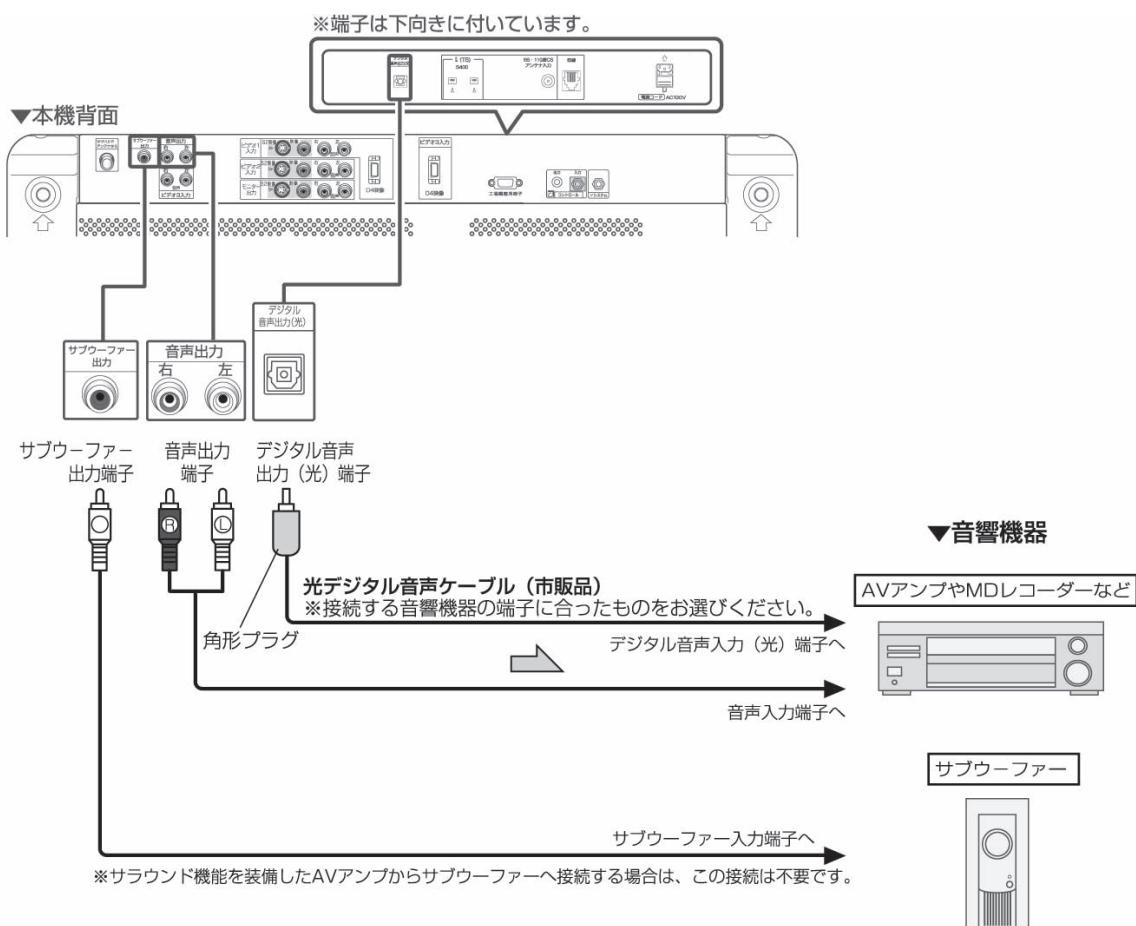
アナログBSチューナーを内蔵したビデオデッキやDVDレコーダーなどと接続できます。

● 接続のしかた

ご注意

- ビデオデッキやDVDレコーダーなど録画機器は、ビデオ1入力に接続することをおすすめします。
  ビデオ1入力以外に接続すると画面が乱れたり、雑音が出ることがあります。

オーディオ機器をつなぐ

光デジタル音声ケーブルを使って、「デジタル音声入力(光)端子」のある音響機器と接続すると、BS・110度CSデジタル放送の音声を高音質で再生できます。また、本機のデジタル音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、5.1chサラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

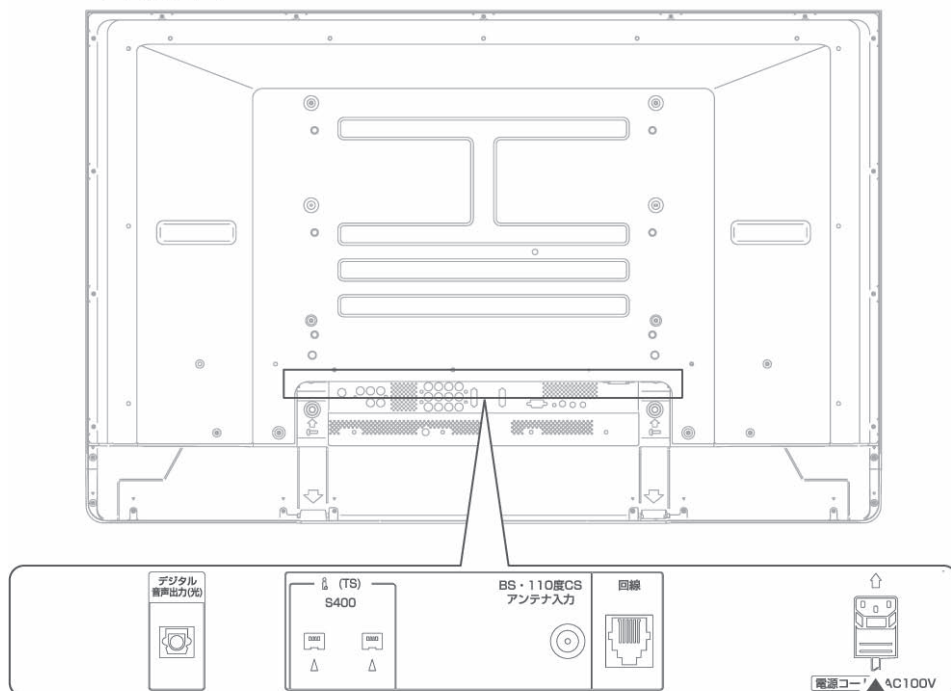
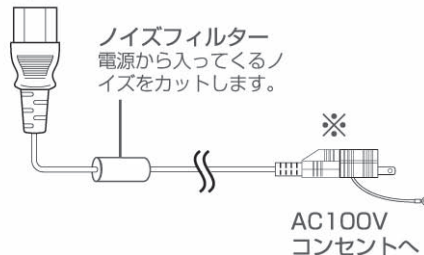
● 接続のしかた

デジタル音声出力（光）端子を使用するときは、あらかじめデジタル音声出力の設定（150ページ）が必要になります。
お使いの音響機器にデジタル音声入力（光）が装備されていない場合は、本機の音声出力端子をお使いください。
また、本機のサブウーファー出力端子にサブウーファー（別売）を接続すると、簡単に迫力ある重低音を楽しむことができます。

ご注意

- 字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のデジタル音声出力(光)端子から出力されません。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- デジタル録音できるのは、サンプリング周波数32kHz、および48kHzのPCM信号に対応したデジタル音声入力(光)端子付きの音響機器に限ります。
- 録音、再生のしかたについては、本機に接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。

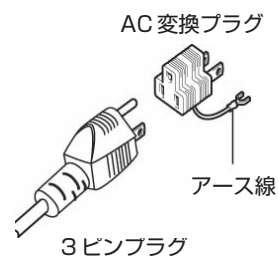
おしらせ

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 通常のご使用状態では、デジタル音声出力(光)、音声出力の内容はモニター出力の音声出力と同じです。
- 番組により録音が制限されている場合があります。
- 接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

電源コードの接続

※ 注意 AC変換プラグ使用上のご注意

電源コードは、3ピンプラグになっています。性能維持のため、アース線を接続してお使いください。

- アース端子のある2芯コンセントの場合は、付属のAC変換プラグを付けてお使いください。
- コンセントが2芯専用でアース端子がない場合は、アース工事が必要ですので、専門業者に工事を依頼してください。
- コンセントが3芯の場合は、AC 変換プラグを付けず、そのままお使いください。

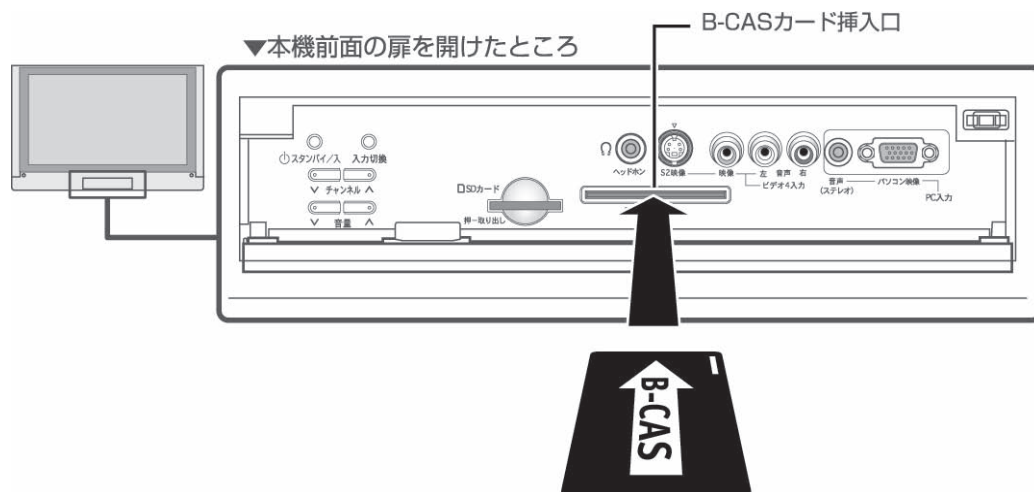
AC 変換プラグ
アース線
３ピンプラグ

注意

接続が終了するまでは、電源を入れないでください。

B-CAS カードを入れる

BSデジタル放送、110度CSデジタル放送では、B-CAS(ビーキャス)カードを利用した限定受信システム(=CAS)を採用しています。付属のB-CASカード番号登録用はがきを送り、B-CASカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。

● B-CAS カードの入れかた

本機に付属のB-CASカードは、本機を本体の電源ボタンで電源を切った状態で、挿入してください。

※B-CASカードを表面の矢印の方向に差し込む。
(奥まで確実に挿入してください。)

おしらせ B-CASカードについて

- B-CASカードには視聴情報などが記憶されますので、通常は本機に入れたままご使用ください。
- B-CASカードは、必ず登録してください。(登録は無料です。)
- WOWOW、スターチャンネル、プラットワン、スカイパーフェクTV!2などの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。
- B-CASカードを入れていないとBSデジタル放送の有料番組や110度CSデジタル放送がご覧になれません。
- B-CASカードは大切に保管してください。仮に他人がお客様のB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はお客様の口座に請求されます。
- 破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります。(2003年8月現在)詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターまでご連絡ください。(カスタマーセンターの連絡先は、B-CASカードに記載されています。)

ご注意 B-CASカード取り扱い上のご注意

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷つけたりしないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードの金属部(集積回路)には手を触れないでください。
- B-CASカードを分解、加工しないでください。
- B-CASカードは、本機前面扉内のB-CASカード挿入口に正しく差し込んでください。
- B-CASカード挿入口には、本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機の使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。B-CASカードを抜く場合は、本機の電源ボタンで主電源を切り、B-CASカードをゆっくりと抜いてください。
- B-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

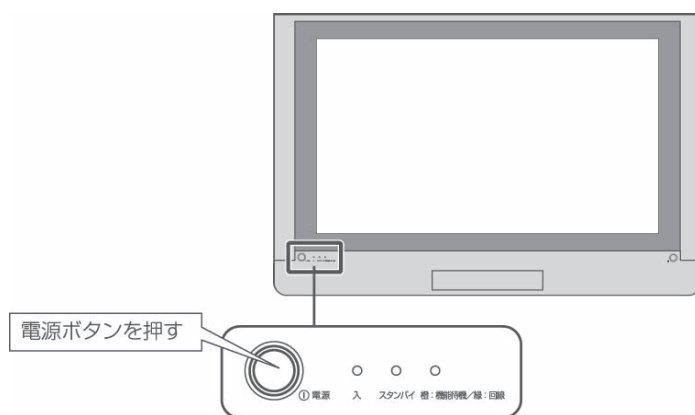
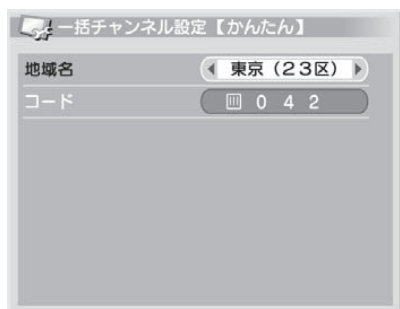
かんたん設置

本機を購入後はじめて電源を入れると、自動的にかんたん設置の画面が表示されます。
地上波チャンネルの設定と衛星デジタルの設定を簡単に行うことができます。

はじめて電源を入れる前に、必ず以下の内容を確認して下さい。

●本機は正しく設置されていますか？(➡25～27、37ページ)
●アンテナや電話回線は正しく接続されていますか？(➡28～32ページ)
●B-CASカードは正しく挿入されていますか？(➡38ページ)

購入後はじめて電源を入れたとき

① 本機の主電源を入れる

② かんたん設置(地上波チャンネル)の設定を行う(➡41ページ)

③ 引き続きBS・110度CSデジタル放送の受信に関する設定を行う

(地上波チャンネルの設定までで終了する場合は、元の画面を押して、かんたん設置を終了します。)

かんたん設置(衛星アンテナ設定)　(➡42ページ)
かんたん設置(電話設定)　(➡44ページ)
かんたん設置(地域設定)　(➡47ページ)

設定終了後は、「BSデジタル放送・110度CSデジタル放送の視聴手続き」をご覧になり、受信契約を行ってください。(➡55ページ)

ご注意

- 設定をすべて完了する前に電源を切ると、次に電源を入れてもかんたん設置は表示されません。
再度かんたん設置を行いたい場合や設定を変更したい場合は、ホームメニューを押し「初期設定」「かんたん設置」をそれぞれ選んで決定を押します。

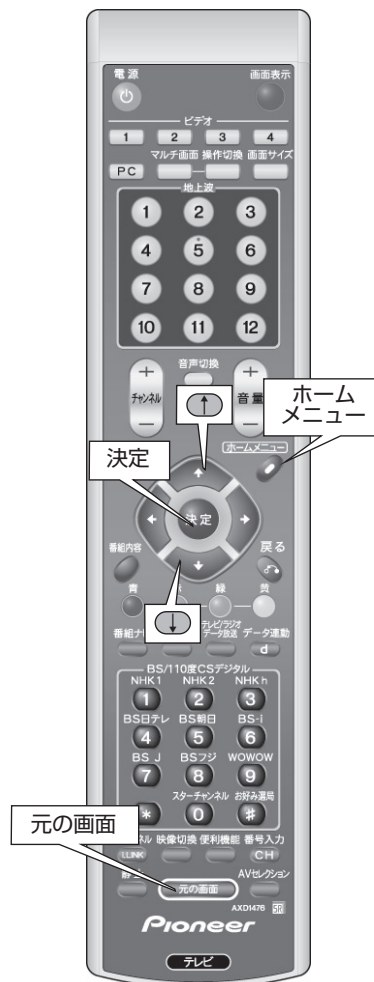
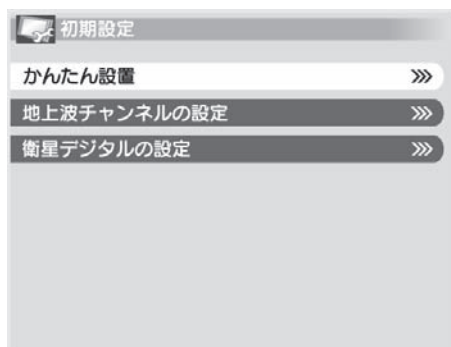
かんたん設置（つづき）

もう一度「かんたん設置」を行いたい場合

設定をすべて完了する前に電源を切ると、次に電源を入れても「かんたん設置」は表示されません。もう一度設定を行いたい場合などは、下記の手順で「かんたん設置」を行ってください。

1 ホームメニュー を押す

2 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 「かんたん設置」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

引き続き **かんたん設置 1** （➡41ページ）から順に設定を行ってください。

ご注意

- 衛星デジタルの設定をする前に、あらかじめ本機に電話回線の接続と衛星アンテナの接続を行い、B-CASカードを挿入しておく必要があります。
- 電話回線の接続に関しては32ページをご覧ください。
- B-CASカードに関しては38ページをご覧ください。

かんたん設置（地上波チャンネル）（つづき）

地上波チャンネルの設定を行うことができます。

かんたん設置は、ホームメニュー➡「初期設定」➡「かんたん設置」から設定することもできます。

① 「地域名」で ← → を使用してお住まいの地域を選択するか、↑ ↓ で「コード」に移動してBS/110度CSデジタルの 0 〜 9 を使用して直接お住まいの地域のコードを入力する

地域コード早見表または地域コード一覧表をご覧ください。(➡176〜179ページ)
工場出荷時は、「東京(23区)」に設定されています。

- コードの入力は、ボタンを押すと、左の桁から順に入力できます。
- コードの入力を間違えてしまったときは、改めてはじめから正しい地域コードを入力してください。

② 決定 を押して、地上波チャンネルを設定する

- チャンネルは自動的に設定されます。
- 設定が終了すると、「チャンネル設定結果」が表示されます。

チャンネル設定結果【かんたん】 1/2

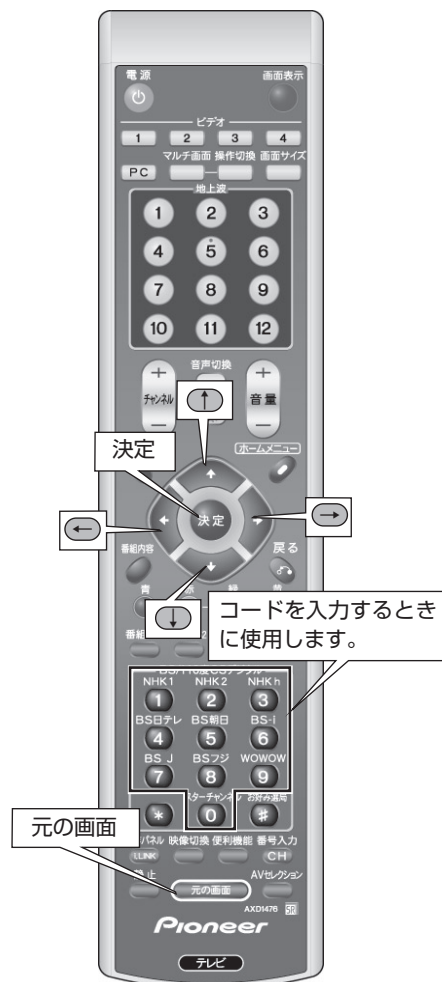
リモコン	受信CH	表示CH
1	1	1
2	14	14
3	3	3
4	4	4
5	16	16
6	6	6

チャンネル設定結果【かんたん】 2/2

リモコン	受信CH	表示CH
7	42	42
8	8	8
9	46	46
10	10	10
11	38	38
12	12	12

- ↑ ↓ で設定結果のページを切り換えることができます。

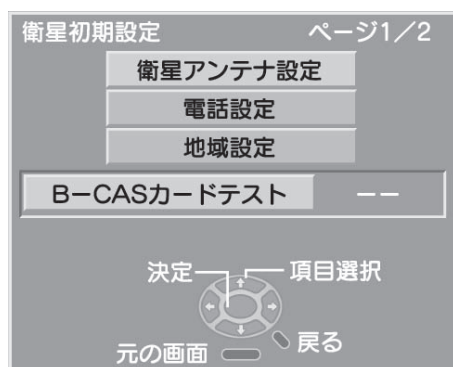
③ 決定 を押して、引き続き衛星デジタル放送受信に関する設定を行う

- 地上波チャンネルの設定までで「かんたん設置」を終了するには、元の画面 を押します。

ご注意

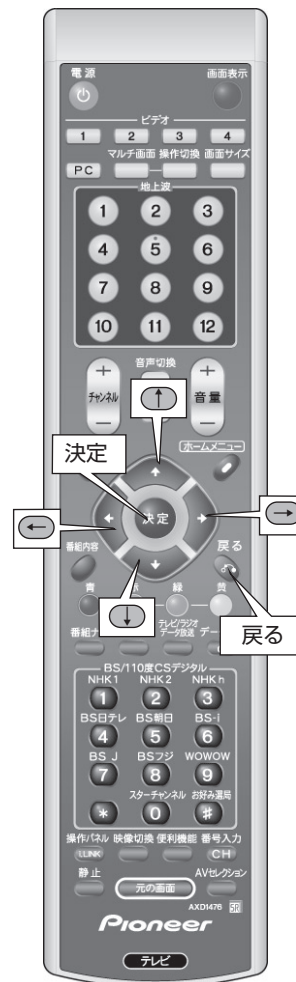
地上デジタル放送への移行（192ページ）に伴い、お住まいの地域によっては現在放送されているアナログ放送の一部のチャンネルが他のチャンネルに変更になる場合があります。この場合、地域名または地域コードによる設定では受信できないチャンネルがありますので、個別チャンネル設定(51ページ)を行ってください。

かんたん設置（衛星アンテナ設定）（つづき）

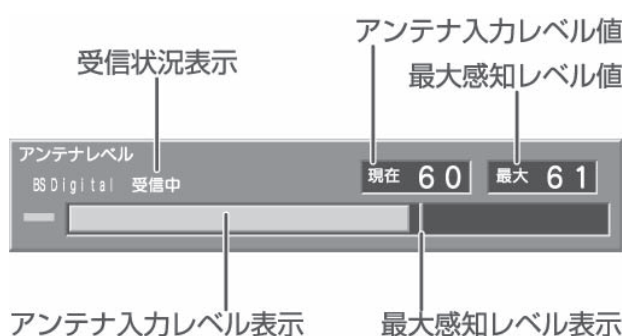
衛星アンテナへの電源供給やアンテナ入力レベルの確認ができます。

1 「衛星初期設定」で「衛星アンテナ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

2 「アンテナ電源」を ← → で「オン」または「オフ」に設定する

工場出荷時は、「オフ」に設定されています。

「オン」...... 個別に衛星アンテナを設置して受信する場合はこの設定でご使用ください。衛星アンテナへ電源が供給されます。
「オフ」...... マンションなどで本機以外の機器から電源供給をする場合に設定してください。

かんたん設置（衛星アンテナ設定）（つづき）

3 アンテナ入力レベルの確認と調整をする

- 「衛星アンテナ設定」画面で現在選んでいるチャンネルのアンテナ入力レベルの確認ができます。
- アンテナ入力レベル表示を見ながら衛星アンテナの仰角（上下の向き）と方位角（左右の向き）の調整を行ってください。110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、110度CSデジタル放送のチャンネル（CS1-001チャンネルまたはCS2-100チャンネル）を選んで、アンテナを調整してください。
- アンテナの向きを調整していくと、受信可能レベルに達したとき「BS Digital受信中」、「SKY PerfecTV! 2受信中」などが表示されます。表示が出ている状態でアンテナの入力レベル表示が最大になる向きをさがして、その向きにアンテナを固定してください。

最大感知レベル表示	アンテナ入力レベルの最大値が表示されます。
最大感知レベル値	
アンテナ入力レベル表示	現在のアンテナ入力レベルが表示されます。
アンテナ入力レベル値	
受信状況表示	BS·110度CSデジタル放送を受信すると「○○○○○受信中※」と表示されます

※○○○○○は放送によって異なります。

4 戻る を押して「衛星初期設定」に戻る

かんたん設置　3

お願い

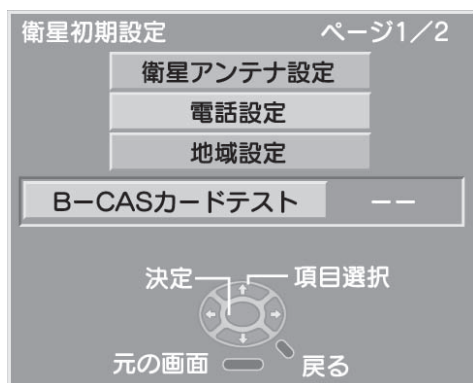
- 衛星アンテナの仰角・方位角の調整方法は衛星アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- 衛星アンテナ調整は、アンテナの入力レベルを見る人とアンテナの向きを調整する人が連携を取りながら行ってください。受信状況表示に「他の衛星受信中」と表示されている場合は、BS・110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信しています。正しい向きをご確認のうえ再度、アンテナを調整してください。

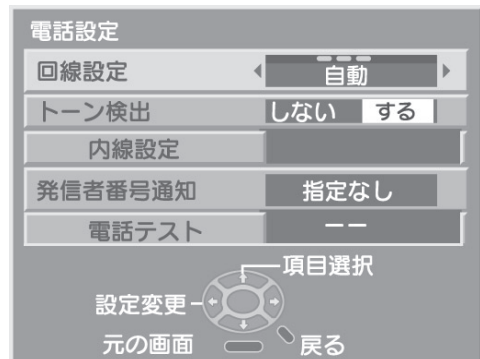
おしらせ

- アンテナの最大入力レベルは、天候、季節、アンテナの調整、受信している地域などにより異なります。
- 110度CSデジタル放送を受信してアンテナ調整を行うと、そのままの状態でＢＳデジタル放送も受信できます。（改めてBSデジタル放送を受信してBS用に調整する必要はありません。）

かんたん設置（電話設定）（つづき）

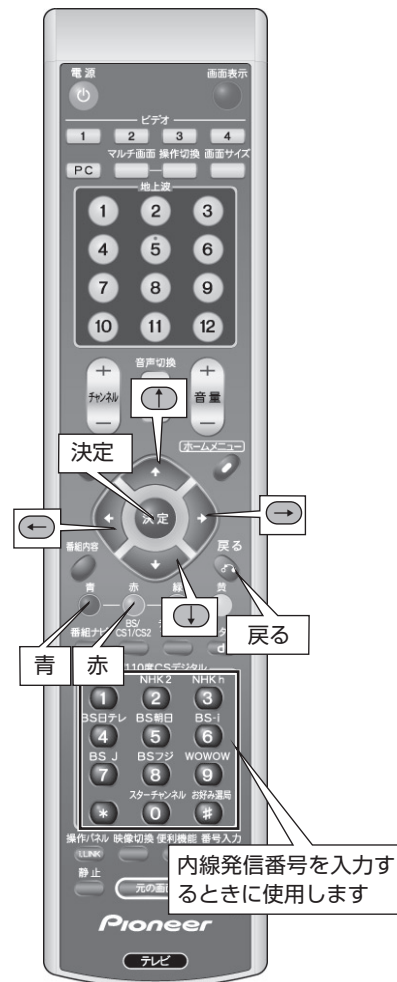
衛星デジタル放送では、電話回線を使って有料放送の料金管理や視聴者参加番組への接続が行われるため、電話回線の接続(➡32ページ)をしたうえ、必要に応じて電話設定を行ってください。(工場出荷の状態で本機が正常に動作しないときのみ設定が必要です。)

① 「衛星初期設定」で、「電話設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

② 「回線設定」を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

工場出荷時は、「自動」に設定されています。

「自動」................「電話テスト」を行うと、自動的に電話回線の種別が設定されます。
「プッシュ」.........プッシュ回線を使用しているときに設定します。
「ダイヤル20」...20PPSのダイヤル回線を使用しているときに設定します。
「ダイヤル10」...10PPSのダイヤル回線を使用しているときに設定します。

③ 「トーン検出」を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

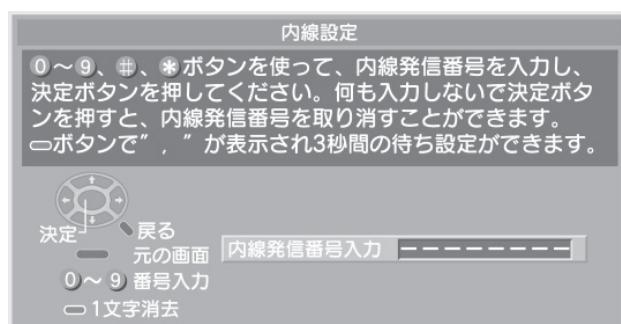
工場出荷時は、「する」に設定されています。

「す　る」.........通常はこの設定でお使いください。
「しない」.........受話器を上げても無音で、「ツー」音などが聞こえない内線電話のときに設定します。

かんたん設置　4

かんたん設置（電話設定）（つづき）

4 「内線設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

外線に電話をするときにゼロ発信などが必要な電話回線に本機を接続する場合に、この設定が必要です。

5 BS/110度CSデジタルの 0 ～ 9 # ＊ を使用して、内線発信番号を入力し 決定 を押す

- 時間待ち設定が必要な場合は、 青 を押すことにより","（カンマ）が入力され時間待ちが設定できます。","（カンマ）１つで3秒間の待ち設定になります。
- 赤 を押すごとに最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

6 登録確認をする画面で「はい」を ← → で選んで 決定 を押す

「は　い」………入力した内線発信番号が登録されます。
「いいえ」………入力した内線発信番号が取り消され、「電話設定」画面が表示されます。

7 「発信者番号通知」を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

電話番号を相手に通知するかどうかの設定です。
工場出荷時は、「指定なし」に設定されています。

「指定なし」……登録している電話番号をそのままダイヤルします。電話番号を通知するかどうかは、お客様が通信事業者と契約されている内容に従います。
「通知する」……登録している電話番号の頭に、「186」を付けてダイヤルします。
「通知しない」…登録している電話番号の頭に、「184」を付けてダイヤルします。

かんたん設置　5

かんたん設置（電話設定）（つづき）

8 「電話テスト」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

- 電話設定が正しく設定されているかどうかの確認をします。テストには、１分程度の時間がかかる場合があります。
- 電話テストが終了すると、「電話テスト」の項目にテスト結果が表示されます。

「ＯＫ」	正常に終了しました。
「ＮＧ」	不具合が発生しています。画面に表示される説明に従って原因を取り除いてください。
「テスト中」	テスト中です。
「－－」	テストしていない状態です。

かんたん設置　6

9 戻る を押して「衛星初期設定」に戻る

おしらせ

- 「かんたん設置（電話設定）」は必ずしも行う必要はありません。工場出荷の状態で本機が正常に動作しないときのみ設定してください。
- １つの電話番号の回線に付属のモジュラー分配器を使って、本機と電話機やファクシミリなどを接続されている場合は、電話機やファクシミリなどの使用中に本機の通信はできません。
- 「自動」に設定しても検出できない電話回線があります。この場合、ご使用の電話機を確認して「プッシュ」、「ダイヤル20」、「ダイヤル10」に設定してテストしてください。
- 押しボタン式の電話機が接続されていてもプッシュ回線でないことがあります。相手先の電話番号を発信したときに、「ピッポッパッポ」と受話器から音が出る場合はプッシュ回線です。
- ISDN回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続しているときは、「プッシュ」に設定してください。
- デジタルコードレス電話機でワイヤレスリンク接続しているときは、「プッシュ」に設定してください。
- 「トーン検出」を「しない」に設定した場合、同じ回線に接続した電話機などを使用中に本機で番組購入記録等の送信操作をすると、電話機などにダイヤル音が混入し通信障害になります。
- 回線設定が「自動」に設定されている場合、トーン検出は「する」に固定されます。
- すでに登録している内線発信番号を取り消したい場合は手順5で何も入力せずに 決定 を押し、手順6で「はい」を選んで、 決定 を押してください。
- 戻る を押すと１つ前の画面に戻せます。
- 発信者番号通知で「指定なし」「通知しない」に設定しても、データ放送によっては通知することがあります。
- 電話テストを行うときは、同じ回線に接続している電話機などが使用されていないことを確認してから行ってください。
- 電話テストで回線接続中は接続先までの電話料金がかかることがあります。

次のような症状がでるときは

本機に付属しているモジュラー分配器を使って、電話回線に本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、一部の電話機やファクシミリで次のような症状がでることがあります。

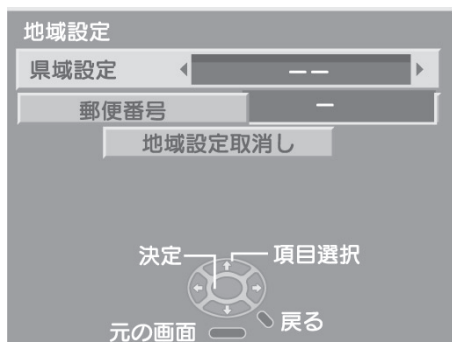
- 本機から通信を行うと電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る
  この症状がでるときは、付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善されることがあります。
- 電話機にノイズ（雑音）が入る
  この症状がでるときは、市販されている自動転換器（一般用）または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善されることがあります。

詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。

かんたん設置（地域設定）

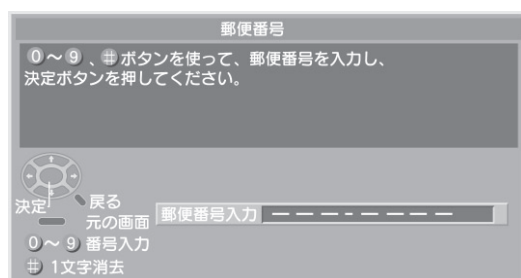
「地域設定」は、緊急警報放送やデータ放送時におけるお客様の地域に関する情報を受信するための設定です。

1. 「衛星初期設定」で「地域設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

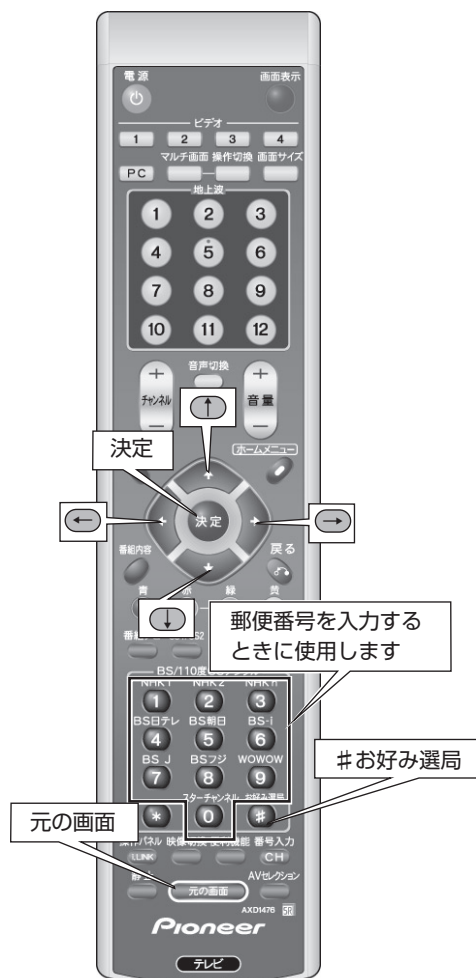
2. 「県域設定」を ↑ ↓ で選んでお住まいの都道府県を ← → で設定する

伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

3. 「郵便番号」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4. BS/110度CSデジタルの 0 ～ 9 を使用してお住まいの地域の7桁の郵便番号を入力し 決定 を押す

#お好み選局 を押すごとに最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

5. 登録確認をする画面で「はい」を ← → で選んで 決定 を押す

「は　い」.........入力した郵便番号が登録されます。
「いいえ」.........入力した郵便番号が取り消され「地域設定」画面に戻ります。

6. 元の画面 を押して、かんたん設置を終了します

■設定の取り消しは

設定した「県域設定」と「郵便番号」をクリアします。

1 「地域設定」画面上で「地域設定取消し」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

2 確認する画面で「はい」を ← → で選んで 決定 を押す

「は　い」...「県域設定」と「郵便番号」の設定値をクリアします。
「いいえ」...「地域設定」画面に戻ります。

かんたん設置は、ここで終了です。

一括でチャンネル設定する（地上波）

かんたん設置で設定しない場合の別の方法です。お住まいの地域、または最寄りの地域にあわせて地上波受信チャンネルを一括設定します。

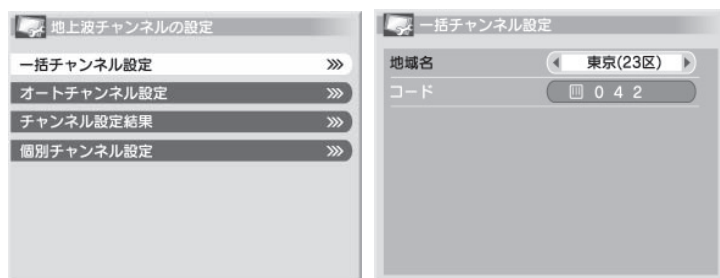
1 ホームメニュー を押す

2 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 「地上波チャンネルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4 「一括チャンネル設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

5 「地域名」で ← → を使用してお住まいの地域を選ぶか、↑ ↓ で「コード」に移動してBS/110度CSデジタルの 0 ～ 9 を使用して直接コードを入力する

地域コード早見表または地域コード一覧表をご覧ください。(➡176～179ページ)
工場出荷時は、「東京(23区)」に設定されています。

- コードの入力は、ボタンを押すと、左の桁から順に入力できます。
- コードの入力を間違えてしまったときは、改めてはじめから正しい地域コードを入力して下さい。

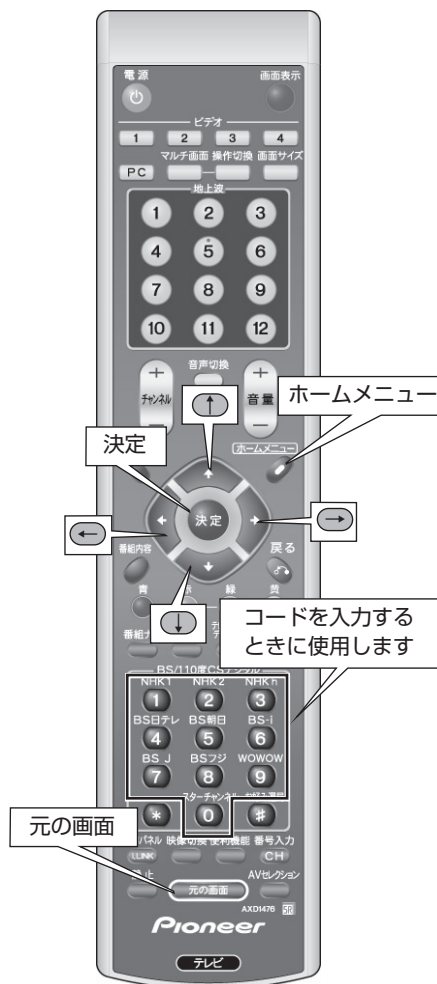
6 決定 を押す

自動的に地上波チャンネルが設定されます。設定が終了すると、「チャンネル設定結果」が表示されます。

チャンネル設定結果 2/2

リモコン	受信CH	表示CH
7	42	42
8	8	8
9	46	46
10	10	10
11	38	38
12	12	12

- ↑ ↓ で設定結果のページを切り換えることができます。

7 設定を終了するには、元の画面 を押す

ご注意

地上デジタル放送への移行（192ページ）に伴い、お住まいの地域によっては現在放送されているアナログ放送の一部のチャンネルが他のチャンネルに変更になる場合があります。この場合、地域名または地域コードによる設定では受信できないチャンネルがありますので、個別チャンネル設定(51ページ)を行ってください。

自動でチャンネル設定する（地上波）

受信可能な地上波チャンネルを自動的に記憶します。
一括チャンネル設定では設定できない地域にお住まいの場合などに設定します。

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「地上波チャンネルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「オートチャンネル設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

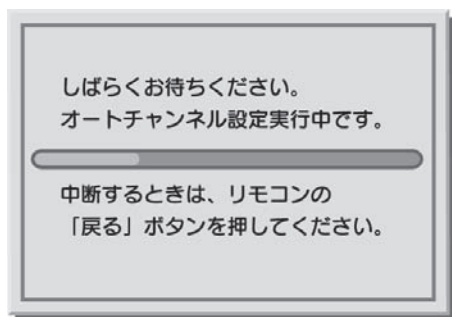
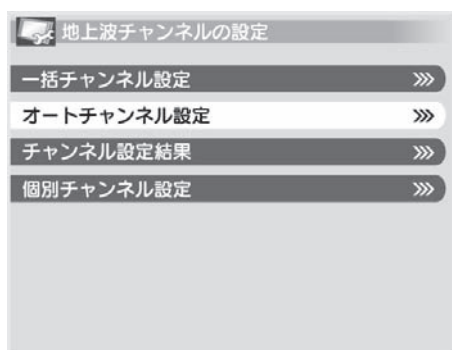
自動的に地上波チャンネルが設定されます。設定が終了すると、「チャンネル設定結果」が表示されます。

- ↑ ↓ で設定結果のページを切り換えることができます。

5. 設定を終了するには、元の画面 を押す

チャンネル設定結果を見る（地上波）

設定したチャンネルを確認します。

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「地上波チャンネルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「チャンネル設定結果」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

「チャンネル設定結果」が表示されます。

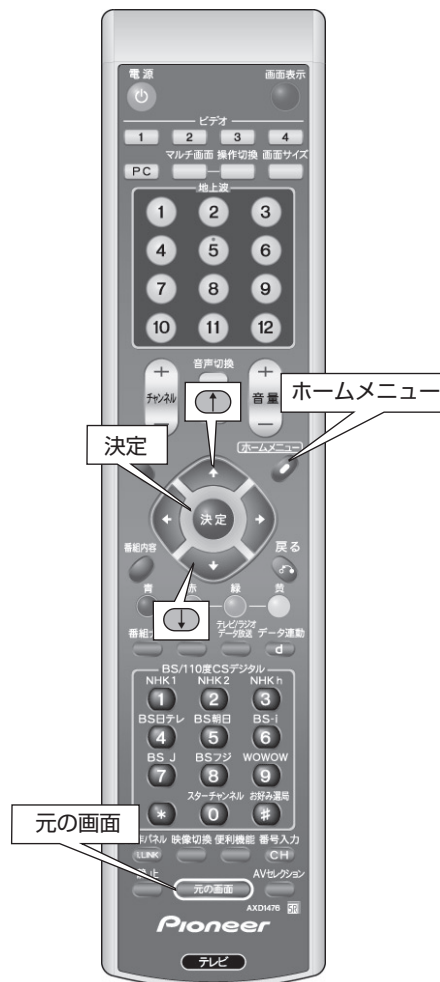
チャンネル設定結果 1/2

リモコン	受信CH	表示CH
1	1	1
2	14	14
3	3	3
4	4	4
5	16	16
6	6	6

チャンネル設定結果 2/2

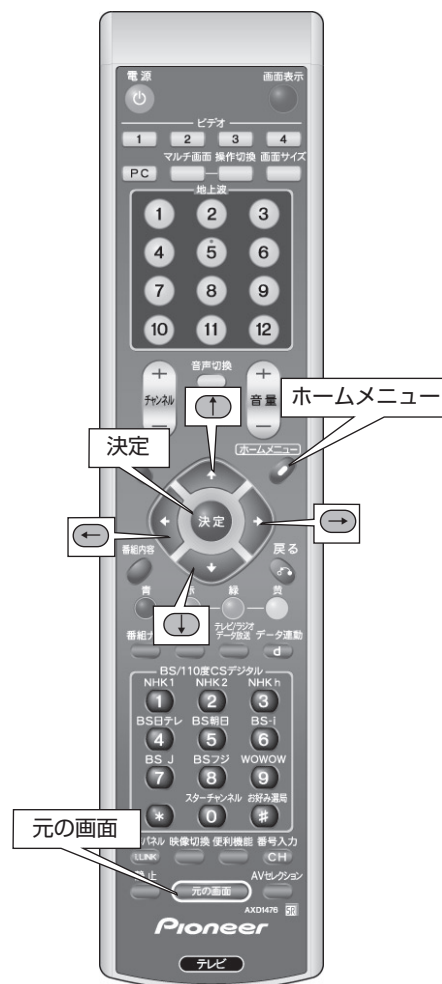
リモコン	受信CH	表示CH
7	42	42
8	8	8
9	46	46
10	10	10
11	38	38
12	12	12

- 設定できるチャンネルは最大48局です。1～12チャンネルは、リモコンの地上波チャンネルボタンで選局できます。
- ↑ ↓ で設定結果のページを切り換えることができます。

5. 設定を終了するには、元の画面 を押す

個別にチャンネル設定する（地上波）

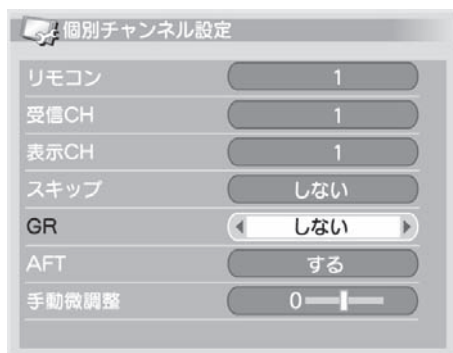
設定されているチャンネルを変更したいときに設定します。

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「地上波チャンネルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「個別チャンネル設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
5. 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

「リモコン」……… リモコンの地上波チャンネル(数字)ボタンの番号です。
「受信CH」……… 放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。
「表示CH」……… テレビ画面に表示されるチャンネルのことです。共同受信など、放送と画面表示が一致しないときに書き換えると便利です。
「スキップ」……… スキップを「する」にしておくと、チャンネル＋／－ボタンで選局するときに、放送のないチャンネルを飛びこして選局できるようになります。
「ＧＲ」……… 画面上のゴースト(2重映像)を軽減することができます。
（ゴーストを軽減する ➡52ページ）
「AFT」……… 「する」にしておくと、自動的に最適な状態で選局します。
「手動微調整」…… ご使用になる地域によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。そのようなときは「AFT」を「しない」に設定した後、手動微調整を行って下さい。また、手動微調整中は、「GR」は一時的に「しない」状態になります。

6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

ゴーストを軽減する（GR）

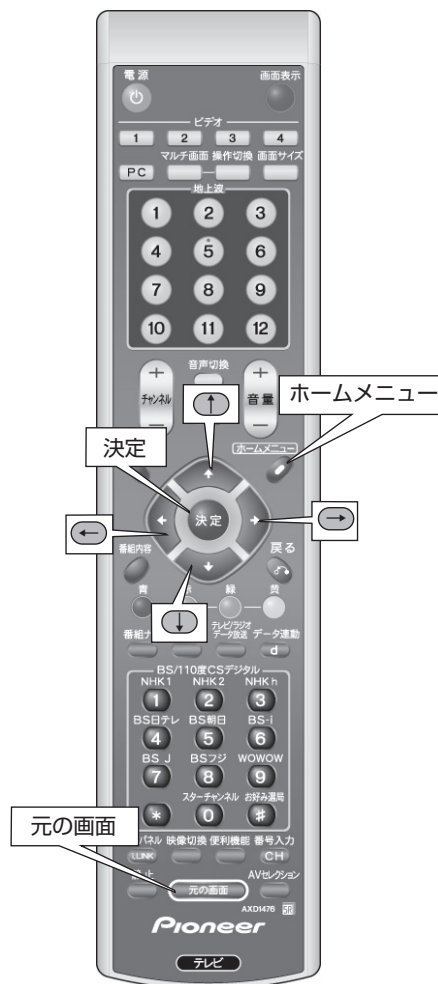
ゴーストの影響によって見にくくなった地上波チャンネルを見やすくすることができます。GR機能は、地上波チャンネル受信のみ動作し、チャンネルごとに設定できます。
（GRはゴーストリダクションの略です）

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「地上波チャンネルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「個別チャンネル設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
5. 「個別チャンネル設定」で、「GR」を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

「する」............ ゴースト軽減機能を使用します。
「しない」......... ゴースト軽減機能を使用しません。

マルチ画面のときは、主画面(または左画面)のみGR機能が働きます。

6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- **次のような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。**
  - 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ゴーストの電波が強いとき
  - ビデオデッキからの映像を見るとき
- かんたん設置や一括チャンネル設定、オートチャンネル設定を行うと、受信可能な地上波チャンネルは、GR設定が「する」に設定されます。
- ＧＲ設定を「する」にしておくと映像が見づらい場合は、「しない」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにＧＲ機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。（アンテナは、最も強い電波が受信できる方向に向けてください。）
- ゴーストは、場所・天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。

BS・110度CSデジタル放送について

● BS・110度CSデジタル放送の特長

映像や音声をデジタル圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲で高画質な映像や多チャンネルの番組、各種サービスが提供されます。

テレビ放送

従来のアナログBS・CS放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。
BSデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が7チャンネルあります。（2003年8月現在）

ラジオ放送

音楽CD並みの高音質な放送です。

データ放送

静止画像や文字によって視聴者参加型の双方向的な番組を楽しむことができます。
テレビ放送等と連動したデータ連動放送と、独立データ放送の2種類のデータ放送があります。

電子番組表（EPG）

ＢＳ・110度ＣＳデジタル放送では、映像や音声の他に番組の情報も一緒に送られてきます。
その番組情報をもとにテレビ画面に電子番組表を表示することができます。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。本取扱説明書では、番組表と呼びます。

● 110度CSデジタル放送について

• BSデジタル放送と同じ東経110度の軌道上にある通信衛星（N-SAT-110）を利用した新しいデジタル放送です。

• 110度ＣＳデジタル放送を受信するには、BS・110度ＣＳデジタル放送に対応したアンテナ（市販品）が必要です。従来のCSアンテナ、ＢＳアンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度ＣＳ帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。

• 110度ＣＳデジタル放送は有料放送です。視聴するためには、各プラットフォーム（プラットワン、スカイパーフェクTV!2）※との個別受信契約が必要となります。（一部、無料の放送もあります。）

※各プラットフォームの社名は、変更される場合があります。

BS・110度CSデジタル放送のチャンネル設定

工場出荷時の設定は以下のようになっています。
（放送局名やチャンネルは、実際の表示と異なる場合があります）

BSデジタル放送		
①	101チャンネル	NHK1（NHK BS1）
②	102チャンネル	NHK2（NHK BS2）
③	103チャンネル	NHKh（NHK ハイビジョン）
④	141チャンネル	BS日テレ
⑤	151チャンネル	BS朝日1
⑥	161チャンネル	BS-i
⑦	171チャンネル	BSJ（BSジャパン）
⑧	181チャンネル	BSフジ181
⑨	191チャンネル	WOWOW
⓪	200チャンネル	スター・チャンネル

CS1（プラットワン）		
①	001チャンネル	プロモCH
②	999チャンネル	カルチャーTV
③	963チャンネル	ハローTivi!
④	011チャンネル	CS日本
⑤	055チャンネル	ep055
⑥	900チャンネル	お一当たりch
⑦	700チャンネル	Soundscape
⑧		
⑨	090チャンネル	WOWOW PPVナビ
⓪		

CS2（スカパー！2）		
①	100チャンネル	スカパー！2プロモ
②	110チャンネル	ワンテンポータル
③	123チャンネル	CS映画
④	128チャンネル	ハリウッドムービーズ（予定）
⑤	250チャンネル	アクティブ！スポーツ
⑥	160チャンネル	C-TBSウェルカム
⑦	170チャンネル	BAZ
⑧	182チャンネル	フジテレビ739
⑨	194チャンネル	AQステーション
⓪	190チャンネル	宝塚プロモチャンネル

（2003年8月現在）

BSデジタル放送・110度CSデジタル放送の視聴手続き

BSデジタル放送の有料放送(WOWOW、スターチャンネル)、110度CSデジタル放送を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

1 (株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードのユーザー登録をする

((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)
B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

- B-CASカードのユーザー登録が終了すると、各種サービスが利用できるようになります。
- B-CASカードの台紙は、大切に保管しておいてください。
- 転居などの際には、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターに連絡してください。

2 視聴したい放送局に申し込む(BSデジタル放送の有料放送の場合)

お客さまが視聴したい放送局の契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。
詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

3 視聴したいプラットフォーム(運営会社)に申し込む(110度CSデジタル放送の場合)

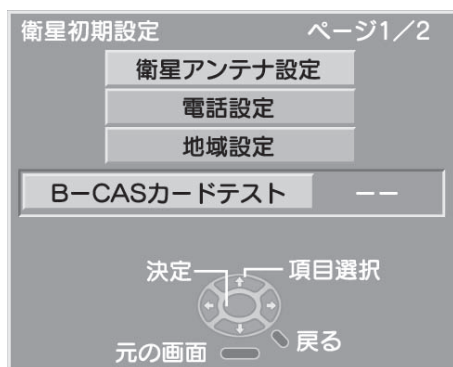
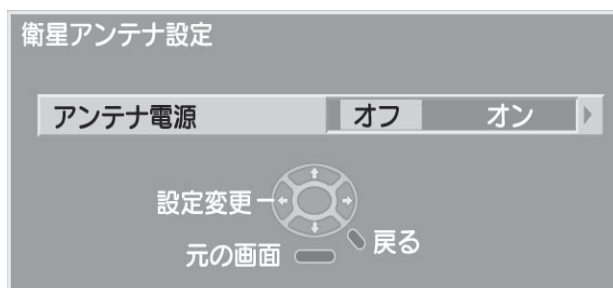
110度CSデジタル放送は有料放送です(一部、無料放送もあります)。視聴するためには、各プラットフォーム(CS1:プラットワン、CS2:スカイパーフェクTV!2)※と個別に契約することが必要です。
契約したいプラットフォームの契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。
詳しくは、プラットワン、スカイパーフェクTV!2のカスタマーセンターにお問い合わせください。

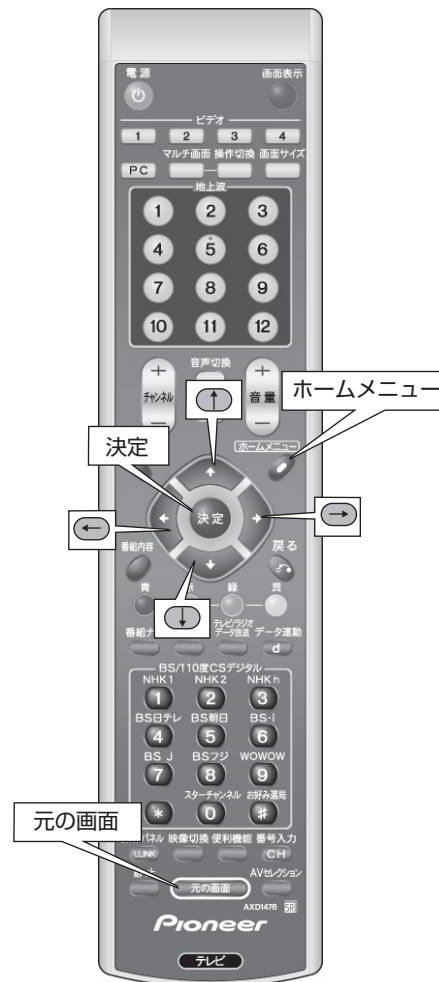
※ 各プラットフォームの社名は変更される場合があります。

おしらせ
• 本機は、契約データの受信のために、電源スタンバイ状態(スタンバイインジケーター赤色点灯)のときでも動作することがあります。その場合は、機能待機インジケーター(橙色)が点灯します。

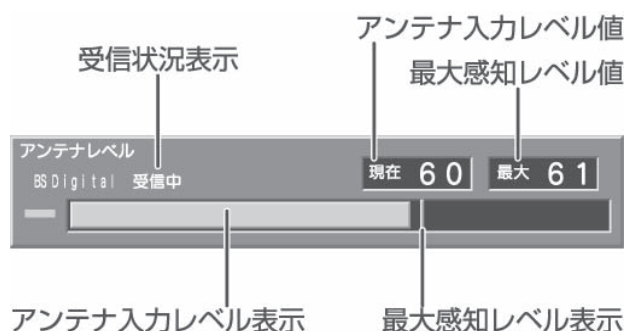
衛星アンテナ設定

かんたん設置で設定しない場合の別の方法です。
衛星アンテナへの電源供給やアンテナ入力レベルの確認ができます。

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「衛星デジタル設定」の3/3画面にある「衛星初期設定」を ↑ ↓ で選んで、決定 を約3秒間押し続ける
5. 「衛星アンテナ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

6. 「アンテナ電源」を ← → で「オン」または「オフ」に設定する

工場出荷時は、「オフ」に設定されています。

「オン」............個別に衛星アンテナを設置して受信する場合はこの設定でご使用ください。衛星アンテナへ電源が供給されます。
「オフ」............マンションなどで本機以外の機器から電源供給をする場合に設定してください。

衛星アンテナ設定（つづき）

7 アンテナ入力レベルの確認と調整をする

- 「衛星アンテナ設定」画面で現在選んでいるチャンネルのアンテナ入力レベルの確認ができます。
- アンテナ入力レベル表示を見ながら衛星アンテナの仰角(上下の向き)と方位角(左右の向き)の調整を行ってください。110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、110度CSデジタル放送のチャンネル(CS1-001チャンネルまたはCS2-100チャンネル)を選んで、アンテナを調整してください。
- アンテナの向きを調整していくと、受信可能レベルに達したとき「BS Digital受信中」、「SKY PerfecTV! 2受信中」などが表示されます。表示が出ている状態でアンテナの入力レベル表示が最大になる向きをさがして、その向きにアンテナを固定してください。

最大感知レベル表示	アンテナ入力レベルの最大値が表示されます。
最大感知レベル値	
アンテナ入力レベル表示	現在のアンテナ入力レベルが表示されます。
アンテナ入力レベル値	
受信状況表示	BS·110度CSデジタル放送を受信すると「○○○○○受信中※」と表示されます

※○○○○○は放送によって異なります。

8 設定を終了するには、元の画面を押す

お願い

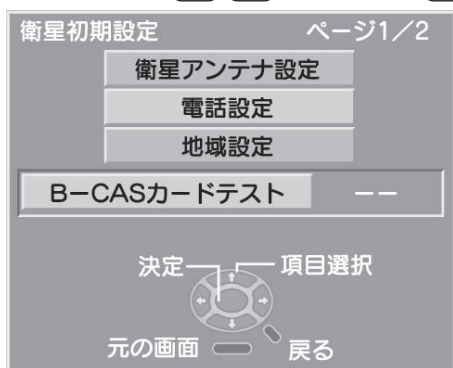
- 衛星アンテナの仰角・方位角の調整方法は衛星アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- 衛星アンテナ調整は、アンテナの入力レベルを見る人とアンテナの向きを調整する人が連携を取りながら行ってください。受信状況表示に「他の衛星受信中」と表示されている場合は、BS・110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信しています。正しい向きをご確認のうえ再度、アンテナを調整してください。

おしらせ

- アンテナの最大入力レベルは、天候、季節、アンテナの調整、受信している地域などにより異なります。
- 110度CSデジタル放送を受信してアンテナ調整を行うと、そのままの状態でＢＳデジタル放送も受信できます。(改めてBSデジタル放送を受信してBS用に調整する必要はありません。)

電話設定

かんたん設置で設定しない場合の別の方法です。
BS・110度CSデジタル放送では電話回線を使って有料放送の料金管理や視聴者参加番組への接続が行われるため、電話回線に接続(➡32ページ)をしたうえ、必要に応じて電話設定を行ってください。

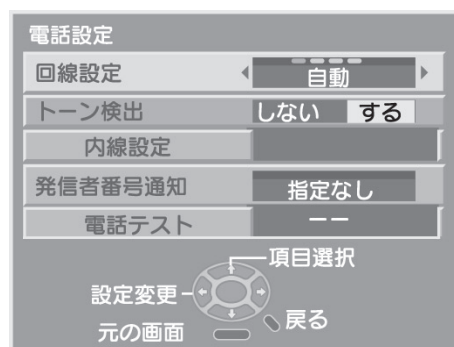
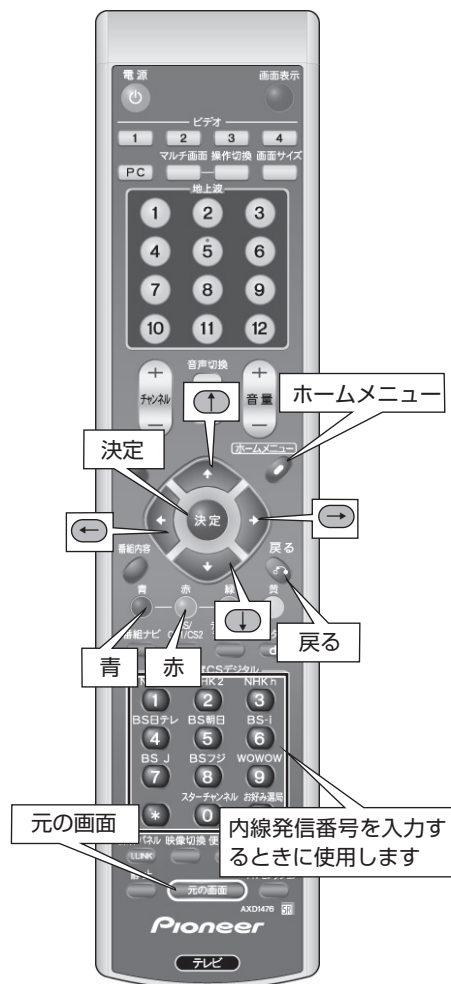
1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「衛星デジタル設定」の3/3画面にある「衛星初期設定」を ↑ ↓ で選んで、決定 を約3秒間押し続ける
5. 「電話設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

6. 「回線設定」を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

工場出荷時は、「自動」に設定されています。
「自動」の設定で問題がない場合は、「回線設定」を行う必要はありません。

「自動」.................「電話テスト」を行うと、自動的に電話回線の種別が設定されます。
「プッシュ」.........プッシュ回線を使用しているときに設定します。
「ダイヤル20」...20PPSのダイヤル回線を使用しているときに設定します。
「ダイヤル10」...10PPSのダイヤル回線を使用しているときに設定します。

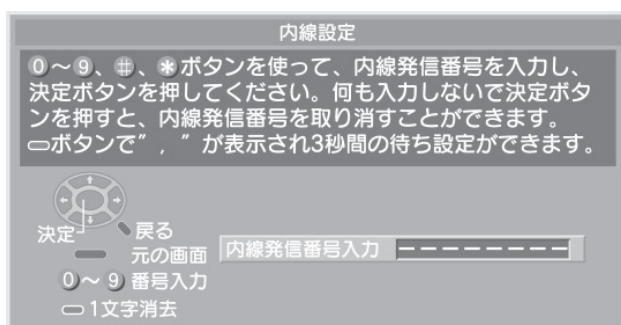
7. 「トーン検出」を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

工場出荷時は、「する」に設定されています。

「す　る」.........通常はこの設定でお使いください。
「しない」.........受話器を上げても無音で、「ツー」音などが聞こえない内線電話のときに設定します。

電話設定（つづき）

8 「内線設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

外線に電話をするときにゼロ発信などが必要な電話回線に本機を接続する場合に、この設定が必要です。

9 BS/110度CSデジタルの 0 ～ 9 # ＊ を使用して、内線発信番号を入力し 決定 を押す

- 時間待ち設定が必要な場合は、青を押すことにより "," (カンマ)が入力され時間待ちが設定できます。 "," (カンマ) 1つで3秒間の待ち設定になります。
- 赤を押すごとに最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

10 登録確認をする画面で「はい」を ← → で選んで 決定 を押す

「は　い」………入力した内線発信番号が登録されます。
「いいえ」………入力した内線発信番号が取り消され、「電話設定」画面が表示されます。

11 「発信者番号通知」を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。
工場出荷時は、「指定なし」に設定されています。

「指定なし」………登録している電話番号をそのままダイヤルします。電話番号を通知するかどうかは、お客様が通信事業者と契約されている内容に従います。
「通知する」………登録している電話番号の頭に、「186」を付けてダイヤルします。
「通知しない」……登録している電話番号の頭に、「184」を付けてダイヤルします。

おしらせ

- 「トーン検出」を「しない」に設定した場合、同じ回線に接続した電話機などを使用中に本機で番組購入記録等の送信操作をすると、使用中の電話機などにダイヤル音が混入し通信障害になります。
- 回線設定が「自動」に設定されている場合、トーン検出は「する」に固定されます。
- すでに登録している内線発信番号を取り消したい場合は手順9で何も入力せずに 決定 を押し、手順10で「はい」を選んで、決定 を押してください。
- 戻る を押すと１つ前の画面に戻せます。
- 発信者番号通知で「指定なし」「通知しない」に設定しても、データ放送によっては通知することがあります。
- 電話テストを行うときは、同じ回線に接続している電話機などが使用されていないことを確認してから行ってください。
- 電話テストで回線接続中は接続先までの電話料金がかかることがあります。

電話設定（つづき）

⑫ 「電話テスト」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

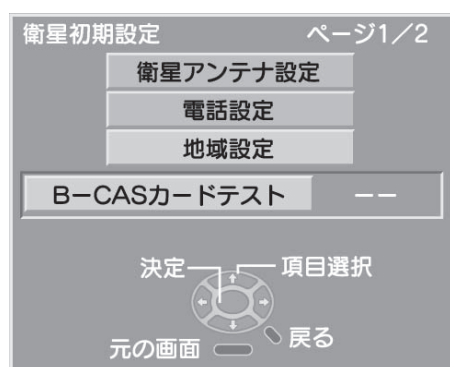
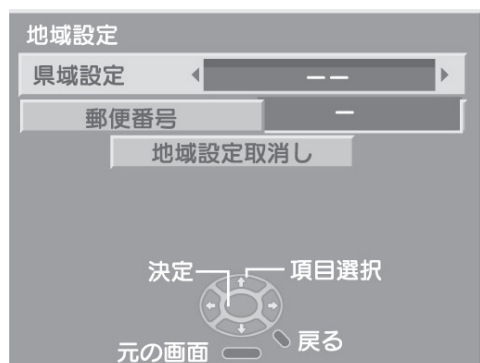
電話設定が正しく設定されているかどうかの確認をします。テストには、１分程度の時間がかかる場合があります。
電話テストが終了すると、「電話テスト」の項目にテスト結果が表示されます。

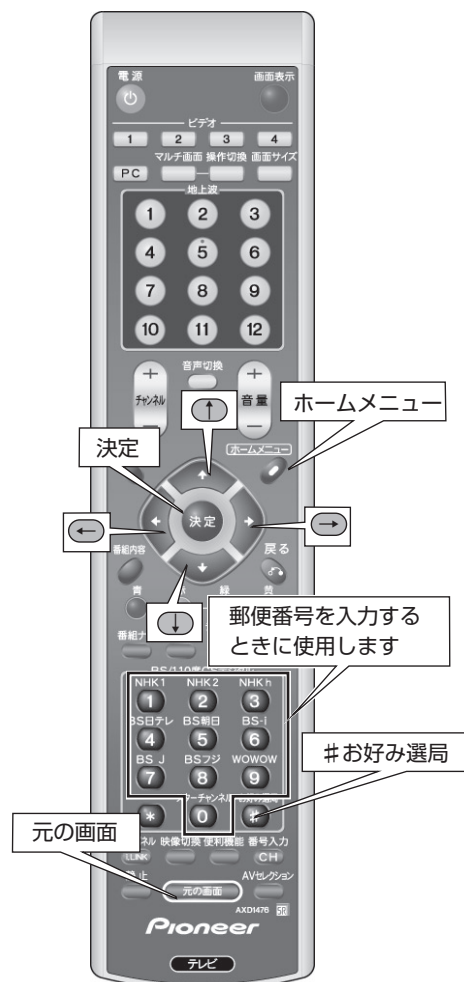
「ＯＫ」............正常に終了しました。
「ＮＧ」............不具合が発生しています。画面に表示される説明に従って原因を取り除いてください。
「テスト中」.....テスト中です。
「−−」............テストしていない状態です。

⑬ 設定を終了するには、元の画面 を押す

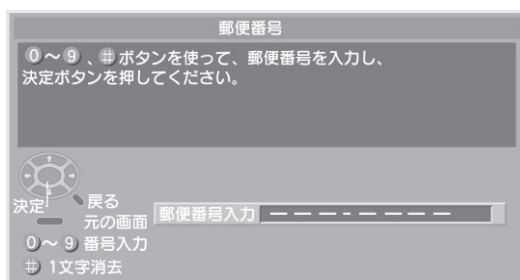
地域設定

かんたん設置で設定しない場合の別の方法です。
「地域設定」は、緊急警報放送やデータ放送時におけるお客様の地域に関する情報を受信するための設定です。

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「衛星デジタル設定」の3/3画面にある「衛星初期設定」を ↑ ↓ で選んで、決定 を約3秒間押し続ける
5. 「地域設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

6. 「県域設定」を ↑ ↓ で選んでお住まいの都道府県を ← → で設定する

伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

7. 「郵便番号」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

地域設定（つづき）

8 BS/110度CSデジタルの0～9を使用してお住まいの地域の7桁の郵便番号を入力し決定を押す

お好み選局を押すごとに最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

9 登録確認をする画面で「はい」を←→で選んで決定を押す

「は　い」………	入力した郵便番号が登録されます。
「いいえ」………	入力した郵便番号が取り消され「地域設定」画面に戻ります。

10 設定を終了するには、元の画面を押す

■設定の取り消しは

設定した「県域設定」と「郵便番号」をクリアします。

1 「地域設定」画面上で「地域設定取消し」を↑↓で選んで決定を押す
2 確認する画面で「はい」を←→で選んで決定を押す

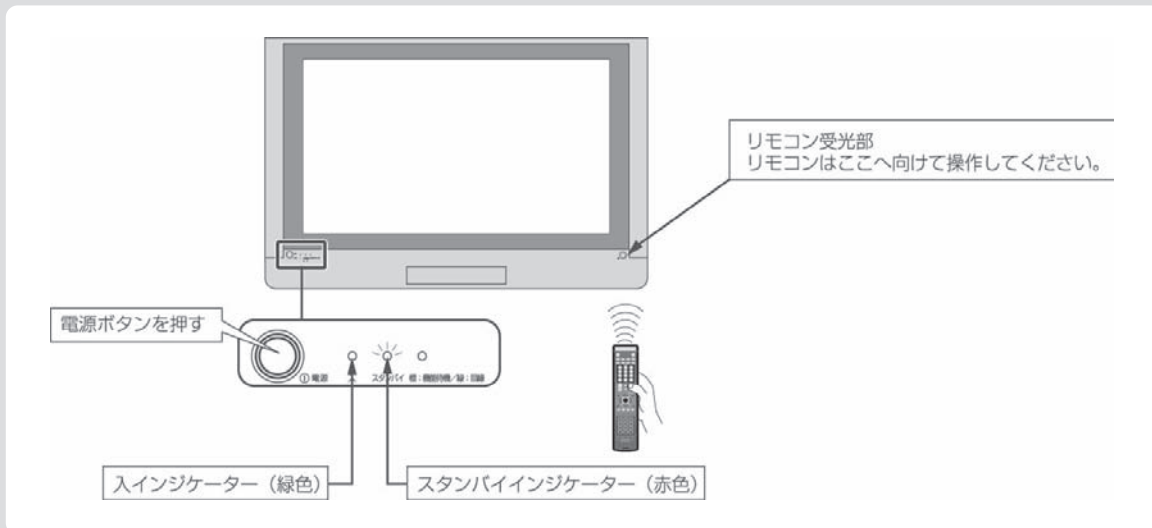
「は　い」…	「県域設定」と「郵便番号」の設定値をクリアします。
「いいえ」…	「地域設定」画面に戻ります。

テレビを見る

テレビを楽しむ（地上波）

1 本機の主電源を入れる

スタンバイ状態(スタンバイインジケーター赤色点灯)、または動作状態(入インジケーター緑色点灯)になります。

- 電源スタンバイ状態のとき、手順2に進みます。
- 動作状態のとき、手順3に進みます。

2 リモコンの電源を押して、電源を入れる

入インジケーターが緑色に点灯したことを確認してください。
リモコン、簡単リモコンどちらでも操作できます。
本機のリモコン受光部に向けて、リモコンの電源を押します。
また、前面扉内のボタンでも操作することができます。

3 リモコンでお好みのチャンネルを選局する

簡単リモコンでは、地上波と衛星デジタルのチャンネルボタンが兼用になっています。

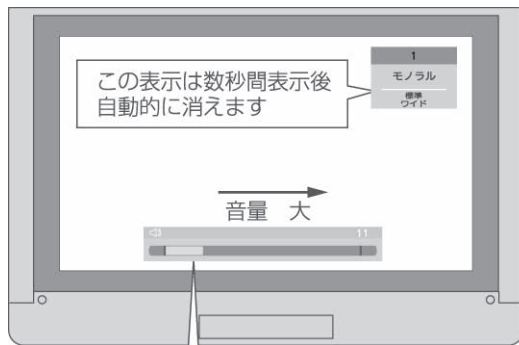
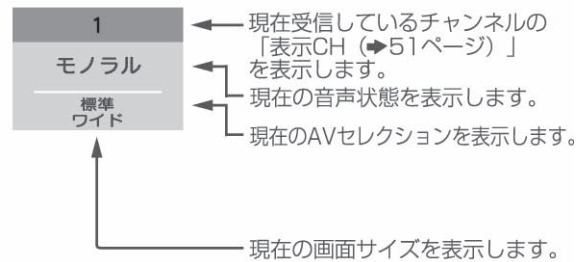
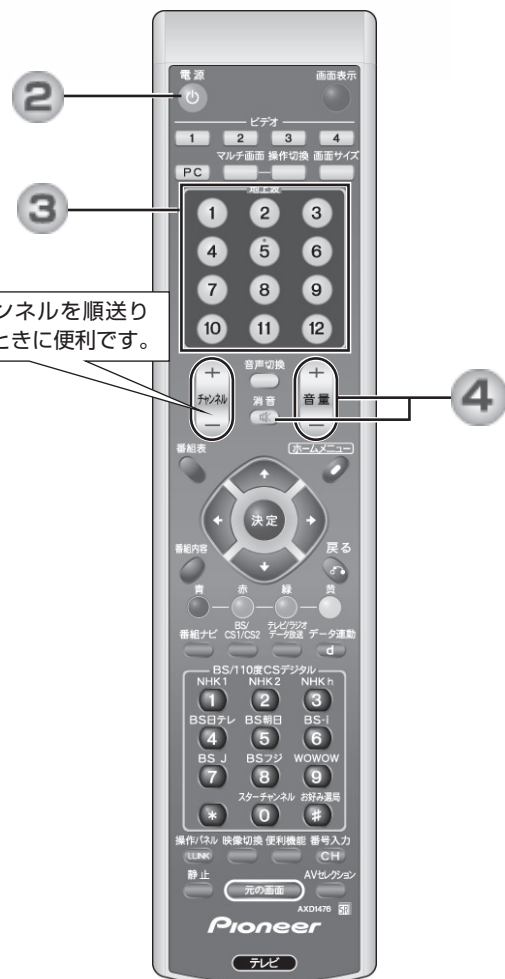
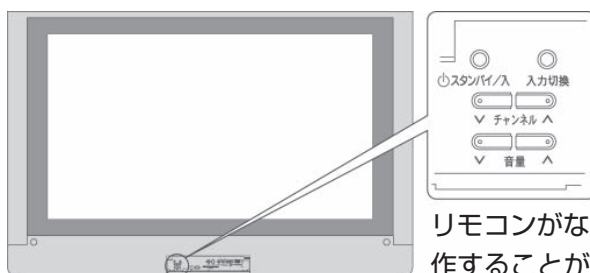
- テレビ(地上波放送・CATV放送)を見る場合は、地上波を押した後チャンネルボタンで選局してください。
- BS・110度CSデジタル放送(テレビ)を見るときは、衛星デジタルを押した後チャンネルボタンで選局してください。(➔67ページ)

4 音量は、リモコンの音量(＋／－)で調節する

音量(＋)　音が大きくなります。
音量(－)　音が小さくなります。
一時的に音を消すときは、消音を押します。
もう一度消音を押すか音量(＋)を押すと、音が出るようになります。

5 電源を切るときは、リモコンの電源を押す

ご注意

- リモコンはご使用前に必ず乾電池を入れてください。(各部の名前(乾電池の入れ方)➔22ページ)
- 本機はスタンバイ状態のときでも、BS・110度CSデジタル放送局と通信を行います。
- 本機のご使用後は衛星ダウンロードサービスを受信していただくため、リモコンの電源ボタンを押してスタンバイ状態にしておくことをおすすめします。

この表示は数秒間表示後
自動的に消えます
音量　大
1
モノラル
標準
ワイド
現在受信しているチャンネルの「表示CH（➡51ページ）」を表示します。
現在の音声状態を表示します。
現在のAVセレクションを表示します。
現在の画面サイズを表示します。
音量（＋／−）ボタンを押すと自動的に表示され
音量を大きくすると....数字が増えバー表示が長くなります。
音量を小さくすると....数字が減りバー表示が短くなります。
数秒後に自動的に消えます。
チャンネルを順送りするときに便利です。
チャンネルを順送りするときに便利です。
3-1
地上波放送（テレビ）を見るときは、まず先にこのボタンを押してから選局します。
3-2
簡単リモコン
リモコン
スタンバイ/入
入力切換
チャンネル
音量
リモコンがなくても前面扉内にあるボタンで操作することができます。

外部入力の映像を見る

1 リモコンの電源を押して、電源を入れる

本機の入インジケーターが緑色に点灯したことを確認してください。

2 外部入力に接続した機器の電源を入れる

3 外部入力を接続したビデオ入力をリモコンで選ぶ

(例1)本機背面のビデオ1入力端子にビデオデッキを接続したときは、リモコンの(ビデオ1)を押します。
簡単リモコンや前面扉内のボタンで操作するときは、(入力切換)を押して「ビデオ1」を選びます。

(例2)本機前面扉内のPC入力端子にパソコンを接続したときは、リモコンの(PC)を押します。
簡単リモコンや前面扉内のボタンで操作するときは、(入力切換)を押して「PC」を選びます。

4 外部入力に接続した機器を再生状態にする

おしらせ
・各ビデオ入力の優先順位は34ページをご覧ください。

BS・110度CSデジタル放送をすぐに見る

BS･110度CSデジタル放送の見かたには､以下の3通りがあります。

●チャンネルボタンで選ぶ

1 BS/CS1/CS2 で見たい放送に切り換える

ボタンを押すごとに BS → CS1 → CS2 の順で切り換わります。

2 BS/110度CSデジタルの 0 ～ 9 を押す

簡単リモコン　　リモコン

おしらせ

ラジオ番組や独立データ番組を視聴するには

1. BS/CS1/CS2 で視聴したい放送に切り換える
2. テレビ/ラジオ/データ放送 で視聴したい放送の種類を選ぶ
3. お好みのチャンネルを選ぶ

- 簡単リモコンでは、BS・110度CSデジタル放送のラジオ番組や 独立データ番組を受信することはできません。

BS・110度CSデジタル放送をすぐに見る（つづき）

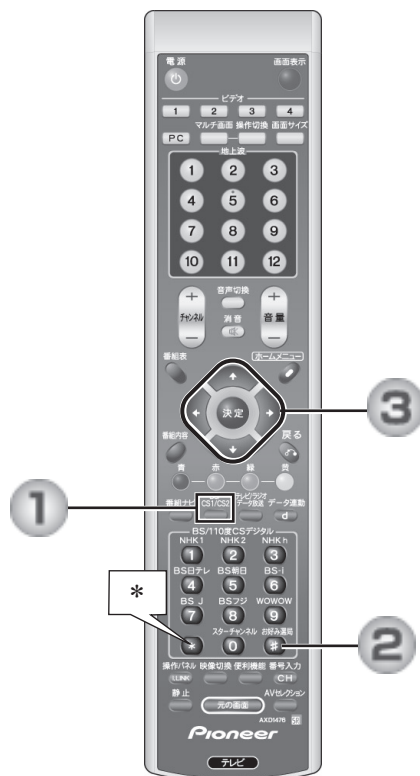
●お好み選局で選ぶ

本機の初期設定で設定されているプリセットチャンネルを簡単に呼び出せます。 また、登録することもできます。（➡54・105ページ）

1 BS/CS1/CS2 で見たい放送に切り換える

2 # お好み選局 を押してお好み選局画面を表示させる

3 ↑ ↓ ← → で視聴したいチャンネルを選んで 決定 を押す

- BS/110度CSデジタルの0～9でも直接選ぶことができます。
- お好み選局画面は # お好み選局 を押すたびに次のページに切り換わります。ページを戻す場合は＊を押します。
- 選んだチャンネルが、有料番組（ペイ・パー・ビュー）や視聴制限のある場合は、手続きが必要になります。
- お好み選局画面を消すには、元の画面 を押します。

リモコン

おしらせ 衛星デジタル放送受信中に、チャンネル ＋／－を押すとチャンネルを順送りします。（BSのときはBS、CS1のときはCS1、CS2のときはCS2のチャンネルだけを順送りします。）

BS・110度CSデジタル放送をすぐに見る（つづき）

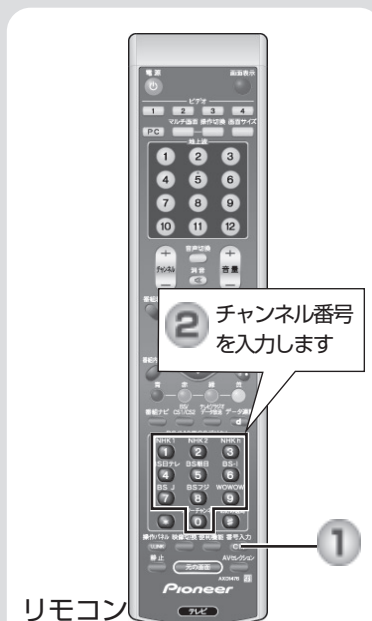
●チャンネル番号で直接選ぶ

1 （CH番号入力）を押す

「チャンネル番号入力」画面になります。
「チャンネル番号入力」画面表示中に（CH番号入力）を押すと、「BS---」↔「CS---」のように放送を切り換えることができます。

2 BS/110度CSデジタルの（0）～（9）で、見たいチャンネルのチャンネル番号（3桁）を入力する

1つの番号を押してから、5秒以内に次の番号を押します。

おしらせ　衛星デジタル放送受信中に、（チャンネル（＋／－））を押すとチャンネルを順送りします。（BSのときはBS、CS1のときはCS1、CS2のときはCS2のチャンネルだけを順送りします。）

リモコン

データ連動放送を見る

データ連動放送では、画面に表示される説明に従って操作することで、放送中の番組に連動したいろいろな情報を見ることができます。（操作のしかたは番組によって異なります。）

1 衛星デジタル放送を見ているときに「画面表示」を押す

データ放送の番組では下記のアイコンが表示されます。

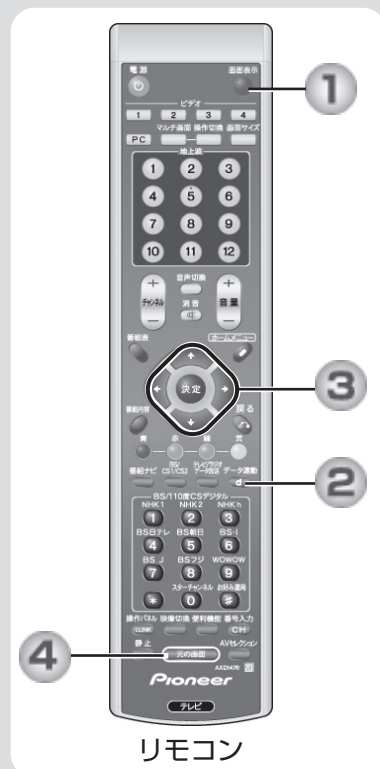
20:00～20：53 クリスマス特集
B世界のクリスマスイヴ　サン

下記のアイコンが表示されているときはデータ放送の番組です。

+d テレビ　d テレビ　+d ラジオ　d ラジオ

2 「データ連動」を押す

3 （↑）（↓）（←）（→）で項目を選んで（決定）を押す

4 データ連動放送画面を終了するには、（元の画面）を押す

リモコン

番組表で見たい番組を選ぶ（番組表）

見たい番組を番組表から選んで視聴したり、番組を予約（視聴・録画）したりできます。

❶ BS・110度CSデジタル放送の視聴中に 番組表 を押す

番組表の見かたは99ページをご覧ください。

❷ ↑ ↓ ← → で見たい情報を選んで 決定 を押す

- 放送中の番組を選んだ場合は番組を見るか、予約するかの選択画面になります。（➡126ページ）
- 放送前の番組を選んだ場合は、「予約設定」画面になります。（➡126ページ）

おしらせ

- 本機の電源を入れた直後は、番組表や番組内容表示、番組ナビなどの機能が働くまでに約10秒程度かかる場合があります。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このような時は、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。
- 番組間の区切りが赤線のところは、画面上に表示しきれない放送時間の短い番組が存在します。赤線にカーソルを移動させると、番組名が表示されます。
- BS/110度CSデジタルチャンネルの ⓪〜⑨ を押したり、＃お好み選局 でチャンネルを選ぶと、プリセットされているチャンネルが中央に表示されます。また、CH番号入力 を押して ⓪〜⑨ でチャンネル番号を入力すると指定したチャンネルが中央に表示されます。ただし、指定したチャンネルがない場合は、指定したチャンネルに近い番号のチャンネルが中央に表示されます。
- 「選局対象」の設定により、表示される内容が変わります。
- 番組表を表示中にリモコンの テレビ／ラジオ／データ放送 を押すと、その選局対象だけの番組表を表示することができます。

自動で電源を切る（おやすみタイマー）

設定時間が過ぎると自動的に電源スタンバイ状態になります。

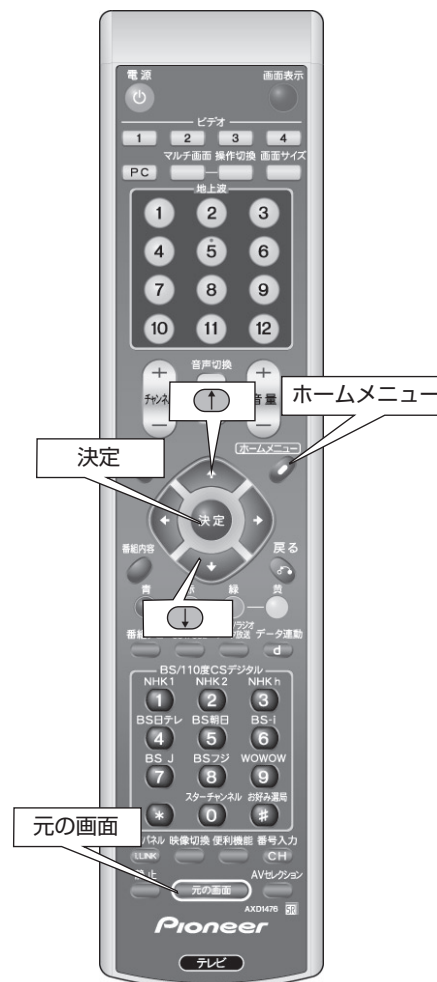
1 ホームメニュー を押す

2 「おやすみタイマー」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 ↑ ↓ でおやすみタイマーを設定したい時間を選んで 決定 を押す

工場出荷時は、「しない」に設定されています。

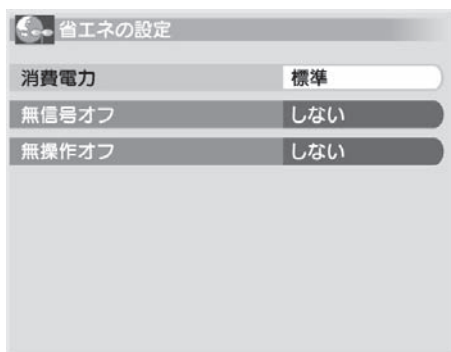
4 設定を終了するには、元の画面 を押す

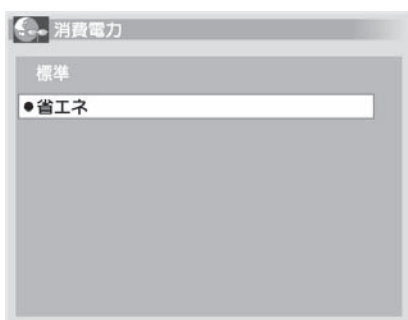
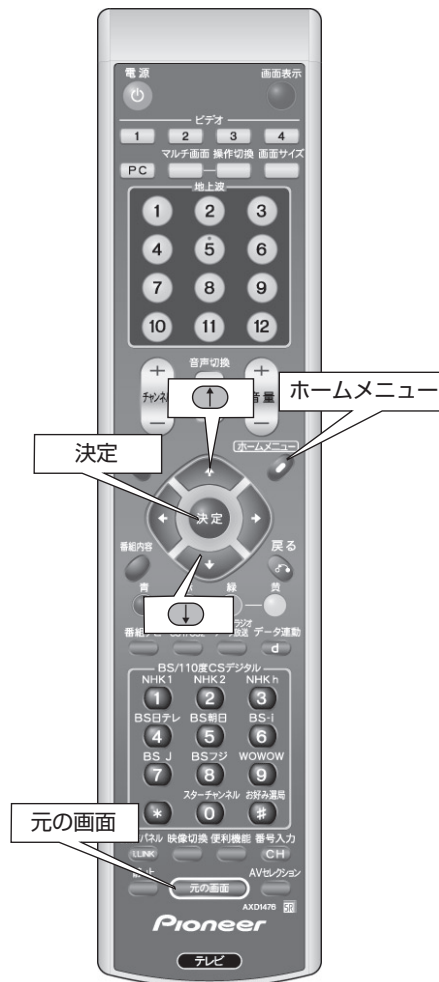
おしらせ
- おやすみタイマーを設定すると、電源が切れる5分前から残り時間を1分ごとに表示します。
- 残り時間が0分になると、残り0分表示後電源スタンバイ状態になります。
- おやすみタイマーを実行した後は、自動的に「しない」に設定されます。
- 本機の主電源を切ったり手動で電源スタンバイ状態にすると、おやすみタイマーは自動的に「しない」に設定されます。

省エネ機能を使う

日ごろの節電に役立つ、省エネ機能を設定することができます。

1 ホームメニュー を押す

2 「省エネの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 設定したい項目を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

消費電力	消費電力を抑えられる「省エネ」モードがあります。 「標準」....... 通常の明るい映像です。 「省エネ」... 画面の明るさを抑えて節電しながらテレビを見るときに使います。 工場出荷時は、「標準」に設定されています。
無信号オフ	無信号になったとき、約15分後に自動的に電源をスタンバイ状態にする機能です。 「する」....... 無信号オフ機能を使用します。 「しない」... 無信号オフ機能を使用しません。 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
無操作オフ	3時間何も操作しないと、自動的に電源をスタンバイ状態にする機能です。 「する」....... 無操作オフ機能を使用します。 「しない」... 無操作オフ機能を使用しません。 工場出荷時は、「しない」に設定されています。

4 好みの設定を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

5 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- 無信号オフや無操作オフを「する」に設定すると、電源が切れる5分前から残り時間を1分ごとに表示します。

無信号オフ機能について

- 地上波およびビデオ入力信号のみ、無信号オフ機能が働きます。
- PC入力のとき、無信号オフ機能は働きません。PC入力のときは、パワーマネージメント機能(➡158ページ)をお使いください。
- 次のような場合、正しく動作しない場合があります。
  - 放送が終了しても、隣接する他局の放送が混入するとき
  - 試験放送などその他の電波が混入するとき
  - ブルーバックなどの映像信号が入力されているとき
- テレビを視聴中に電波の状態により、無信号オフ機能が働いて電源が切れてしまう場合は、設定を「しない」にしてください。

無操作オフ機能について

- PC入力のとき、無操作オフ機能は働きません。

画面サイズを切り換える

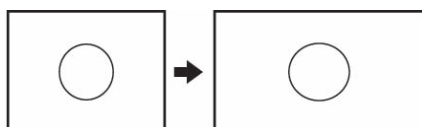
放送や映像の内容によって画面サイズを自動的に切り換えたり、お好みの画面サイズに変更したりすることができます。

① 画面サイズを押して、お好みの画面サイズを選ぶ

現在の画面サイズを表示します。

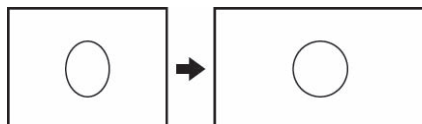
■つぎの５つの画面サイズから選択できます。

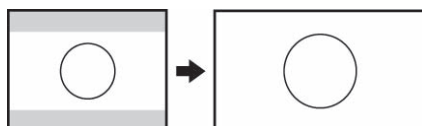
ワイド

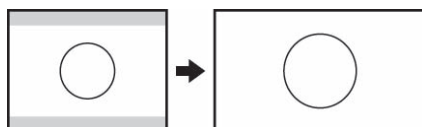
通常の4:3映像を画面いっぱいに映します。

4:3

通常のテレビ画面(4:3サイズ)の映像をそのまま映します。

フル

16:9から4:3に圧縮(スクイーズ)された映像をもとの16:9に戻して画面いっぱいに映します。

ズーム

シネマスコープサイズまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

シネマ

ビスタサイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

選択できる画面サイズは、通常のテレビ／ビデオ映像とハイビジョン映像とで異なります。

テレビ／ビデオ画面	→ワイド→4:3→フル→ズーム→シネマ
ハイビジョン画面(1125i)	→フル1(1080i)→フル2(1035i)

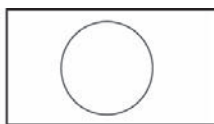
ご注意

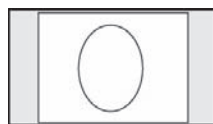
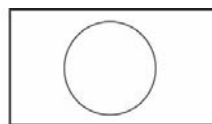
- 画面サイズ4：3や上下に黒帯が表示されるレターボックス等の映像を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示すると焼き付きによる残像が残ります。著作者の権利を侵害するおそれがある場合(➔74ページ・ご注意)を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えてお楽しみいただくことをおすすめします。

画面サイズを切り換える（つづき）

■画面サイズ制御信号の入った映像の表示について

本機は、ビデオ入力端子から入力された映像信号に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動選択する機能を備えています。

レターボックス .... 4：3の画面の中に16：9の映像が含まれているもの。

レターボックス制御信号の入った映像　　自動的にズームで表示します

フルモード .... オリジナルの映像が16：9のもの。

フルモード制御信号の入った映像　　自動的にフルで表示します

D 識別対応 .... DVDプレーヤーなどをD端子ケーブルで接続したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。

「S2 対応」機能 .... DVDプレーヤーなどをS映像ケーブルで接続したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。あらかじめ設定を行ってください。（➡75 ページ）

ご注意

- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切り換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

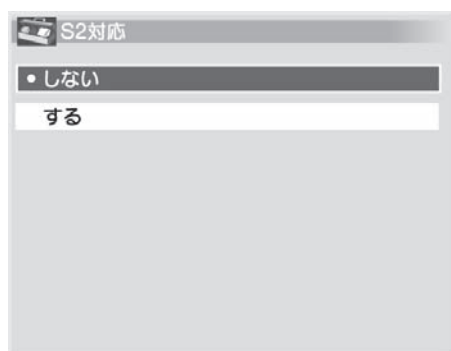
おしらせ

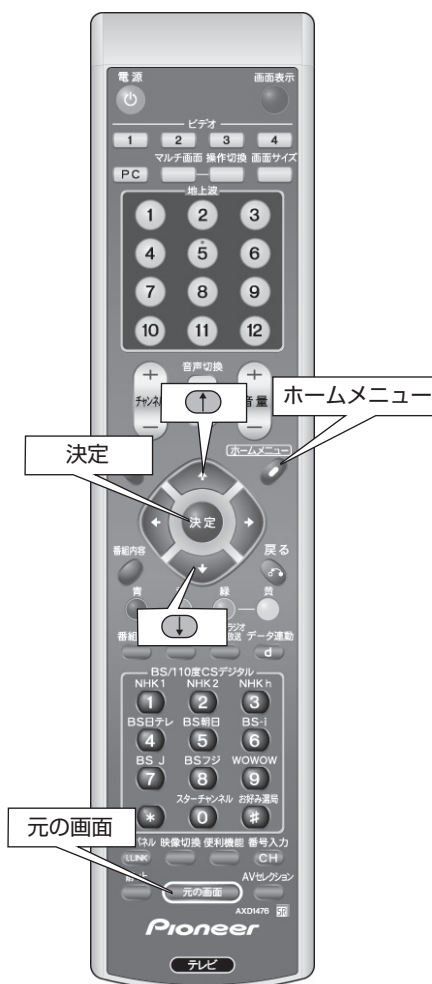
- 画面サイズ切り換え機能を使って、テレビ番組やビデオソフトなどをオリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切り換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整(➡76ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、番組やビデオソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- オリジナル映像のサイズ(シネマスコープサイズ・ビスタサイズなど)によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。

画面サイズを自動で切り換える（S2対応）

本機のビデオ1、2、4入力で使用されているS2映像端子の設定を行います。

1. ホームメニュー を押す
2. 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「S2対応」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

工場出荷時は、「する」に設定されています。

「する」........ フルモード制御信号やレターボックス制御信号を識別して、自動的に画面サイズを切り換えます。
「しない」.... 画面サイズは自動的に切り換わりません。お好みの画面サイズを手動でお選びください。

5. 設定を終了するには、元の画面 を押す

画面の位置を調整する

映画の字幕が画面に入りきらないときなどに、映像の位置調整を行います。

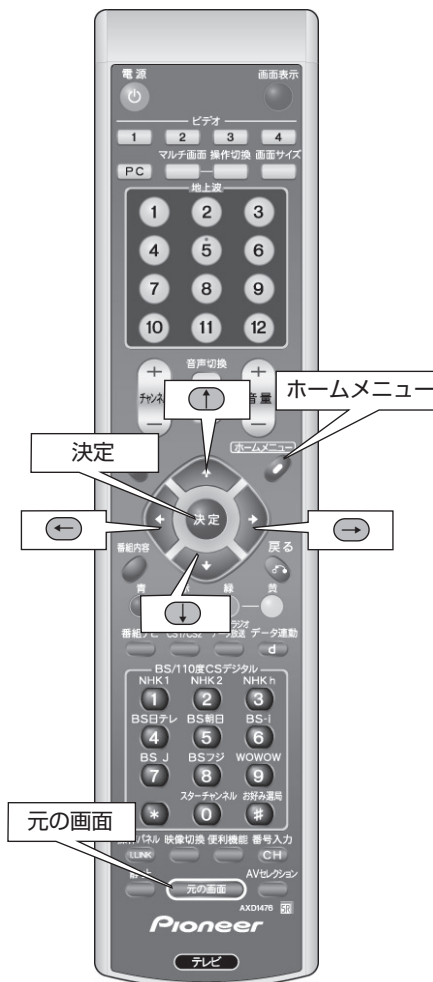
❶ ホームメニュー を押す

❷ 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

❸ 「画面位置の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

❹ 「水平・垂直位置」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

❺ ← → ↑ ↓ で、お好みの上下左右位置に調整する

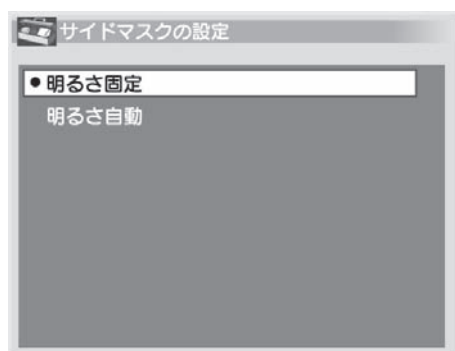
❻ 調整を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- 画面の位置を調整すると、画像や画面表示の一部が欠けることがあります。このようなときは、最適な画面位置に調整してください。
- 画面位置の調整を元に戻すときは、手順 ❹ で「初期状態に戻す」を選んで 決定 を押し、↑ ↓ で「する」を選んで 決定 を押します。

画面左右の明るさを変える（サイドマスクの設定）

画面サイズ4:3を選んでいるとき、画面左右に現れる灰色部分（サイドマスク）の明るさをお好みに合せて選ぶことができます。

1. ホームメニュー を押す
2. 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「サイドマスクの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. お好みの設定を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

工場出荷時は、「明るさ固定」に設定されています。

5. 設定を終了するには、元の画面 を押す

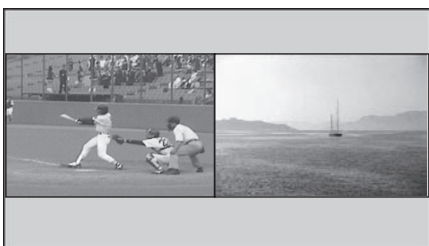
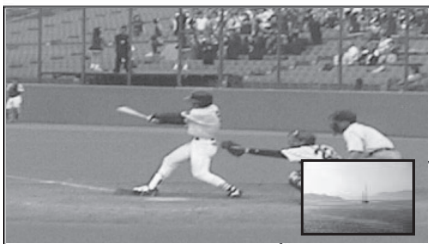
おしらせ
• 「明るさ自動」を選んでおくと、画面の残像や焼き付きの発生を軽減することができます。

マルチ画面にする

いろいろな放送局の画面を同時に表示させるマルチ画面表示ができます。

① マルチ画面 を押す

マルチ画面は、押すごとに次のように変わります。

1画面の状態から
- 1回押す .... 2画面表示（それまでご覧になっていた画面が左画面になります。）
- 続けてもう一度押す .... PinP表示
- 続けてもう一度押す 最初の1画面に戻る

2 画面表示

PinP 表示

■ マルチ画面の状態で、操作切換を押すと操作できる画面（音声付き）が切り換わります。操作切換を押すごとに「♪」記号が他の画面に移動し、音声が同時に切り換わります。

■ マルチ画面で表示した画面を1画面で見たい場合
1 操作切換で切り換えたい画面の音声を選択する
2 マルチ画面を押す
どのタイプのマルチ画面からでも、操作切換で選択した画面が、1画面で表示されます。

② マルチ画面を終了するには、元の画面を押す

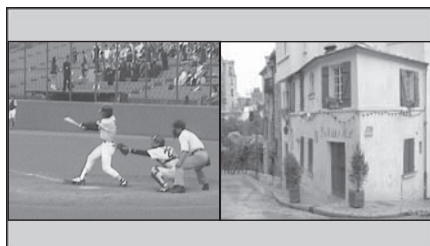
ご注意

- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切り換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 長時間マルチ表示したり、短時間でも毎日くり返しマルチ表示させると焼き付きによる残像がでることがあります。
- 次の場合にはマルチ画面はできません。
  ① 同じ入力の組み合わせ（例：衛星デジタル放送どうし、地上波テレビどうし、ビデオ1入力どうし等）
  ② 衛星デジタル放送とi.LINK再生
  ③ SDカードの画像
- 2画面表示にしたとき、映像によっては右側の画面が粗く見えることがあります。

画面を静止させる

見ている放送や映像を静止させることができます。
料理番組などのメモをとったりするときに便利です。

1 映像を静止させたいところで、静止 を押す

2画面状態となり、左の画面が通常の画面(動画)、右側の画面が静止画になります。

通常の画面　　静止画面

2 1画面に戻すには、もう1度 静止 を押す

元の画面 を押しても、1画面に戻ります。

ご注意

- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切り換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 長時間画面を静止したり、短時間でも毎日くり返し静止画を表示させると焼き付きによる残像がでることがあります。

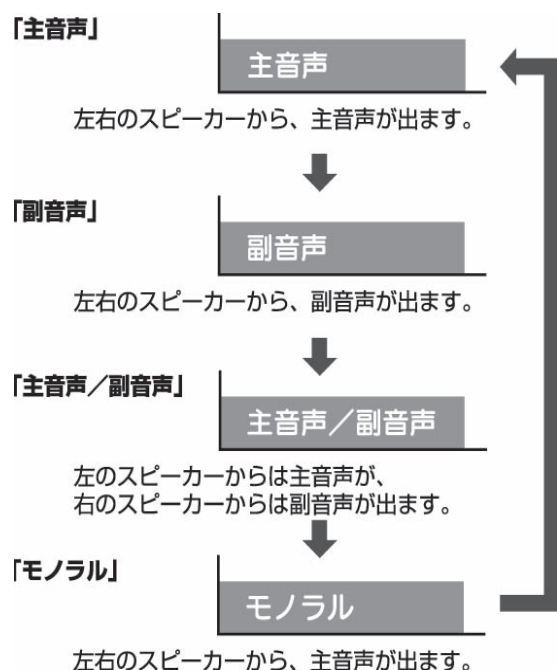
おしらせ

- 静止画表示になってから5分経過すると、静止画表示は解除され自動的に1画面に戻ります。
- 静止画表示中の画面サイズ切り換えはできません。

二重音声やステレオで聞く

二重音声放送やステレオ放送のとき、音声切換ボタンでお好みの音声に切り換えることができます。BS・110度CSデジタル放送受信中の場合は、102ページをご覧ください。

●二重音声放送の音声切換

(音声切換)を押すたびに、つぎのように切り換わります。

●ステレオ放送の音声切換

雑音が多い場合は、(音声切換)を押して「モノラル」にします。

- 音声切換で「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
- ステレオ放送で聴くときは、もう一度(音声切換)ボタンを押して「モノラル」以外に切り換えてください。

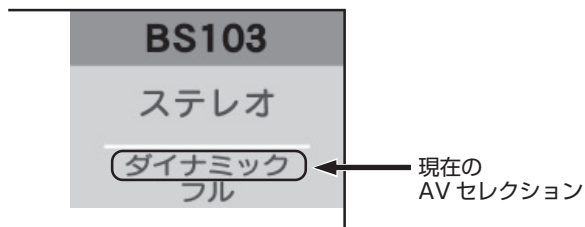
- 二重音声放送は、ニュースや洋画などの2ヶ国語放送で使われており、吹き替えの日本語(主音声)と英語(副音声)の2種類の音声が楽しめます。

映像を調整する

お好みの映像・音声にする（AV セレクション）

最適な映像・音声で楽しめるよう、５種類の設定をあらかじめご用意しています。

① AVセレクション を押す

画面上に現在の AV セレクションが表示されます。

② AVセレクション を押すごとにAVセレクションが切り換わる

お好みの AV セレクションを選びます。
テレビやビデオ入力など、各入力ごとに選ぶことができます。

標準→ダイナミック→映画→ゲーム→ AV メモリー
↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿｜

パソコン接続時の AV セレクションは、「標準」と「AV メモリー」の２種類になります。

工場出荷時は、「ダイナミック（テレビ、ビデオ入力）」または「標準（PC 入力）」に設定されています。
通常は「標準」でお使いになることをおすすめします。

「標準」.................. 標準的な画質・音質の設定になります。
「ダイナミック」... コントラストを最大限に引き上げた、メリハリの非常に強い映像にします。
「映画」.................. コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
「ゲーム」.............. テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。
「AV メモリー」..... 入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。

ご注意
• ２画面などのマルチ画面を表示しているときは、AV セレクション切り換えはできません。

おしらせ
• メニューの「映像の調整」から AV セレクションを選ぶこともできます。

お好みの画質にする

お好みの画質に調整することができます。

1 ホームメニュー を押す

2 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4 ← →でお好みの画質に調整する

- お好みの調整は、現在選ばれている「ＡＶセレクション」（例えば「映画」など）に対して行います。
- あらかじめお好みの調整をしたい「AVセレクション」に切り換えてください。（➡82 ページ）

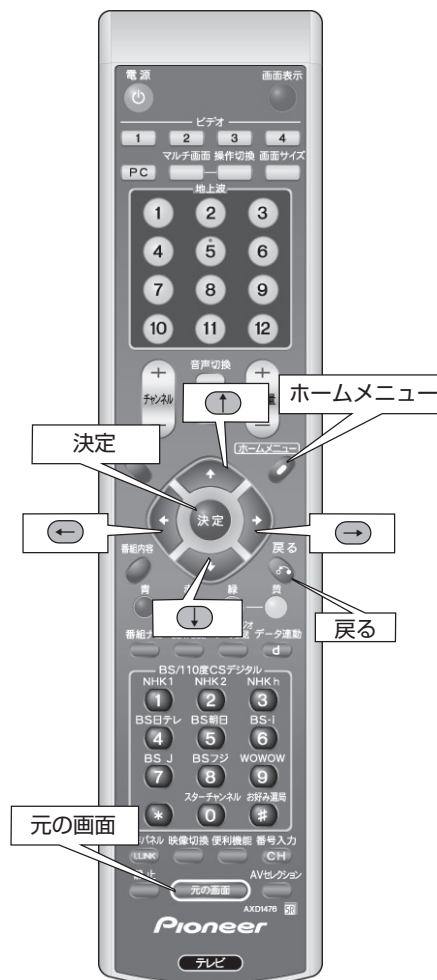
項目	← を押すと	→ を押すと
映像	明暗の差が弱くなる	明暗の差が強くなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	肌色が紫がかる	肌色が緑がかる
画質	やわらかな映像になる	くっきりした映像になる

（例）

他の項目を調整するときは、戻る を押して手順 3 4 をくり返します。

5 調整を終了するには、元の画面 を押す

ご注意
- AV セレクションで「ダイナミック」を選んでいるときは、調整できません。

おしらせ
- 手順 4 で ↑ や ↓ を押すと、調整項目を直接切り換えることができます。

DVD映像をさらに美しく（ピュアシネマ）

フィルム収録のDVD映像などを、さらに美しく再生することができます。

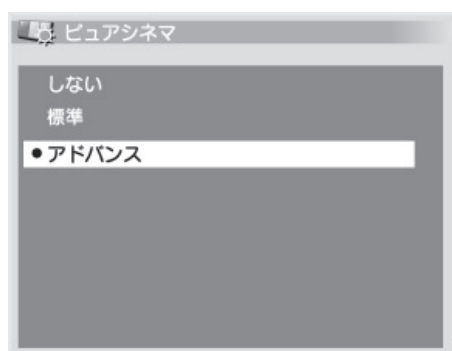
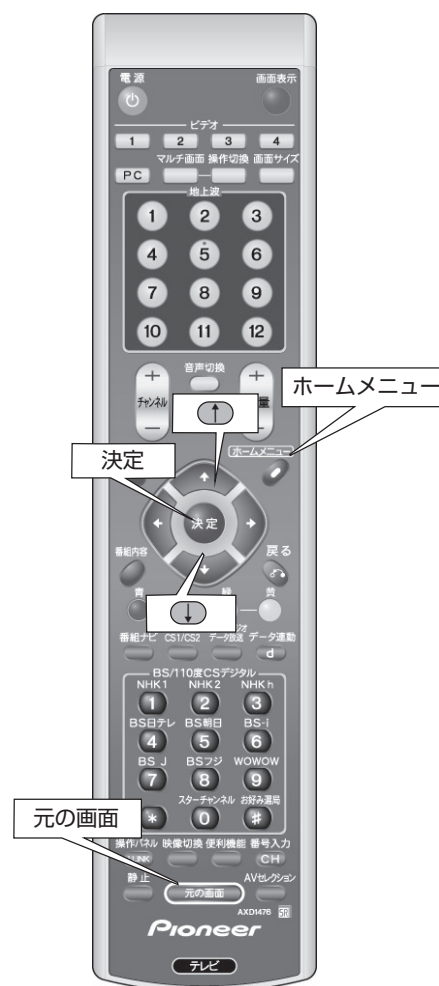
1 ホームメニュー を押す

2 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 「プロ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4 「ピュアシネマ」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

「ピュアシネマ」は、現在選ばれている「ＡＶセレクション」に対して設定します。

5 ↑ ↓ で好みの設定を選んで 決定 を押す

「しない」.......... ピュアシネマを使用しません。
「標準」.............. 映画など毎秒24コマで収録されているDVDソフトやハイビジョン映像を表示するとき、記録されている映像情報を自動的に検出し、フィルム本来の滑らかで美しい映像を楽しむことができます。
「アドバンス」.. 映画など毎秒24コマで収録されているDVDソフトを表示するとき、72Hzに変換し再生することにより、スクリーンで見るような滑らかな動きとフィルム映写の質感も楽しむことができます。

6 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- 525Pなどプログレッシブ信号が入力されているときは、「標準」は選べません。
- 「アドバンス」にすると、映像信号によっては画面がちらついたり乱れることがあります。このような場合は、設定を「しない」または「標準」にしてください。

お好みの白色にする（色温度）

お好みに応じて白色の色調を設定します。

1 ホームメニュー を押す

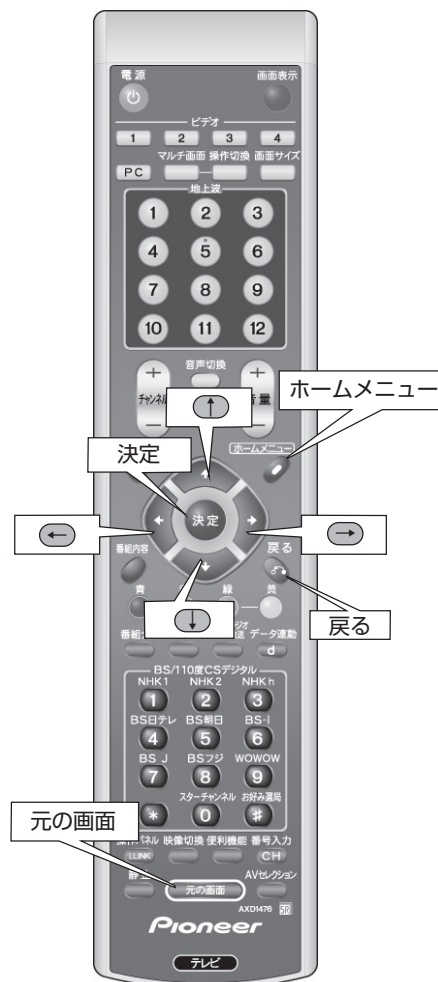
2 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 「プロ設定」を ↑ ↓ 選んで 決定 を押す

4 「色温度」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

「色温度」は、現在選ばれている「AV セレクション」に対して設定します。

5 ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

「高」.......... 青味が強い色調になります。
「高－中」..「高」と「中」の中間の色調です。
「中」.......... 自然な色調になります。
「中－低」..「中」と「低」の中間の色調です。
「低」.......... 赤味が強い色調になります。
「手動」...... お好みに調整した色温度になります。

■ 色温度を手動で調整したいとき

1 手順⑤で「手動」を選んで、決定を３秒間以上押し続けて手動調整画面を表示する
2 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで、決定 を押す
3 ← → でお好みの調整を行う
- 他の項目を調整するときは、戻る を押して手順２、３をくり返します。
- ↑ ↓ を押すと、調整項目を直接切り換えることができます。

4 調整を終了するときは、元の画面 を押す

項目		← を押すと	→ を押すと
R ドライブ	明るい部分の微調整です	赤が弱くなる	赤が強くなる
G ドライブ		緑が弱くなる	緑が強くなる
B ドライブ		青が弱くなる	青が強くなる
R カットオフ	暗い部分の微調整です	赤が弱くなる	赤が強くなる
G カットオフ		緑が弱くなる	緑が強くなる
B カットオフ		青が弱くなる	青が強くなる

MPEG映像をスッキリさせる（MPEG NR）

BS・110度CSデジタル放送やDVDなどの映像のざわつき（モスキートノイズ）を軽減し、スッキリさせる機能です。

1. ホームメニュー を押す
2. 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「プロ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「MPEG NR」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

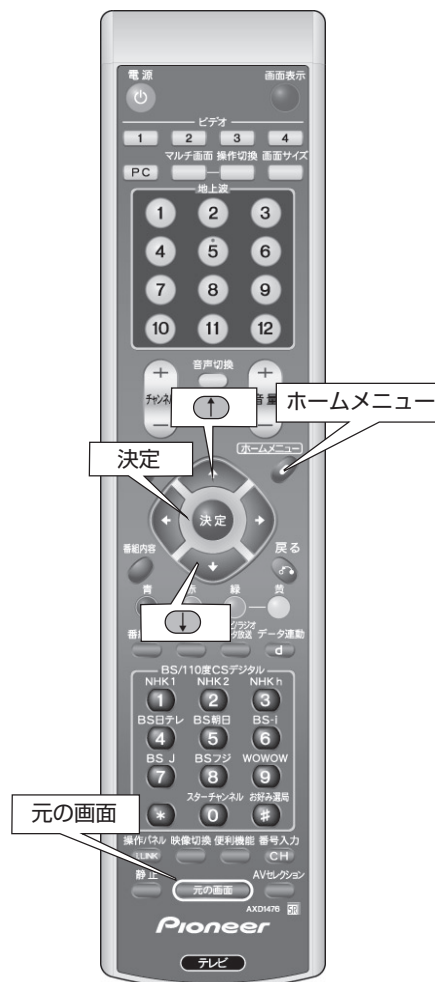
   「MPEG NR」は、現在選ばれている「AVセレクション」に対して設定します。

5. ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

「しない」.. MPEG NR を使用しません。
「強い」...... MPEG NR を強に設定します。
「中」.......... MPEG NR を中に設定します。
「弱い」...... MPEG NR を弱に設定します。

6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

映像を調整する

MPEG映像をスッキリさせる（MPEG NR）

映像をスッキリさせる（DNR）

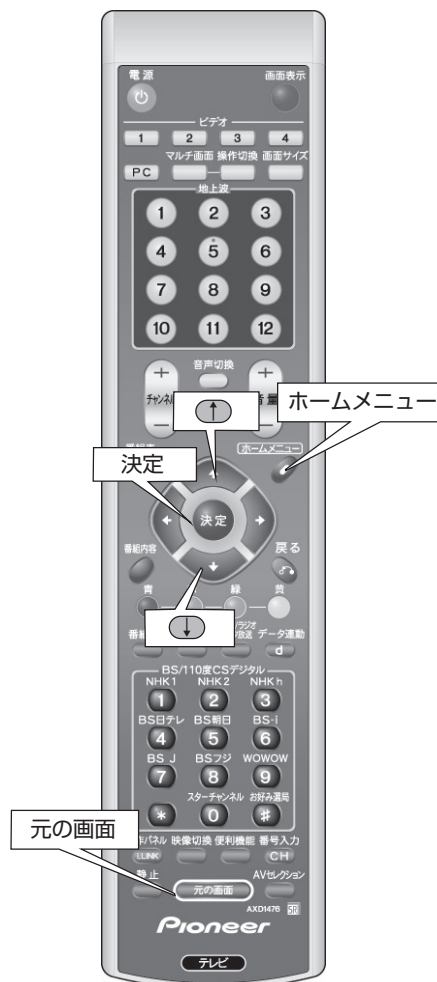
ビデオなどの映像のざらつきを軽減し、スッキリさせる機能です。

1. ホームメニューを押す
2. 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「プロ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「DNR」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

   「DNR」は、現在選ばれている「AVセレクション」に対して設定します。

5. ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

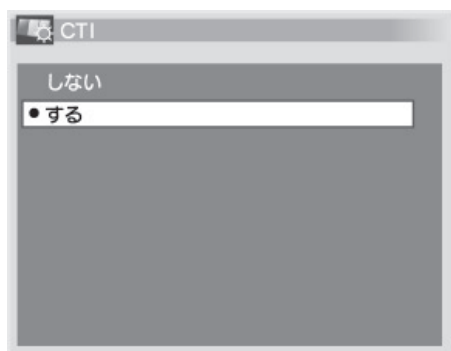
「しない」.. DNRを使用しません。
「強い」...... DNRを強に設定します。
「中」.......... DNRを中に設定します。
「弱い」...... DNRを弱に設定します。

6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

色の境目を際立たせる（CTI）

お好みに応じて色の輪郭を鮮明にします。（CTI:Color Transient Improvement）

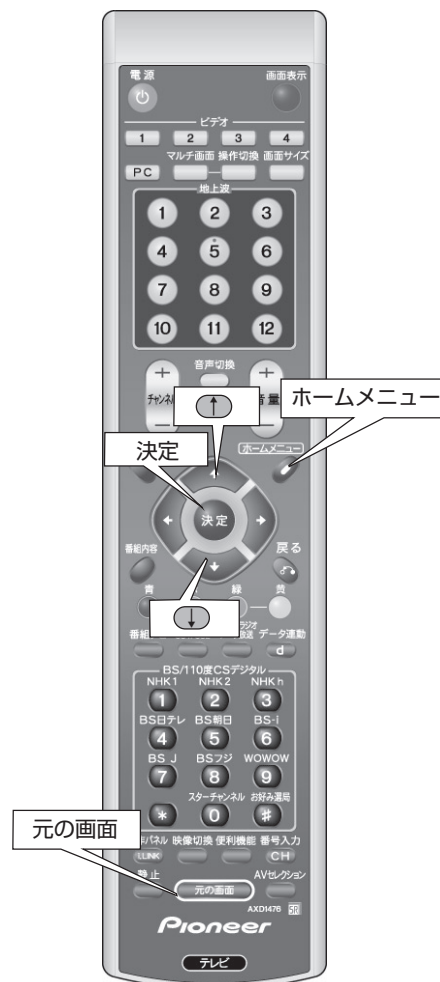
1. ホームメニュー を押す
2. 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「プロ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「CTI」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

   「CTI」は、現在選ばれている「AV セレクション」に対して設定します。

5. ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

「しない」.. CTI を使用しません。
「する」...... CTI を使用します。

6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

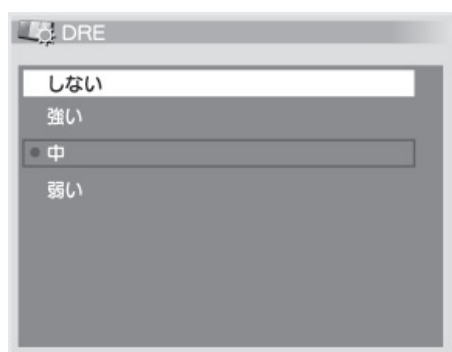
映像を調整する

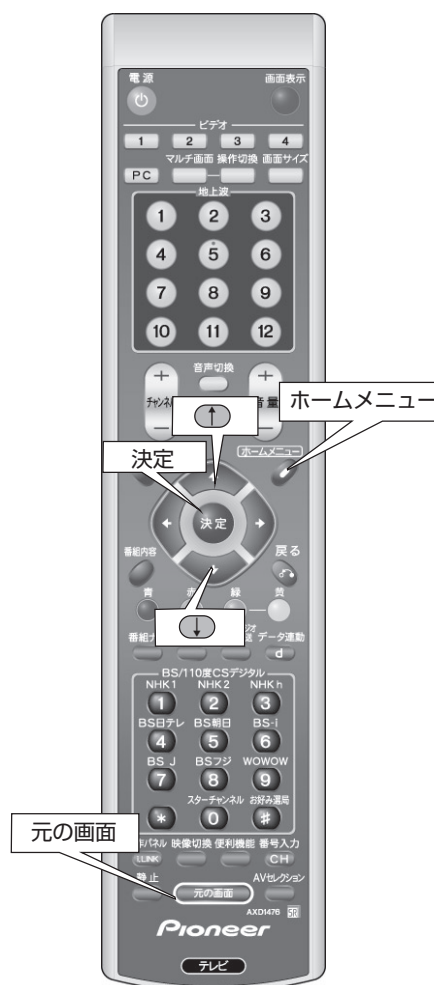
色の境目を際立たせる（CTI）

コントラスト感を強くする（DRE）

映像の明るい部分と暗い部分を強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。
（DRE:Dynamic Range Expander）

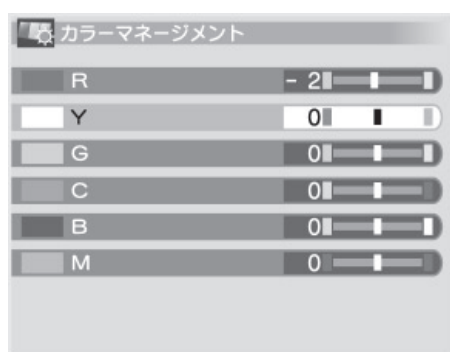
1. ホームメニュー を押す
2. 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「プロ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「DRE」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

   「DRE」は、現在選ばれている「AVセレクション」に対して設定します。

5. ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

「しない」.. DREを使用しません。
「強い」...... DREを強に設定します。
「中」.......... DREを中に設定します。
「弱い」...... DREを弱に設定します。

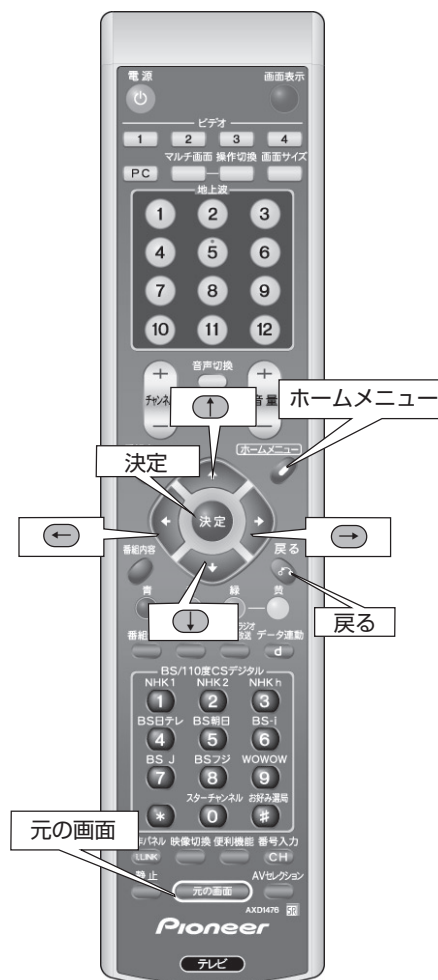
6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

自然な色再現にする（カラーマネージメント）

色相を系統色ごとにより細かく調整します。

1. ホームメニュー を押す
2. 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「プロ設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「カラーマネージメント」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
5. 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

6. ← → でお好みの画質に調整する

- お好みの調整は、現在選ばれている「AVセレクション」に対して行います。
- 他の項目を調整するときは、戻る を押して手順 5、6 をくり返します。

項目	← を押すと	→ を押すと
R（赤）	マゼンタに近づく	黄に近づく
Y（黄）	赤に近づく	緑に近づく
G（緑）	黄に近づく	シアンに近づく
C（シアン）	緑に近づく	青に近づく
B（青）	シアンに近づく	マゼンタに近づく
M（マゼンタ）	青に近づく	赤に近づく

7. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- 手順 6 で ↑ や ↓ を押すと、調整項目を直接切り換えることができます。

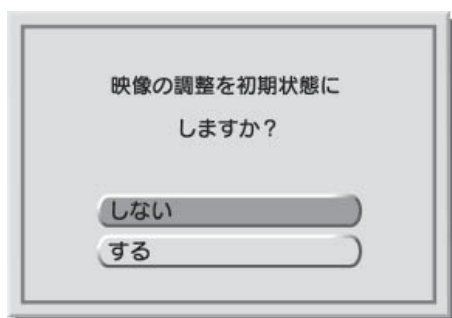
映像の調整を元に戻す

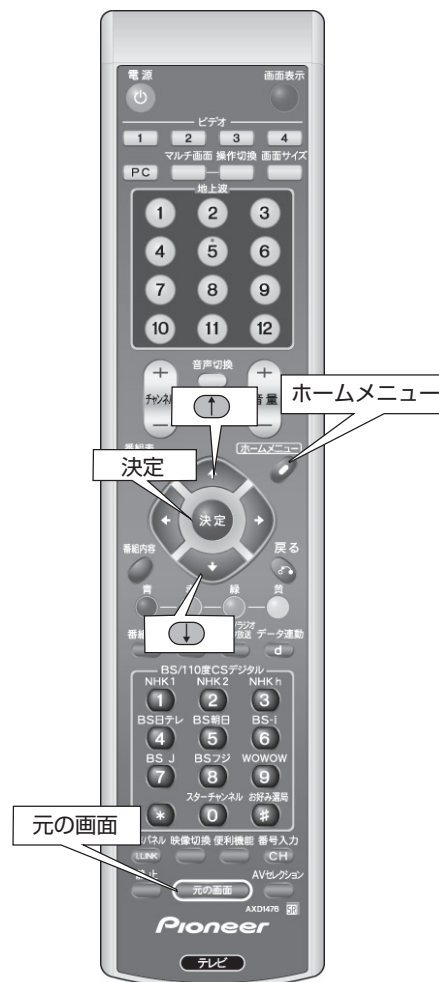
調整した映像を工場出荷時の初期状態に戻します。

1 ホームメニュー を押す

2 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

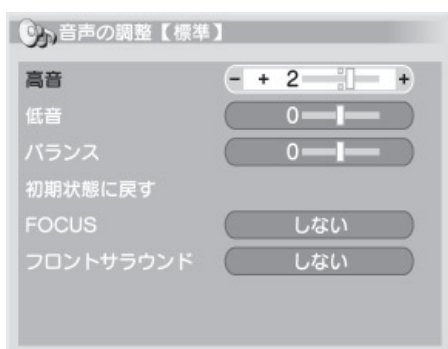
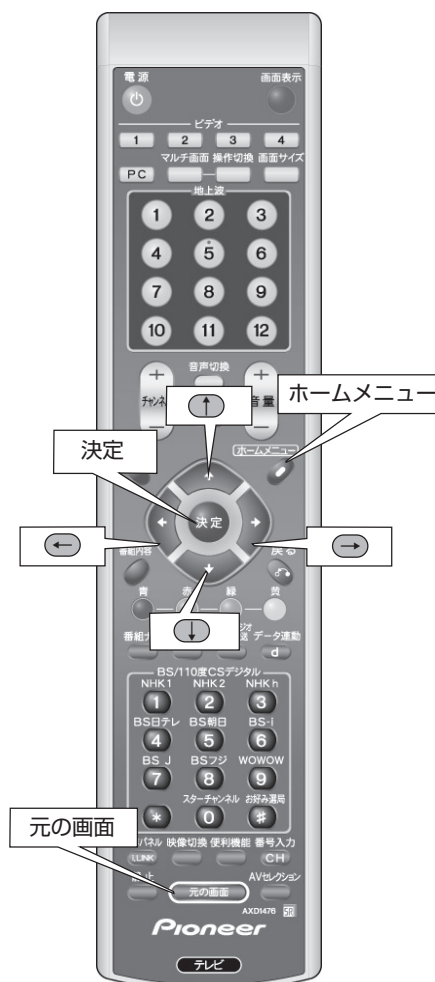
3 「初期状態に戻す」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4 ↑ ↓ で「する」を選んで 決定 を押す

「初期状態に戻す」は、現在選ばれている「AVセレクション」に関するすべての映像調整と設定項目を工場出荷時の初期状態に戻します。

5 設定を終了するには、元の画面 を押す

音声を調整する

お好みの音質にする

お好みの音質に調整することができます。

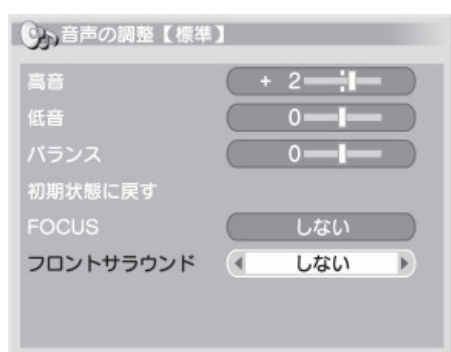
1. ホームメニュー を押す
2. 「音声の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで ← → で好みの音声に調整する
   - お好みの調整は、現在選ばれている「AVセレクション」（例えば「映画」など）に対して行います。
   - あらかじめお好みの調整をしたい「AVセレクション」に切り換えてください。（➡82 ページ）

「高音」.............................–7 ～ 0 ～ +7
「低音」.............................–7 ～ 0 ～ +7
「バランス」....................左 30 ～ 0 ～右 30

4. 調整を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- ヘッドホンの音質調整はできません。
- ヘッドホンを挿入したまま音質を調整すると、ヘッドホンを抜いたときのスピーカーからの音質が調整されます。
- 音声の調整を元に戻すときは、手順 3 で「初期状態に戻す」を選んで 決定 を押し、↑ ↓ で「する」を選んで 決定 を押します。

お好みの音場にする

FOCUS やフロントサラウンド効果を使うと、より自然で立体的な音声を再生できます。

1. ホームメニュー を押す
2. 「音声の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「FOCUS」または「フロントサラウンド」を選んで ← → を押し、お好みの効果を選ぶ

■ FOCUS

音が聞こえてくる方向（音像）を縦方向（上方向）に動かすとともに、音の輪郭を明確にする技術です。
「する」に設定すると、画面の中から音が聞こえてくるような効果が得られます。

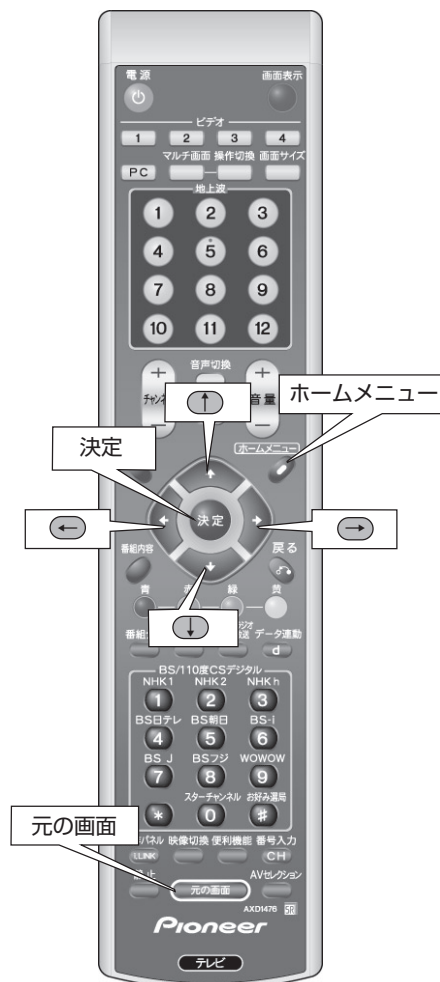
工場出荷時は、「しない」に設定されています。

「する」	FOCUS を使用します。
「しない」	FOCUS を使用しません。

■フロントサラウンド

工場出荷時は、「TruBass」に設定されています。

「SRS」	どの位置でも自然な立体音場を楽しむことができます。
「TruBass」	無理のない豊かな低音を再生します。
「TruBass+SRS」	TruBass と SRS の両方を使ったサラウンド効果が得られます。
「しない」	フロントサラウンドを使用しません。

4. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- 「FOCUS」を「する」、「フロントサラウンド」を「TruBass+SRS」にした状態を SRS WOW（ワウ）といいます。
- SRS WOW は、SRS Labs, Inc. の商標です。
- WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- 効果の度合いは信号によって異なります。
- ヘッドホンの音場設定はできません。
- ヘッドホンを挿入したまま音場を設定すると、ヘッドホンを抜いたときのスピーカーからの音場が設定されます。

BS･CSの機能

BS・110度CSデジタル放送を使いこなす

BS・110度CSデジタル放送の視聴制限

BS・110度CSデジタル放送の情報を見る（番組ナビーインフォメーション）

「番組ナビ」を使う

番組ナビは、BS・110度CSデジタル放送の情報を使いやすくまとめたものです。
BS・110度CSデジタル放送の各機能を使うときの窓口として便利です。

① 番組ナビを押す

番組ナビ画面が表示されます。

番組表
BS・110度CSデジタル放送の番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示して、選局や予約ができます。番組表はリモコンボタンでも直接呼び出せます。
(➡99ページ)

裏番組
放送中の衛星チャンネルの裏番組のタイトルが一覧表示されます。(➡100ページ)

ジャンル検索
お好きな番組をジャンル別に検索して選局や予約ができます。(➡101ページ)

プログラム予約
日時を指定して予約ができます。(➡126ページ)

予約一覧
予約した番組の確認・変更・取り消しができます。
(➡132ページ)

インフォメーション
電話回線やB-CASカードによる有料放送番組の購入などは、情報の管理が必要です。これらの情報を管理する機能の入口になります。(➡113ページ)

おしらせ
- 番組ナビの各項目は、BSのときはBS、CS1のときはCS1、CS2のときはCS2の各画面が表示されます。ただし、予約一覧はBS、CS1、CS2共通です。

番組表を見る（番組表）

BS･110度CSデジタル放送の番組を、新聞のテレビ欄のように表示できます。

① 番組表 を押す

（例）BSデジタル放送を見ているときに「番組表」を押すとBSデジタル放送の番組表を表示します。

■現在放送している番組を選んだとき

決定を押すと、番組を見るか、予約するかの選択画面になります。（予約➡126ページ）

■将来の番組を選んだとき

決定を押すと、「予約設定」画面になります。（➡126ページ）

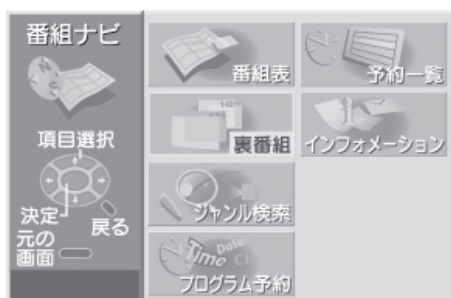
おしらせ

- 番組表を表示中にBS/CS1/CS2を押すと、選んだ放送の番組表に切り換わります。
- 本機の電源を入れた直後は、番組表や番組内容表示、番組ナビなどの機能が動くまでに約10秒程かかる場合があります。
- 放送局の都合などにより、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。
- 番組間の区切りが赤線のところには、画面上に表示しきれない放送時間の短い番組が存在します。← → ↑ ↓を使って赤線にカーソルを移動させると、番組名が表示されます。
- BS/110度CSデジタルチャンネルの⓪～⑨を押したり、#お好み選局でチャンネルを選ぶと、プリセットされているチャンネルが中央に表示されます。また、CH番号入力を押して⓪～⑨でチャンネル番号を入力すると、指定したチャンネルが中央に表示されます。ただし、指定したチャンネルがない場合は、指定したチャンネルに近い番号のチャンネルが中央に表示されます。
- 「選局対象」の設定により、表示される内容が変わります。（➡106ページ）
- 番組表を表示中にリモコンのテレビ/ラジオ/データ放送を押すと、その選局対象だけの番組表を表示することができます。
- 便利機能 マークは便利機能が使用できる画面です。（➡108ページ）

裏番組を見る（番組ナビ－裏番組）

見ている番組の裏番組をすばやく探すことができます。

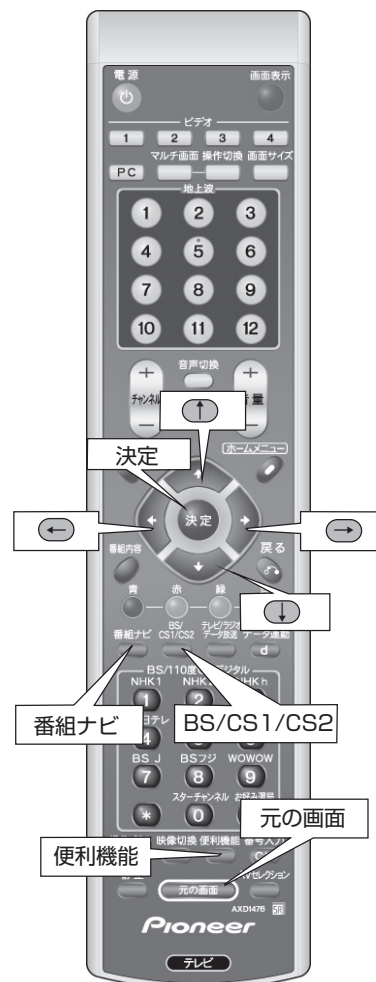
1. 番組ナビ を押す

2. 「裏番組」を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す

3. 表示している裏番組の中から、見たい裏番組を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

BS/CS1/CS2 を押すと、選んだ放送の裏番組表に切り換わります。

選んだ番組により、以降の操作が異なります。
- 有料番組を選んだとき（➡107 ページ）
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき（➡112 ページ）

4. テレビ画面に戻るには、元の画面 を押す

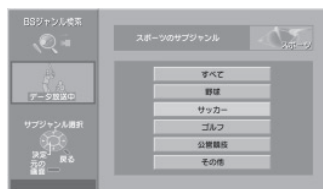
BS・CSの機能
裏番組を見る（番組ナビ‐裏番組）

おしらせ
- BS を見ているときは BS、CS1 のときは CS1、CS2 のときは CS2 の裏番組表が表示されます。
- マークは 便利機能 が使用できる画面です。（➡108 ページ）

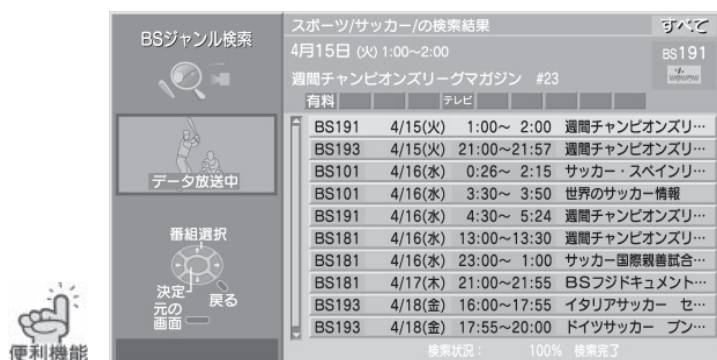
番組をジャンル別に探す（番組ナビ－ジャンル検索）

番組のジャンル別情報を一覧表示します。

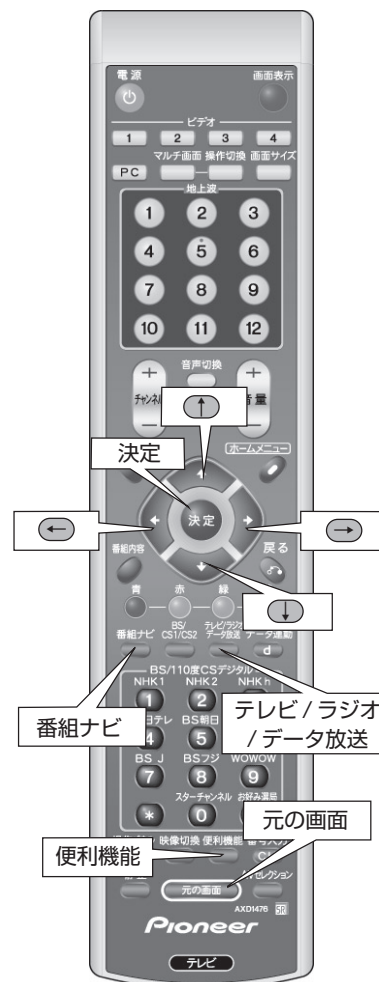
1. 番組ナビ を押す
2. 「ジャンル検索」を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す
3. 見たいジャンルの項目を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す

「スポーツ」、「教養・情報」、「映画」、「その他」を選んだ場合は、さらにジャンル分けされたサブジャンル項目が表示されます。

ジャンル選択画面

サブジャンル選択画面

4. 見たい番組を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

■選んだ番組により、以降の操作が異なります。

- 現在放送中の番組を選んだとき
  番組を見るか予約するかの選択画面になります。
  (➡予約 126 ページ)
- 放送前の番組を選んだ場合は、「予約設定」画面になります。(➡126 ページ)
- 有料放送を選んだとき (➡107 ページ)
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき
  (➡112 ページ)

5. テレビ画面に戻るには、元の画面 を押す

おしらせ

- BSを見ているときにはBS、CS1はCS1、CS2はCS2の番組が検索できます。
- スクロールバーは「検索結果」の件数が多く、1ページを超えているときに表示します。隠れている内容は ↑ および ↓ で行送り（スクロール）して見ることができます。
- 「サブジャンル」画面で、項目をすべて検索したい場合は、「すべて」を選んで 決定 を押してください。
- 検索が終了すると、「検索状況：100%検索完了」と表示されます。ジャンルによっては検索に時間がかかる場合があります（検索中でも、すでに表示されている番組の選局や予約は可能です）。
- ジャンル検索結果の一覧画面で、リモコンの テレビ/ラジオ/データ放送 を押すと、その選局対象だけで再検索することができます。
- 便利機能 マークは 便利機能 が使用できる画面です。(➡108 ページ)

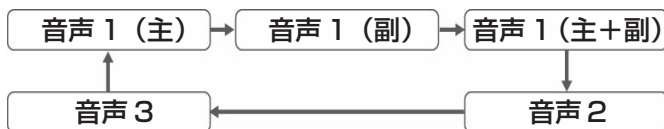
音声と映像を切り換える

BS･110度CSデジタル放送では､複数の映像や音声などを同じチャンネルで放送しているものがあります。音声多重、2ヶ国語放送、主番組の映像、副番組の映像などを選ぶことができます。

● 音声切換 を押して音声信号を切り換える

番組に複数の音声があるとき、切り換えができます。

- 画面右上に「音声1」→「音声2」→「音声3」の順で表示され、切り換えができます。

- 音声１が二重音声の場合は､｢音声１（主)｣→｢音声１（副)｣→｢音声１（主+副)｣→｢音声2｣→｢音声3｣の順で切り換わります。

● 映像切換 を押して映像信号を切り換える

番組に複数の映像があるとき、切り換えができます。

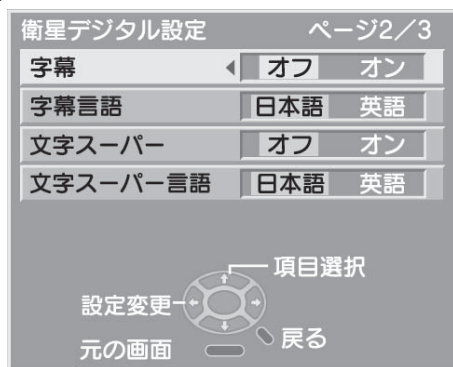
- 画面右上に「映像1」→「映像2」→「映像3」の順で表示され、切り換えができます。

- マルチビュー放送の場合は、主番組、副番組の切り換えができます。副番組は最大で２つあります。また、主番組、副番組に複数の映像がある場合も映像の切り換えができます。

おしらせ
- 切り換えできる音声信号は番組によって異なります。また、切り換えた音声信号が有料の場合もあります。

字幕や文字スーパーを見る（衛星デジタル設定）

字幕のある番組や文字スーパーのある番組では、表示内容を選んで表示できます。

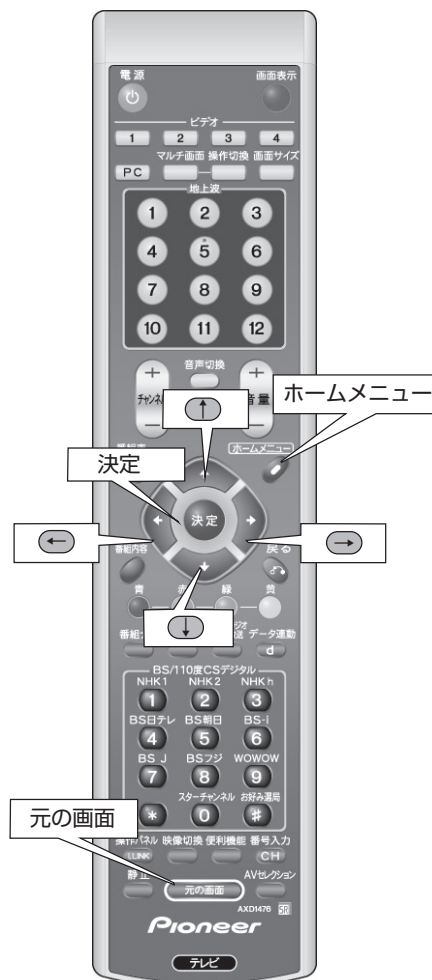
1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「衛星デジタル設定」の2/3画面にある「字幕」「字幕言語」「文字スーパー」「文字スーパー言語」を ↑ ↓ で選んで、← → で設定する

字幕
「オン」……. 字幕を表示します。
「オフ」……. 字幕を表示しません。ただし、放送により強制的に字幕が表示される場合は、この設定は無効になります。
工場出荷時は、「オフ」に設定されています。

字幕言語
「日本語」…. 日本語の字幕を表示します。
「英語」……. 英語の字幕を表示します。
工場出荷時は、「日本語」に設定されています。

文字スーパー
文字スーパーは視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面上に表示します。
「オン」……. 文字スーパーを表示します。
「オフ」……. 文字スーパーを表示しません。ただし、放送により強制的に文字スーパーが表示される場合は、この設定は無効になります。
工場出荷時は、「オフ」に設定されています。

文字スーパー言語
「日本語」…. 日本語の文字スーパーを表示します。
「英語」……. 英語の 文字スーパーを表示します。
工場出荷時は、「日本語」に設定されています。

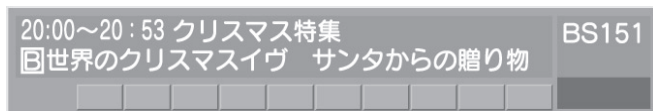
5. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
- 送られてくる情報によっては設定が無効になる場合があります。
- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成になっています。↑ ↓ で項目を送っていくと、ページが変わります。

番組の詳細を表示する（画面表示、番組内容）

BS・110度CSデジタル放送の番組データを利用し、見ている番組の画面上に、番組のタイトルや放送時間などの情報を表示します。

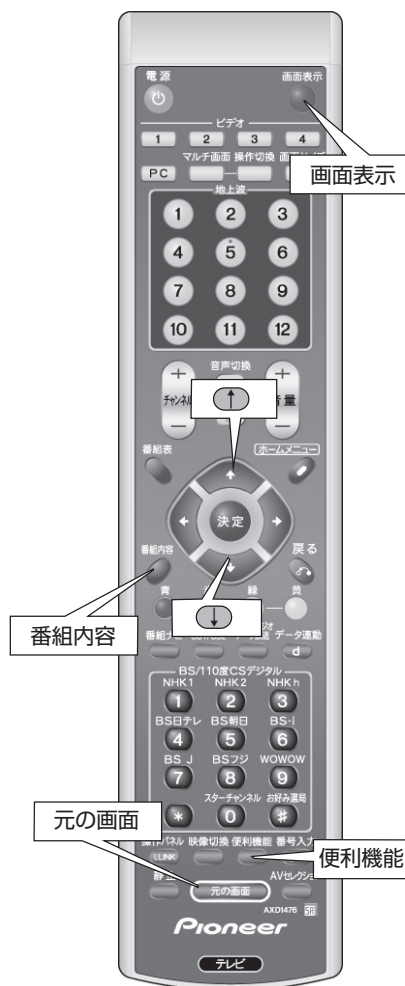
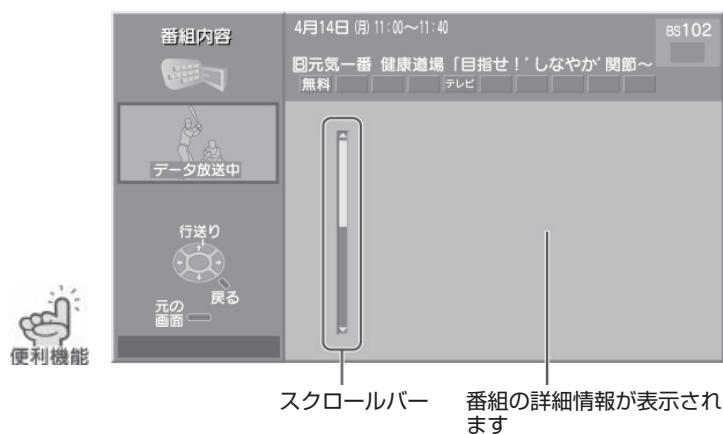
● BS・110度CSデジタル放送視聴中に、画面表示を押す

約３秒間番組内容を表示し、自動的に元の画面に戻ります。

20:00～20：53 クリスマス特集
B世界のクリスマスイヴ　サンタからの贈り物　BS151

● BS・110度CSデジタル放送視聴中に、番組内容を押す

- 番組の詳細情報が表示されます。
- 番組内容は、下記の場合にも確認できます。
  番組表表示中（➡99ページ）
  裏番組一覧表示中（➡100ページ）
  各検索結果一覧表示中（➡101ページ）
  予約一覧表示中（プログラム予約は除く）
- 元の画面を押すとテレビ画面に戻ります

（例）番組表表示中の番組内容表示

スクロールバー　番組の詳細情報が表示されます

おしらせ

- 現在時刻の表示は衛星電波で送られてきます。本機で時刻設定をする必要はありません。
- 「次の番組：」の表示は番組開始の３分前に表示されます。
- 「視聴可能年齢」に設定した視聴制限の対象になる番組を選んだときは、暗証番号の入力が必要です（➡109ページ）。暗証番号入力後は、もう１度 番組内容 を押してください。
- スクロールバーは「番組内容」の情報が多く、1ページを超えているときに表示します。隠れている情報は ↑ および ↓ で行送り（スクロール）して見ることができます。
- マークは、便利機能 が使用できる画面です。(➡108ページ)

好きなチャンネルを登録する（お好み設定）

見ているチャンネルを、(#お好み選局)を押したときに画面に表示されるお好み選局画面に登録することができます。

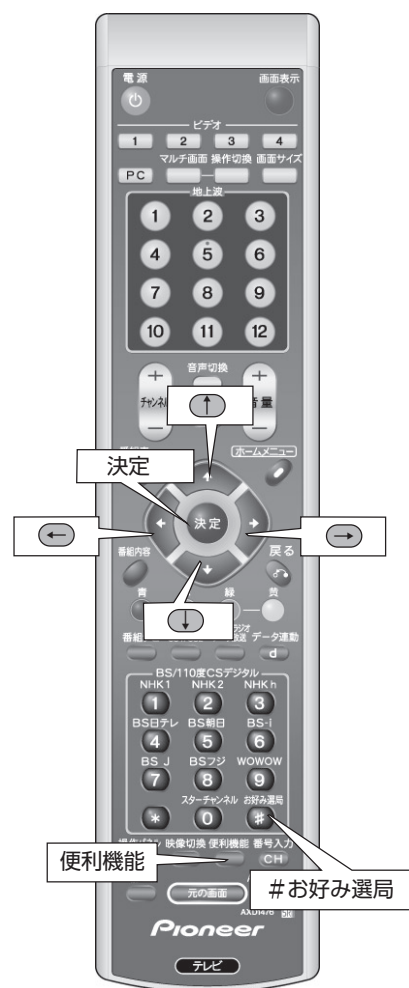
1 設定したいBS・110度CSデジタル放送の受信中に、(# お好み選局)を約3秒間押し続ける

「お好み設定」画面になります。

受信中のチャンネルを表示します

2 登録したい場所を(↑)(↓)(←)(→)で選んで(決定)を押す

設定が終了すると「お好み設定」画面が消えます。

488 チャンネルをページ 2/3 の ⑤ へ登録したとき

おしらせ

- ページ1/3に登録したチャンネルは、リモコンのBS/110度CSデジタルチャンネルボタンで直接選局できます。
- 「お好み設定」画面では、BS、CS1、CS2 にそれぞれ 30 ずつのチャンネルを登録できます。
- 「お好み設定」画面に設定したチャンネルを削除するときは、設定したチャンネルを選んでから、(# お好み選局)を 1 秒間以上押し続けてください。
- マークは (便利機能) が使用できる画面です。(➔108 ページ)

選局対象を絞り込む（衛星デジタル設定－選局対象）

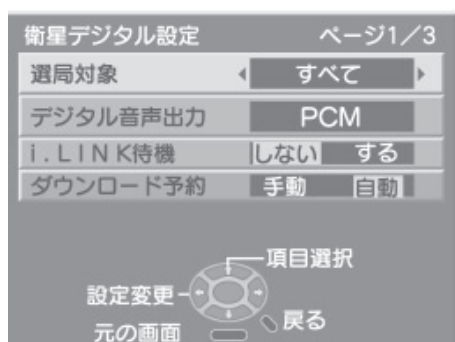
チャンネル+／ー による順送り選局や「番組表」「裏番組」などで表示させるBS・110度CSデジタル放送のチャンネルを指定することができます。

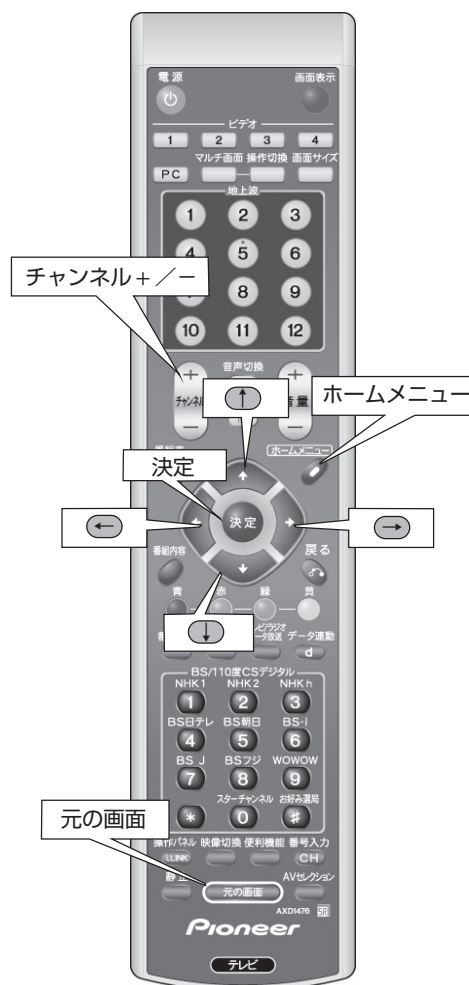
1 ホームメニュー を押す

2 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4 「衛星デジタル設定」の1/3画面にある「選局対象」を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

工場出荷時は「すべて」に設定されています。

「すべて」......... 現在放送されているすべてのチャンネルを順送りに選局したり表示させることができます。
「お好み」......... リモコンのBS/110度CSデジタルのチャンネルボタンに設定しているプリセットチャンネルと、「お好み設定」で設定した11～30までのチャンネルを選局したり、表示させることができます。
「テレビ」......... テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ順送りに選局したり表示させることができます。
「ラジオ」......... ラジオ放送（音声）のチャンネルのみ順送りに選局したり表示させることができます。
「データ」......... データ放送のチャンネルのみ順送りに選局したり表示させることができます。

5 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
• 設定した項目に該当するチャンネルが1つしかない場合はチャンネル＋／ーで切り換えできません。
• 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成になっています。↑ ↓で項目を送っていくと、ページが変わります。

BS・CSの機能

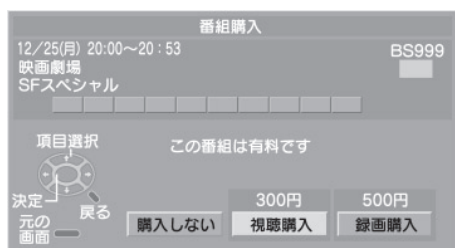
選局対象を絞り込む（衛星デジタル設定－選局対象）

有料番組を見る（ペイ・パー・ビュー）

衛星デジタル放送には無料と有料のものがあります。無料チャンネルと契約チャンネルについては選局をするだけで視聴できますが、有料番組は料金のお支払いが発生します。番組単位で購入できるペイ・パー・ビュー番組を視聴または録画したいときには、画面上で番組の購入操作が必要になります。

① ペイ・パー・ビューの番組を選ぶ

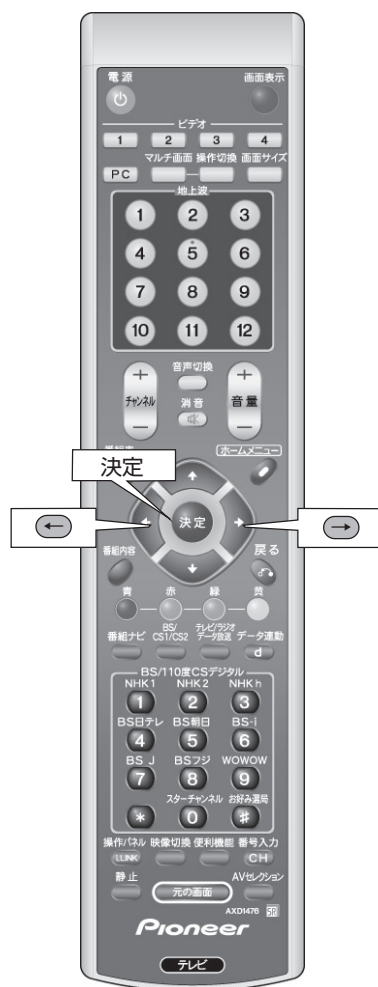
番組によってはプレビュー（選局した有料番組を購入前にわずかな時間視聴できるサービスのこと）が表示されます。プレビュー中に決定を押すと購入画面が表示されます。

② 「番組購入」画面で、「購入する」を ← → で選んで 決定 を押す

「購入する」……番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードのかかっている番組は録画できません。
「購入しない」…番組を購入しません。

追加料金を支払うと、視聴できる場合や、録画できる場合に次の項目が表示されます。

「視聴購入」……番組を購入したことになり、視聴できますが、コピーガードがかかっているために録画できません。
「録画購入」……番組を購入したことになり視聴できます。録画したいときに選んでください。

■ コピーガードについて

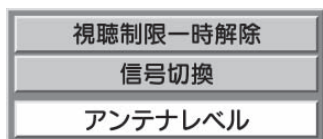
衛星デジタル放送の中には、ビデオデッキなどで録画できないようにコピーガードをかけている番組があります。
コピーガードがかかっている番組は、正常に録画することができません。
コピーガードを解除できない番組は「録画購入」の選択項目が表示されません。

おしらせ

- 「番組購入」画面の表示は、番組により異なります。例えば、「購入する」が表示されているときは、「視聴購入」「録画購入」は表示されません。
- 「購入する」「視聴購入」「録画購入」の項目に表示される金額は、番組の購入金額です。
- 購入した番組を視聴していても他のチャンネルに切り換えたり、再度購入した番組のチャンネルに戻すことができます。ただし有料番組は、購入操作が終了した時点で購入したことになり、実際には番組を視聴していなくても料金が請求されます。
- 視聴制限の対象になる番組を選局すると、暗証番号の入力の画面が表示されます。視聴制限の解除については112ページをご覧ください。
- 購入した番組を録画するには、録画機器側の録画操作が必要です。
- 番組に追加購入の必要な信号がある場合は、追加購入の画面が表示されます。画面の説明に従って操作を行ってください。

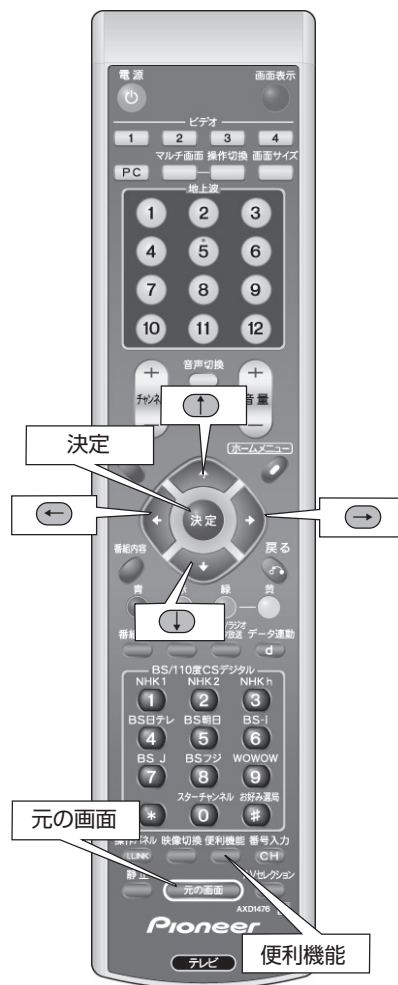
便利機能について

この取扱説明書で 便利機能 マークが付いている所は、画面上で(便利機能)を使用できることを表しています。この機能は、BS・110度CSデジタル放送を視聴しているとき、その放送に関わる便利な機能を表示してくれます。

① BS・110度CSデジタル放送視聴中に(便利機能)を押す

便利機能メニューが表示されます。

② 表示された便利機能メニューから(↑)(↓)(←)(→)で項目を選んで(決定)を押す

（例）「アンテナレベル」を押すと下記画面が表示されます。

③ 終了するには、(元の画面)を押す

おしらせ

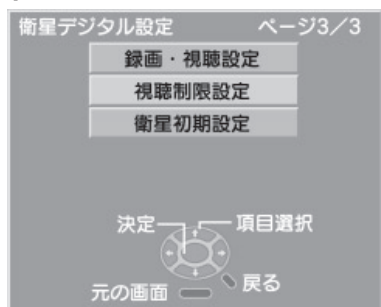
- (便利機能)を押しても、便利機能を終了することができます。
- 放送によって出てくる項目が変わります。

お願い

- 便利機能メニューはさまざまな画面から利用できますが、この取扱説明書に記載している操作方法を十分におぼえてから便利機能メニューを活用してください。

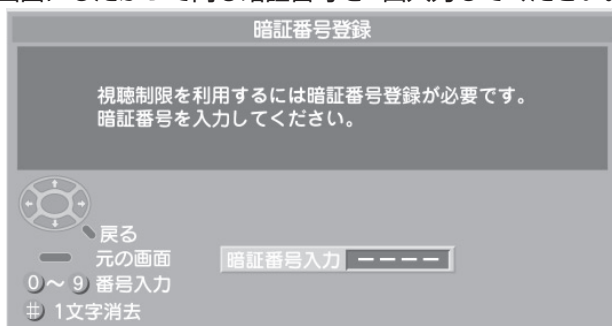
視聴制限を設定する（視聴制限設定）

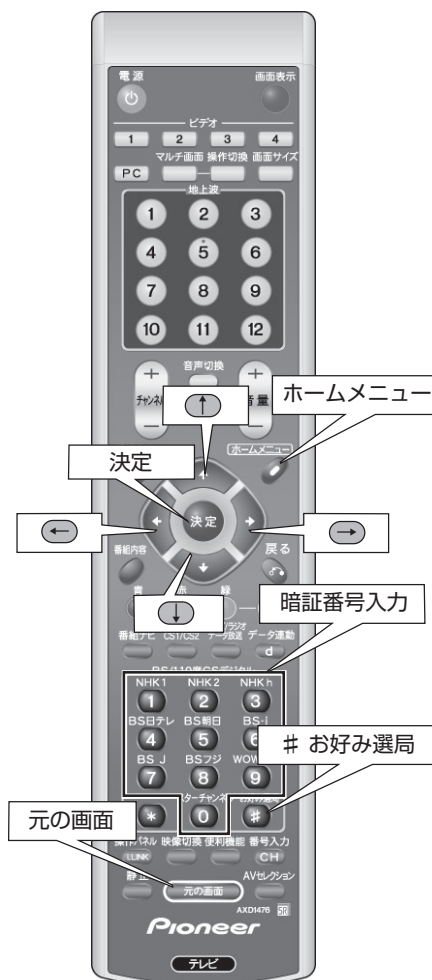
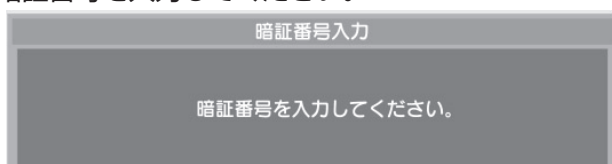
番組によっては視聴できる対象年齢を制限しているものがあります（視聴可能年齢）。また、有料番組を購入する際に設定している限度額より高額であれば、暗証番号入力がない限り視聴（購入）できないようにします。

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「衛星デジタル設定」の3/3画面にある「視聴制限設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

5. リモコンのBS/110度CSデジタルの 0 ～ 9 で暗証番号（4桁）を入力（登録）する

＃お好み選局 を押すごとに最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

■初めての場合は

「暗証番号登録」画面が表示されます。
画面にしたがって同じ暗証番号を2回入力してください。

■すでに暗証番号が登録されている場合は

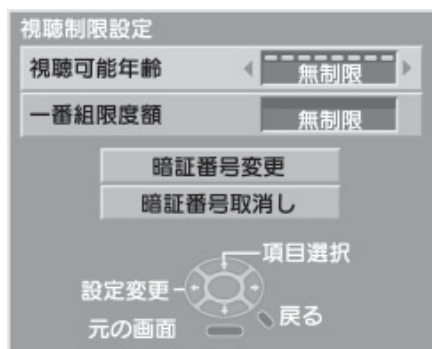
「暗証番号入力」画面が表示されます。
暗証番号を入力してください。

おしらせ

- 暗証番号は忘れないようにメモしておいてください。

- **暗証番号を忘れたときは**
  受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOWやスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。暗証番号の消去には手数料がかかります。
  （2003年8月現在）

視聴制限を設定する（視聴制限設定）（つづき）

6 「視聴可能年齢」を ↑ ↓ で選んで、視聴可能年齢を ← → で選ぶ

工場出荷時は、「無制限」（制限がない状態）に設定されています。

7 「一番組限度額」を ↑ ↓ で選んで、一番組限度額を ← → で選ぶ

工場出荷時は、「無制限」（制限がない状態）に設定されています。

8 設定を終了するには、元の画面を押す

おしらせ

- 暗証番号を設定すると、視聴制限の対象になる番組では、番組名が「･･･」表示され、暗証番号を入力しない限り、詳細情報も見ることができません。
- 暗証番号の数字は、画面には表示されません。（＊＊＊＊と表示されます。）
- 暗証番号入力（登録）画面で暗証番号を入力せずに数秒経過すると暗証番号入力（登録）画面が消えます。
- 「衛星デジタル設定」画面は３ページ構成になっています。↑ ↓で項目を送っていくと、ページが変わります。

視聴可能年齢の設定は ...

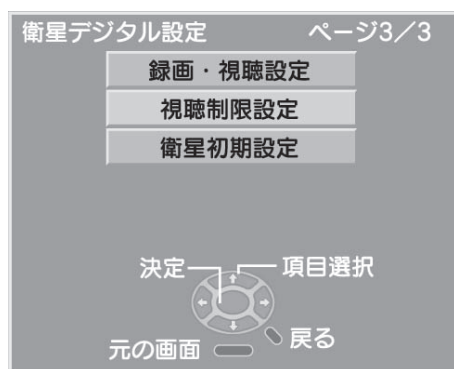
- 「4才」から「19才」までの１才ずつの設定と「無制限」の設定ができます。
- 「無制限」に設定すると、番組の対象年齢に関係なく番組が視聴できます。
- 「視聴可能年齢」で設定した年齢より、視聴年齢制限の高い番組を視聴するときには、視聴制限が一時解除されていない限り、暗証番号の入力が必要となります。

一番組限度額の設定は ...

- 「100円」、「500円」、「1000円」、「1500円」、「2000円」、「2500円」、「3000円」、「無制限」の設定ができます。
- 「無制限」に設定すると、一番組の料金に関係なく番組を購入できます。
- 「一番組限度額」で設定した金額より高額の番組を視聴するときには、暗証番号の入力が必要になります。

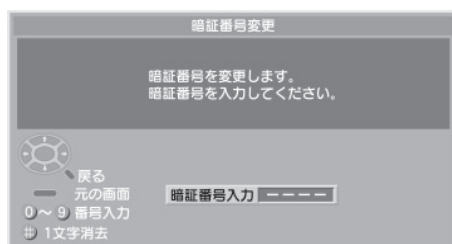
暗証番号の変更・取り消し

暗証番号の変更や取り消しを行います。

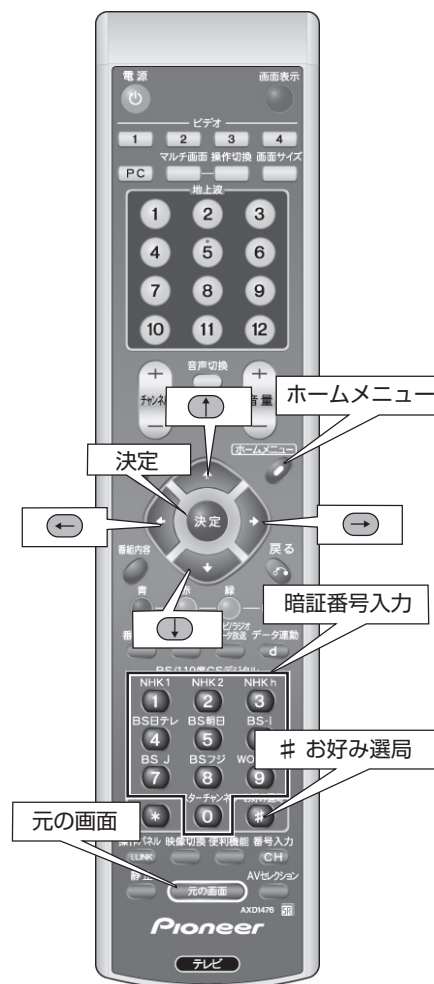
1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「衛星デジタル設定」の3/3画面にある「視聴制限設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

5. BS/110度CSデジタルの 0 ～ 9 で暗証番号（4桁）を入力する

■暗証番号を変更するときは

- 「暗証番号変更」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
- BS/110度CSデジタルの 0 ～ 9 で暗証番号（4桁）を変更する
- ＃お好み選局 を押すごとに最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

画面にしたがって同じ暗証番号を2回入力してください。

■暗証番号を取り消すときは

- 「暗証番号取消し」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
- 「はい」を ← → で選んで 決定 を押す

6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- 暗証番号の数字は、画面には表示されません。（＊＊＊＊と表示されます。）
- 暗証番号取り消し後、もう一度視聴制限を有効にするときは、暗証番号の登録が必要です。再度、「視聴制限設定」を選んで、暗証番号を登録してください。
- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成になっています。↑ ↓ で項目を送っていくと、ページが変わります。
- ＃お好み選局 を押すごとに、最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

視聴制限を一時的に解除する

お客様が視聴可能年齢や一番組限度額を設定しているとき、視聴制限の対象になる番組を選ぶと、「暗証番号入力」画面が表示されます。

1 「暗証番号入力」画面が表示されているとき、BS/110度CSデジタルの 0 〜 9 で暗証番号（4桁）を入力する

- ＃お好み選局 を押すごとに最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

- 視聴制限が一時的に解除されます。
- 視聴制限を一時解除すると、本機の電源を切（またはスタンバイ状態）にするまで解除状態が続きます。
  ただし、一番組限度額の対象になる番組を選んだときは、視聴制限を解除しても、必ず「暗証番号入力」画面が表示されます。

- 暗証番号を間違えると、再度「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号を確認して、正しい番号を入力してください。

放送局からのメールを見る（インフォメーション－メール）

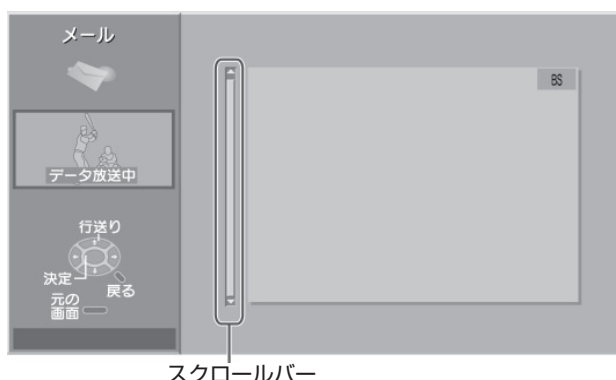
このメールはインターネットのメールではありません。衛星デジタル放送受信者（お客様）に送られるメッセージです。メールの内容は電話回線の通信異常や予約番組の無効内容、機能向上のためのダウンロード情報などもありますので、届いたメールの内容を必ず確認してください。

1. 番組ナビ を押す

2. 「インフォメーション」を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す

3. 「メール」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4. 「確認したいメール」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

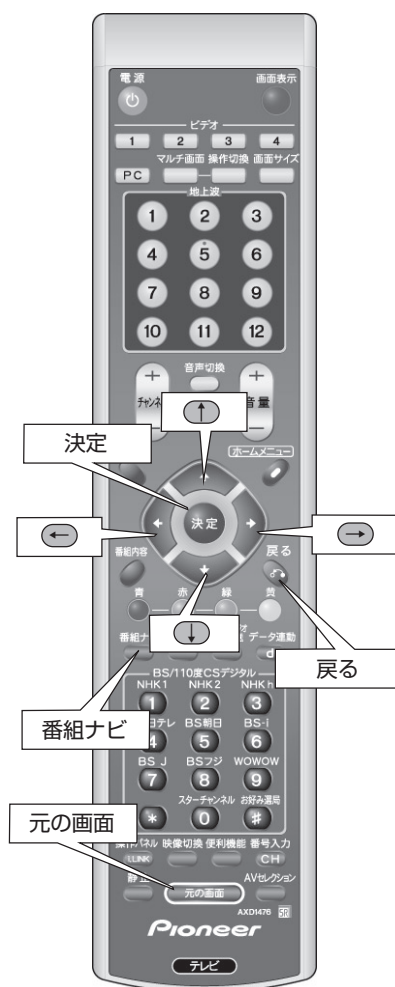
メールの内容を確認します。
他のメールを確認したい場合は、戻る を押します。

スクロールバー

5. 終了するには、元の画面 を押す

お願い

- B-CAS カードが本機に挿入されていないと、メールを受信することができません。
  B-CAS カードは、本機に異常が発生しない限り抜かないでください。

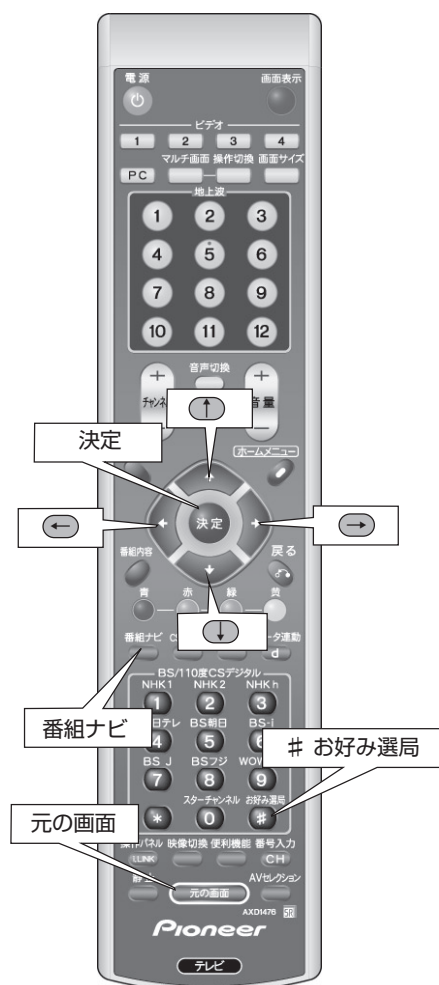
おしらせ

- メールの未読、既読については、アイコンで表示されます。
  未読メール　既読メール
- メールは 24 通（1 つの放送局には最大 13 通）まで保存できます。24 通を超えるメールは、古い順から自動的に削除されます。ご自分で削除することはできません。
- スクロールバーは「メール」の情報が多く、1 ページを超えているときに表示します。
  隠れている情報は ↑ および ↓ で行送り（スクロール）して見ることができます。

有料番組の購入記録を見る（インフォメーションー購入記録）

お客様が購入された有料番組の購入日、番組名、金額などの履歴（最新のもの25番組まで）を確認することができます。
また、累計金額の確認や累計金額のリセット（0（ゼロ）円に戻す）もできます。累計金額がリセットされた項目は薄い文字で表示されます。

1. 番組ナビ を押す
2. 「インフォメーション」を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す
3. 「購入記録」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

BS、CS1、CS2を合わせて、最大25番組までの購入記録を表示します。

4. 終了するには、元の画面 を押す

お願い

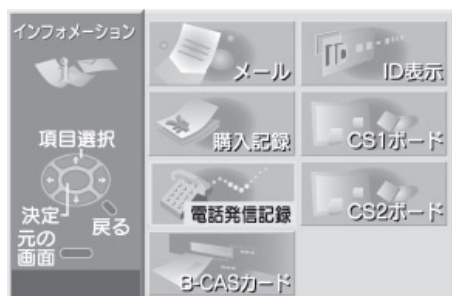
- 累計金額をリセットしたいときには、# お好み選局 を押し「累計金額リセット確認」画面を表示させてください。「累計金額リセット確認」画面で、← →で「はい」を選んで 決定 を押すと、累計金額を0（ゼロ）円に戻すことができます。0（ゼロ）円に戻した時点から新しく購入される分が、累計金額として加算されていきます（購入した有料番組の履歴は消すことができません）。

おしらせ

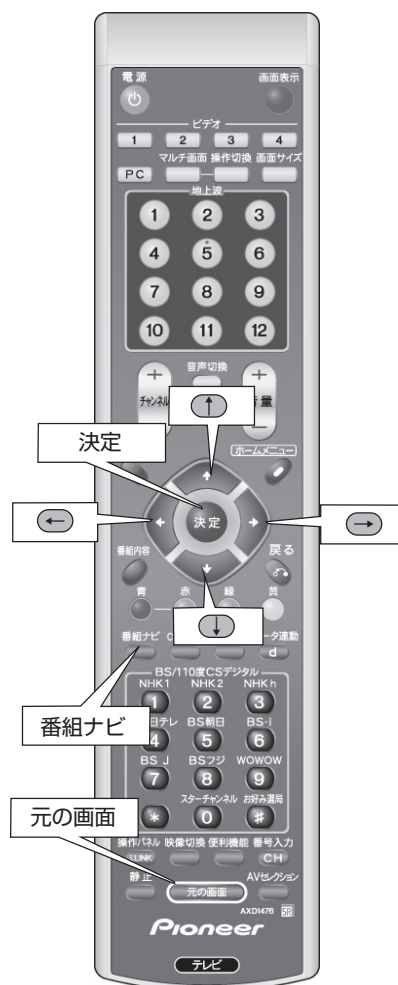
- 表示されている金額は、途中で改定される場合もある参考の金額です。実際に請求される金額と異なる場合があります。
- スクロールバーは「購入記録」の情報が多く、1ページを超えているときに表示します。隠れている情報は ↑ および ↓ で行送り（スクロール）して見ることができます。

電話発信記録を見る（インフォメーションー電話発信記録）

電話発信記録では、「衛星データ放送の番組から発信した最近の発信履歴内容」と「まだセンターへ送っていない番組購入記録の有無」が確認できます。もし未発信の番組購入記録がある場合は、手動ですぐに発信することができます（通常は定期的に自動発信されます）。

1. 番組ナビ を押す
2. 「インフォメーション」を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す
3. 「電話発信記録」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

スクロールバー

- 購入記録が送信できる場合は、↑ ↓ で「発信」を選んで 決定 を押すと、電話回線を通じてセンターへ番組の購入記録などを発信できます。
- i.LINK に接続したD-VHS ビデオデッキから本機を通じて電話発信を行ったとき、区分表示に i.LINK アイコンが表示されます。

4. 終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

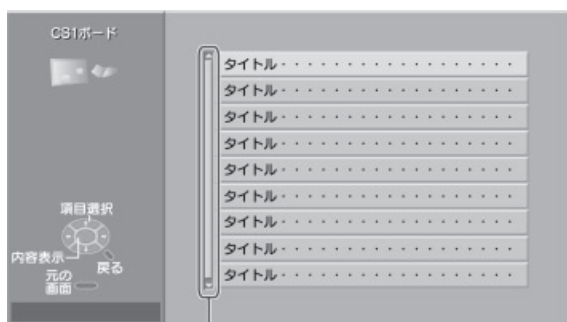
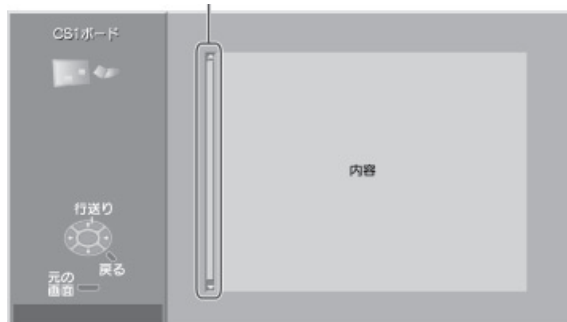
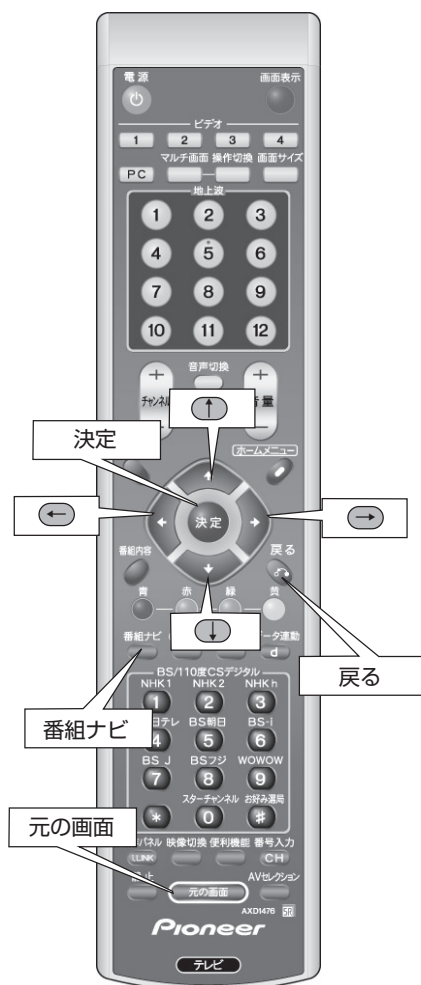
- スクロールバーは「電話発信記録」の情報が多く、1ページを超えているときに表示します。隠れている情報は ↑ および ↓ で行送り（スクロール）して見ることができます。

デジタル掲示板（ボード）を見る（インフォメーションーCS1 ／ CS2 ボード）

110度CSデジタル放送のプラットワンとスカイパーフェクTV!2から送られてくる掲示板のようなものです。定期的に確認してください。

1. 番組ナビ を押す
2. 「インフォメーション」を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す
3. 「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す

CS1 ボード.... プラットワン
CS2 ボード.... スカイパーフェク TV!2

4. 確認したいボードの項目を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

他のボードを読みたいときは、戻るを押します。

5. 終了するには、元の画面 を押す

お願い

電話回線の異常通知

- 通信異常のメールが届いた場合は、電話回線の接続、電話設定を確認のうえ、正しく接続や設定を行ってください。電話回線の接続や設定に問題がない場合は、有料番組（ペイ・パー・ビュー）の契約をしている放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。
- メールを開いているときに決定を押すと「電話発信記録」画面が表示されます。

おしらせ

ダウンロードの通知

- ダウンロードの予約やダウンロードの実行結果のメールが届きます。（➡123ページ）

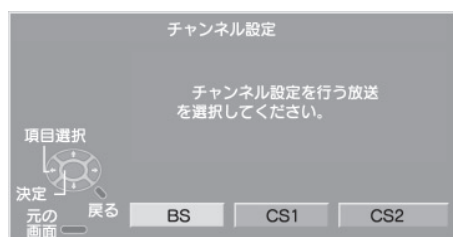
予約の警告、失敗の通知

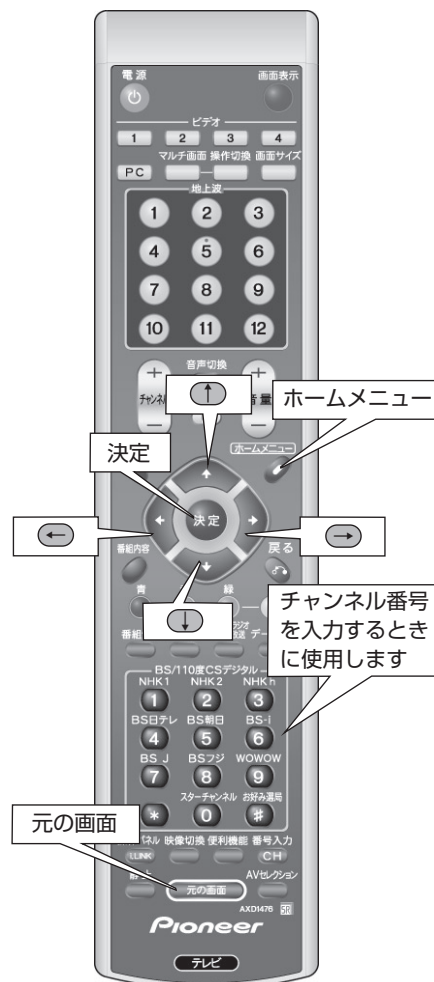
- 予約が失敗した場合にメールが届きます。
- メールを開いているときに決定を押すと「予約一覧」画面が表示されます。
- スクロールバーはボードの情報が多く、1 ページを超えているときに表示します。隠れている情報は ↑ および ↓ で行送り（スクロール）して見ることができます。

BS・CSの設定

衛星チャンネル設定

リモコンのBS/110度CSデジタルチャンネルボタンで、直接選局できるチャンネルを、お好みのチャンネルに設定できます。

1. ホームメニューを押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「衛星デジタル設定」の3/3画面にある「衛星初期設定」を ↑ ↓ で選んで、決定 を約3秒間押し続ける
5. 「衛星初期設定」の2/2画面にある「衛星チャンネル設定」を ↑ ↓ で選んで、決定 をする

6. 設定したい放送を ← → で選んで 決定 を押す
7. 設定したいリモコン番号を ↑ ↓ で選び、← → で「CH」の項目に移動する

8. 設定したいチャンネル番号を ↑ ↓ で選ぶ
   - チャンネル番号は、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力することもできます。
   - さらに設定するには ← → で、「リモコン」の項目に移動して、手順 7 ～ 8 をくり返します。
9. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- お買い求め時の設定は、54ページに記載されています。設定を変更したいときに、この機能をお使いください。
- 「リモコン」項目の11～30に設定したチャンネルは、選局対象の設定を「お好み」に設定した場合に順送り選局ができます。
- 設定した内容は、お好み選局に反映されます。(➡68、105ページ)

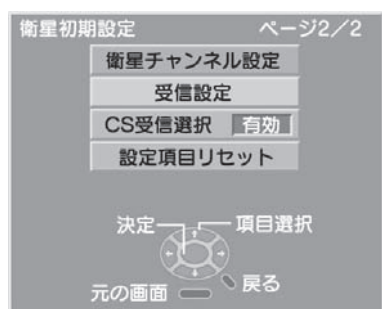
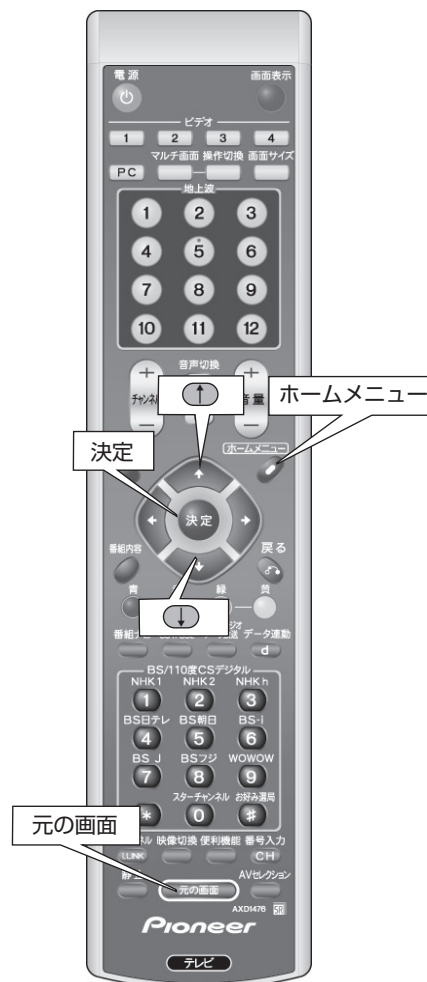
受信設定

「受信設定」での設定は、BS･110度CSデジタル放送からの指示がない限り行わないでください。設定を変更するとBS･110度CSデジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「衛星デジタル設定」の3/3画面にある「衛星初期設定」を ↑ ↓ で選んで、決定 を約3秒間押し続ける
5. 「衛星初期設定」の2/2画面にある「受信設定」を ↑ ↓ で選んで、 決定 を押す

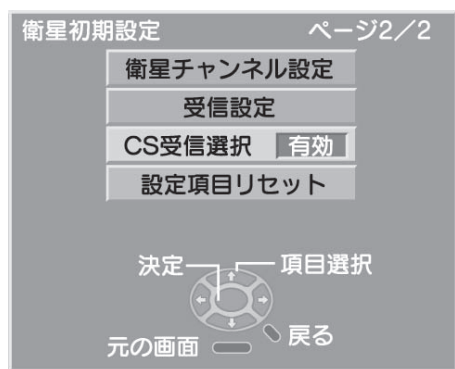
6. 設定を終了するには、 元の画面 を押す

受信設定

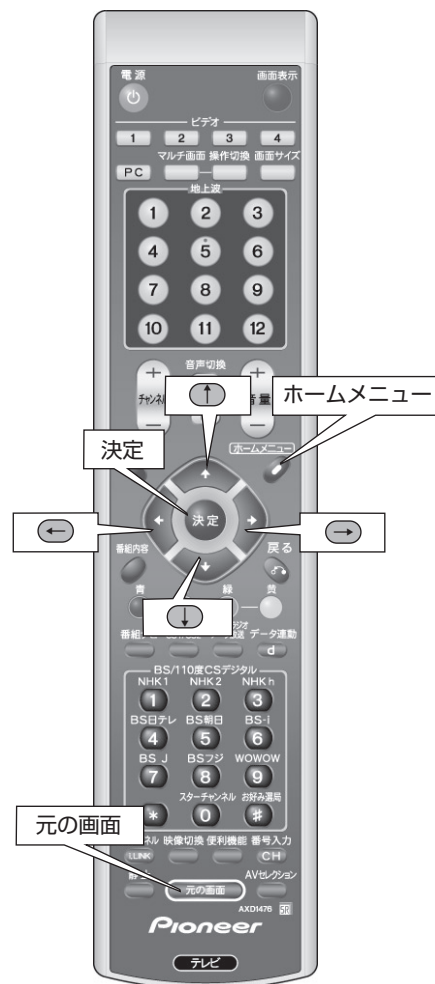
BS・CSの設定

CS 受信選択

本機で110度CSデジタル放送を受信するかどうかを設定します。

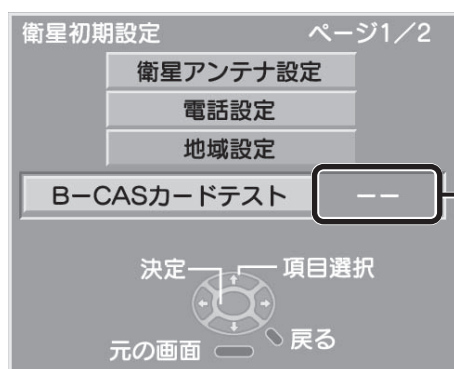
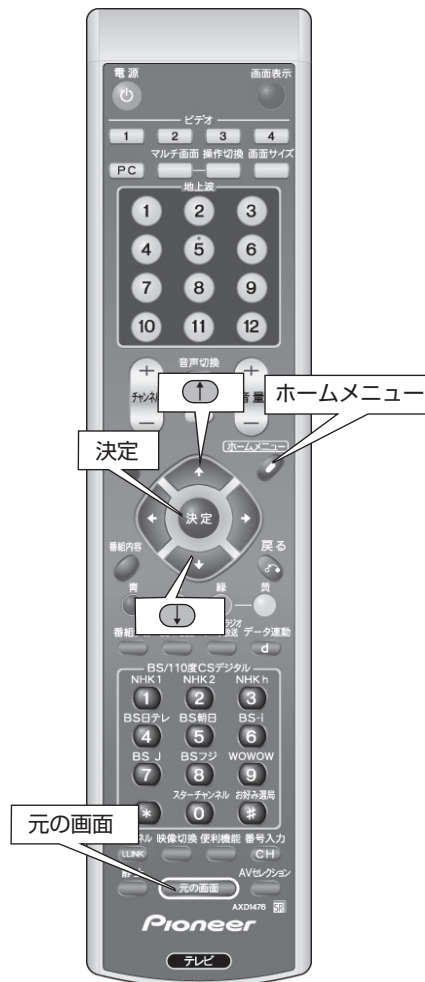
1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「衛星デジタル設定」の3/3画面にある「衛星初期設定」を ↑ ↓ で選んで、決定 を約3秒間押し続ける
5. 「衛星初期設定」の2/2画面にある「CS受信選択」を ↑ ↓ で選んで、決定 を押す

工場出荷時は、「有効」に設定されています。

6. CS受信の確認をする画面で、設定を ← → で選んで 決定 を押す

「有効」....	110度CSデジタル放送の受信が有効になります。（通常は、こちらでご使用ください）
「無効」....	110度CSデジタル放送関連の機能が無効になります。BS放送のみをご覧になる場合に指定すると、使わないCS関連の機能が表示されなくて便利です。

7. 設定を終了するには、 元の画面 を押す

B-CAS カードテスト

B-CASカードの動作テストを行います。本機にB-CASカードを挿入してからテストを行ってください。

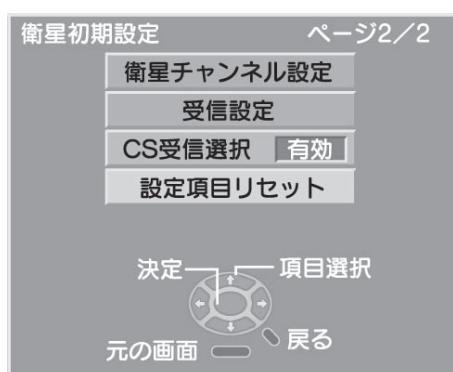
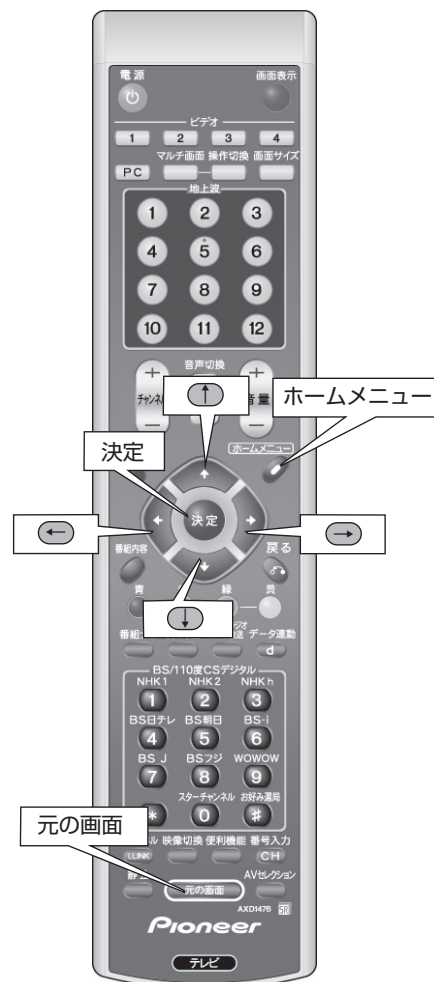
1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「衛星デジタル設定」の3/3画面にある「衛星初期設定」を ↑ ↓ で選んで、決定 を約3秒間押し続ける
5. 「B-CASカードテスト」を ↑ ↓ で選んで、決定 を押す

B-CAS カードの動作テスト結果が表示されます

「OK」............... 正常に動作しています。
「NG」.............. 正常に動作していません。B-CASカードの挿入方向が間違っていないか、使用できないカードが挿入されていないかなどを確認してください。
「テスト中」..... テスト中です。
「−−」............ テストしていない状態です。

6. テストを終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
• B-CASカードを抜き差しした場合は、3秒以上たってからB-CASカードテストを行ってください。

設定値を戻す（設定項目リセット）

「衛星アンテナ設定」「電話設定」「受信設定」の設定値を工場出荷時の初期状態に戻します。
正常に受信できているときは実行しないでください。受信できなくなる場合があります。

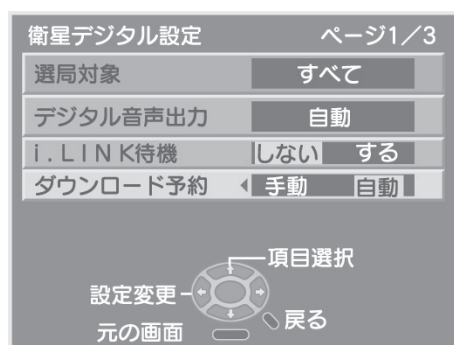
1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「衛星デジタル設定」の3/3画面にある「衛星初期設定」を ↑ ↓ で選んで、決定 を約3秒間押し続ける
5. 「衛星初期設定」の2/2画面にある「設定項目リセット」を ↑ ↓ で選んで、決定 を押す

6. ← → で「はい」を選んで 決定 を押す
7. 設定を終了するには、 元の画面 を押す

ご注意

- 正常に受信できているときは実行しないでください。受信できなくなる場合があります。

ダウンロード機能について

衛星から送られてきたデータを本機に取り込む(ダウンロードする)ことにより、本機に内蔵された衛星デジタルチューナーの制御プログラムを更新します。この機能により、衛星デジタルチューナーの機能を向上させたり、新たなサービスに対応することができるようになります。

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「ダウンロード予約」を ↑ ↓ で選んで、← → で設定する

工場出荷時は、「自動」に設定されています。

「自動」.... 重要なダウンロード情報が届くと、電源スタンバイ状態時に自動的にダウンロードを行います(通常はこちらでご使用ください)。
「手動」.... ダウンロード予約選択メールでダウンロードを行うかを選択します(本機の性能改善など、重要なダウンロードの場合でも、自動的に受けられなくなりますのでご注意ください)。

5. 設定を終了するには、 元の画面 を押す

おしらせ

- ダウンロードが終わると、メールでダウンロードの実行結果が届きます(➡113ページ)。
- ダウンロードは悪天候のときなどに失敗することがあります。
- ダウンロード機能をお使いいただくため、本機の使用後はリモコンの電源ボタンを押して、スタンバイ状態にしておくことをおすすめします。

■「ダウンロード予約選択メール」での設定

ダウンロード予約の設定を手動にしているとき、重要なダウンロード情報が届いた場合には、ダウンロード予約選択メールが届きます。
「メールを見る」(➡113ページ)でメールを確認し、「ダウンロード予約」を設定してください。

「する」........ ダウンロード予約を行う。
「しない」.... ダウンロード予約を行わない。

戻る でメールの一覧に戻ります。

予約する

番組の録画や予約をする（番組ナビ－番組表）

番組表を使って、かんたんに番組の録画予約をすることができます。

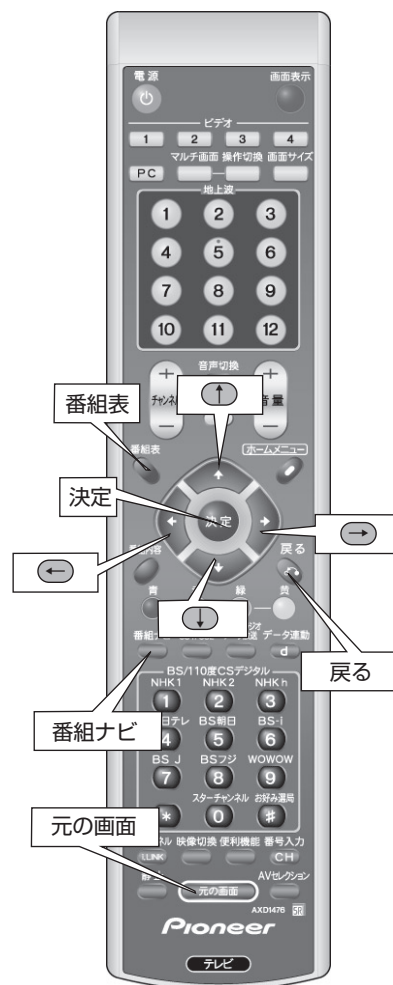
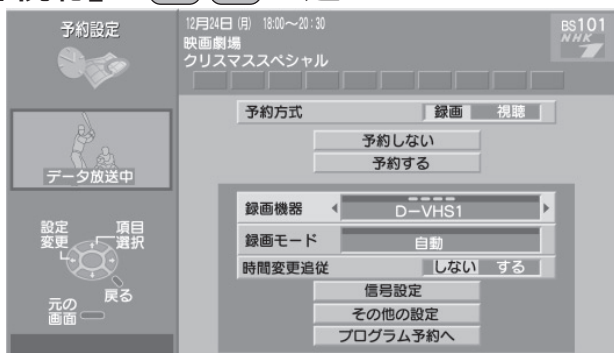
1 番組ナビ を押す

2 「番組表」を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す

手順 1、2 のかわりに、BS・110度CSデジタル放送視聴中に 番組表 を押しても、同じ画面にすることができます。

3 予約したい番組を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す

現在放送中の番組では、番組を見るか、予約するかの選択画面が表示されますので、「予約する」を ← → で選んで 決定 を押してください。

4 「予約方式」を ↑ ↓ で選んで、「録画」か「視聴」を ← → で選ぶ

5 「予約する」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

予約完了の画面が数秒間表示されます。

6 設定を終了するには、 元の画面 を押す

おしらせ

- 予約の状況によっては、別の画面が表示されます。
  予約済みの番組を選んだ場合（➜127ページ）
  予約ができない場合（➜127ページ）
  予約がいっぱいの場合（➜127ページ）
  予約が重なっている場合（➜127ページ）
- 予約の優先順位については136ページをご覧ください。
- 予約録画実行中は機能待機インジケーターが点灯します。

■録画について

放送中の番組を録画したり、将来の番組を予約録画したいときは、「録画」を選択してください。また、必要に応じて「録画機器」などの設定を行ってください。ただし、コピーガードが解除できない番組は正しく録画できません。
有料番組では、お客様がビデオデッキなどに録画されなくても料金が請求されます。

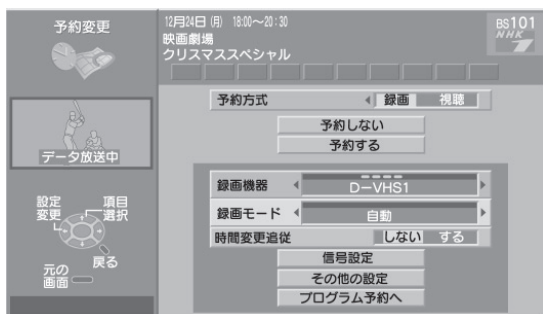
■視聴について

本機の電源を「入」にしておけば予約開始時刻の30秒前に予約実行の予告画面が表示され、5秒前に番組が切り換わります。予約開始時間の前には、本機の電源を「入」にしておいてください。

お願い

- 「録画機器」の設定を「ビデオ（タイマー）」「DVDレコーダー（タイマー）」にした場合、手順 5 で「予約する」を選ぶとリモコン信号の送信確認の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 番組の始まる直前に予約をしようとすると設定動作時間がないため、番組の開始時刻から予約できない場合があります。Irシステムを使用したDVDレコーダーの場合、予約が実行される90秒前には予約設定を終了してください。
- ハードディスクビデオレコーダーの場合は、予約が実行される30秒前には予約設定を終了してください。
- 予約実行開始の約2分前からは、予約の設定を変更しないでください。予約が正しく実行されない場合があります。

●予約済みの番組を選んだ場合

予約した番組を選んだ場合、予約を設定変更する「予約変更」画面が表示されます。

① 「予約方式」「録画機器」「録画モード」「時間変更追従」「信号設定」「その他の設定」を変更する

② 「修正する」を ↑ ↓ で選んで、 決定 を押す

「修正する」.....	すでに予約している番組の音声や字幕などの設定を変更します。ただし、本機からはIrシステムを使ったタイマー予約で、すでに録画機器に設定した予約は変更できません。録画機器で変更の操作をしてください。
「修正しない」....	予約の修正を行わずに、前の画面に戻ります。

おしらせ

- 予約を取り消したい場合は、「予約一覧」画面で予約の取り消しができます。
- 「予約設定」画面に表示される金額は購入合計金額です。無料の場合は表示されません。
- 予約設定中は 戻る で予約操作を中止し、前の画面に戻ることができます。
- 視聴制限の対象になる番組を選んだときは、暗証番号の入力が必要となります。視聴制限の解除の方法は、112ページをご覧ください。

■予約ができない場合

契約されていないチャンネルの番組を予約操作した場合に、右のような画面が表示され、番組の予約はできません。

予約ができません。

■予約がいっぱいの場合

予約がいっぱい（最大24個）の場合、さらに番組を予約しようとすると右のような画面が表示されます。「予約一覧」画面で予約を削除してからもう一度予約してください。

予約がいっぱいです。
予約を削除してから
やり直してください。

■予約が重なっている場合

すでに予約されている番組と同じ時間帯の番組を予約したときは、右のような画面が表示されます。
重なった予約を削除したい場合は、「予約一覧」画面で予約を削除してください。

予約が完了しました。
予約が重複しています。予約が
実行されない場合があります。

■詳細な設定を行う場合

録画機器：　予約録画する場合にどの録画機器で録画するかを設定します（➡128ページ）。

録画モード：　標準、3倍などの録画機器側の録画時間を設定します（➡129ページ）。

時間変更追従：　番組の時間変更に追従して予約を実行するかを設定します（➡129ページ）。

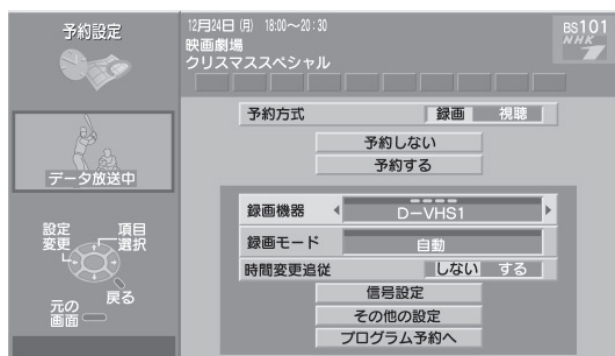
信号設定：　予約実行時の「マルチビュー」「映像」「音声」「二重音声」「データ」の信号設定を行います。「信号設定」を選んで決定を押すと、設定画面が表示されます（➡130ページ）。

その他の設定：　上記の他に設定できる項目があります。「その他の設定」を選んで決定を押すと、設定画面が表示されます（➡131ページ）。

プログラム予約へ：日時を指定して予約を設定するプログラム予約を行います。「プログラム予約へ」を選んで 決定 を押すと設定画面が表示されます（➡134ページ）。

録画機器を設定する

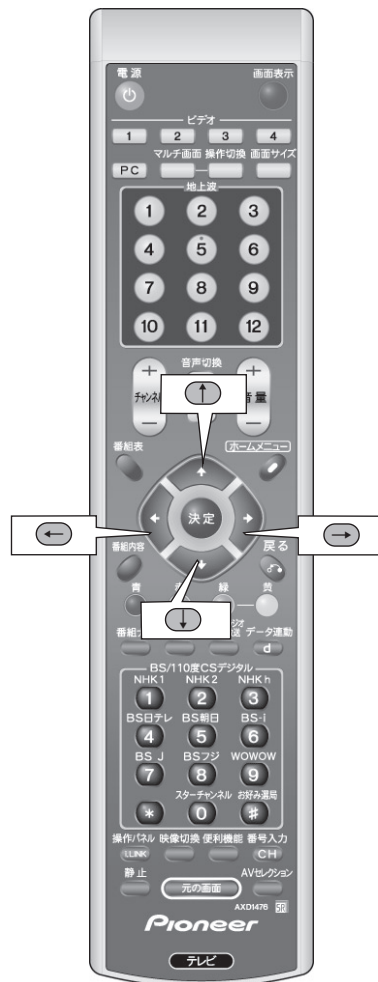
番組表や、ジャンル検索結果一覧表から番組を録画予約する場合に、どの録画機器で録画するかを設定します。

① 番組表などからの「予約設定」画面で、「予約方式」を ↑ ↓ で選んで ← → で「録画」にする

② 「録画機器」を ↑ ↓ で選んで ← → で変更する

「Irシステム設定」や「i.LINK接続設定」によって、選べる項目が変わります。

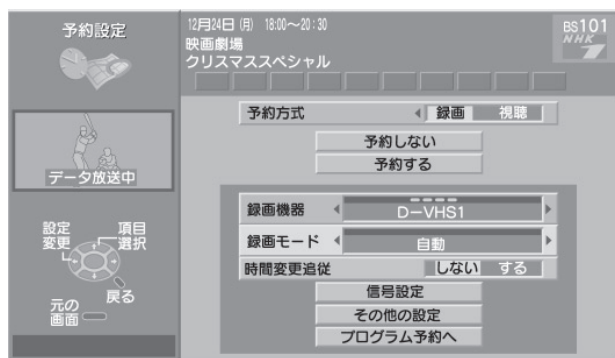
「DVDレコーダー(連動)」	Irシステムを使用してDVDレコーダーに、連動予約で録画する場合に設定します。
「D-VHS*」	i.LINK接続のD-VHSビデオデッキで録画する場合に設定します(末尾の*印は、「i.LINK接続設定」で表示される番号です)。
「HDR*」	i.LINK接続のハードディスクビデオレコーダーで録画する場合に設定します(末尾の*印は、「i.LINK接続設定」で表示される番号です)。
「ビデオ(連動)」	Irシステムを使ってビデオデッキに、連動予約で録画する場合に設定します。
「ビデオ(タイマー)」	Irシステムを使ってビデオデッキに、タイマー予約で録画する場合に設定します。
「DVDレコーダー(タイマー)」	Irシステムを使用してDVDレコーダーに、タイマー予約で録画する場合に設定します。
「−−」	Irシステムやi.LINK接続を使えない録画機器の場合に設定します。録画予約の設定は、録画機器側で設定してください。

おしらせ

- 「連動予約」「タイマー予約」については136ページをご覧ください。
- 「ビデオ(タイマー)」、「ビデオ(連動)」、「DVDレコーダー(タイマー)」、「DVDレコーダー(連動)」は、Irシステムの設定を行わないと、表示されません(➜141ページ)。また、「ビデオ(タイマー)」、「DVDレコーダー(タイマー)」はIrシステムの設定の「メーカー」を「松下」にし、「リモコン種別」の設定を、「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ3」「DVDレコーダー1〜3」に設定したときのみ表示されます(➜141ページ)。
- 「D-VHS*」「HDR*」の項目は「i.LINK接続設定」で「使用する」に設定しないと表示されません(➜146ページ)。

録画モード／番組の時間変更に合わせた予約(時間変更追従)

●録画モードについて

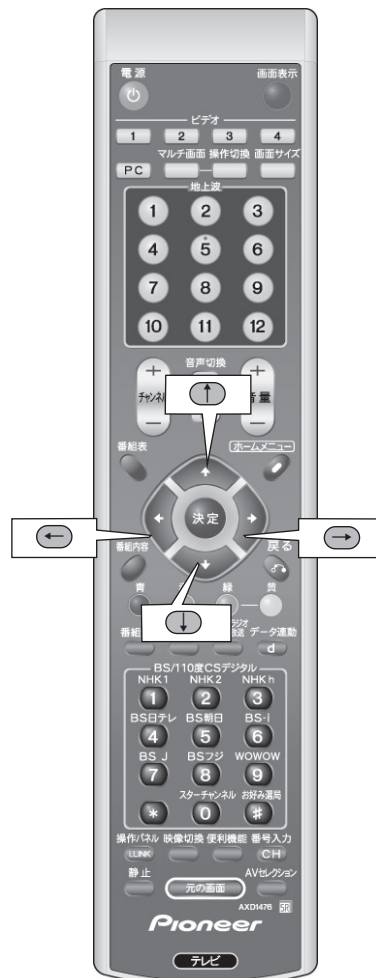
Irシステムやi.LINK接続設定を使用して録画予約する場合に設定します。

① 番組表などからの「予約設定」画面で、「録画モード」を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

「自動」	録画機器が D-VHS✻ HDR✻ のときに選べます。衛星デジタル放送の画質にあわせて各録画機器で自動的にデジタル記録します。ただし、デジタル記録できないときは、録画機器に設定している録画モードでアナログ記録されます(HDR✻ の場合は、ハードディスクビデオレコーダー側に設定している録画モードでエンコード録画します)。
「標準」「3倍」「5倍」	録画機器が D-VHS✻ ビデオ(タイマー) HDR✻ のときに選べます。予約した番組を設定した各録画モードで記録します(本機背面のモニター出力(映像／音声)を録画します)。 ※ HDR✻ の場合、標準はSP、3倍はLP、5倍はEPでMPEG2-TSエンコード録画します。
「標3」	録画機器が ビデオ(タイマー) のときに選べます。予約した番組を「標準」でアナログ録画し、テープ残量が少なくなると自動的に「3倍」に切り換わります。
「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」	録画機器が DVDレコーダー(タイマー) のときに選べます。設定した録画モードでエンコード録画します。
「−−」	設定できません(録画機器側で設定してください)。

●番組の時間変更に合わせて予約を実行する(時間変更追従)

番組の時間変更に合わせて予約を実行するかしないかを設定します。

① 番組表などからの「予約設定」画面で、「時間変更追従」を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

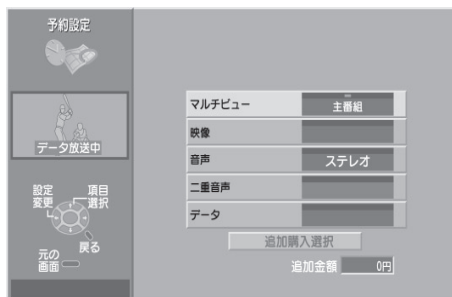
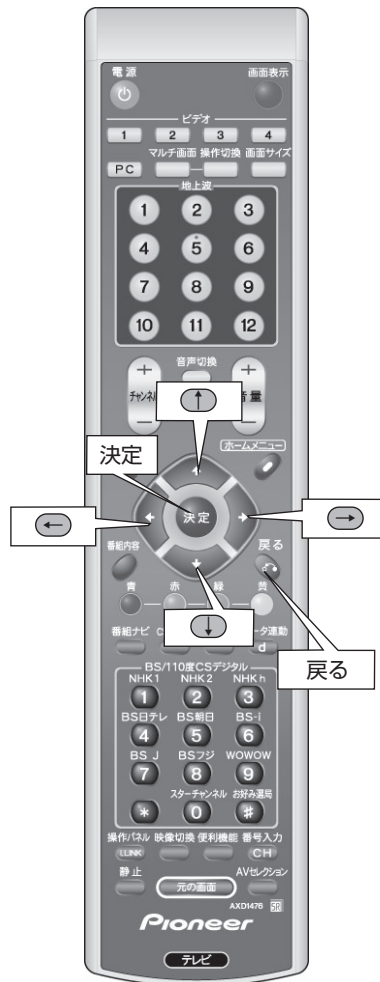
「する」	番組の時間変更に合わせて予約を実行します。ただし、「録画機器」の設定を「ビデオ(タイマー)」、「DVDレコーダー(タイマー)」にした予約の時間変更はできません。(機器側で時間変更操作をしてください)。
「しない」	予約した番組の放送開始時間が変更されても、最初の予約設定時間で予約を実行します。ただし、予約設定した時間内に番組が始まらない場合は、予約は実行されません。

おしらせ

- 設定した録画モードの機能がない録画機器の場合は、録画機器に設定されている録画モードでアナログ録画されます。ただし、 ビデオ(タイマー) で「5倍」に対応していない録画機器の場合は、「標準」でアナログ録画されます。
- ビデオ(タイマー) DVDレコーダー(タイマー) は、Irシステムの設定でメーカーを「松下」に設定したときのみ表示されます。(➡141ページ)

信号設定について

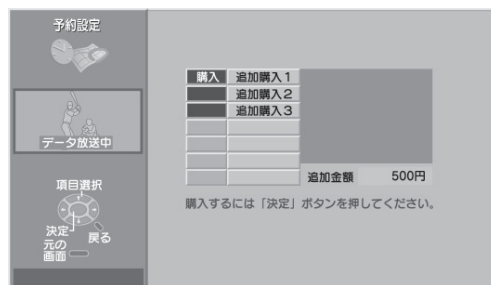
予約実行時の「マルチビュー」「映像」「音声」「二重音声」「データ」の状態を設定します。また、追加購入の必要な信号の選択もできます。

1. 番組表などからの「予約設定」画面で、「信号設定」を ↑ ↓ で選んで、決定 を押す

2. 項目を ↑ ↓ で選んで設定を ← → で変更する

「マルチビュー」	マルチビュー放送の場合に番組を設定します。
「映像」	映像が複数ある場合に映像を設定します。
「音声」	音声が複数ある場合に音声を設定します。
「二重音声」	二重音声の場合に「自動」、「主」、「副」、「主＋副」を設定します。「自動」に設定すると予約方式が「視聴」の場合、予約時に設定されている二重音声の設定になり、「録画」の場合「主＋副」の設定になります。
「データ」	データが複数ある場合にデータを設定します。「－－」に設定すると、予約実行時に、データ放送の指示に従ってデータ放送画面を表示します。必ず表示させたい場合は「－－」以外を選択してください。

3. 戻る を押し「予約設定」画面に戻る

■追加購入選択について

番組の中に購入が必要な信号がある場合は、↑ ↓ で「追加購入選択」を選んで、決定 を押すと、表示される「追加購入選択」画面で信号を購入設定できます。

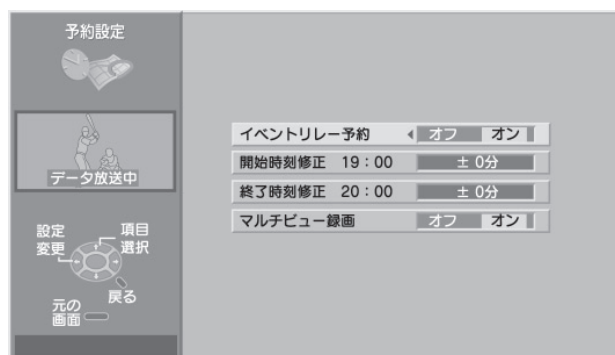
- 購入選択した信号には 購入 アイコンが表示されます。
- 購入を取り消したいときは、もう1度 決定 を押してください。
- 購入選択を終了する場合は 戻る を押してください。

おしらせ

- i.LINK接続を使用してD-VHSビデオデッキでデジタル録画する場合は、複数の信号があるときに設定を優先して録画します（信号によっては自動的に複数の信号を録画する場合もあります）。
- 「プログラム予約」からは、「信号設定」は「二重音声」のみ設定できます。

その他の録画設定について

信号設定(➡130ページ)などの他にも、録画に関する設定内容があります。

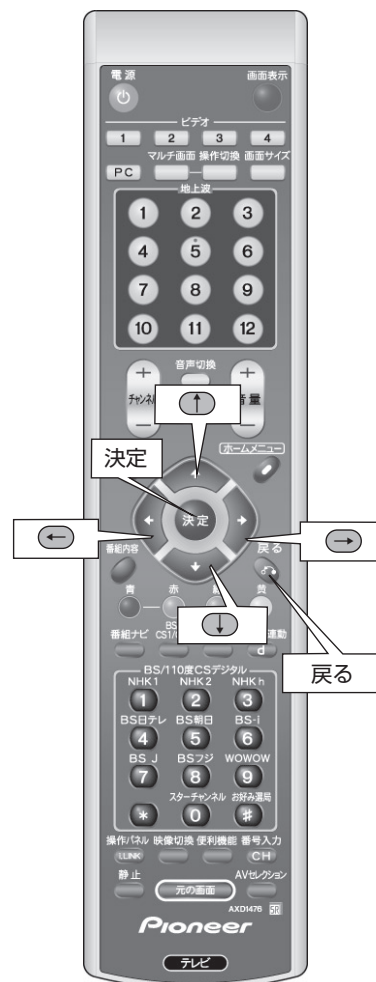
1 番組表などからの「予約設定」画面で、「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

2 項目を ↑ ↓ で選んで設定を ← → で変更する

「イベントリレー予約」.... 予約した番組と同様な番組が引き続き別のチャンネルで行われる場合に、続けて予約を実行したいときは「オン」に設定します。

「開始時刻修正」....... 番組の一部分だけを録画したい(余分な放送部分をカットしたい)ときに設定します。録画する時間を番組の開始時刻の1分前から終了時刻の6分前まで修正できます。

「終了時刻修正」....... 番組の一部分だけを録画したい(余分な放送部分をカットしたい)ときに設定します。録画を終了する時間を番組の録画開始時刻の6分後から終了時刻の1分後まで修正できます。

「マルチビュー録画」... 予約した番組がマルチビュー放送の場合に、副番組も同時に録画したいとき「オン」に設定します。本機やi.LINK接続の機器にデジタル録画を予約する場合に設定できます。

3 戻る を押し「予約設定」画面に戻る

おしらせ

- 「プログラム予約」から「その他の設定」画面を表示させた場合、「イベントリレー予約」「開始時刻修正」「終了時刻修正」の項目は表示されません。
- 放送時間が6分以内の番組は、「開始時刻修正」「終了時刻修正」は設定できません。

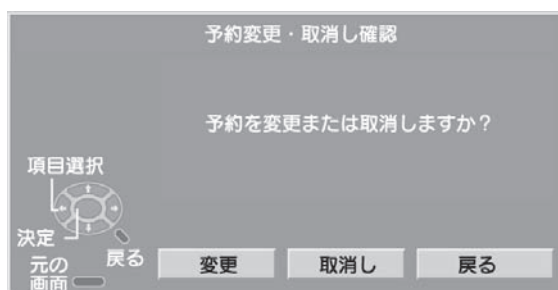
予約の確認や変更、取り消しをする（番組ナビ−予約一覧）

「予約一覧」画面では、予約された番組の確認や変更、取り消し、予約が実行された番組などの確認ができます。

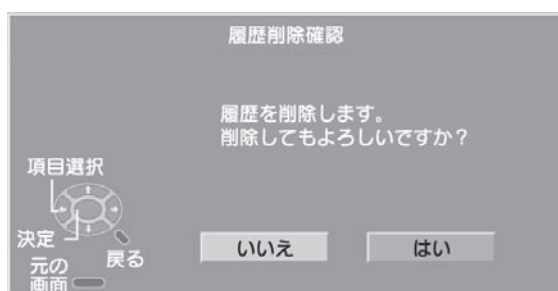
1 番組ナビ を押す

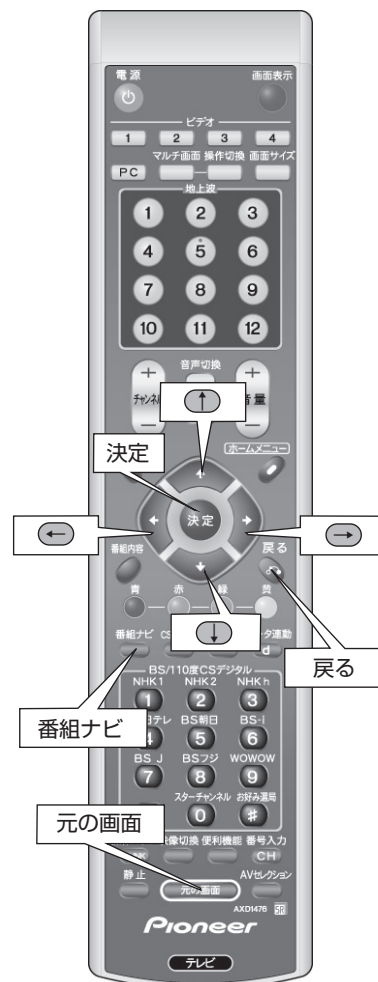
2 「予約一覧」を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す

3 変更や取り消しをしたい予約を選んで 決定 を押す

4 「変更」または「取消し」を ← → で選んで 決定 を押す

- 予約を変更したい場合は、「変更」を選んで 決定 を押してください。
  「予約変更」画面（➡127ページ）または「プログラム予約」画面（➡134ページ）が表示されます。
- 予約を取り消したい場合は、「取消し」を選んで 決定 を押してください。
- 「戻る」を押すと、「予約一覧」画面に戻ります。

■ 実行済みの予約の履歴を消したいとき

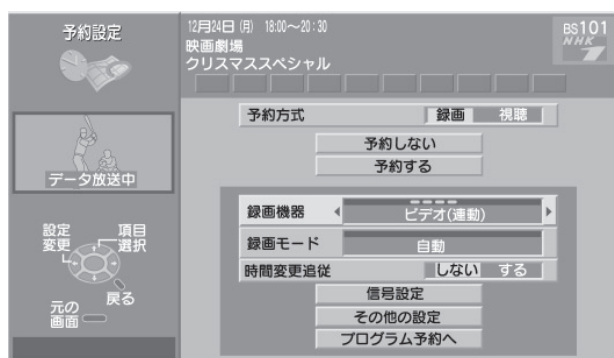
↑ ↓ で予約実行済みの予約を選んで 決定 を押すと、予約の履歴を消すことができます。
← → で「はい」を選んで 決定 を押すと、履歴を削除します。

「はい」.......... 予約の履歴を消します
「いいえ」...... 「予約一覧」画面に戻ります。

5 設定を終了するには、 元の画面 を押す

おしらせ

- 「予約一覧」画面で8件を超える予約内容は、↑ ↓ で行送り（スクロール）をして確認できます。
- 「予約一覧」画面でグレー表示されている内容は、実行済みの予約履歴です。

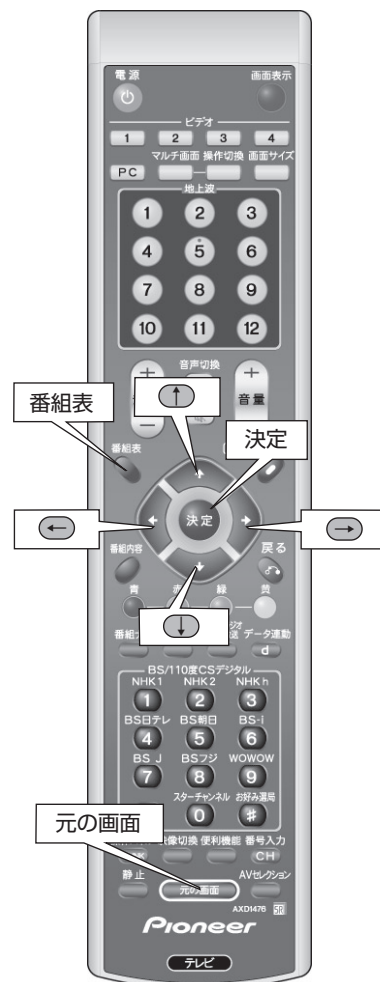
ビデオと連動で録画する（ビデオ連動録画）

本機ではIrシステムが使用できます。お手持ちのビデオデッキと本機をIrシステム接続すると、ビデオデッキの操作を本機で行うことができます。
Irシステム接続している状態での録画方法を説明します。

1. Irシステム接続(➡140ページ)しているビデオデッキにあらかじめ録画しても良いビデオテープを入れ、本機の入力切換で接続した外部入力を選んだあと、ビデオデッキの電源を「切」にする
2. 番組表 を押す
3. 予約したい番組を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す
4. 「予約方式」を ↑ ↓ で選ぶ
5. 「録画」を ← → で選ぶ
6. 「録画機器」を ↑ ↓ で選ぶ
7. 「ビデオ（連動）」を ← → で選ぶ

ビデオ（連動）とは
予約した番組の開始時と終了時に、本機と接続した録画機器へ、録画開始と終了のリモコン信号を自動的に送信して番組を録画する方式です。
予約実行前には、本機の入力切換で録画機器を選び、録画機器側で録画モードの設定を行ったうえ、録画機器の電源を「切」にしておいてください（予約録画の待機状態にはしないでください）。

8. 「予約する」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

予約完了の画面が数秒間表示されます。

9. 設定を終了するには、元の画面 を押す

日時を指定して予約する（番組ナビ－プログラム予約）

本機には番組ごとに予約する機能の他に、日時を指定して予約できるプログラム予約機能があります。また、毎週放送される連続ドラマなど曜日を指定して毎週予約を実行することができます。

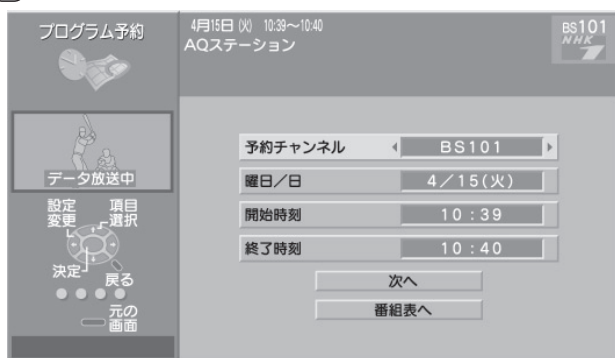
1 予約したい放送を選ぶ

BS、CS1、CS2 から予約したい放送を選びます。

2 番組ナビ を押す

3 「プログラム予約」を ↑ ↓ ← → で選んで 決定 を押す

4 「予約チャンネル」を ↑ ↓ で選んで、チャンネルを ← → で変更する

決定 を押すとBS/110度CSデジタルチャンネル 0 ～ 9 のボタンで予約チャンネルの設定ができます。

5 「曜日／日」を ↑ ↓ で選んで、予約する日を ← → で選ぶ

次のように設定が切り換わります。

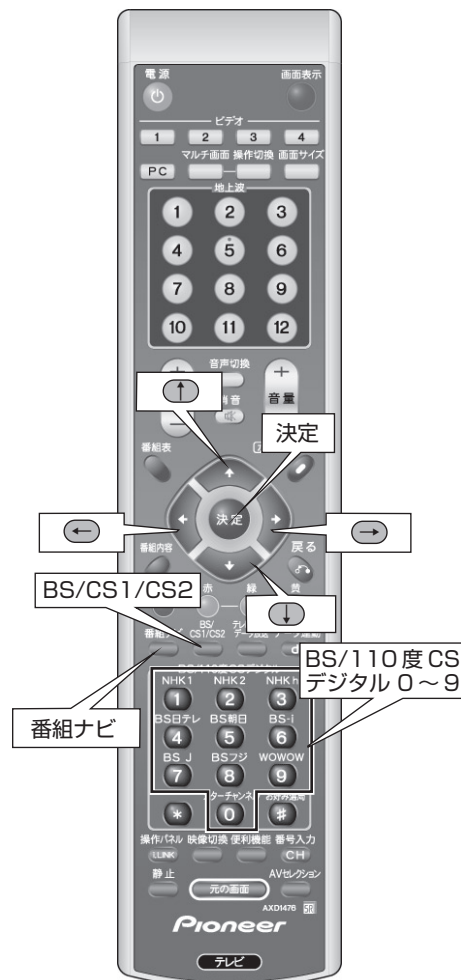
6 「開始時刻」を ↑ ↓ で選んで、予約を開始する時間を ← → で選ぶ

決定 を押すとBS/110度CSデジタルチャンネルの 0 ～ 9 で開始時刻の設定ができます。

7 「終了時刻」を ↑ ↓ で選んで、予約を終了する時間を ← → で選ぶ

決定 を押すとBS/110度CSデジタルチャンネルの 0 ～ 9 で終了時刻の設定ができます。

8 「次へ」を ↑ ↓ で選んで、 決定 を押す

「予約設定」画面が表示されますので、予約方式（➔126ページ）や録画機器（➔128ページ）、録画モード（➔129ページ）などの設定を行ってください。

おしらせ

- 「曜日／日」の設定画面では 赤 と 青 で「日付指定」「毎日」「毎週(日)」の設定値へ移動できます。
- 番組を選んで予約を設定したい場合は、手順 4 で ↑ ↓ で「番組表へ」を選んで、決定 を押してください。「番組表」画面が表示されます。（地上波放送の場合は「番組表」を選べません）
- 設定した時間内に視聴制限の対象になる番組がある場合は、その番組の予約は実行されません。

「プログラム予約」を選ぶと

- 暗証番号が未登録の場合、暗証番号の登録画面が表示されます。
- 視聴年齢制限を設定していると、「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号については109～112ページをご覧ください。
- 暗証番号を入力せずに、数秒経過すると「暗証番号登録」画面または「暗証番号入力」画面が消えます。この場合に続けて「プログラム予約」を設定すると、予約実行時に視聴制限のある番組は視聴や録画ができなくなります。

予約後の注意点

番組を予約したあとは､次の点にご注意ください。

- 有料番組を予約したときは、予約が実行されると自動的に番組が購入されます。
- 有料番組の予約が実行されると、実際には視聴や録画をしなくても料金が請求されます。
- 番組によっては放送時間が変更される場合があります。｢時間変更追従｣ の設定を ｢する｣ にすると最大３時間まで、番組の時間変更に対応して予約時間を変更します。(➡129 ページ)。
- ｢衛星アンテナ設定｣ 画面と ｢受信設定｣ 画面を表示中に予約が始まると、予約が無効になります。

●録画を選んだときのご注意

- 予約録画中は、番組ナビや番組表、選局など一部の機能が使用できなくなります。これらの機能を操作すると、画面に予約録画を中止してもよいかの確認画面が表示されます。予約録画を中止するときは画面の説明に従って操作してください。
- ｢録画｣ に設定して予約しても､コピーガードがかかっている番組は録画機器で正しく録画することができません。また、D-VHS ビデオデッキでは、デジタルコピーガードによって i.LINK でのデータ出力がされない番組の場合には、アナログ録画になります。
- Ir システムを使用して録画機器に予約録画（連動予約、タイマー予約）するときは、下記の点にご注意ください（連動予約、タイマー予約については 136 ページをご覧ください)。

  1. 連動予約の場合には、録画機器の電源は ｢切｣ にし、予約録画の待機状態にはしないでください。タイマー予約の場合には、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
  2. 連動予約を設定している場合には､録画機器の入力を本機に接続した入力に切り換えてください。また、録画機器にロック機能があるときは、解除しておいてください。
  3. 連動予約実行中は、録画機器は操作しないでください。録画が中止されるなど、正常に録画できなくなります。

- i.LINK接続を使用して録画機器に予約録画を設定した場合には､録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
- Irシステムやi.LINK接続を使用できない録画機器で録画するときは､録画機器側で録画予約の設定を行ってください。
- 予約録画実行中に i.LINK ケーブルの抜き差しは行わないでください。予約が終了しても i.LINK 接続を使用した録画機器の録画停止ができなくなります。

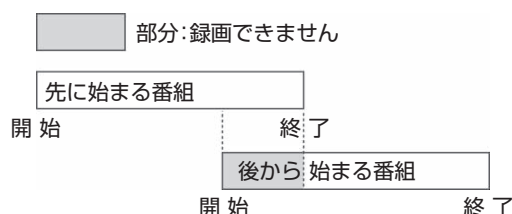
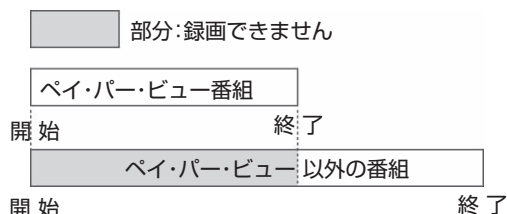
●視聴を選んだときのご注意

- 予約した番組が始まる20～30秒前には本機の電源を入れてください。電源を切（スタンバイ状態）にしていると予約が無効になります。

予約の優先順位と連動予約・タイマー予約について

予約した番組の放送開始時間が他の予約した番組と重なってしまったときは、本機内部で優先順位をつけ、自動的に予約動作を行います。

●予約の優先順位について

1. 放送開始時間の早い番組を優先

2. 開始時刻が同じ場合：ペイ・パー・ビュー番組を優先

※ ペイ・パー・ビュー番組どうし、またはペイ・パー・ビュー以外の番組どうしの場合はチャンネル番号の小さい番組から優先します（ペイ・パー・ビュー番組➡107ページ）。

●連動予約とタイマー予約について

Irシステムを使用した録画機器への録画予約の設定には、次の２つがあります。

連動予約

予約した番組の開始時と終了時に、本機と接続した録画機器へ録画開始と終了のリモコン信号を自動的に送信して番組を録画する方式です。予約実行前には録画機器の入力を本機に接続した入力に切り換え、録画機器側で録画モードの設定を行ったうえ、録画機器の電源を「切」にしておいてください（予約録画の待機状態にはしないでください）。

- 「時間変更追従」の設定を「する」にすると、番組の開始時間が変更されても最初の予約開始時刻から最大３時間まで追従できます。また、録画機器への連動予約も自動的に変更されます。

タイマー予約

本機で番組を予約した時点で、本機と接続した録画機器にタイマー予約のリモコン信号を自動的に送信して番組を録画する方式で、録画機器は予約録画の待機状態になります。予約した番組の時刻になると、録画機器は自動的に設定した状態で録画を行います（連動予約と違い、予約実行前に録画機器側の入力や録画モードを設定する必要はありません）。

- タイマー予約は、1989年以降発売の松下製タイマー予約機能付録画機器で「Irシステム設定」（➡141ページ）の「メーカー」の設定が「松下」のとき、「リモコン種別」が「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ3」「DVDレコーダー１～３」のものに対応できます。（「ビデオ4」「ビデオ5」には対応できません）
- 「時間変更追従」の設定を「する」にしていても、本機からは録画機器側のタイマー予約の変更はできません。録画機器側で変更してください（➡129ページ）。
- 深夜放送の番組や24時間番組など、日付が変わっても放送される番組は、タイマー予約を行っても録画機器側の機能として、正しい時間帯の予約ができなかったり、予約が無効になる場合があります。
- 予約実行前には、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
- タイマー予約後の録画機器の機能や注意事項については、録画機器の取扱説明書をお読みください。

おしらせ
- 録画機器側で別の予約を設定して予約が重なった場合などは、希望の番組が録画できないことがあります。
- チャンネルが異なる番組を、時間を続けて録画予約した場合、前の番組の録画が約5秒早く終了します。

予約の事前設定について

「録画・視聴設定」画面では、Irシステムやi.LINK接続を使って録画機器に録画予約をする場合の事前設定ができます。

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「衛星デジタル設定」の3/3画面にある「録画・視聴設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
5. 「時間変更追従」または「マルチビュー録画」を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

■時間変更追従

予約した番組で放送時間が変更された場合に、時間変更に合わせて予約を実行する設定ができます。
予約開始設定時刻から最大で 3 時間の遅れまで対応します。

「する」...... 番組の時間変更に合わせて予約を実行します。ただし、「録画機器」の設定を「ビデオ(タイマー)」「DVDレコーダー(タイマー)」にしたタイマー予約では時間変更はできません(機器側で時間変更操作をしてください)。
「しない」.. 予約した番組の放送開始時間が変更されても、最初の予約設定時間で予約を実行します。ただし、予約設定した時間内に番組が始まらない場合は、予約は実行されません。

■マルチビュー録画

i.LINK 接続機器でデジタル録画する場合、予約した番組がマルチビュー放送の番組のときに、副番組を同時に録画する設定ができます。

「オン」...... 予約した番組がマルチビュー放送の番組のとき、副番組も同時に録画します。ただし、i.LINK接続機器で録画の場合に有効です。
「オフ」...... 予約した番組がマルチビュー放送の番組のとき、主番組のみ録画します。

6. 設定を終了するには、 元の画面 を押す

おしらせ

- 「録画・視聴設定」の各設定は、本機の電源を「切」「入」しても記憶しています。
- 「連動予約」「タイマー予約」については、136ページをご覧ください。
- Irシステムについては140ページ、i.LINK接続については143ページをご覧ください。

他の機器を接続して使う

DVD レコーダーなどの録画機器

i.LINK 機器

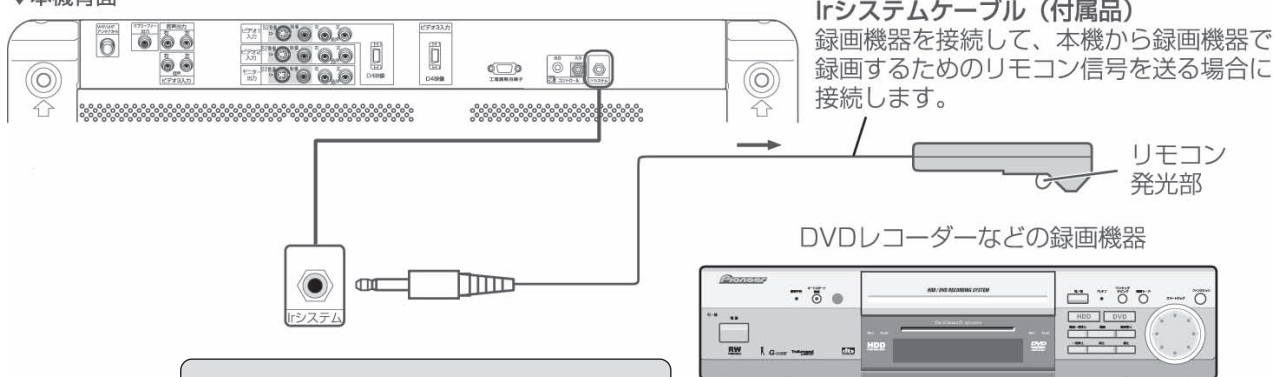
その他の AV 機器

パソコン（PC）

SD カード

Ir システムケーブルをつなぐ

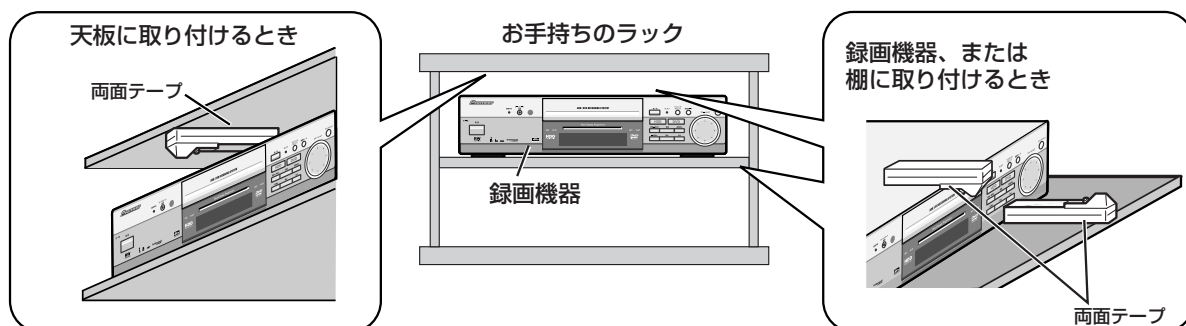
Irシステムを使用して録画機器で録画するには、録画機器の接続のほかに、Irシステムケーブルの接続と設定が必要です。Irシステム設定のテスト時には、録画機器が動作する位置を確認して、Irシステムケーブルを取り付けてください。

● Ir システムケーブルの接続

ご注意

- **Irシステムケーブルは、本機背面のIrシステム端子に確実に接続してください。**
  誤ってコントロール(入力／出力)端子に接続すると、リモコン操作などができなくなる恐れがあります。

● Ir システムケーブルの取り付け

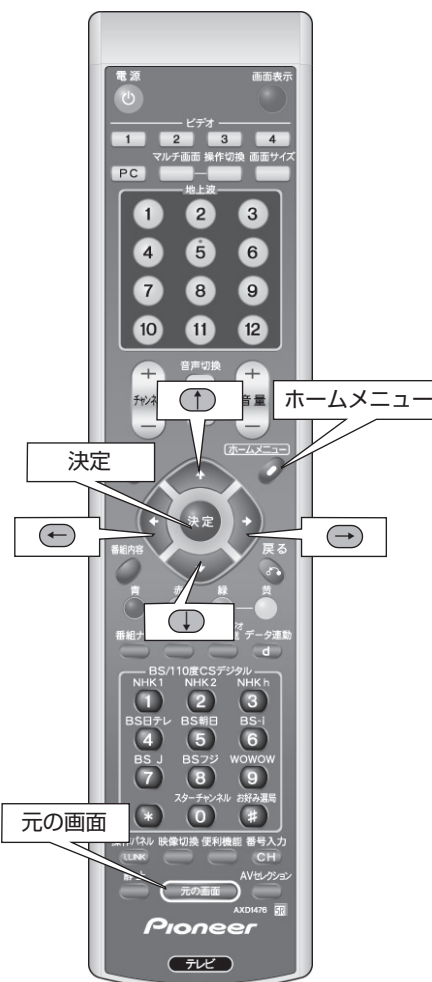
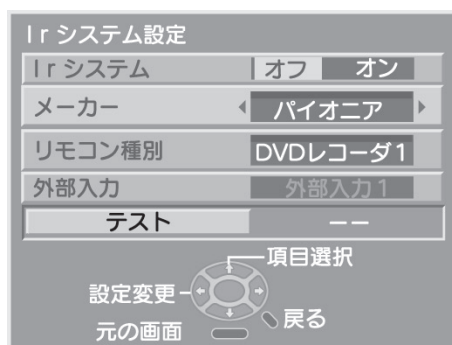
本機背面のIrシステム端子に付属のIrシステムケーブルを接続し、リモコン発光部を録画機器のリモコン受光部に向けて設置すると、本機に接続された録画機器で、BS・110度CS デジタル放送の番組を簡単に録画できます。Ir システムを使用できるのは、当社製および松下製 DVD レコーダーと松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC 製のビデオデッキです(ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります)。

■取り付け例…録画機器のリモコン受光部の位置を確認して、付属の両面テープで取り付けてください。

お願い

- 両面テープは貼り付ける箇所のゴミやホコリを取り除いてから貼り付けてください。
- Irシステムケーブルに付属の両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合がありますので、ご注意ください。
- Ir システムとは、Ir（Infrared：赤外線）で制御するシステムです。

Ir システムケーブルをつなぐ（つづき）

録画機器とIrシステムケーブルの接続後に、Irシステムの設定を行います。
Irシステムを「オン」に設定したときには、「メーカー」、「リモコン種別」、「外部入力」の各設定をしたあと、テストを行ってください。

1. ホームメニュー を押す
2. 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「Irシステムの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

Irシステム	「オン」... Irシステムを使用します。 「オフ」... Irシステムを使用しません。 工場出荷時は、「オフ」に設定されています。
メーカー	ビデオデッキまたはDVDレコーダーのメーカー名を選びます。 **本機で設定できる録画機器メーカー** パイオニア、松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC （ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります） 工場出荷時は、「パイオニア」に設定されています。
リモコン種別	メーカーにより複数のリモコン信号を使用しているため、接続した録画機器を操作することのできるリモコン種別を右下の表から選んでください。 例）パイオニアのDVDレコーダーをIrシステム接続する場合、リモコン種別はDVDレコーダー1～3の中からひとつを選びます。 工場出荷時は、「DVDレコーダー1」に設定されています。
外部入力	本機の映像・音声の信号が、ビデオデッキ側の複数ある外部入力端子のどこに入っているか調べて、その外部入力の番号を選びます。 「メーカー」の設定が松下で、「リモコン種別」の設定がビデオ1～3、DVDレコーダー1～3のときのみ設定できます。

メーカー	リモコン種別
パイオニア	DVD レコーダー 1 ～ 3
松下	ビデオ 1～5、DVD レコーダー 1～3
ビクター	ビデオ 1 ～ 3
東芝	ビデオ 1・2
三菱	ビデオ 1 ～ 4
三洋	ビデオ 1 ～ 4
シャープ	ビデオ 1 ～ 3
ソニー	ビデオ 1 ～ 3
日立	ビデオ 1 ～ 3
アイワ	ビデオ 1 ～ 3
NEC	ビデオ 1 ～ 4

Ir システムケーブルをつなぐ（つづき）

5 「テスト」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

録画機器が、予約待機状態や予約録画実行中でないときに行います。

6 Irシステムケーブル接続が正常に接続されたか確認する

- テストを実行すると録画機器に電源「入」「切」のリモコン信号を繰り返し送信します。録画機器の電源が「入」「切」するかどうか確認してください。
- テスト中は、「送信中」が表示されます。
  テストを中止したい場合は、もう一度決定を押してください。

7 「テスト」画面で録画機器の電源が「入」「切」になったら、決定を押し、テストを終了する

設定が終了したら、録画機器の電源を「切」にします。予約した時刻になると、録画機器の電源が入り、録画が開始されます。

8 設定を終了するには、元の画面 を押す

ご注意

- Ir システムのテストで、どの設定を選んでも録画機器の電源が「入」にならない場合は、Ir システムの発光部が録画機器のリモコン受光部に確実に向いているか、もう 1 度ご確認ください。
- 「外部入力」の設定は、必ず本機と接続している録画機器の外部入力端子の番号に設定してください。この設定を間違えると、本機でタイマー予約の設定をしても BS・110 度 CS デジタル放送の番組は録画できません。

おしらせ

- ビデオ連動予約設定（➡133 ページ）は、初めて Ir システムを使うときに行ってください。2 回目以降は、ご使用のビデオデッキを変えない限り、設定の必要はありません。
- Irシステムケーブルの取り付け位置が適切でないために、ビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、テストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にIrシステムケーブルを固定してください。
- 録画予約のしかたについては、126 ページをご覧ください。

録画機器の電源が「入」「切」しないとき

1 録画機器のリモコンで、電源を「入」「切」できるか確認する
2 Ir システムケーブルの接続と設置を確認する
3 複数のリモコン信号があるメーカーの録画機器の場合、「リモコン種別」の設定を変更する

- 「テスト」のリモコン信号を受け付けない録画機器の場合は、本機のIrシステムは使用できません。この場合、Irシステムの設定を「オフ」にして、録画機器側で録画操作を行ってください。
- テストの信号を送信しながら「メーカー」の設定などを変えることはできません。また、テスト中にカーソルを移動させせると、テストは中止されます。

i.LINK で D-VHS ビデオとつなぐ

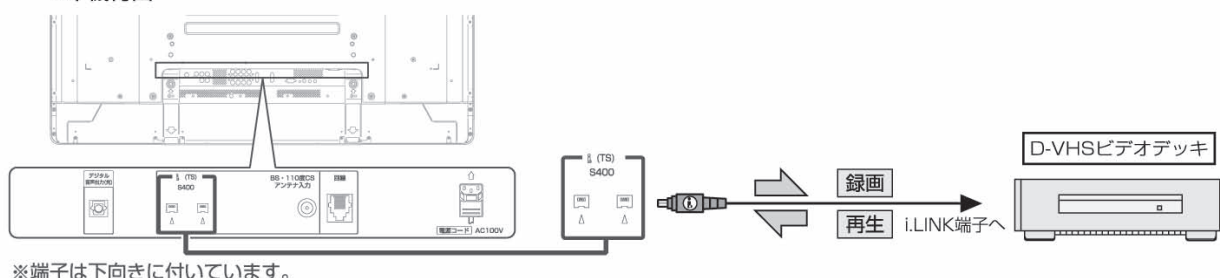
i.LINK とは、i.LINK 端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINK ケーブル 1 本で接続することができます。
i.LINK は、IEEE1394 の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbps の転送速度があり、それぞれ S100/S200/S400 と表示されます。本機では最大 400Mbps の転送速度が可能です。

●本機に接続できる i.LINK 機器について

本機が対応している i.LINK 機器は D-VHS ビデオデッキのみです。DVD レコーダーやデジタルビデオカメラ等の DV 機器、PC（パソコン）や PC 周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

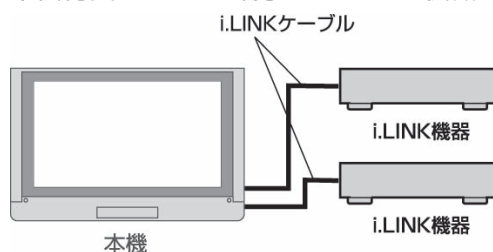
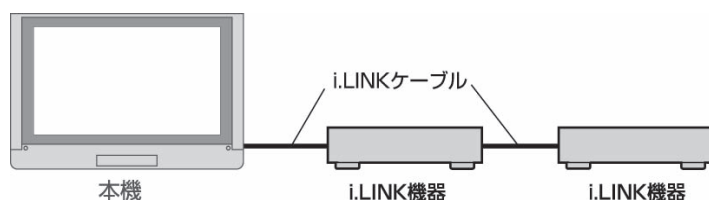
● i.LINK で録画できる内容について

本機と D-VHS ビデオデッキを i.LINK 接続して録画できるのは、BS・110 度 CS デジタル放送のみです。それ以外の地上波放送や外部入力（ビデオ 1 ～ 4）、PC 入力は、i.LINK 録画ができません。

●接続のしかた

■ 接続する i.LINK 機器（D-VHS ビデオデッキ）が 1 台のとき

i.LINK接続は、i.LINKケーブルだけでできます。映像・音声端子等はつなぐ必要がありません。

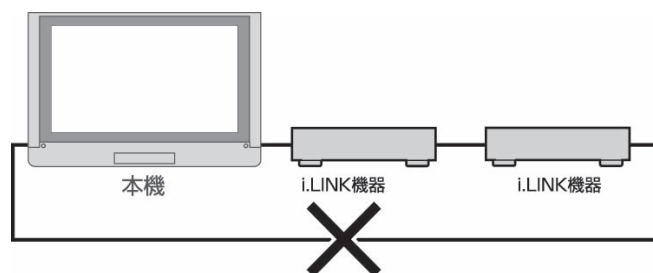
■ 接続する i.LINK 機器（D-VHS ビデオデッキ）が 2 台のとき

本機背面の i.LINK 端子に、i.LINK 機器を直接 2 台接続します。

i.LINK ケーブルを使い、デイジー・チェーン（数珠つなぎ）で接続することも可能です。この接続では、i.LINK 機器（D-VHS ビデオデッキ）を 2 台までつなげます。

■ i.LINK 接続に関するご注意

接続の際は、「S400」タイプの i.LINK ケーブルをご使用ください。

一部の i.LINK 機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。

このようなときは、「衛星デジタルの設定」の「i.LINK 待機」を「する」に設定してください（➡148 ページ）。

また、下図のようなループ（輪）接続はしないでください。

ご注意

- 本機との接続には最大転送速度が400Mbps、S400対応以上の4ピンi.LINKケーブルをご使用ください(➡143ページ)。
- i.LINKで接続されている機器を使っての録画、予約録画中、及び再生中に、他の使用していないi.LINK機器の電源を「入」「切」したり、i.LINKケーブルを抜き差しすると、映像や音声がとぎれることがあります。
- 録画・予約録画中や再生中は、使っていない機器でも電源の「入」「切」をしたり、i.LINKケーブルの抜き差しは行わないでください。
- i.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継できない機器があります。接続するi.LINK対応機器の取扱説明書もご覧ください。また、本機では「i.LINK待機」の設定で、電源スタンバイ時のi.LINK制御の設定を切り換えることができます(➡148ページ)。
- パソコンやパソコン周辺機器を接続していると、誤作動を起こすことがあります。
- 万一i.LINK操作において、D-VHSビデオデッキが正常に録画・録音や再生ができなかったとき、内容の補償についてはご容赦ください。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

おしらせ

- i.LINK 対応 D-VHS ビデオデッキでは、本機を使用してデジタル録画した BS・110 度 CS デジタル放送を再生して、本機で視聴することができます。
- 本機とD-VHSビデオデッキをi.LINK接続して録画できるのは、BS・110度CSデジタル放送のみです。それ以外のテレビ(VHF/UHF)、外部入力(ビデオ1〜4)、PC入力は、i.LINK録画ができません。
- 本機では、i.LINK対応D-VHSビデオデッキを同時に2台まで接続して、基本的な操作のみができます。
D-VHS ビデオデッキによっては、本機の i.LINK 操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHS ビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- 本機に接続する機器によっては、VHS テープや S-VHS テープ、またはアナログで記録されている D-VHS テープの再生映像・音声を i.LINK で視聴することができないことがあります。このような場合は、D-VHS ビデオデッキのアナログ映像出力を、本機のビデオ 1 〜 4 入力のいずれかに接続してご使用ください。
D-VHS ビデオデッキをアナログ接続したときは、アナログ接続設定（➡149 ページ）もあわせてご覧ください。
- 本機で受信している BS・110 度 CS デジタル放送の映像や音声を D-VHS ビデオデッキで記録するときは、D-VHS テープを使用してください。VHS テープや S-VHS テープでは記録することができません。
- 予約録画実行中は、i.LINK 操作パネルを表示することができません。
- 番組の内容によっては、D-VHS ビデオデッキで録画や録音ができない場合があります。
- 本機に接続した i.LINK 機器（D-VHS ビデオデッキ）で録画した内容を再生したとき、ビデオサーチ（早送り／巻戻し）をすると画面がモザイクになる場合があります。
- IEEE1394 は、米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。

i.LINK 接続の確認

本機でi.LINK対応機器の操作や予約録画を行うには、「i.LINK接続設定」が設定されている必要があります。本機で設定できるi.LINK対応機器は2台です。

1 ホームメニュー を押す

2 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 「i.LINK接続の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

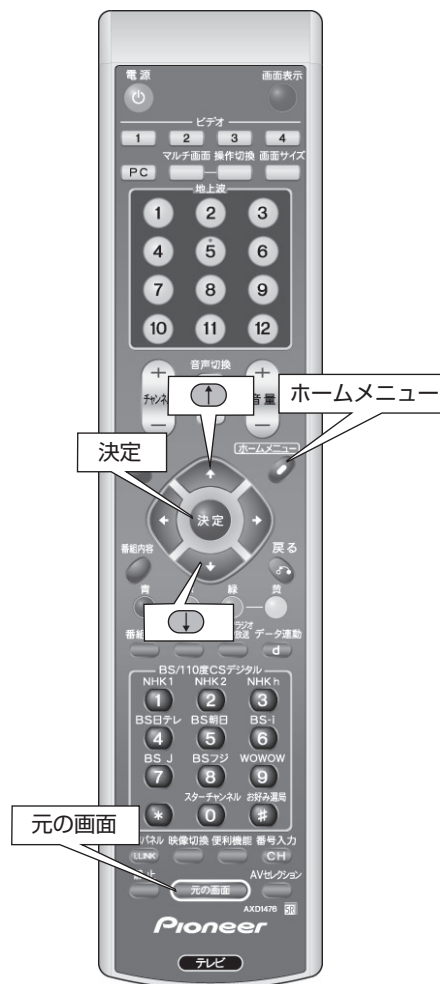
4 接続しているi.LINK機器を確認する

機器名（i.LINK 接続されている機器の名称を表示）
D-VHS ビデオデッキを接続している場合は、D-VHS＋番号（接続した順番）が表示されます。

メーカー名（i.LINK 接続されている機器のメーカー名を表示）
本機で認識できない場合は「不明」と表示されます。

機種名（i.LINK 接続されている機器の機種名を表示）
本機で認識できない場合は「不明」と表示されます。

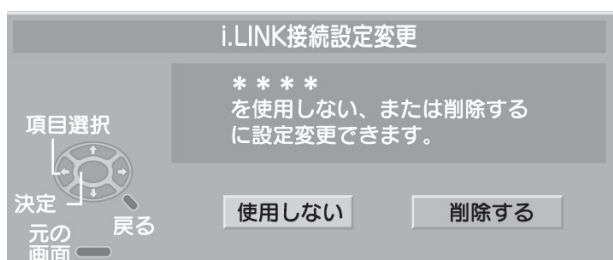
接続状態
- 「オン」......... 電源「入」の状態で接続されている
- 「オフ」......... i.LINK で制御できる電源「切」の状態で接続されている
- 「未接続」..... i.LINKで制御できない電源「切」の状態で接続されている、または、一度接続されたが現在は接続されていない状態
- 「予約」......... 予約録画の待機状態で接続されている
- 「不明」......... 制御できない機器、または「使用」の項目が「しない」に設定されている機器

使用
- 「する」.........本機で制御する設定
- 「しない」.....本機で制御しない設定
- 「不可」.........本機で制御できない機器

5 確認を終了するには、 元の画面 を押す

決定 を押すと、引き続きi.LINKの設定と変更を行うことができます。

i.LINK 接続の設定を変更する

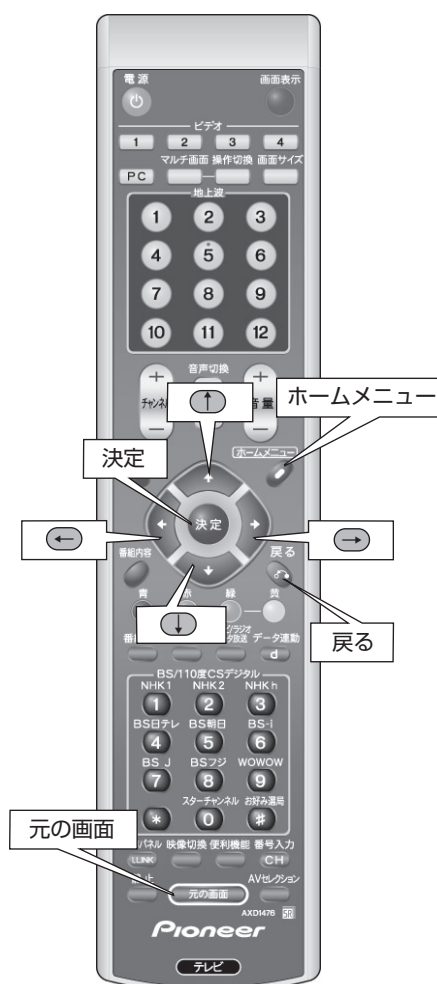
使用するi.LINK対応機器を設定または変更する場合に行います。

1. ホームメニュー を押す
2. 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「i.LINK 接続設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 設定または変更したい機器を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
5. 設定を ← → で選んで 決定 を押す

「使用する」……本機で使用する設定に変更します。「使用しない」に設定しているときのみ表示されます。すでに2台のD-VHSビデオデッキが設定されている場合はさらに他の機器を「使用する」に変更することはできません。別の「使用する」に設定されている機器を「使用しない」に設定すると「使用する」に設定できます。

「使用しない」…本機で使用しない設定に変更します。「使用する」に設定しているときにのみ表示されます。

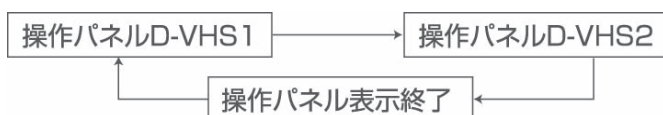
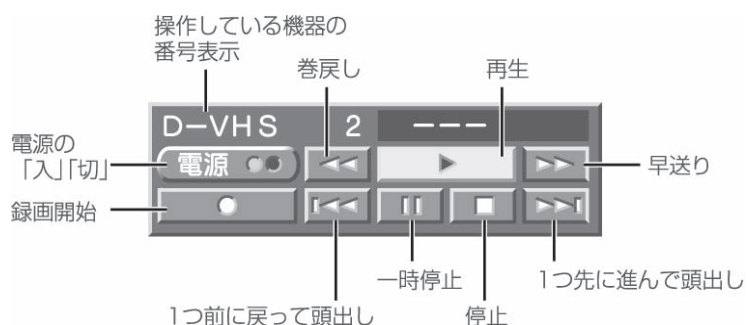
「削除する」……この機器を「i.LINK 接続設定」画面から削除できます。接続状態が「未接続」の場合にのみ表示されます。

6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

設定せずに「i.LINK接続設定」に戻るには、戻る を押します。

i.LINK操作パネルでD-VHSビデオを操作する

本機のリモコンを利用して、i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの基本的な操作が行えます。

1 i.LINK操作パネル を押す

押すごとに操作パネルの表示が切り換わります。
操作したい機器の操作パネルを表示させてください。

2 操作したい機能のボタンを↑↓←→で選んで 決定 を押す

■各操作パネル画面から、本機で受信中の衛星デジタル放送を録画するには

1 録画したい衛星デジタル放送画面にする
2 i.LINK操作パネルを押し、操作画面を表示させる
3 ●（録画開始）を選んで決定を押すと録画が開始されます

おしらせ

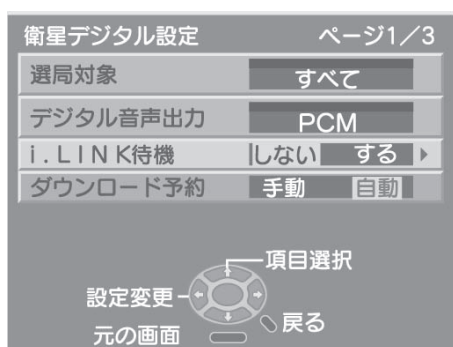
- 操作する録画機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 1台のD-VHSビデオデッキが録画中の場合、もう1台のD-VHSビデオデッキの操作画面は表示できません。
- 録画予約中の録画機器は操作パネルを表示できません。
- i.LINK操作パネルの操作中は、本機の機能（チャンネル一覧など）が一部使用できなくなります。
- 選択した録画モードの機能がないD-VHSビデオデッキの場合は、D-VHSビデオデッキに設定されている録画モードで録画されます。
- BS・110度CSデジタル放送以外を見ているときは、操作パネルで録画を選択しても録画はできません。

- 大切な番組を録画する場合は、「予約設定」で録画予約をしてください。操作画面から録画を行うと、操作した画面が録画される場合があります。「予約設定」については、126ページをご覧ください。

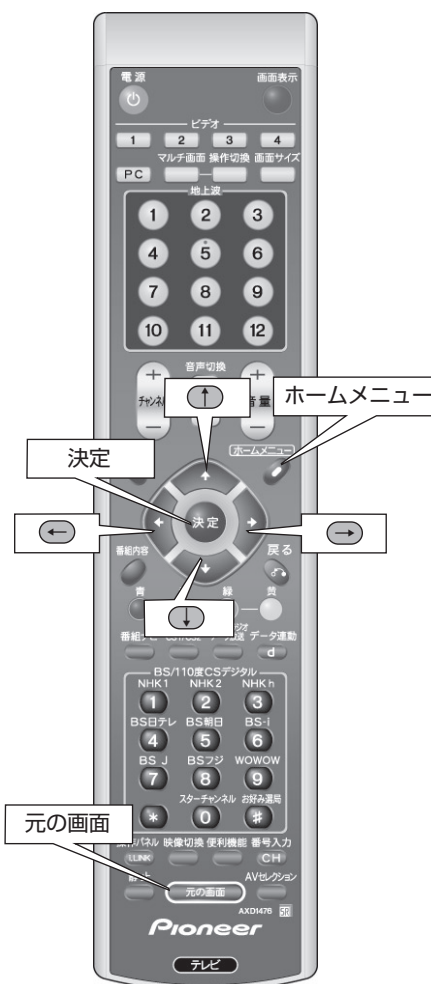
i.LINK 待機の設定

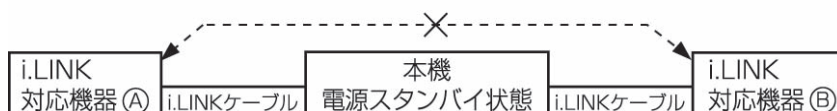
本機では電源スタンバイ状態のとき、i.LINK 接続機器からの制御を受け付ける設定を選ぶことができます。i.LINK対応機種を接続していない場合は、消費電力の少なくなる「しない」に設定してください。

1. ホームメニュー を押す
2. 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. 「i.LINK待機」を ↑ ↓ で選んで、← → で設定する

工場出荷時は「しない」に設定されています。

「する」.......... 電源スタンバイ状態にすると、機能待機インジケーターが橙色に点灯し（機能待機状態になります）映像・音声などの信号出力を停止しますが、i.LINK 接続された機器からの制御は受け付けることができます（i.LINK接続された機器から再生信号を受け付けると、本機の電源が自動的に「入」します）。

「しない」...... 電源スタンバイ時の消費電力を少なくします。電源スタンバイ状態にすると、スタンバイインジケーターが赤色に点灯し、映像・音声などの信号出力を停止します。また i.LINK 接続された機器からの制御信号の受け付けや i.LINK 信号の中継はできません。

5. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

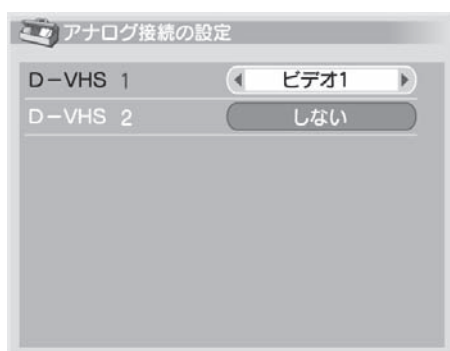
- 複数のi.LINK対応機器をi.LINKケーブルで接続した場合、「i.LINK 待機」の設定を「しない」にして電源スタンバイ状態にすると、本機を中継して接続されている機器間の制御やデータのやりとりはできなくなります。
  この場合、i.LINK 待機の設定を「する」にするとデータのやりとりができます。また、電源「入」時にのみi.LINK対応機器を使用する場合は、「しない」に設定してご使用ください。

i.LINK 接続した機器のアナログ接続設定

VHS や S-VHS で録画されたテープを D-VHS ビデオデッキで見るための設定です。

1 ホームメニュー を押す

2 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

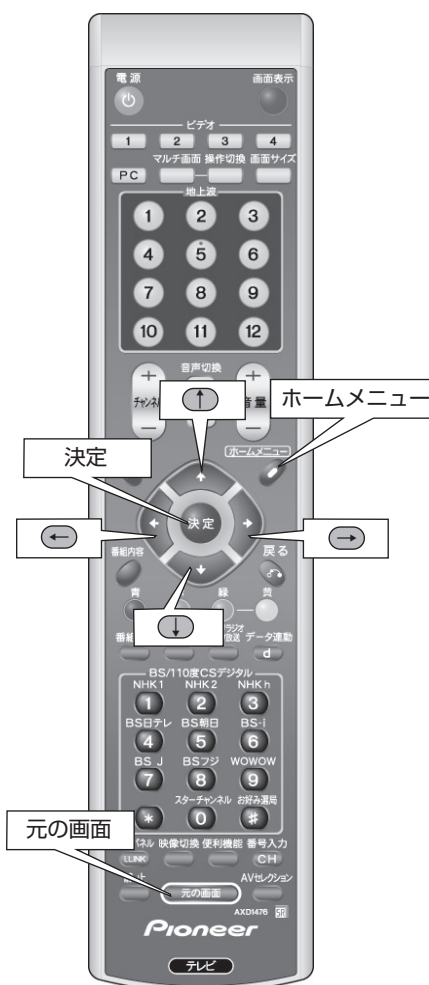
3 「アナログ接続の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

i.LINK 接続された機器が表示されます。

4 機器を ↑ ↓ で選んで ← → で設定する

「しない」................ デジタルからアナログ（またはその逆）に切り換えたとき、本機の入力を自動的に切り換えません。
「ビデオ１～４」..... 本機に接続されているビデオ入力（１～４）を選びます。

D-VHS ビデオデッキのビデオ出力から、本機に接続されているビデオ入力（1 ～４）を選んでください。

5 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
- 接続機器が 1 台のみの場合は、「アナログ接続の設定」画面の項目は 1 つだけ表示されます。

デジタル音声出力の設定

本機のデジタル音声出力(光)端子を使用するときに設定します。

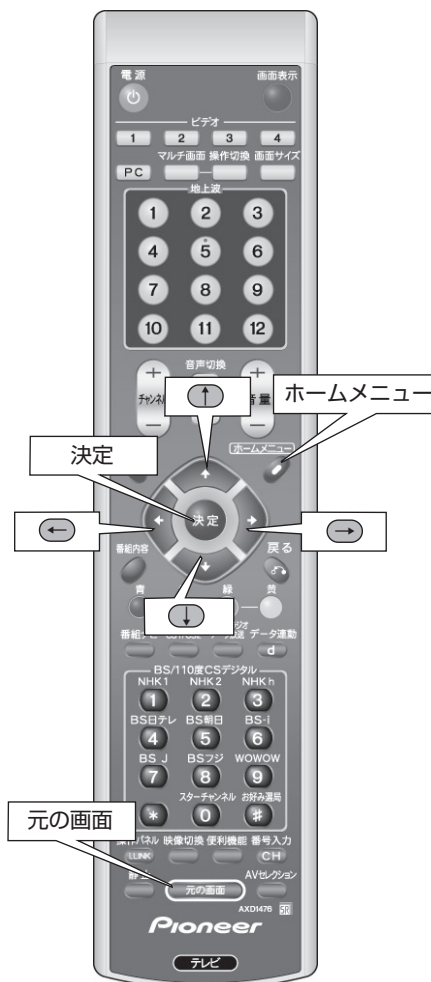
1 ホームメニュー を押す

2 「初期設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

3 「衛星デジタルの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4 「デジタル音声出力」を ↑ ↓ で選んで、← → で設定する

工場出荷時は「PCM」に設定されています。

「PCM」... AACフォーマットに対応していないオーディオ機器を接続する場合に設定します。
「AAC」... AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。
「自動」.... AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。サラウンド・ステレオの番組のみ自動的に「AAC」に切り換えます。

5 設定を終了するには、元の画面 を押す

お願い

- 「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の効果音は、本機のデジタル音声出力(光)端子から出力されません。この場合は、「PCM」に設定するか、モニター出力端子や音声出力端子をご使用ください。

おしらせ

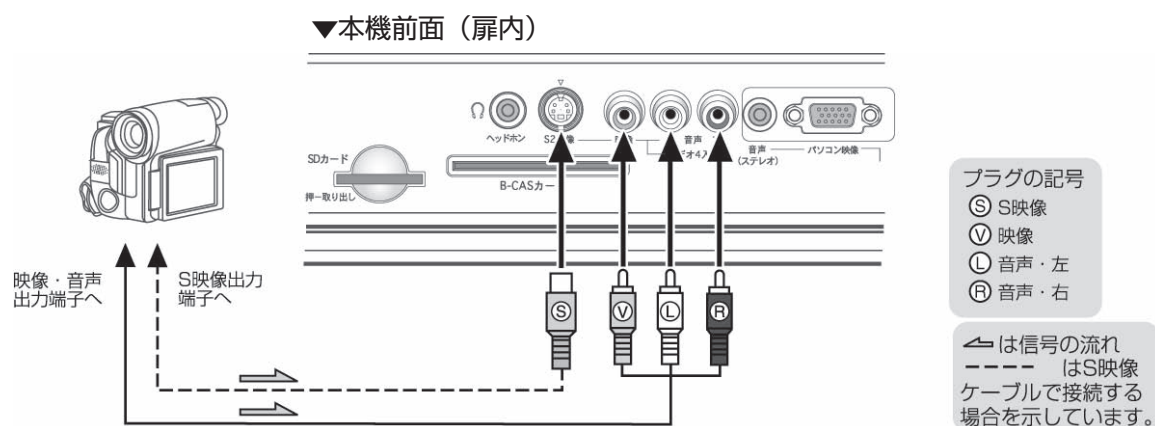
- 地上波放送や、ビデオ１～４入力に接続した外部機器を視聴しているときは、設定に関係なく常時「PCM」で出力します。
- AAC対応アンプを接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切り換え機能のあるものをおすすめします。
- AAC(Advanced Audio Coding)とは、音声符号化の規格の１つです。AACは、CD(コンパクトディスク)並みの音質データを約1/12の容量にまで圧縮できます。また、5チャンネル+低域強調チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

ビデオカメラをつなぐ

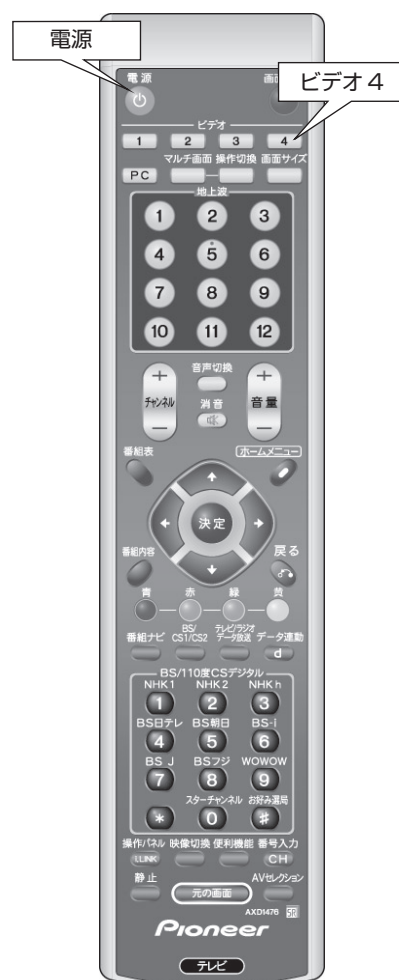
ビデオカメラなどの再生には、本機前面(扉内)にあるビデオ4入力が使用できます。
本機の前面入力端子を使用して、手軽にビデオカメラの映像を再生したり、ビデオデッキなどへ録画することができます。

●接続のしかた

ビデオカメラは本機前面扉内の
ビデオ4入力 端子に接続します。

▼本機前面（扉内）

●使いかた

1. 本機の電源を「入」にする
2. リモコンの ビデオ4 を押す
3. ビデオカメラを再生する

   ビデオカメラの映像が再生されます。

ご注意

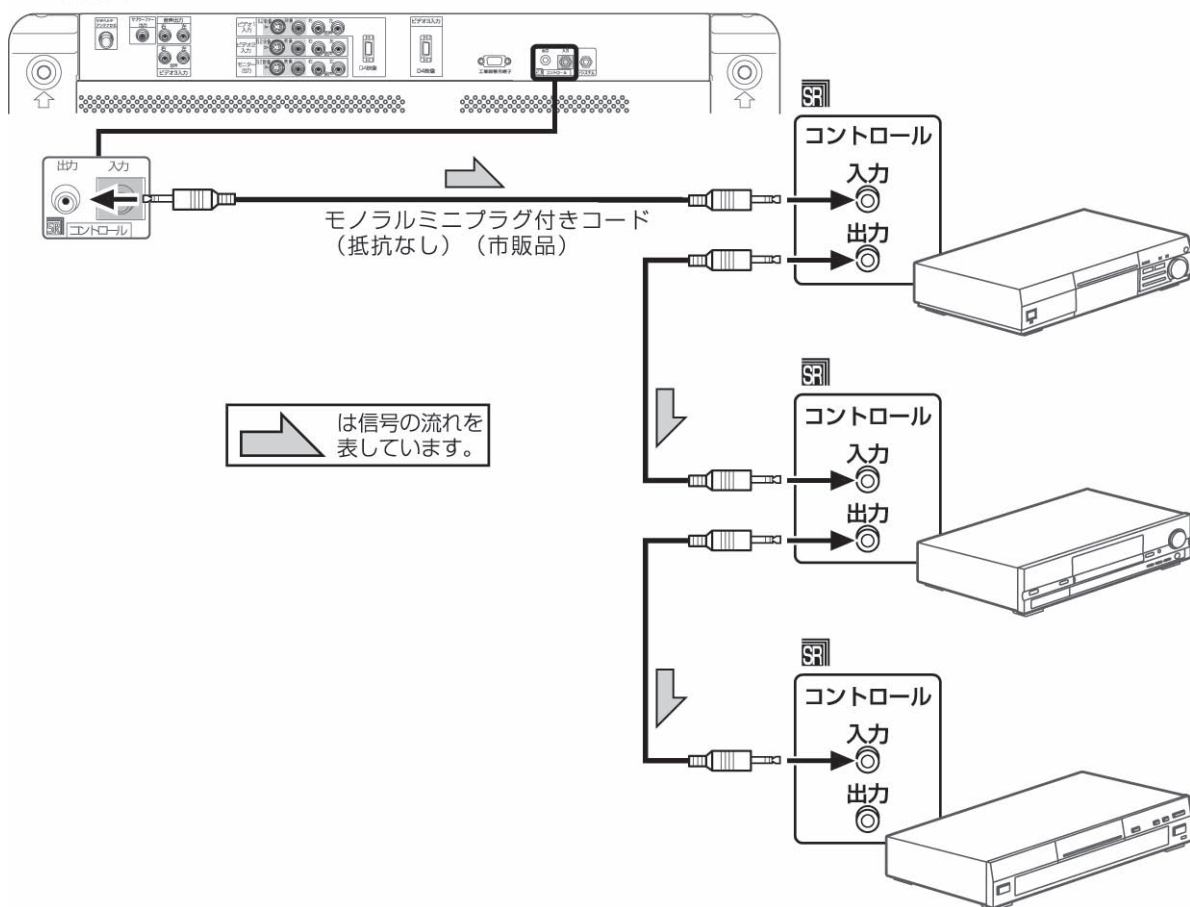
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

おしらせ

- ビデオカメラの映像出力を S2 映像端子に接続した場合は、「S 映像」の表示をします。
- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

コントロール接続について

SR マークのある当社製の機器とコントロール接続すると、本機のリモコンで他の機器の操作ができるようになります。コントロール入力端子を使用した機器のリモコン受光部は、リモコン信号を受け付けなくなります。接続した他の機器のリモコンは、本機の受光部に向けて操作してください。

●接続のしかた

● SR ＋について

本機背面のSRコントロール出力端子は、SR＋に対応した当社製AVアンプとの連動動作を可能にするSR＋に対応しています。SR＋にはシステム連動動作機能やサラウンドモードのディスプレイ表示等があります。

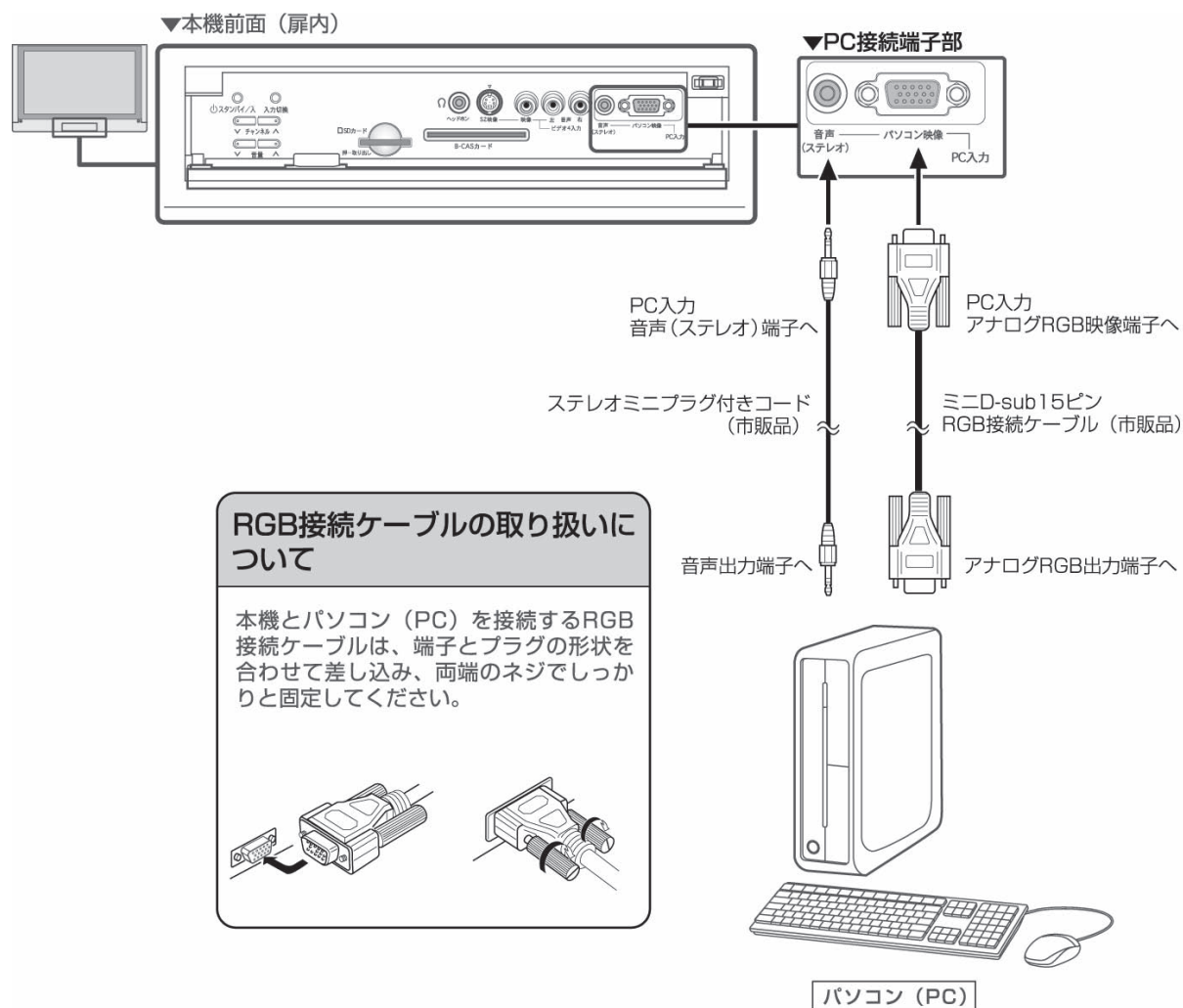
詳しくは、お使いのSR＋に対応した機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続する前に、電源が切れていることを確認してください。
- コントロール接続をする前に、他の機器の接続をすべて済ませておいてください。
- SR ＋接続を開始すると、本機の音量が一時的に最小になります。

パソコン（PC）をつなぐ

本機の前面（扉内）にパソコン（PC）用の入力端子があります。
パソコンを接続するとパソコン画面を表示することができます。

●接続のしかた

●パソコン入力対応表

パソコンを接続する前に、対応表に合わせてパソコンの解像度を設定してください。

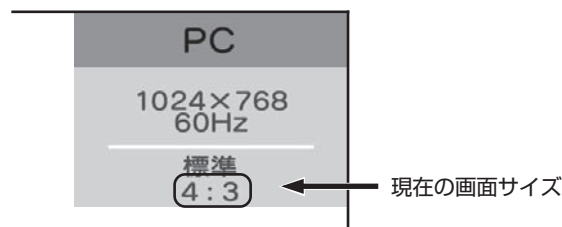
画素数	垂直周波数	備考	画素数	垂直周波数	備考
640 × 400	85Hz		800 × 600	75Hz	
720 × 400	70Hz			85Hz	
	85Hz		832 × 624	74.5Hz	Macintosh16"
640 × 480	60Hz		1024 × 768	60Hz	
	65Hz	Macintosh13"(67Hz)		70Hz	
	72Hz			75Hz	Macintosh19"
	75Hz			85Hz	
	85Hz		1280 × 768	56Hz	
800 × 600	56Hz			60Hz	
	60Hz			70Hz	
	72Hz				

パソコン（PC）をつなぐ

他の機器を接続して使う

画面サイズを切り換える（パソコン用）

パソコン(PC)からの入力を、お好みのサイズに調整します。

① 画面サイズ でお好みの画面サイズを選ぶ

- 押すごとに画面サイズが切り換わります。
- 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。次の画面サイズから選ぶことができます。

入力信号	4：3	フル	Dot by Dot
640×400 720×400 640×480 800×600 832×624	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	16：9画面いっぱいに映します。	入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。※

入力信号	4：3	フル1	フル2
1024×768 1280×768	<例> 1024×768入力時 入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	<例> 1024×768入力時 16：9画面いっぱいに映します。	<例> 1024×768入力時 ワイド信号表示用のモードです。 1280×768の表示時にお使いください。
	1024×768の表示に最適です。		

※：横長画素のため、実際の入力信号より横長に映し出されます。

おしらせ Dot by Dot（ドット・バイ・ドット）とは
- 接続したパソコン（PC）の入力信号の解像度を判断して、これに一致したパネル画素数で表示する機能です。

お好みの画質にする（パソコン用）

お好みの画質に調整することができます。

1 ホームメニューを押す

2 「映像の調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

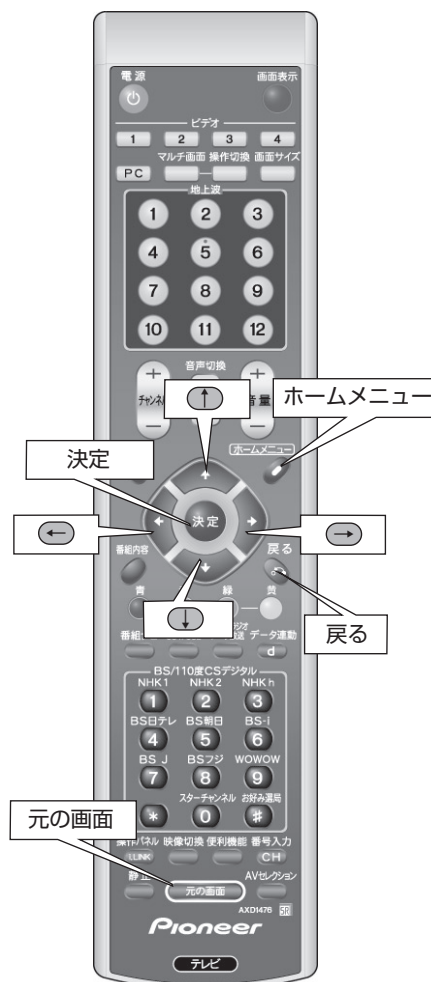
3 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4 ← → でお好みの調整をする

お好みの調整は、現在選ばれているAVセレクション（例えば「AV メモリー」など）に対して行います。
あらかじめお好みの調整を行いたいAV セレクションに切り換えてください。

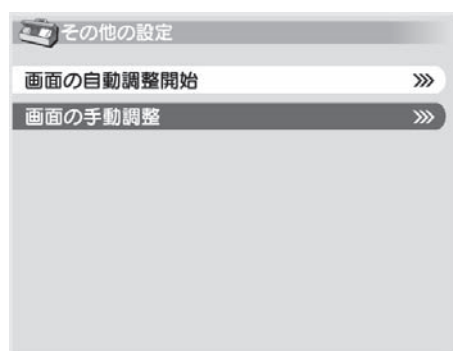
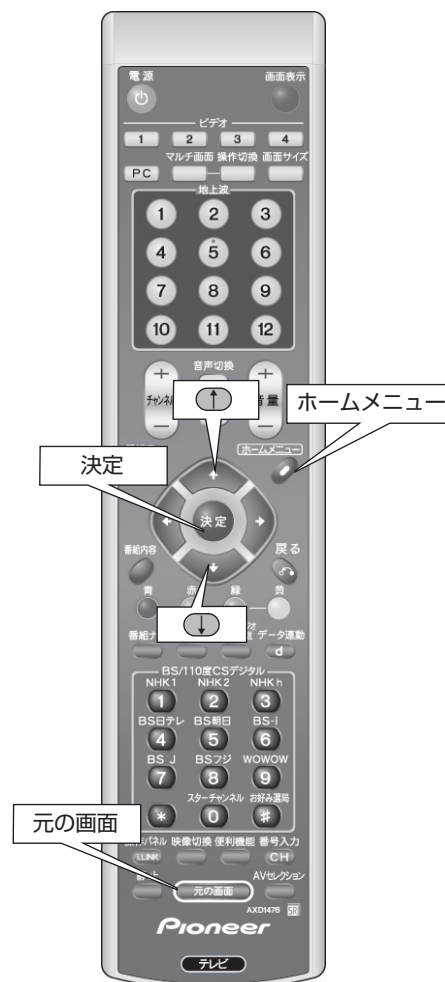
項目	← を押すと	→ を押すと
映像	明暗の差が弱くなる	明暗の差が強くなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
R レベル	赤が弱くなる	赤が強くなる
G レベル	緑が弱くなる	緑が強くなる
B レベル	青が弱くなる	青が強くなる

他の項目を調整するときは、戻る を押して手順 3 4 をくり返します。

5 調整を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
- 手順 4で ↑ や ↓ を押すと、調整したい項目を直接切り換えることができます。
- AV セレクションの切り換えは、82 ページをご覧ください。
- 調整を初期状態に戻すときは、91 ページをご覧ください。

最適なパソコン画面にする(画面の自動調整)

最適なパソコン画面表示にするために行います。
自動的に画面の表示位置などが自動で調整されます。

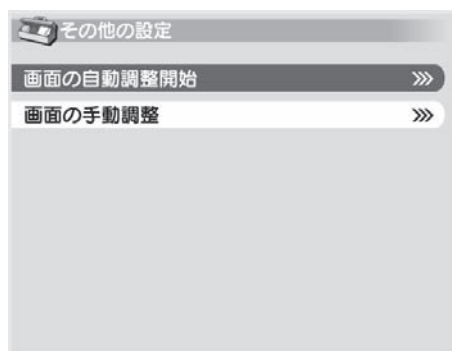
1. ホームメニュー を押す
2. 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「画面の自動調整開始」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ

- 次のような映像信号では、自動調整により最適な画面表示が得られないことがあります。
  - スクリーンセーバーや動画再生時など動きのある映像
  - 画面全体が単色になっている場合など

その場合は、画面の手動調整を行ってください（➡157 ページ）。

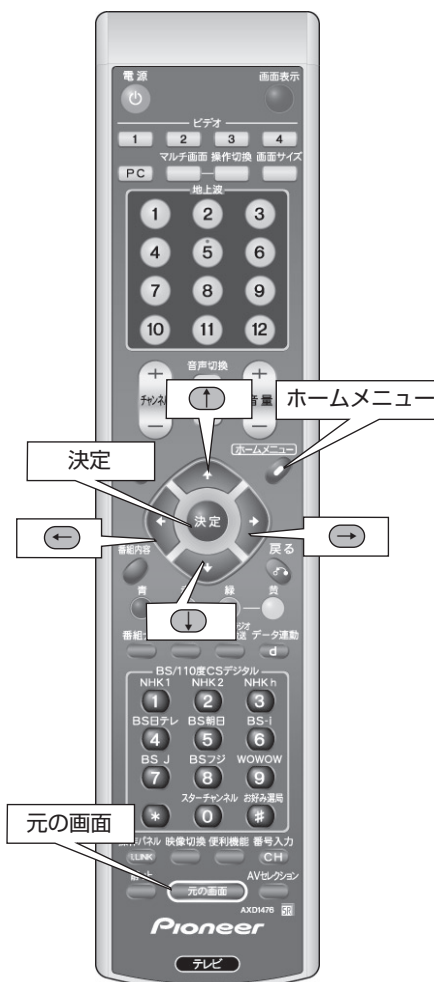
パソコン画面を調整する（画面の手動調整）

最適なパソコン画面表示にするために行います。
画面の表示位置などを手動で調整できます。

1. ホームメニューを押す
2. 「その他の設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「画面の手動調整」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

4. 調整したい項目を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

5. ← →（または ↑ ↓）で適切な調整をする

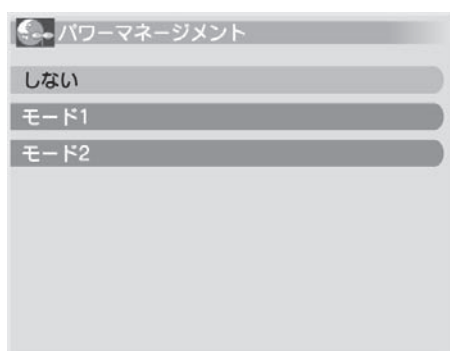
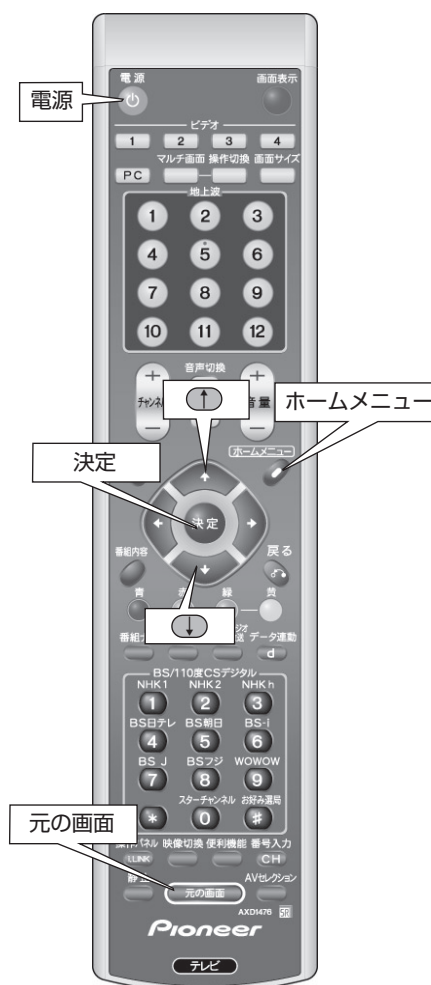
「水平・垂直位置」...	水平位置は、画像が右寄り、または左寄りのときに ← → で調整します。垂直位置は、画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎのときに ↑ ↓ で調整します。
「クロック周波数」...	映像に縦じま状のちらつきがあるときに ← → で調整します。
「クロック位相」.....	文字などを表示したときに、映像のちらつきがあるときや、コントラストがつかないときに ← → で調整します。

6. 設定を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
- 調整を初期状態に戻すときは、手順4で「初期状態に戻す」を選び、次の画面で「する」を選んでください。

省エネ機能を使う（パソコン用）

パソコン入力専用の省エネ機能です。
パソコンからの映像信号の状態により、自動的に電源スタンバイ状態にしたり、動作を一時停止（サスペンドと言います）して、本機の消費電力を抑えることができます。

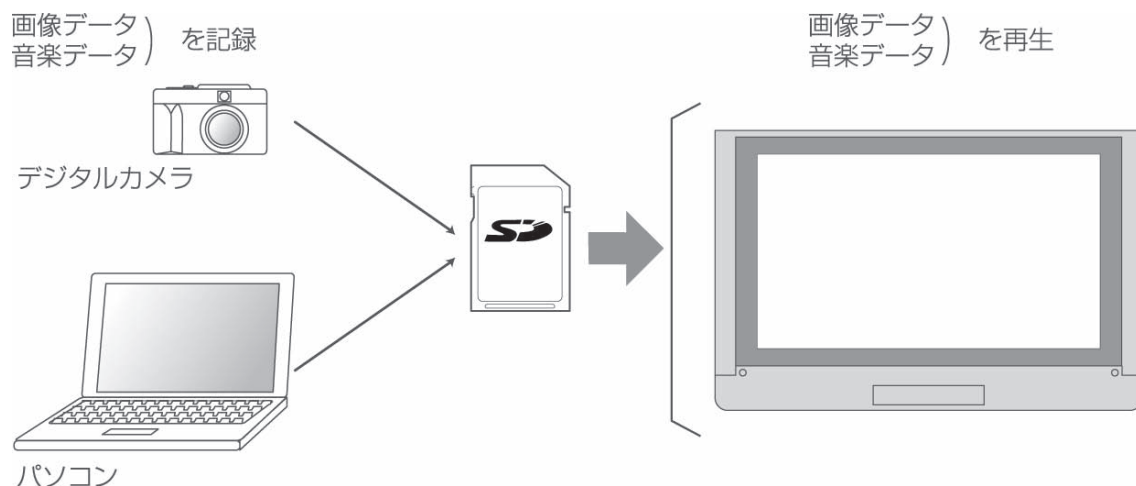
1. ホームメニュー を押す
2. 「省エネの設定」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
3. 「パワーマネージメント」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す
4. ↑ ↓ でお好みの設定を選んで 決定 を押す

工場出荷時は、「しない」に設定されています。

「しない」.........パワーマネージメント機能を使用しません。
「モード１」.....パソコンからの信号が無信号になったとき、約8分後に自動的に電源をスタンバイ状態にする機能です。
「モード２」.....パソコン入力で無信号の状態が８秒間続くと、自動的に入力信号待ち（サスペンド）状態になります。パソコンが動作を開始し、再び信号が入力されると本機の電源が入ります。

5. 設定を終了するには、元の画面 を押す

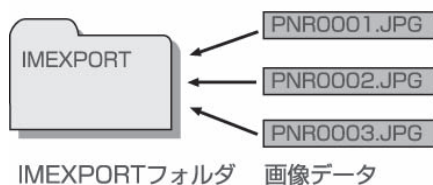
おしらせ

パワーマネージメント機能について
- パワーマネージメント機能が働く前に、画面左下に残り時間が表示されます。
- パワーマネージメント機能が働いているときに 電源 を押すと、本機の電源を入れることができます。
- 再度電源を入れた後も、引き続きパソコンからの映像信号が途切れていると、再度パワーマネージメント機能が働きますので、ご注意ください。
- 消費電力の設定は 72 ページをご覧ください。

SD カードの情報を楽しむ

本機では、デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどで撮影した画像データやパソコンで編集した音楽データを、SDカードを使用して再生することができます(本機では、SDカードにテレビの映像や音声を記録することはできません)。

● SD カードについて

SD カードは「Secure Digital」の頭文字をとった名前で著作権保護機能を内蔵したカードで、24mm × 32mm × 2.1mm の切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーです。

●再生できる画像データ

●再生できる音楽データ

・AAC 方式の音楽データ
ただし、サンプリング周波数がハーフレート(24kHz、22.05kHz、16kHz)のデータは再生できません。

お願い

- SDカード使用中(「SDカード」画面での操作中)は電源を切ったり、SDカードを抜かないでください。SDカードのデータが破壊されることがあります。

おしらせ

- 再生できる画像データの規格
  - ● DCF規格の画像データ
  - ● SDカード対応の機器間データ転送用フォルダ「IMEXPORT」のExif2.1以上の画像データ
    ただし、ファイル名が日本語の場合は表示できません。
- DCF(Design rule for Camera File system)
  デジタルカメラの統一フォーマットとしてJEITA(電子情報技術産業協会)によって制定された画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器間で画像ファイルを相互に利用することが簡単にできます。
- AAC(Advanced Audio Coding)
  音声符号化の規格の1つです。CD(コンパクトディスク)並みの音質の音楽データを約1/12の容量にまで圧縮できます。

SD カードの取り扱い

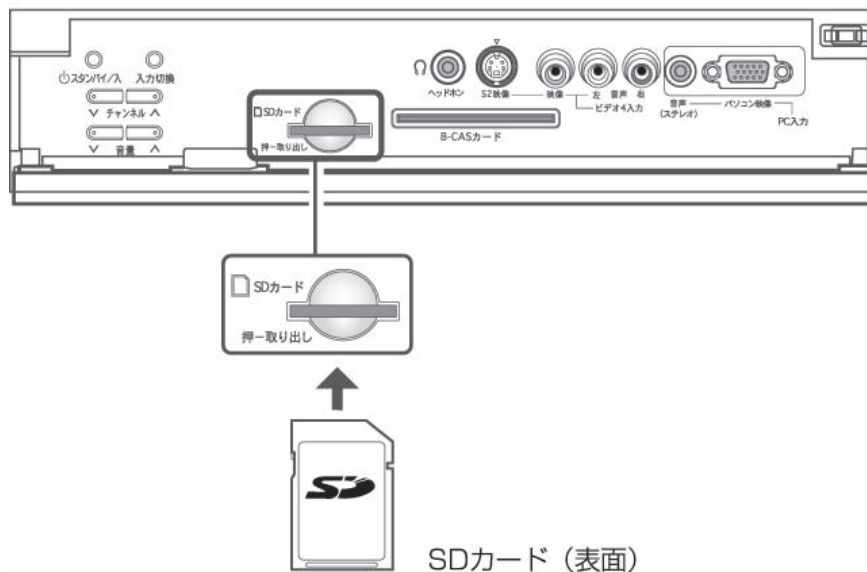
● SD カードの入れかた

1 本機前面の扉を開ける

2 SD カードを挿入する

カードの表面を上にして、奥まで押し込んでください。
電源を入れたままSDカードを挿入すると、「SDカード」画面が表示されます。
（予約実行中は表示されません。）

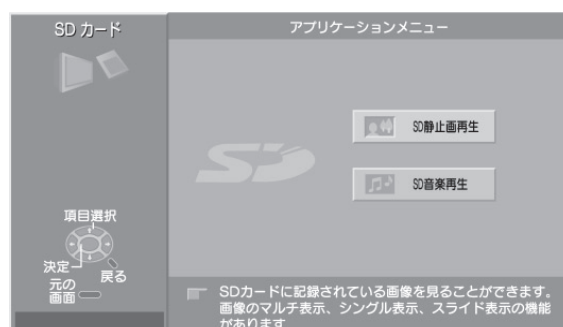
▼本機前面（扉内）

SDカード（表面）

3 本機前面の扉を閉める

● SD カードの抜きかた

挿入されている SD カードを一度奥に押して、指を離すと SD カードが出てきます。
必ず「SD カード」画面を終了してから抜いてください。読み込み中に抜くと、データが破壊されることがあります。

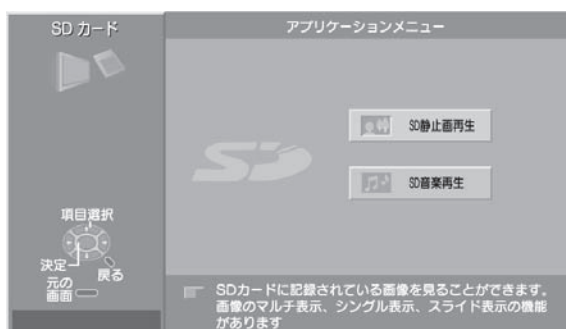
● SD カードの表示について

SD カードを挿入すると下記画面が自動で表示されます。

SD カードのデジタルカメラ画像を見る

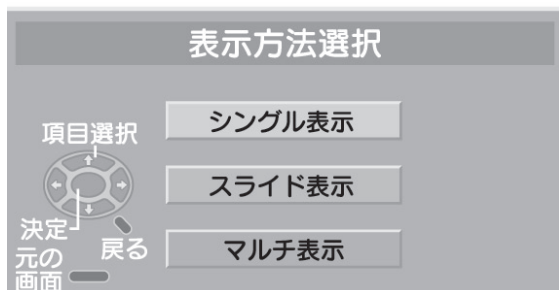
SD カードに記録されている画像を見ることができます。

1 本機にSDカードを挿入すると、「SDカード」画面が表示されます

すでにSDカードが挿入されている場合は、ホームメニューを押し、「SDカード」を ↑ ↓で選んで、決定を押すと、「SDカード」画面を表示させることができます。

2 「SD静止画再生」を ↑ ↓ で選んで決定を押す

「SD静止画再生(マルチ表示)」画面が表示されます。

3 「SD静止画再生(マルチ表示)」画面を表示中に決定を押す

4 ↑ ↓ でお好みの表示方法を選んで決定を押す

「シングル表示」..... 1つの画像を画面に大きく表示させて見ることができます(➡162ページ)。
青を押してもシングル表示になります。

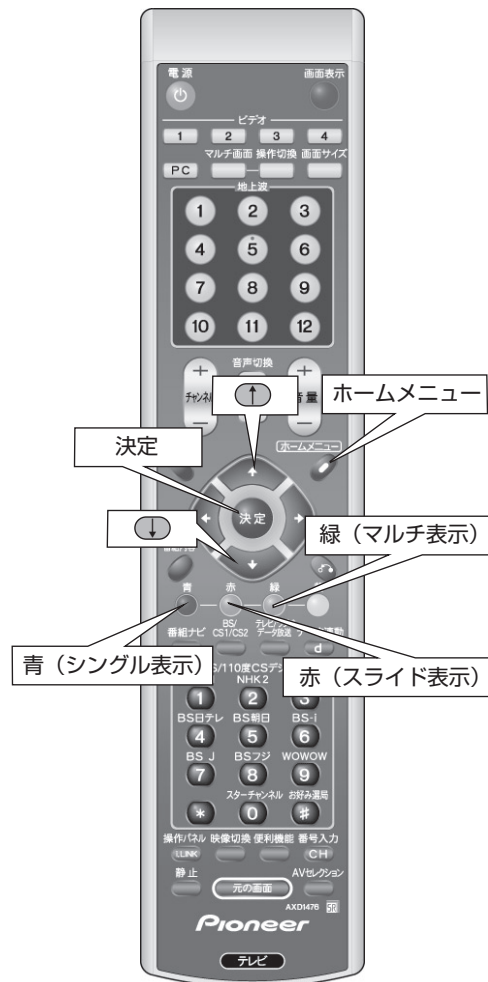
「スライド表示」..... 連続して画像を表示させて見ることができます(➡163ページ)。
赤を押してもスライド表示になります。

「マルチ表示」......... 画面に最大9個の縮小画像を表示させて見ることができます(➡164ページ)。
緑を押してもマルチ表示になります。

ご注意

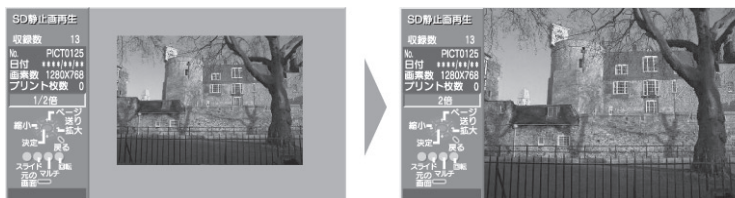
• 同じ画像を長時間表示しないでください。画面が焼き付き、残像が残ることがあります。

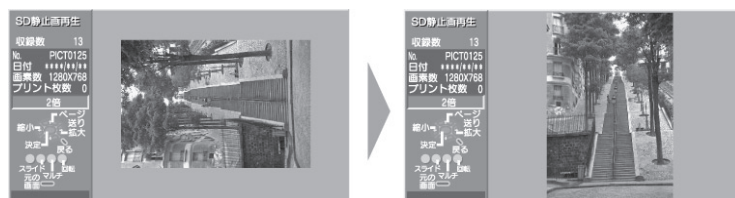
おしらせ

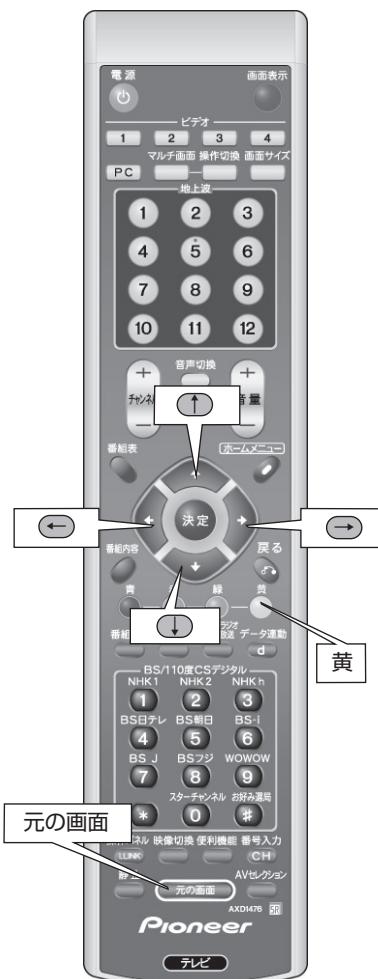
• 青、赤、緑の各ボタンは、「マルチ表示」画面、「シングル表示」画面、「スライド表示」画面で使用できます。「番組表」などの別の画面では、ボタン機能が変わります。

シングル表示で見る（SD カード）

SDカードに記録されている画像を1つずつ大きく表示させて見ることができます。
横に向いた画像や上下反転した画像を回転、拡大、縮小させることができます。
まず、161ページの操作を行って「シングル表示」画面にしてください。

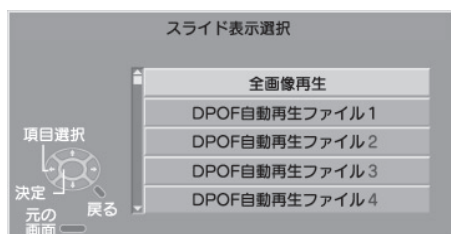
1 ↑ ↓ で画像を切り換える

■画像を拡大、縮小するには← →を押す
（ ← ：縮小　→ ：拡大 ）

●「2倍」、「原寸」、「1/2」倍の切り換えができます。

■画像を回転させるには、黄を押す
黄を押すごとに、時計回りに 90 度ずつ回転します。

2 終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
・拡大や縮小させた画面を回転させると「原寸」で表示されます。

スライド表示で見る（SD カード）

SD カードに記録されている画像を、スライドのように連続して見ることができます。
まず、161 ページの操作を行って「スライド表示」画面にしてください。

❶ 「スライド表示選択」画面で、「全画像再生」を ↑ ↓ で選ぶ

- 「DPOF自動再生ファイル」が入っていない場合は、「スライド表示選択」画面は表示されません。手順 ❷ に進んでください。
- 「DPOF自動再生ファイル」が5個以上あるときは、黄色の▲▼マークを表示します。↑ ↓で表示送り（スクロール）してください。
- 「全画像再生」を選ぶと、すべての画像が「マルチ表示」画面の順番に表示されます。

❷ 「再生モード」を ↑ ↓ で選んで、← → で再生したいモードを設定する

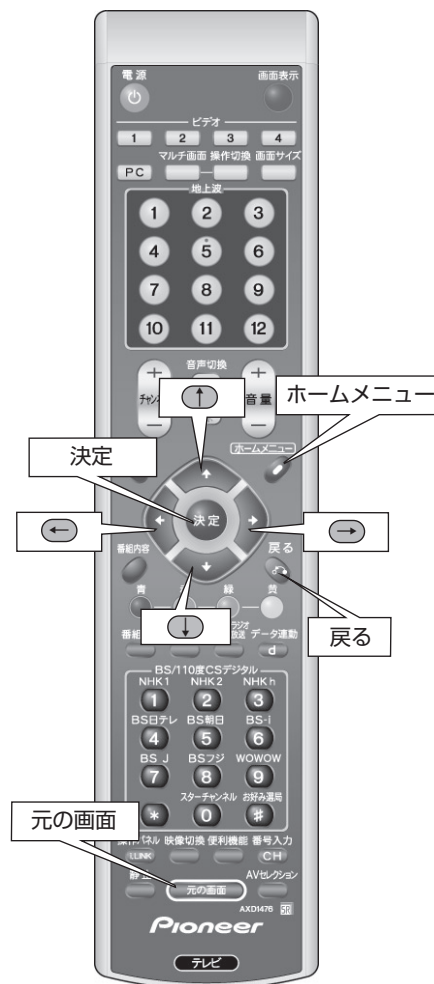
■「再生モード」が自動のとき「画像切替速度」を ↑ ↓ で選んで、← → で画像を切り換える時間を設定します。

「手動」.... ↑ ↓ を押すごとに画像が切り換わります。
「自動」.... 設定した時間間隔で自動的に画像が切り換わります。↑ ↓ で「画像切替速度」を選んで、← → で秒数を設定します。

❸ 「開始」を ↑ ↓ で選んで 決定 を押す

- 「再生モード」を「手動」に設定した場合は、↑ ↓ で画像を切り換えてください。
- 自動再生を一時停止するには、決定 を押して「表示方法選択」画面を表示させます。戻る を押すとスライド表示を再開します。

❹ 再生を終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
- DPOF自動再生ファイルとは、スライド表示のために画像を表示させる順番を記述したファイルです。本機では、このファイルを作成することはできません。
- 横に向いた画像は、「シングル」表示で画像を回転させると、正常に表示させることができます。また、その設定でスライド表示されます。

マルチ表示で見る（SDカード）

SDカードに記録されている画像データを、一度に最大9個の縮小画面で表示させることができます。また、各画像の日付や画素数などの確認も行うことができます。
まず、161ページの操作を行って「マルチ表示」画面にしてください。

① ↑ ↓ ← → で画像を切り換える

- 青色の▲▼マークを表示します。
  10枚以上の画像があるときは、黄色の▲▼マークを表示します。
- ↑ ↓で表示送り（スクロール）をして見てください。

エラー表示
画像データが読み込めないなど縮小画像が表示できないときに表示されます。

アクセス中表示
SDカードの読み込み中は「□アクセス中」が表示されます。
このときにSDカードは抜かないでください。データが破壊される場合があります。

画像情報（カーソル位置の画像）
- No....................... 画像番号（ファイル名）
- 日付..................... 画像がSDカードに書き込まれた日付
- 画素数.................. 画像の実際の画素数（横×縦）
- プリント枚数...... 「ラボ・プリントサービス」などにプリントしてもらう枚数表示
  本機では枚数の変更はできません。すでに設定されている枚数を表示します。

※画像データが読み込めないなど画像が表示できない場合は、エラー表示されます。

② 終了するには、元の画面 を押す

おしらせ
- サムネイル（縮小画像データ）のない場合は、マルチ表示できません。

SD カードの音楽を聴く

SDカードに記録されている音楽を再生することができます。

❶ SDカードを挿入すると、「SDカード」画面が表示されます

すでにSDカードが挿入されている場合は、(ホームメニュー)を押し、「SDカード」を(↑)(↓)で選んで、(決定)を押すと、「SDカード」画面を表示させることができます。

❷ 「SD音楽再生」を(↑)(↓)で選んで(決定)を押す

❸ 「曲選択」を(↑)(↓)で選んで(決定)を押す

SDカードに「プレイリストファイル」が入っている場合には、(←)(→)で聴きたいプレイリストファイルを選び(決定)を押します。

●操作ボタン

1つ前の曲へ	⏮ ‖ ⏭	次の曲へ
一時停止	▶	再生
停止	■ ↻	リピート

リピートは押すごとに下記のように切り換わります。
リピートOFF → 1曲リピート → 全曲リピート

❹ 聴きたい曲を(↑)(↓)で選んで(決定)を押す

選んだ曲の再生が始まります。

❺ 再生を終了するには、(元の画面)を押す

(おしらせ)

- プレイリストファイルとは、再生する曲と順番を記述したファイルです。本機では、このファイルを作成することはできません。
- (戻る)で1つ前の画面に戻すことができます。
- 画面上に表示しきれない曲やファイルがあるときは、黄色の▲▼マークを表示します。(↑)(↓)で表示送り（スクロール）してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のアンテナやビデオデッキなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、ご購入店にお問い合わせください。

全般

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	37ページ
	・主電源は入っていますか。	64ページ
電源が切れた	・本機の保護回路が動作したと考えられます。主電源ボタンを押して電源を切り、1分以上たってから再度電源を入れ直してください。	64ページ
映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	37ページ
	・電源が「切」の状態になっていませんか。	64ページ
	・テレビ（地上波、CATV）やBS・110度CSデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	66ページ
リモコンが動作しない	・電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。	22ページ
	・リモコンの乾電池が消耗していませんか。	22ページ
	・リモコンは受光部に向けてお使いください。	21・64ページ
片方しか音が出ない	・「バランス」が正しく調整されていますか。	94ページ
映像は出るが音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。	64ページ
	・「消音」状態になっていませんか。	64ページ
	・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。	18ページ
	・ビデオ1～4入力やPC入力を使用するときは、音声端子も接続されていることを確認してください。	33・153ページ
色がうすい 色あいが悪い	・色の濃さ、色あいなどは正しく調整されていますか。	83ページ
特定の地上波テレビチャンネルだけ映らない	・地上波テレビチャンネルの「手動微調整」がズレていませんか。	51ページ
長時間（3時間以上）視聴していると、電源が切れてしまう	・ホームメニューの「省エネの設定」で「無操作オフ」が「する」に設定されていませんか。	72ページ
映像が出ない 雑音のみ出る	・アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。	28～30ページ
	・アンテナ線は正しく接続されていますか。	28～30ページ
色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	

故障かな？と思ったら（つづき）

VHF/UHF（地上波）アンテナ

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。VHF/UHF(地上波)アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	
映像が二重になる(ゴースト)	・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。VHF/UHF(地上波)アンテナの向きや高さを変えてみてください。	
	・ホームメニューの「個別チャンネル設定」で「ゴーストを軽減する」を行ってください。	52ページ
雪が降っているような画面になる	・VHF/UHF(地上波)アンテナ線は正しく接続されていますか。	28・29ページ
	・屋外VHF/UHF(地上波)アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ・VHF/UHF(地上波)アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	

地上波

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンの地上波チャンネルボタン(1)～(12)で希望のチャンネルが選局できない	・地上波のリモコン番号「1」～「12」に希望の地上波チャンネルが設定されていますか。	50ページ
リモコンの(チャンネル(+ /−))で希望の地上波チャンネルが選局できない	・リモコン番号「1」～「48」に希望の地上波チャンネルが設定されていますか。	50ページ
	・ホームメニューの「個別チャンネル設定」で希望の地上波チャンネルがスキップ：「する」に設定されていませんか。	51ページ

BS・110度CSデジタル放送関連

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない	・本機の保護回路が動作したと考えられます。主電源ボタンを押して電源を切り、1分以上たってから再度電源を入れ直してください。	64ページ
	・「衛星アンテナ設定」でアンテナ電源が「オフ」になっていませんか。	56ページ
	・衛星デジタル放送受信用のアンテナケーブルが抜けていませんか。	30ページ
	・映像、音声のない放送ではありませんか。	
	・ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	66ページ
	・強い外来ノイズ(静電気、または落雷などによる電源電圧の異常など)を受けた場合などに発生することがあります。主電源ボタンを押して電源を切り、1分以上たってから再度電源を入れ直してください。	
画面に四角のノイズ(モザイク)が出る	・アンテナレベル(信号強度)を確認してください。	56・57ページ
	・BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナの向きがズレていませんか。	56ページ
	・BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナの前方に障害物はありませんか。	
	・BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナはBS・110度CSデジタル放送対応のものを使用していますか。	30ページ
	・衛星デジタル放送受信用アンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	30ページ
有料放送の視聴ができない	・B-CASカードは正しく挿入されていますか。	38ページ
	・有料放送を視聴するための契約はしていますか。	55ページ
	・電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	32・58ページ
110度CSデジタル放送が受信できない	・ブースターや分配器等が110度CSデジタル放送対応でないものを使用していませんか。	30ページ
	・BS/CS1/CS2切り換えがBSデジタル放送になっていませんか。	67ページ
	・CS受信選択が「無効」になっていませんか。	120ページ

BS・110度CSデジタル放送関連

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
BS・110度CSデジタル放送を見ていると、動きの速い映像で細かなブロック状のノイズが出る	・映像（コンテンツ）の情報量過多により、放送機材（エンコーダー）の処理能力を超えたときに発生します。この症状は、本機の故障ではありません。	
特定のチャンネルだけ映らない	・契約していない有料放送や有料番組（ペイ・パー・ビュー）ではありませんか。	107ページ
	・アンテナレベルを確認してください。	57ページ
電子番組表（EPG）が表示されない 電子番組表（EPG）に表示されない番組がある	・電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	
音声が途切れる	・雪や雨で、天候が悪くありませんか。	
Irシステムでの予約録画ができない	・Irシステムケーブルは正しく接続されていますか。	140ページ
	・ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。	133ページ
	・データ番組ではありませんか。	
番組の予約をしても受信できない場合がある	・契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等を予約していませんか。	

その他

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
i.LINK接続が認識されない	・接続先の機器の電源は入っていますか。	
	・i.LINKケーブルが抜けていませんか。	143ページ
	・接続先はD-VHSビデオデッキですか。 本機はD-VHSビデオデッキのみ接続が可能です。	143ページ

■本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは主電源ボタンを押して電源を切り、１分以上たってから再度電源を入れ直してください。

このようなときも故障ではありません

ときどき“ピシッ”と音がする

・温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

BS・110度CS共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

・衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。

・春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まります。

■つぎのコードやメッセージが画面に表示されている場合は、ご購入店にご相談ください。

コード	メッセージ	ここをお確かめください
SD04	内部温度上昇のため、電源をオフします。 PDP周辺の温度を確認してください。	本機周辺の温度が高くなっていませんか？
SD05	内部保護回路動作により、電源をオフします。	

メッセージ表示一覧

本機では、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。
主な「メッセージ」とメッセージが表示されたときの対処方法は下記のとおりです。

画面に表示されるメッセージ	コード	確認内容や対処のしかた
B-CASカードを正しく挿入してください。		B-CASカードの挿入方向は正しいですか？ スカパー用ICカードなど、使用できないカードが挿入されていませんか？ B-CASカードを正しく挿入してください。
B-CASカードの交換が必要です。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。		主電源を切った状態で、B-CASカードを抜き差ししてください。 再度同じメッセージが表示されるときは B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
アンテナとの接続に不具合があります。 接続をもう一度確認してください。	E209	衛星デジタル放送受信用アンテナケーブルの芯線と網組線が接触(ショート：短絡)していませんか？ 衛星アンテナ設定でアンテナ電源は正しく設定されていますか？ 衛星デジタル放送受信用アンテナケーブルの接続が不完全ではありませんか？
受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。	E202	BS・110度CSデジタルアンテナは正しく設置されていますか？ 衛星アンテナ設定でアンテナ電源は正しく設定されていますか？ 衛星デジタル放送受信用アンテナケーブルの断線などにより、 アンテナレベルが低下している可能性もあります。また、強い雨や雷雲など、天候の影響により一時的に受信レベルが低下している恐れもあります。(お住まいの周辺地域だけでなく、放送局側の天候が悪いことも考えられます。)
現在、受信できません。		受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
放送を切り換えできません。 BS放送のみ視聴する設定を解除してください。		110度CSデジタル放送(プラットワン、スカイパーフェクTV!2)を 視聴しない設定になっていませんか？ 衛星初期設定の「CS受信選択」を「有効」に変更してください。
視聴条件によりご覧頂けません。		ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
この受信機では、このサービスを視聴できません。	E210	本機では、選んだチャンネルのサービスに対応していません。 選局されたチャンネルとは異なるチャンネルを選局してください。
現在、このチャンネルは放送を休止しています。	E203	放送時間が終了していませんか？ 電子番組表(EPG)などで放送時間を確認してください。
このチャンネルはありません。 (0017)	E204	選んだチャンネル番号は正しいですか？ 電子番組表(EPG)などでチャンネル番号を確認してください。
放送サービスでないため、このチャンネルは視聴できません。	E200	このチャンネル(番組)は視聴できません。
降雨対応放送に切り換わりました。	E201	強い雨や雷雲など、天候の影響により一時的に受信レベルが低下している恐れがあります。(お住まいの周辺地域だけでなく、放送局側の天候が悪いことも考えられます。) 天候が回復し、十分なアンテナレベルが入力されると、自動的に通常画面に戻ります。また、衛星デジタル放送受信用アンテナケーブルやコネクタの接触不良などにより、受信レベルが低下している可能性もあります。
緊急警告放送が開始されました。 決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。		本機は緊急警告放送に対応しています。緊急警告放送は、お住まいの地域で災害等が発生した場合に放送されます。
視聴条件により、データ放送が参照するデータを表示できません。		ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
データ放送のデータを受信できません。 (0015) データ放送のデータを受信できません。 (0018) データ放送の表示に失敗しました。	E400 E401 E402	現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局した後､再びエラーが起こったデータ放送チャンネルを選局してください｡それでもメッセージが表示される場合には、主電源ボタンを押して電源を切り、再度電源を入れ直してください。
i.LINK機器による録画ができません。 外部機器との接続・設定を確認してください。		i.LINK機器の電源は入っていますか？ 本機とi.LINK機器がi.LINKケーブルで正しく接続されていますか？ 接続されているi.LINK機器は、ハイビジョン録画ができますか？ (例：DVデッキ・DVカメラでは、i.LINK録画はできません)
主画像データが読み込めません。 (04)		本機の一時的な状態により、画像データを再生できないときに表示されます。いったんテレビ受信などに切り換えたあと、再度SDカードの画像データを再生してください。

i.LINK に関する注意文

注意文	内容・対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいは DTLA のコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK 機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINK ケーブルによる接続が異常なときに表示されます。144 ページの「i.LINK 接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。ただし、プラズマテレビのガラスパネル部分のみは 2 年間です。

ご注意

- 画素欠陥については故障・不良ではありませんので、保証の対象外とさせていただきます。
- お客様のご使用過程で発生した画面の焼き付きも、保証の対象外です。
- 「使用上のご注意」（12 ページ）をよくお読みの上、正しくご使用になることをおすすめいたします。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理受付センター（裏表紙）にご相談ください。

修理を依頼されるとき

168 ～ 172 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

・ご住所
「付近の目印も合わせてお知らせください」
・お名前
・お電話番号
・製品名　ハイビジョンプラズマテレビ
・型番　　PDP-434BX
・お買い求め日
・故障または異常の内容
「できるだけ具体的に」
「画面に表示されたコードやメッセージ」
・訪問ご希望日
・ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。テレビの音量は貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などにはとくに気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

愛情点検

長年ご使用のプラズマテレビの点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電源が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

▼

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、「保証とアフターサービス」（上記）をお読みのうえ、修理受付センター（裏表紙）に点検をご依頼ください。

その他

地域コード

地域コード早見表

地域コード早見表に該当する都市にお住まいの場合は、その都市の地域コードを入力してください。
該当する都市にお住まいでない場合は、最も近い都市の地域コードを入力してください。
工場出荷時は、地域コード「042」に設定されています。

五十音	都市名	地域コード	五十音	都市名	地域コード	五十音	都市名	地域コード	五十音	都市名	地域コード
あ	会津若松	030	か	鹿屋	133	つ	津	076	ひ	姫路	089
	青森	013		釜石	017		津山	099		平塚	047
	明石	090	き	北九州	120		鶴岡	026		広島	101
	秋田	022		北見	012		敦賀	063	ふ	福井	062
	阿久根	132		岐阜	064	と	東京(23区)	042		福岡	117
	旭川	003		京都	081		徳島	109		福島	028
	網走	011		桐生	036		鳥取	095		福知山	083
い	飯田	054	く	釧路	010		苫小牧	007		福山	102
	諫早	125		熊谷	038		富山	058		富士	069
	石巻	020		熊本	126		豊田	075		藤枝	072
	伊勢	077		久留米	118		豊橋	074	ま	舞鶴	082
	今治	114		呉	104	な	長崎	123		前橋	035
	いわき	029	け	気仙沼	021		中津	128		松江	096
	岩国	108	こ	高知	116		中津川	066		松本	053
う	宇都宮	033		甲府	050		長野 1	051		松山	112
	宇部	107		神戸	085		長野 2	052		丸亀	111
	宇和島	115		神戸灘	086		名古屋	073	み	三木	088
お	大分	127		五条	092		七尾	061		三島・沼津	070
	大阪	084	さ	さいたま	037		那覇	134		水戸	031
	大館	023		佐賀	122		名張	078		宮崎	129
	大津	079		佐世保	124		名寄	004	む	むつ	015
	大曲	024		札幌	001		奈良	091		室蘭	006
	大牟田	119	し	静岡	067	に	新潟	056	も	盛岡	016
	岡谷・諏訪	055		島田	071		新居浜	113	や	矢板	034
	岡山	098		下関	106		二戸	018		山形	025
	小樽	002		上越	057	の	延岡	130		山口	105
	小田原	049	せ	仙台	019	は	函館	008	ゆ	行橋	121
	尾道	103	た	高岡	059		秦野	048	よ	横浜 1	045
	帯広	009		高松	110		八王子	043		横浜 2	046
か	海南・田辺	094		高山	065		八戸	014		米沢	027
	鹿児島	131		多摩	044		浜田	097	わ	和歌山	093
	川西	087	ち	秩父	039		浜松	068		稚内	005
	笠岡	100		千葉	040	ひ	彦根	080			
	金沢	060		銚子	041		日立	032			

ご注意

- 地上デジタル放送への移行(192ページ)に伴い、お住まいの地域によっては現在放送されているアナログ放送の一部のチャンネルが他のチャンネルに変更になる場合があります。この場合、地域コードによる設定では受信できないチャンネルがありますので、個別チャンネル設定(51ページ)を行ってください。

おしらせ

- 地域コードによる設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別チャンネル設定(51ページ)を行ってください。

地域コード一覧表

※地域コード別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社の調査によるものです。(2003年8月現在)

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域コード	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
北海道	札幌	001	1 北海道放送		3 NHK 総合	17 テレビ北海道	5 札幌テレビ			27 北海道文化放送		35 北海道テレビ		12 NHK 教育
	小樽	002		2 NHK 教育		4 北海道テレビ		24 テレビ北海道	7 札幌テレビ	26 北海道文化放送	9 北海道放送		11 NHK 総合	
	旭川	003		2 NHK 教育		33 テレビ北海道			7 札幌テレビ	37 北海道文化放送	9 NHK 総合	39 北海道テレビ	11 北海道放送	
	名寄	004				4 NHK 総合		6 札幌テレビ	24 北海道テレビ	26 北海道文化放送		10 北海道放送		12 NHK 教育
	稚内	005		30 NHK 教育		24 北海道テレビ			22 札幌テレビ	26 北海道文化放送	28 NHK 総合	10 北海道放送		
	室蘭	006		2 NHK 教育				29 テレビ北海道	7 札幌テレビ	37 北海道文化放送	9 NHK 総合	39 北海道テレビ	11 北海道放送	
	苫小牧	007		49 NHK 教育				47 テレビ北海道	57 札幌テレビ	53 北海道文化放送	51 NHK 総合	61 北海道テレビ	55 北海道放送	
	函館	008				4 NHK 総合	21 テレビ北海道	6 北海道放送	35 北海道テレビ	27 北海道文化放送		10 NHK 教育		12 札幌テレビ
	帯広	009				4 NHK 総合		6 北海道放送	34 北海道テレビ	32 北海道文化放送		10 札幌テレビ		12 NHK 教育
	釧路	010		2 NHK 教育				39 北海道テレビ	7 札幌テレビ	41 北海道文化放送	9 NHK 総合		11 北海道放送	
	網走	011	1 北海道放送		3 NHK 総合		5 札幌テレビ		35 北海道テレビ	27 北海道文化放送				12 NHK 教育
	北見	012		2 NHK 教育				61 北海道テレビ	7 札幌テレビ	59 北海道文化放送	9 NHK 総合		53 北海道放送	
青森	青森	013	1 青森放送		3 NHK 総合	34 青森朝日放送	5 NHK 教育			27 北海道文化放送			35 北海道テレビ	38 青森テレビ
	八戸	014		2 岩手放送	37 テレビ岩手	31 青森朝日放送	12 札幌テレビ		7 NHK 教育	27 北海道文化放送	9 NHK 総合	29 めんこいテレビ	11 青森放送	33 青森テレビ
	むつ	015				4 NHK 総合		56 青森朝日放送				10 青森放送	58 青森テレビ	12 NHK 教育
岩手	盛岡	016	1 東北放送	33 めんこいテレビ	35 テレビ岩手	4 NHK 総合		6 岩手放送	32 東日本放送	8 NHK 教育	34 ミヤギテレビ	38 青森テレビ	31 岩手朝日テレビ	12 仙台放送
	釜石	017		2 NHK 総合	58 テレビ岩手						60 めんこいテレビ	10 岩手放送	62 岩手朝日テレビ	12 NHK 教育
	二戸	018		2 岩手放送	37 テレビ岩手		5 NHK 総合				29 めんこいテレビ		61 岩手朝日テレビ	12 NHK 教育
宮城	仙台	019	1 東北放送		3 NHK 総合		5 NHK 教育		32 東日本放送		34 ミヤギテレビ			12 仙台放送
	石巻	020	59 東北放送		51 NHK 総合		49 NHK 教育		61 東日本放送		55 ミヤギテレビ			57 仙台放送
	気仙沼	021		2 NHK 総合		4 東北放送		6 仙台放送	43 東日本放送		37 ミヤギテレビ	10 NHK 教育		
秋田	秋田	022		2 NHK 教育			31 秋田朝日放送				9 NHK 総合		11 秋田放送	37 秋田テレビ
	大館	023	1 青森放送			4 NHK 総合	59 秋田朝日放送	6 秋田放送		8 NHK 教育				57 秋田テレビ
	大曲	024		43 NHK 教育			41 秋田朝日放送				45 NHK 総合		47 秋田放送	51 秋田テレビ
山形	山形	025				4 NHK 教育		36 テレビユー山形		8 NHK 総合		10 山形放送	30 さくらんぼテレビ	38 山形テレビ
	鶴岡	026	1 山形放送		3 NHK 総合			6 NHK 教育		22 テレビユー山形			24 さくらんぼテレビ	39 山形テレビ
	米沢	027				50 NHK 教育		56 テレビユー山形		52 NHK 総合		54 山形放送	60 さくらんぼテレビ	58 山形テレビ
福島	福島	028	1 東北放送	2 NHK 教育		31 テレビユー福島		33 福島中央テレビ	32 東日本放送	34 ミヤギテレビ	9 NHK 総合	35 福島放送	11 福島テレビ	12 仙台放送
	いわき	029	1 東北放送	62 テレビユー福島		4 NHK 総合		34 福島中央テレビ	32 東日本放送	8 福島テレビ		10 NHK 教育	12 仙台放送	60 福島放送
	会津若松	030	1 NHK 総合		3 NHK 教育	47 テレビユー福島		6 福島テレビ	32 東日本放送	37 福島中央テレビ	34 ミヤギテレビ	41 福島放送		12 仙台放送
茨城	水戸	031	44 NHK 総合		46 NHK 教育	42 日本テレビ	16 放送大学	40 TBS テレビ		38 フジテレビ	39 千葉テレビ	36 テレビ朝日		32 テレビ東京
	日立	032	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ		56 TBS テレビ		58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
栃木	宇都宮	033	29 NHK 総合		27 NHK 教育	25 日本テレビ	16 放送大学	23 TBS テレビ		21 フジテレビ	31 とちぎテレビ	19 テレビ朝日	48 群馬テレビ	17 テレビ東京
	矢板	034	51 NHK 総合		49 NHK 教育	53 日本テレビ		55 TBS テレビ		57 フジテレビ	33 とちぎテレビ	59 テレビ朝日		61 テレビ東京
群馬	前橋	035	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ	48 群馬テレビ	56 TBS テレビ	40 放送大学	58 フジテレビ	38 テレビ埼玉	60 テレビ朝日		62 テレビ東京
	桐生	036	43 NHK 総合		45 NHK 教育	39 日本テレビ	41 群馬テレビ	37 TBS テレビ	40 放送大学	35 フジテレビ		33 テレビ朝日		31 テレビ東京
埼玉	さいたま	037	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	46 千葉テレビ	10 テレビ朝日	48 群馬テレビ	12 テレビ東京
	熊谷	038	33 NHK 総合		35 NHK 教育	25 日本テレビ		23 TBS テレビ	28 テレビ埼玉	21 フジテレビ		19 テレビ朝日		17 テレビ東京
	秩父	039	51 NHK 総合		49 NHK 教育	53 日本テレビ		55 TBS テレビ	47 テレビ埼玉	57 フジテレビ		59 テレビ朝日		61 テレビ東京
千葉	千葉	040	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	42 TVK テレビ	8 フジテレビ	46 千葉テレビ	10 テレビ朝日	38 テレビ埼玉	12 テレビ東京
	銚子	041	51 NHK 総合		49 NHK 教育	53 日本テレビ		55 TBS テレビ		57 フジテレビ	39 千葉テレビ	59 テレビ朝日		61 テレビ東京
東京	東京(23区)	042	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	42 TVK テレビ	8 フジテレビ	46 千葉テレビ	10 テレビ朝日	38 テレビ埼玉	12 テレビ東京
	八王子	043	51 NHK 総合	47 MX テレビ	49 NHK 教育	53 日本テレビ		55 TBS テレビ		57 フジテレビ		59 テレビ朝日		61 テレビ東京
	多摩	044	30 NHK 総合	28 MX テレビ	32 NHK 教育	26 日本テレビ		24 TBS テレビ		22 フジテレビ		20 テレビ朝日		18 テレビ東京
神奈川	横浜1	045	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	42 TVK テレビ	8 フジテレビ		10 テレビ朝日		12 テレビ東京
	横浜2	046	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ		56 TBS テレビ	48 TVK テレビ	58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京

地域コード（つづき）

地域コード一覧表（つづき）

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域コード	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
神奈川	平塚	047	33 NHK 総合		29 NHK 教育	35 日本テレビ		37 TBS テレビ	31 TVK テレビ	39 フジテレビ		41 テレビ朝日		43 テレビ東京
	秦野	048	47 NHK 総合		49 NHK 教育	51 日本テレビ		53 TBS テレビ	61 TVK テレビ	55 フジテレビ		57 テレビ朝日		59 テレビ東京
	小田原	049	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ		56 TBS テレビ	46 TVK テレビ	58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
山梨	甲府	050	1 NHK 総合		3 NHK 教育	4 日本テレビ	5 山梨放送	37 テレビ山梨	6 TBS テレビ	8 フジテレビ		10 テレビ朝日		12 テレビ東京
長野	長野 1	051		2 NHK 総合		20 長野朝日放送		30 テレビ信州			9 NHK 教育	38 長野放送	11 信越放送	
	長野 2	052		44 NHK 総合		50 長野朝日放送		40 テレビ信州			46 NHK 教育	42 長野放送	48 信越放送	
	松本	053		44 NHK 総合		50 長野朝日放送		48 テレビ信州			46 NHK 教育	42 長野放送	40 信越放送	
	飯田	054	44 長野朝日放送		3 NHK 教育	4 NHK 総合		6 信越放送		42 テレビ信州		40 長野放送		
	岡谷・諏訪	055	61 長野朝日放送			4 NHK 総合		6 信越放送		8 NHK 教育	59 テレビ信州	47 長野放送		
新潟	新潟	056			21 新潟テレビ 21	29 テレビ新潟	5 新潟放送			8 NHK 総合		35 新潟総合テレビ		12 NHK 教育
	上越	057	1 NHK 教育		3 NHK 総合	27 テレビ新潟	37 新潟テレビ 21					10 新潟放送	33 新潟総合テレビ	
富山	富山	058	1 北日本放送	6 北陸放送	3 NHK 総合	37 石川テレビ		32 チューリップテレビ				10 NHK 教育		34 富山テレビ
	高岡	059	50 北日本放送		48 NHK 総合			42 チューリップテレビ				46 NHK 教育		44 富山テレビ
石川	金沢	060	1 北日本放送	25 北陸朝日放送	34 富山テレビ	4 NHK 総合		6 北陸放送		8 NHK 教育		33 テレビ金沢		37 石川テレビ
	七尾	061		59 北陸朝日放送			5 NHK 総合				9 NHK 総合	57 テレビ金沢	11 北陸放送	55 石川テレビ
福井	福井	062			3 NHK 教育			6 北陸放送			9 NHK 総合		11 福井放送	39 福井テレビ
	敦賀	063						6 NHK 総合		8 福井放送		38 福井テレビ		12 NHK 教育
岐阜	岐阜	064	1 東海テレビ		39 NHK 総合		5 CBC テレビ	25 テレビ愛知	37 岐阜放送	33 三重テレビ	9 NHK 教育		11 名古屋テレビ	35 中京テレビ
	高山	065		2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 CBC テレビ	38 岐阜放送	8 東海テレビ			26 中京テレビ	12 名古屋テレビ
	中津川	066				4 NHK 総合		6 名古屋テレビ	28 岐阜放送	8 CBC テレビ		10 東海テレビ	26 中京テレビ	12 NHK 教育
静岡	静岡	067	1 東海テレビ	2 NHK 教育		31 静岡第一テレビ	5 CBC テレビ	33 静岡朝日テレビ	25 テレビ愛知		9 NHK 総合		11 静岡放送	35 テレビ静岡
	浜松	068	1 東海テレビ	30 静岡第一テレビ		4 NHK 総合	5 CBC テレビ	6 静岡放送	25 テレビ愛知	8 NHK 教育		28 静岡朝日テレビ		34 テレビ静岡
	富士	069		54 NHK 教育		27 静岡第一テレビ		29 静岡朝日テレビ			52 NHK 総合		41 静岡放送	39 テレビ静岡
	三島・沼津	070		51 NHK 教育		61 静岡第一テレビ		57 静岡朝日テレビ			53 NHK 総合		55 静岡放送	59 テレビ静岡
	島田	071	1 NHK 総合		3 NHK 教育	48 静岡第一テレビ	5 静岡放送	50 静岡朝日テレビ						58 テレビ静岡
	藤枝	072	42 NHK 総合		44 NHK 教育	24 静岡第一テレビ	40 静岡放送	26 静岡朝日テレビ						38 テレビ静岡
愛知	名古屋	073	1 東海テレビ		3 NHK 総合		5 CBC テレビ	37 岐阜放送	35 中京テレビ	33 三重テレビ	9 NHK 教育		11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
	豊橋	074	56 東海テレビ		54 NHK 総合		62 CBC テレビ		58 中京テレビ		50 NHK 教育		60 名古屋テレビ	52 テレビ愛知
	豊田	075	57 東海テレビ		53 NHK 総合		55 CBC テレビ		59 中京テレビ		51 NHK 教育		61 名古屋テレビ	49 テレビ愛知
三重	津	076	1 東海テレビ	25 テレビ愛知	31 NHK 総合	4 毎日テレビ	5 CBC テレビ	6 ABC テレビ	33 三重テレビ	8 関西テレビ	9 NHK 教育	10 読売テレビ	11 名古屋テレビ	35 中京テレビ
	伊勢	077	57 東海テレビ		53 NHK 総合		55 CBC テレビ		59 三重テレビ		49 NHK 教育		61 名古屋テレビ	47 中京テレビ
	名張	078	62 東海テレビ		52 NHK 総合		60 CBC テレビ		58 三重テレビ		50 NHK 教育		56 名古屋テレビ	54 中京テレビ
滋賀	大津	079		28 NHK 総合		36 毎日テレビ		38 ABC テレビ	34 KBS 京都	40 関西テレビ	30 びわ湖放送	42 読売テレビ		46 NHK 教育
	彦根	080		52 NHK 総合		54 毎日テレビ		58 ABC テレビ		60 関西テレビ	56 びわ湖放送	62 読売テレビ		50 NHK 教育
京都	京都	081		2 NHK 総合	19 テレビ大阪	4 毎日テレビ		6 ABC テレビ	34 KBS 京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ		12 NHK 教育
	舞鶴	082		51 NHK 総合		53 毎日テレビ		55 ABC テレビ	57 KBS 京都	59 関西テレビ		61 読売テレビ		49 NHK 教育
	福知山	083		50 NHK 総合		54 毎日テレビ		58 ABC テレビ	56 KBS 京都	60 関西テレビ		62 読売テレビ		52 NHK 教育
大阪	大阪	084		2 NHK 総合	19 テレビ大阪	4 毎日テレビ		6 ABC テレビ	34 KBS 京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ		12 NHK 教育
兵庫	神戸	085		28 NHK 総合	19 テレビ大阪	18 毎日テレビ		20 ABC テレビ		22 関西テレビ	36 サンテレビ	24 読売テレビ		26 NHK 教育
	神戸灘	086		52 NHK 総合	19 テレビ大阪	54 毎日テレビ		56 ABC テレビ		58 関西テレビ	62 サンテレビ	60 読売テレビ		50 NHK 教育
	川西	087		29 NHK 総合		35 毎日テレビ		37 ABC テレビ		39 関西テレビ	33 サンテレビ	41 読売テレビ		31 NHK 教育

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域コード	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
兵庫	三木	088		44 NHK 総合		34 毎日テレビ		38 ABC テレビ		40 関西テレビ	36 サンテレビ	42 読売テレビ		46 NHK 教育
	姫路	089		50 NHK 総合		54 毎日テレビ		58 ABC テレビ		60 関西テレビ	56 サンテレビ	62 読売テレビ		52 NHK 教育
	明石	090		51 NHK 総合	19 テレビ大阪	53 毎日テレビ		57 ABC テレビ		59 関西テレビ	55 サンテレビ	61 読売テレビ		49 NHK 教育
奈良	奈良	091		51 NHK 総合	19 テレビ大阪	4 毎日テレビ		6 ABC テレビ	34 KBS 京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ	55 奈良テレビ	12 NHK 教育
	五条	092		43 NHK 総合		33 毎日テレビ		35 ABC テレビ		37 関西テレビ		39 読売テレビ	41 奈良テレビ	45 NHK 教育
和歌山	和歌山	093		32 NHK 総合		42 毎日テレビ	30 テレビ和歌山	44 ABC テレビ		46 関西テレビ		48 読売テレビ	55 奈良テレビ	26 NHK 教育
	海南・田辺	094		50 NHK 総合		54 毎日テレビ	56 テレビ和歌山	58 ABC テレビ		60 関西テレビ		62 読売テレビ		52 NHK 教育
鳥取	鳥取	095	1 日本海テレビ		3 NHK 総合	4 NHK 教育						22 山陰放送		24 山陰中央テレビ
島根	松江	096	30 日本海テレビ					6 NHK 総合		34 山陰中央テレビ		10 山陰放送		12 NHK 教育
	浜田	097		2 NHK 総合	54 日本海テレビ		5 山陰放送			58 山陰中央テレビ	9 NHK 教育			
岡山	岡山	098	35 岡山放送	23 テレビせとうち	3 NHK 教育		5 NHK 総合		25 瀬戸内海放送		9 西日本放送		11 山陽放送	
	津山	099	60 岡山放送	2 NHK 総合	56 テレビせとうち					62 瀬戸内海放送	58 西日本放送		7 山陽放送	12 NHK 教育
	笠岡	100	60 岡山放送	2 NHK 総合	19 テレビせとうち	4 NHK 教育		6 山陽放送	21 瀬戸内海放送		17 西日本放送			
広島	広島	101	31 テレビ新広島		3 NHK 総合	4 中国放送			7 NHK 教育		35 広島ホームテレビ			12 広島テレビ
	福山	102	54 テレビ新広島		3 NHK 教育		5 NHK 総合		7 中国放送		57 広島ホームテレビ		11 広島テレビ	
	尾道	103	1 NHK 総合	26 テレビ新広島					7 NHK 教育		24 広島ホームテレビ	10 中国放送		12 広島テレビ
	呉	104	1 NHK 教育	26 テレビ新広島			5 広島テレビ				9 中国放送	24 広島ホームテレビ	11 NHK 総合	
山口	山口	105	1 NHK 教育	28 山口朝日放送	35 広島ホームテレビ	4 RKB 毎日放送	19 TVQ 九州放送		38 テレビ山口	31 テレビ新広島	9 NHK 総合	10 テレビ西日本	11 山口放送	37 福岡放送
	下関	106	41 NHK 教育	21 山口朝日放送		4 山口放送	23 TVQ 九州放送		33 テレビ山口		39 NHK 総合	10 テレビ西日本		
	宇部	107	14 NHK 教育	31 山口朝日放送					20 テレビ山口		16 NHK 総合	10 テレビ西日本	18 山口放送	
	岩国	108	1 NHK 教育	28 山口朝日放送					22 テレビ山口		9 NHK 総合		11 山口放送	
徳島	徳島	109	1 四国放送	19 テレビ大阪	3 NHK 総合	4 毎日テレビ	30 テレビ和歌山	6 ABC テレビ	36 サンテレビ	8 関西テレビ	9 西日本放送	10 読売テレビ	11 山陽放送	38 NHK 教育
香川	高松	110	19 テレビせとうち		39 NHK 教育	4 毎日テレビ	37 NHK 総合	6 ABC テレビ	33 瀬戸内海放送	8 関西テレビ	41 西日本放送	10 読売テレビ	29 山陽放送	31 岡山放送
	丸亀	111	16 テレビせとうち		40 NHK 教育		44 NHK 総合		42 瀬戸内海放送		20 西日本放送		18 山陽放送	22 岡山放送
愛媛	松山	112	23 テレビせとうち	2 NHK 教育	12 広島テレビ	35 広島ホームテレビ	31 テレビ新広島	6 NHK 総合	25 愛媛朝日テレビ	29 あいテレビ	9 西日本放送	10 南海放送	11 山陽放送	37 愛媛放送
	新居浜	113	23 テレビせとうち	2 NHK 総合	12 広島テレビ	4 NHK 教育	31 テレビ新広島	6 南海放送	14 愛媛朝日テレビ	27 あいテレビ	9 西日本放送	35 広島ホームテレビ	11 山陽放送	36 愛媛放送
	今治	114		32 NHK 総合		30 NHK 教育		34 南海放送	17 愛媛朝日テレビ	27 あいテレビ				36 愛媛放送
	宇和島	115	1 NHK 教育					6 NHK 総合	16 愛媛朝日テレビ	34 あいテレビ		10 南海放送		32 愛媛放送
高知	高知	116				4 NHK 総合		6 NHK 教育		8 高知放送		38 テレビ高知	40 高知さんさんテレビ	
福岡	福岡	117	1 九州朝日放送	36 サガテレビ	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	19 TVQ 九州放送	6 NHK 教育			9 テレビ西日本		11 熊本放送	37 福岡放送
	久留米	118	57 九州朝日放送		46 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	14 TVQ 九州放送	54 NHK 教育			60 テレビ西日本			52 福岡放送
	大牟田	119	58 九州朝日放送		53 NHK 総合	61 RKB 毎日放送	19 TVQ 九州放送	50 NHK 教育			55 テレビ西日本			43 福岡放送
	北九州	120		2 九州朝日放送	35 福岡放送	36 サガテレビ	23 TVQ 九州放送	6 NHK 総合		8 RKB 毎日放送		10 テレビ西日本	11 熊本放送	12 NHK 教育
	行橋	121		57 九州朝日放送	43 福岡放送		19 TVQ 九州放送	49 NHK 総合		60 RKB 毎日放送		54 テレビ西日本		46 NHK 教育
佐賀	佐賀	122	57 九州朝日放送	40 NHK 教育	52 福岡放送	36 サガテレビ	14 TVQ 九州放送	34 テレビ熊本	5 長崎放送	48 RKB 毎日放送	38 NHK 総合	60 テレビ西日本	11 熊本放送	
長崎	長崎	123	1 NHK 教育	57 九州朝日放送	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	5 長崎放送	34 テレビ熊本	25 長崎国際テレビ	9 テレビ西日本	27 長崎文化放送	11 熊本放送	37 テレビ長崎	22 熊本県民テレビ
	佐世保	124		2 NHK 教育					17 長崎国際テレビ	8 NHK 総合	31 長崎文化放送	10 長崎放送	35 テレビ長崎	
	諫早	125	45 NHK 教育		47 NHK 総合		49 長崎放送		20 長崎国際テレビ		24 長崎文化放送		42 テレビ長崎	
熊本	熊本	126	1 九州朝日放送	2 NHK 教育	16 熊本朝日放送	22 熊本県民テレビ	5 長崎放送	34 テレビ熊本	37 テレビ長崎	36 サガテレビ	9 NHK 総合	19 TVQ 九州放送	11 熊本放送	4 RKB 毎日放送
大分	大分	127	24 大分朝日放送	38 テレビ山口	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	5 大分放送	10 南海放送	36 テレビ大分	37 福岡放送	9 テレビ西日本	19 TVQ 九州放送	11 山口放送	12 NHK 教育
	中津	128	17 大分朝日放送		48 NHK 総合		51 大分放送		37 テレビ大分					45 NHK 教育
宮崎	宮崎	129	1 南日本放送		35 テレビ宮崎				32 鹿児島放送	8 NHK 総合	38 鹿児島テレビ	10 宮崎放送		12 NHK 教育
	延岡	130	1 南日本放送	2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 宮崎放送	32 鹿児島放送	39 テレビ宮崎	38 鹿児島テレビ			
鹿児島	鹿児島	131	1 南日本放送	34 テレビ熊本	3 NHK 総合	35 テレビ宮崎	5 NHK 教育	10 宮崎放送	32 鹿児島放送	22 熊本県民テレビ	38 鹿児島テレビ	16 熊本朝日放送	11 熊本放送	30 鹿児島読売テレビ
	阿久根	132		34 テレビ熊本		23 鹿児島放送	17 鹿児島読売テレビ	35 鹿児島テレビ	22 熊本県民テレビ	8 NHK 総合	16 熊本朝日放送	10 南日本放送	11 熊本放送	12 NHK 教育
	鹿屋	133		2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 南日本放送	31 鹿児島放送		33 鹿児島テレビ			25 鹿児島読売テレビ
沖縄	那覇	134		2 NHK 総合						8 沖縄テレビ		10 琉球放送	28 琉球朝日放送	12 NHK 教育

画面に表示されるアイコンの説明

本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、表示している画面の情報をお知らせします。
主なアイコンと内容は次のとおりです。

番組情報関連

アイコン	内容	アイコン	内容
テレビ	衛星デジタルテレビ放送（映像＋音声）の番組	ラジオ	衛星ラジオ放送の番組
データ	衛星データ放送の番組	臨時	臨時ニュースなど予定外の番組
+d テレビ	衛星デジタルテレビ放送（映像＋音声）番組で、番組に合わせた衛星データ放送を行っているラジオ連動データ放送の番組	d テレビ	衛星デジタルテレビ放送（映像＋音声）番組で、番組とは別の衛星データ放送を行っている番組
+d ラジオ	衛星ラジオ放送番組で、番組に合わせた衛星データ放送を行っているラジオ連動データ放送の番組	d ラジオ	衛星ラジオ放送番組で、番組とは別の衛星データ放送を行っている番組
信号	映像、音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組	16:9 1125i	番組の映像信号情報 （上：アスペクト比、下：信号方式）
主	二重音声信号があり「主」を選択している場合	副	二重音声信号があり「副」を選択している場合
モノラル	モノラル音声の番組	主+副	二重音声信号があり「主＋副」を選択している場合
ステレオ	ステレオ音声の番組	有料	有料の信号を含む番組 （ペイ・パー・ビュー番組）
デジタル ×COPY	デジタルコピーガードがかかっている番組	無料	無料の番組
アナログ ×COPY	アナログコピーガードがかかっている番組	マルチ ビュー	マルチビュー放送の番組
デジタル 1COPY	デジタル録画できますが、デジタル録画した番組をさらにデジタル録画（コピー）することができない番組	字幕	番組の中に字幕（日本語／英語）の情報が含まれている番組
デジタル ×出力	i.LINK 端子からデジタル信号を出力しない番組	視聴	「視聴」で予約している番組
アナログ ×出力	モニター出力端子から映像・音声信号を出力しない番組	録画	「録画」で予約している番組
☎	本機が電話回線を使用中の場合	19才~	視聴年齢制限がある番組（表示される年令は４～１９才まであります）
予	予約している番組		

画面に表示されるアイコンの説明（つづき）

メール関連

アイコン	内容	アイコン	内容
（未読メールアイコン）	お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）	（既読メールアイコン）	お客様が既に読まれたメール（既読メール）

視聴制限関連

アイコン	内容	アイコン	内容
4才~	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組を選んだ場合に、「暗証番号入力」画面で設定している視聴可能年齢が表示されます	有料	一番組限度額の設定により高い金額の番組を選んだ場合に、「暗証番号入力」画面へ表示されます

予約一覧関連

アイコン	内容	アイコン	内容
視聴	予約方式が「視聴」の予約	録画	予約方式が「録画」の予約
録画 Ir	「連動予約」「タイマー予約」で設定した「録画」の予約	録画 D-VHS	D-VHS ビデオデッキで設定した「録画」の予約
録画 HDR	ハードディスクビデオレコーダーで設定した「録画」の予約	録画 i.LINK	外部の i.LINK 機器から設定されている予約
重複	予約時間が重なっており優先順位が低い予約	変更	予約した番組が放送開始時間を変更して予約が実行された番組
済	予約の実行が予定通り終了した予約	済 メール	予約の実行に問題が起こった予約(メールで問題内容を確認できます。➡113ページ)
実行中	現在、予約を実行している予約	¥	有料の番組 （ペイ・パー・ビューの番組）
リレー	イベントリレー予約が実行された予約 (➡131 ページ)		

電話発信記録関連

アイコン	内容
i.LINK	i.LINK 接続した機器から本機を通じて電話発信を行った

おしらせ
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しないことがあります。
- 「デジタル 1COPY」のアイコンが出ない番組でも、録画機器によっては、i.LINK でのダビングができないことがあります。

おもな仕様

	型番		PDP-434BX
	型名		ハイビジョンプラズマテレビ
	受信チャンネル	地上波アナログ	VHF1 ～ 12 チャンネル／ UHF13 ～ 62 チャンネル／ CATV C13 ～ C63 チャンネル
		衛星デジタル	BS デジタル 000 ～ 999 チャンネル／ 110 度 CS デジタル 000 ～ 999 チャンネル
	ディスプレイパネル （画面寸法）		43V 型 AC 方式プラズマパネル （幅 95.2cm、高さ 53.6cm、対角 109.3cm）
	画素数		1024 × 768
	音声出力		13W ＋ 13W （1kHz、10%、8 Ω）
	スピーカー		低音用（ウーファー）　：長円コーン形 高音用（トゥイーター）　：2.5cm ドーム形
	定格電圧		AC100V
	定格周波数		50/60Hz
	消費電力		310W
		スタンバイ（リモコン待機）時	0.5W
		機能待機時	28W
	年間消費電力量		299kWh ／年
入出力端子	VHF/UHF アンテナ （地上波アナログ）	入力	1 系統、75 Ω F 型コネクター
	BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力		1 系統、75 Ω F 型コネクター
		アンテナ電源出力	DC15V　最大 4W（DC11V　最大 3W）
	ビデオ入力	映像	1.0Vp-p、75 Ω、同期負
		S2 映像	輝度（Y）信号：1.0Vp-p、75 Ω、同期負 色（C）信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75 Ω
		D4 映像	輝度（Y）信号：1.0Vp-p、75 Ω、同期負 色差（CB/PB、CR/PR）信号：0.7Vp-p（カラー 100%）、75 Ω
		音声	0.5Vrms、22k Ω以上
	モニター出力	映像	1.0Vp-p、75 Ω、同期負
		S2 映像	輝度（Y）信号：1.0Vp-p、75 Ω、同期負 色（C）信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75 Ω
		音声	0.5Vrms、1k Ω
	デジタル音声出力（光）		1 系統（角型）
	音声出力		0.5Vrms、1k Ω
	サブウーファー出力		0.5Vrms（100Hz、音量最大時）、1k Ω
	ヘッドホン出力　（16 ～ 32 Ω推奨）		0.5Vrms（音量最大時）、32 Ω
	電話回線（モジュラー）端子		1 系統、2400bps
	i.LINK（TS）端子		2 系統、S400
	Ir システム端子		1 系統
	コントロール端子	入力	1 系統
		出力	1 系統
	パソコン（PC）入力	RGB 映像 （DDC1/2B 対応）	RGB 信号：0.7Vp-p、75 Ω、同期なし 同期信号（HD/VD）：TTL レベル（1 ～ 5Vp-p,）、2.2k Ω、正負極性
		音声（ステレオミニ）	0.5Vrms、22k Ω以上
	外形寸法		幅 1168mm、奥行 131mm、高さ 753mm
	質量		34.0kg

■ 年間消費電力量とは省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（約 4.5 時間／日）を基準に算出した 1 年間に使用する電力量です。

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

本機で使用している特許など

- 本機は、MPEG2 AAC に関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,54	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
  本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

- 本機では画面表示に NEC のフォント「Font Avenue」を使用しています。
  ※ Font Avenue は NEC の登録商標です。

- 本機で使用しているソフトウェアに関する情報は、BS・110 度 CS デジタル放送受信中に番組ナビボタンを押し、インフォメーション→ ID 表示→ソフト情報表示を参照ください。

- D-VHS は、日本ビクター株式会社の登録商標です。

- i.LINK（アイリンク）と i.LINK ロゴ は、ソニー株式会社の商標です。

- SD ロゴは商標です。

- SRS WOW は、SRS Labs, Inc. の商標です。
  WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

- 本機には、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本取扱説明書に記載されている企業名や製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。また、各社の商標および登録商標について、特に注記のない場合でも、これを尊重いたします。

用語の解説

■ 16：9

BSデジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i

走査線525本、インターレース方式。地上波アナログ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p

走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p

走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i

走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC（ MPEG2 AACをご覧ください）

■ B-CASカード（ビーキャスカード）

各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS・110度CSデジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。

■ BSデジタル放送

2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ 110度CSデジタル放送

BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。放送サービスは「プラットワン」と「スカイパーフェクTV！2」の2つのプラットフォーム（運営会社）によって提供され、BSデジタル放送と同じく、テレビ、ラジオ、データのチャンネルがあります。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ CATV（ケーブルテレビ）

ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子

BSデジタル放送の高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを、1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG（Electronic Program Guide）

BS・110度CSデジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って、画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ i.LINK（アイリンク）

i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

用語の解説（つづき）

■ Ir システム

Ir システムとは、Ir（Infrared：赤外線）で制御するシステムです。
本機背面の Ir システム端子に、付属の Ir システムケーブルを接続すると、リモコン発光部を録画機器のリモコン受光部に向けて設置することにより、本機に接続された録画機器で、BS・110度CSデジタル放送の番組を簡単に録画するシステムです。

■ MPEG（Moving Picture Experts Group）

デジタル動画圧縮技術の符号化方式の１つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2 は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、およそ40 分の 1 に圧縮することができます。

■ MPEG2 AAC（MPEG2 Advanced Audio Coding）

MPEG2 音声圧縮技術の符号化方式の 1 つです。高音質、マルチチャンネル設定が可能な方式です。

■ NTSC（National Television System Committee）

日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒 30 フレーム（フィールド周波数60Hz）、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM（Pulse Code Modulation）

アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の１つ。音楽 CD は、この方式を利用しています。

■ PPV（Pay Per View）

「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2 映像

セパレート（S）映像信号に、画面比率４：３で上下に黒帯のあるワイド映像（レターボックス）や、16：９の映像素材を横方向に圧縮して4：3にした映像（スクイーズ）を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「ズーム」に、スクイーズは「フル」になります。

■ インターレース（飛び越し走査）

NTSC 方式のテレビやビデオの画像表示では、525 本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5 本）を 1/60 秒で描きます（この 1 画面を 1 フィールドといいます）。つぎに偶数番めの走査線（262.5 本）を 1/60 秒で描きます。これで、合わせて走査線 525 本の 1 枚の完全な画像（フレーム）をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース（interlace）を表します。

■ プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525p の場合、525 本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を表します。

■ お知らせ

BS・110 度 CS デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポジット接続

通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は 1 つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたケーブルを使うのが一般的です。

■ ハイビジョン放送

BSデジタルハイビジョンの高画質放送のことです。現行の地上波テレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、BS デジタルハイビジョン放送は 750 本や 1,125 本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BS デジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

索引

●ア行

●カ行

●サ行

●タ行

●ナ行

●ハ行

●マ行

●ヤ行

●ラ行

●ワ行

メニュー項目一覧［テレビ・ビデオ］

映像の調整			
	AVセレクション		→82ページ
	映像		→83ページ
	明るさ		→83ページ
	色の濃さ		→83ページ
	色あい		→83ページ
	画質		→83ページ
	プロ設定	ピュアシネマ	→84ページ
		色温度	→85ページ
		MPEG NR	→86ページ
		DNR	→87ページ
		CTI	→88ページ
		DRE	→89ページ
		カラーマネージメント	→90ページ
	初期状態に戻す		→91ページ

音声の調整		
	高音	→94ページ
	低音	→94ページ
	バランス	→94ページ
	初期状態に戻す	→94ページ
	FOCUS	→95ページ
	フロントサラウンド	→95ページ

省エネの設定		
	消費電力	→72ページ
	無信号オフ	→72ページ
	無操作オフ	→72ページ

おやすみタイマー	
	→71ページ

メニュー項目一覧[テレビ・ビデオ](つづき)

その他の設定	画面位置の調整	水平・垂直位置	→76ページ	
		初期状態に戻す	→76ページ	
	Ｓ２対応	→75ページ		
	i.LINK接続の設定	→145ページ		
	Irシステムの設定	Irシステム	→141ページ	
		メーカー	→141ページ	
		リモコン種別	→141ページ	
		外部入力	→141ページ	
		テスト	→142ページ	
	アナログ接続の設定	→149ページ		
	サイドマスクの設定	→77ページ		

初期設定	かんたん設置	→40ページ		
	地上波チャンネルの設定	一括チャンネル設定	地域名	→48ページ
			コード	→48ページ
		オートチャンネル設定	→49ページ	
		チャンネル設定結果	→50ページ	
		個別チャンネル設定	リモコン	→51ページ
			受信ＣＨ	→51ページ
			表示ＣＨ	→51ページ
			スキップ	→51ページ
			ＧＲ	→51ページ
			ＡＦＴ	→51ページ
			手動微調整	→51ページ
	衛星デジタルの設定	選局対象	→106ページ	
		デジタル音声出力	→150ページ	
		i.LINK待機	→148ページ	
		ダウンロード予約	→123ページ	
		字幕	→103ページ	
		字幕言語	→103ページ	
		文字スーパー	→103ページ	
		文字スーパー言語	→103ページ	
		録画・視聴設定	時間変更追従	→129ページ
			マルチビュー録画	→130ページ
		視聴制限設定	視聴可能年齢	→110ページ
			一番組限度額	→110ページ
			暗証番号変更	→111ページ
			暗証番号取消し	→111ページ
		衛星初期設定	衛星アンテナ設定	→56ページ
			電話設定	→58ページ
			地域設定	→61ページ
			B-CASカードテスト	→121ページ
			衛星チャンネル設定	→118ページ
			受信設定	→119ページ
			ＣＳ受信選択	→120ページ
			設定項目リセット	→122ページ

メニュー項目一覧[テレビ・ビデオ](つづき)

番組ナビ	番組表			→99ページ
	裏番組			→100ページ
	ジャンル検索	ニュース・報道		→101ページ
		ドラマ		→101ページ
		映画		→101ページ
		スポーツ		→101ページ
		音楽		→101ページ
		アニメ・特撮		→101ページ
		教養・情報		→101ページ
		バラエティー		→101ページ
		その他		→101ページ
	プログラム予約	予約チャンネル		→134ページ
		曜日／日		→134ページ
		開始時刻		→134ページ
		終了時刻		→134ページ
		次へ	予約方式	→126ページ
			録画機器	→128ページ
			録画モード	→129ページ
			信号設定	→130ページ
			その他の設定	→131ページ
	予約一覧	予約変更・取消し確認		→132ページ
		履歴削除確認		→132ページ
	インフォメーション			→113ページ

SDカード	SD静止画再生	シングル表示	→162ページ
		スライド表示	→163ページ
		マルチ表示	→164ページ
	SD音楽再生		→165ページ

メニュー項目一覧［パソコン（PC)］

映像の調整	AVセレクション	→82ページ	
	映像	→155ページ	
	明るさ	→155ページ	
	Rレベル	→155ページ	
	Gレベル	→155ページ	
	Bレベル	→155ページ	
	初期状態に戻す	→91ページ	

音声の調整	高音	→94ページ
	低音	→94ページ
	バランス	→94ページ
	初期状態に戻す	→94ページ
	FOCUS	→95ページ
	フロントサラウンド	→95ページ

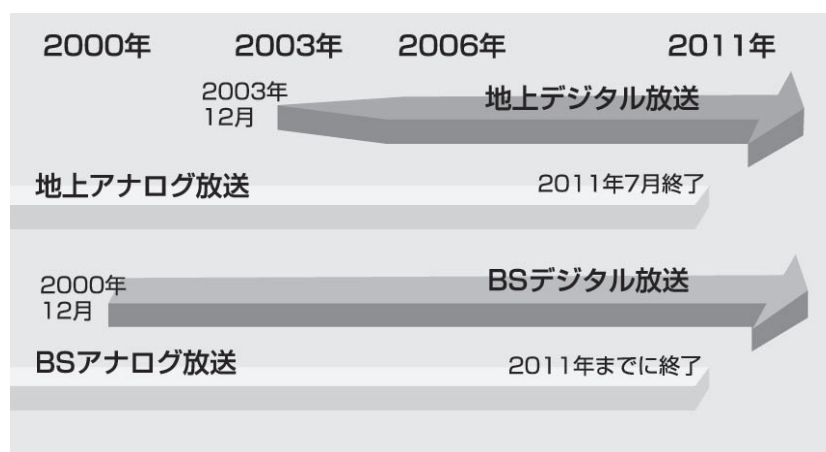
省エネの設定	消費電力	→72ページ
	パワーマネージメント	→158ページ

おやすみタイマー	→71ページ

その他の設定	画面の自動調整開始	→156ページ	
	画面の手動調整	水平・垂直位置	→157ページ
		クロック周波数	→157ページ
		クロック位相	→157ページ
		初期状態に戻す	→157ページ

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、ＢＳアナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

本機で地上デジタル放送をご覧になるには

別売りの地上デジタルチューナーを接続することにより地上デジタル放送をご覧頂けます。
なお、受信には、地上デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。
詳しくは地上デジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

PRINTED WITH SOY INK™ この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **パイオニア・カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～17：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口　：　フリーフォン **0070-800-8181-22**

カタログのご請求窓口　：　フリーフォン **0070-800-8181-33**

ファックス　：　**03-3490-5718**

<ご注意>
フリーフォンは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*

カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● **パイオニア部品受注センター**

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイヤル）　：　**0120-5-81095**

一般電話　：　**0538-43-1161**

ファックス（フリーダイヤル）：　**0120-5-81096**

<ご注意>
フリーダイヤルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● **パイオニア修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～20：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～18：00　（弊社休日は除く）
　　　日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（プラズマテレビのみ受付）

電話（フリーダイヤル）　：　**0120-5-81028**（ゴーパイオニア）

一般電話　：　**03-5496-2023**

ファックス（フリーダイヤル）：　**0120-5-81029**

<ご注意>
フリーダイヤルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00　（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話　：　**098-879-1910**

ファックス　：　**098-879-1352**

お客様メモ

● 覚えのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くの ご相談窓口	
ご購入年月日	年　　月　　日		

高調波ガイドライン適合品

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<03F03001> <ARA1325-B>